に至れり。然るに明治三十九年第二十二回帝國議會に於て、政府は宅地地價修正法案を提出し、內地竝に北海道の宅地に對し地價の修正を行はんことを計畫するや、此の機會に際して地租定率を除くの外、地租條例の全部を北海道に施行し、以て內地と整理の劃一を期することと爲し、同一議會に左の如き法律案を提出したり。

第一條　北海道ニ地租條例ヲ施行ス

第二條　北海道ニ於ケル郡村宅地及市街宅地以外ノ土地ノ地租定率ハ當分地價百分ノ一トス

宅地地價修正法ニ依リ修正シタル地價ニ依リ地租ヲ徵收スル以前ニ於テ徵收スル郡村宅地及市街宅地ノ地租ノ定率ハ地價百分ノ一トス

右法案に依れば、北海道に於ける地租の定率に關しては宅地と宅地以外の土地とを區別し、宅地に對しては內地と同樣地價の百分の二箇半を課し、宅地以外の土地に對しては特例を設けて、地價百分の一を課せんとするものなり。抑、北海道に在りては其の拓殖奬勵上、明治十年以降當分地租の定率を總て地價百分の一と定められしが、爾來同道開拓の事績は漸く擧り、其の拓殖の進歩は比年著しきものあるに至りしのみならず、尙同道には北海道國有未開地處分法の存するありて、民有と爲すべき土地は、十年以內無償貸付、民有後二十年間地租及地方稅免除の特典を付與せらるるが故に、當時に至りては更に此の上從來の如き低き地租率を維持するの必要は最早之を認めざるに至れり。然れども宅地以外の土地は、自ら內地と多少其の狀況を異にするものあるのみならず、沿革上の理由よりするも、一般の土地に對し急に此の低率を廢するは考慮を要すべきものあるが故に、宅地以外の土地に對しては、姑く其の租率を据置くことを必要と認めしと雖も、宅地に關しては、其の狀況殆んど內地と異らざるのみならず、其の地價は宅地地價修正法案通過の曉には、之に依りて內地と同樣に賃貸價格を標準として修正せらるるものなるが故に、其の地租定率も內地と同樣、地價百分の二箇半とするを適當と認めしを以てなり。然るに右法案が議會に提出せらるるや、衆議院は地租條例を北海道に施行する點に關しては異議を有せざりしと雖も、宅地の租率を地價百分の二箇半と爲す點に關しては之に反對し、宅地に就ても、其の他の土地と同じく當分地價百分の一と爲すことに修正を加へたり。而して其の理由とする所は(一)北海道に於ける拓殖事業進歩の狀況は未だ完成の域に達せず、今後益〻之が奬勵を計らざるべからざるが故に、此の目的の爲には、宅地地租の定率を尙低減するの要あり(二)北海道に於ける市街地の繁榮は其の根柢甚だ薄弱にして、其の盛衰は一に水產業の消長に伴ひて高低するものなるが故に、同道に於ける市街地の部分的及一時的の發達のみを見て、地租率を內地同樣に引上ぐるは、甚だ危險なりと云ふに在りたり。貴族院亦此の修正案に同意を表せしを以て、法案は明治三十九年四月法律第三十三號を以て左の如く公布せられたり。

法律第三十三號（明治三十九年四月十一日）

第一條　北海道ニ地租條例ヲ施行ス

第二條　北海道ニ於ケル地租定率ハ當分地價百分ノ一トス

然るに既述の如く戰後の租稅整理として明治四十三年三月法律第二號を以て地租條例を改正し北海道に於ける地租の定率も之を地租條例中に規定することとなるに及びて、其の租率は宅地に就ては內地と同樣地價百分の二箇半、宅地以外の土地に就ては、田畑は地價百分の三箇四、其の他の土地は地價百分の四箇と定められたり。

### 第二目　屯田兵土地給與規則の廢止

明治二十三年九月法律第七十九號を以て屯田兵土地給與規則を制定し、屯田兵及屯田兵村に對して夫々土地を給與すべきことを定められしが、明治三十七年九月に至り、勅令第二百二號を以て屯田兵の制度を廢止せられし結果、右の屯田兵土地給與規則も其の必要を見ざるに至りしを以て、明治三十九年四月十二日法律第四十一號を以て之を廢止したり。然るに此の屯田兵土地給與規則中には屯田兵及屯田兵村に給與したる土地は、服役中及滿期後十年又は二十年間、國稅及地方稅を免除するの規定を存せしが故に、屯田兵土地給與規則の廢止後と雖も、右の規定に依りて租稅を免除せられたる土地に對しては、尙其の特典を繼續するの必要ありしを以て、右法律第四十一號の附則中に於て『屯田兵及屯田兵村ニ給與シタル土地ニ對スル國稅ノ免除ニ係ルモノハ仍從前ノ例ニ依ル』との規定を設けたり。

### 第三目　北海道國有未開地處分法の改正

明治三十年三月法律第二十六號を以て北海道國有未開地處分法を制定し、開墾牧畜若くは植樹等に供せんとする者に對しては、國有未開地を無償にて貸付け、全部成功の後には無償にて之を付與し且此の法律に依りて處分したる土地に對しては、民有となりたる年の翌年より二十年間の免租期間を與ふることと定めたり。爾來右法律は約十年に亙り何等の變更なく行はれしが、此の間に於て北海道拓殖の狀況には著しき變化を生じ、法律の改訂を要する條項も漸く多きに至りたり。玆に於て政府は第二十四回帝國議會に於て、北海道國有未開地處分法の改正法律案を提出せしが、右法案は多少の修正を經て議會を通過し、明治四十一年四月法律第五十七號を以て公布せられたり。此の法律は從前の法律を全部に亙りて改正せしものにして、其の立法の主義に於ても根本的に變更を加へられたり。卽ち舊法に於ては、土地の處分に關し無償付與主義を採りし結果、土地利用の意思を有せずして土地の付與を受くる者あり、爲めに眞實の土地利用者の土地所有を妨ぐるが如き弊害を生ぜしが故に、新法に於ては之を改め原則として賣拂主義を採用し、十町步以內の土地に關してのみ、從前と同樣無償付與主義を採用することと爲したり。又此の法律に依りて處分せられたる土地に對する免租期間は、舊法に於ては其の民有となりたる年の翌年より二十箇年の規定なりしが、新法に於ては之を改めて、土地賣拂後十年間の事業成功期間を付與し、此の期間滿了後十箇年を免租期間と爲したり。卽ち新法に於ては十箇年の事業成功期間は當然付與せらるるものなるが故に、實際に於て事業の成功に十箇年を要せざりし場合に在りては、事實上事業成功後の免租期間は、法定の年限よりも更に延長せらるるものなりとす。今左に新法律中地租に關係ある條項を摘錄すれば左の如し。

北海道國有未開地處分法（明治四十一年四月十五日法律第五十七號）（抄錄）

第一條　北海道國有未開地ノ處分ハ本法ニ依リ北海道廳長官之ヲ行フ

第二條　土地ノ賣拂ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ一定ノ期間內ニ其ノ土地ニ關スル事業ヲ成功スヘキ者又ハ素地ノ儘使用セムトスル者ニ對シ之ヲ行フ

第三條　自ラ耕作ヲ爲サムトスル者ノ爲土地ノ區域ヲ限リ特定地ヲ設置ス

特定地ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ無償ニテ貸付シ成功ノ後之ヲ付與ス

第四條　公用又ハ公共ノ利益ト爲ルヘキ事業ニ供セムトスル土地ハ之ヲ付與シ又ハ有償若ハ無償ニテ貸付スルコトヲ得

第六條　賣拂ヒ又ハ貸付スヘキ地積ノ制限竝賣拂及貸付ノ方法ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第七條　民有地トノ交換ハ價額稍相均シキモノニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第八條　賣拂ヲ爲ス土地ニ關スル事業ノ成功期間ハ十年ヲ超ユルコトヲ得ス

第十條　前二條ノ期間ハ植樹又ハ泥炭地ノ使用ニ限リ特ニ二十年迄之ヲ延長スルコトヲ得

第十九條　民有ト爲リタル土地ニ對スル地租ハ事業成功期間滿了ノ翌年ヨリ起算シ十年ノ後ニ非サレハ之ヲ賦課セス但シ素地ノ儘使用スル土地又ハ交換若ハ第四條ニ依リ付與シタル土地ニ對シテハ民有ト爲リタル翌年ヨリ起算ス

附　則

舊法ニ依リ賣拂ヒ交換若ハ付與シタル土地ノ免租期限ハ仍從前ノ例ニ依ル

## 第四款　大正初期の地租

### 第一項　地租率の輕減

田畑の租率は曩に日露戰後に於ける第二次稅制整理に際し、衆議院の修正の結果、明治四十三年分地租より租率八厘を減じ、地價百分の四箇七（北海道に在りては百分の三箇四）と定められしが、爾後政府は所得稅及營業稅の減稅的整理を企圖し、之に關する法律案を大正二年二月第三十回帝國議會に提出するや、之を機として再び地租輕減論起り、同一議會に於て衆議院議員に依り之に關する法律案提出せられたり。右案は委員會に於て未決の儘葬られて成立せざりしが、翌第三十一回帝國議會に於て政府が營業稅・相續稅・取引所稅の整理に關する法律案を提出するや、同一議會に於て再び地租輕減に關する法律案衆議院議員に依り提出せられたり。同案は田畑の地租率百分の四箇七を七厘低減して百分の三箇四を四厘低減して百分の三箇と改め、之を大正三年九月一日より實施せんとするものにして、之に依り約八百八十萬圓の負擔を輕減せんことを圖りしものなりしが、衆議院は審議の末、現下農民負擔の輕減を圖ることの必要は固より言を俟たずと雖も、目下の財政狀態に於ては到底租率七厘の減少は之を許さざるのみならず、別項に於て述るが如く、之と同時に提出せられたる地租徵收交付金增額案の可決せらるる上は、之に依りても或る程度迄地租輕減と同一の效果を齎すべきを以て、地租率の輕減は之を二厘減に止むるを以て適當なりと爲し、卽ち田畑租率百分の四箇七を百分の四箇五（北海道に在りては百分の三箇四を百分の三箇二）に改め、且之を大正四年分地租より適用することに修正の上、之を可決したり。右法律案は貴族院に於て異議なく可決せられ、政府亦之に同意を表せしを以て、裁可を經て大正三年三月法律第十八號を以て左の如く公布せられたり。斯くて此の租率輕減の結果地租の收入は大正四年度に於て百九十三萬四千四百四十六圓、大正五年度以降に於て二百四十三萬四千六百九十八圓を減少するの計算となれり。

法律第十八號（大正三年三月三十一日）

地租條例中左ノ通改正ス

第一條第一項中「田畑地價百分ノ四箇七」ヲ「田畑地價百分ノ四箇五」ニ改ム

同條第二項中「田畑地價百分ノ三箇四」ヲ「田畑地價百分ノ三箇二」ニ改ム

附　則

本法ハ大正四年分地租ヨリ之ヲ適用ス

地租の租率は地租改正以後屢〻變改を加へられしと雖も、右大正三年の改正を最後とし、爾後何等の變更なくして大正年間を經過せしものとす。今參考の爲め地租改正以來の租率の變遷を一括表示すれば左の如し。

| 地目 | 地租改正以後 | 明治十年以後 | 同三十二年以後 | 同三十七年以後 | 同三十八年以後 | 同四十三年以後 | 大正四年以後 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 田 | 百分の 三・〇 | 百分の 二・五 | 百分の 三・三 | 百分の 四・三 | 百分の 五・五 | 百分の 四・七 | 百分の 四・五 |
| 畑 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 |
| 市街宅地 | 同 三・〇 | 同 二・五 | 同 五・〇 | 同 八・〇 | 同 二〇・〇 | ※同 二・五 | 同 二・五 |
| 郡村宅地 | 同 三・〇 | 同 二・五 | 同 三・三 | 同 六・〇 | 同 八・〇 | 同 二・五 | 同 二・五 |
| 雜地 | 同 三・〇 | 同 二・五 | 同 三・三 | 同 四・三 | 同 五・五 | 同 五・五 | 同 五・五 |
| 北海道 田 | 百分の 一・〇 | 百分の 一・〇 | 百分の 一・〇 | 百分の 二・八 | 百分の 四・〇 | 百分の 三・四 | 百分の 三・二 |
| 北海道 畑 | 同 一・〇 | 同 一・〇 | 同 一・〇 | 同 六・五 | 同 一八・五 | ※同 二・五 | 同 二・五 |
| 北海道 市街宅地 | 同 一・〇 | 同 一・〇 | 同 一・〇 | 同 四・五 | 同 六・五 | 同 二・五 | 同 二・五 |
| 北海道 郡村宅地 | 同 一・〇 | 同 一・〇 | 同 一・〇 | 同 二・八 | 同 四・〇 | 同 四・〇 | 同 四・〇 |
| 北海道 雜地 | 同 一・〇 | 同 一・〇 | 同 一・〇 | 同 二・八 | 同 四・〇 | 同 四・〇 | 同 四・〇 |

（備　考）※印は明治四十四年分より實施。

## 第二項　地租關係法規の改正

### 第一目　地租條例の改正

第三十一回帝國議會に於ては上述の如く、田畑租率の輕減を目的とする地租條例中改正法律案衆議院より提出せられ、修正の上之が可決を見しが、同一議會に於て政府は地租條例第四條及第十六條の改正に關する法律案を提出し、兩院の可決を得て大正三年三月法律第十九號を以て左の如く之を公布したり。

法律第十九號（大正三年三月三十一日）

地租條例中左ノ通改正ス

第四條第六號中「軌道用地」ヲ「軌道用地、運河用地」ニ、第十六條中「埋立」ヲ「埋立テ又ハ干拓シ」ニ改ム

本改正の目的とする所は(一)運河用地を新に免租地に指定すること（第十六條）(二)官有水面の埋立と干拓とを區分し、之に對し共に新開免租年期を付與すること（第四條）の二點に在るものなり。前者の改正の趣旨とする所は、卽ち運河用地なるものは鐵道用地・軌道用地等と其の性質を同じうするものにして、既に大正二年四月法律第十六號を以て運河法制定せられ、運河用地に關する規定を設けられし上は、斯かる土地に對しては鐵道用地・軌道用地に對すると同樣、其の地租を免除するを相當と認めしに因るものなり。又後者の改正は單に之と同時に提出せられし耕地整理法の改正案に伴ふものにして、卽ち官有水面の干拓は從來埋立として取扱ひ、官有水面の干拓に依り民有に歸せし土地に對しては、其の埋立に依るものと同樣、五十年以內の新開免租年期を付與し來りしが、本改正案と同時に提出せられし耕地整理法の改正案に於ては、埋立と干拓とを區分することとなりしを以て、地租條例

に於ても亦用例上此の兩者を區分し置くを相當と認めしに因るものなり。

### 第二目　地租徵收交付金制度の改正

地租の徵收に關しては、既述の如く明治四十四年三月法律第三十七號を以て國稅徵收法を改正し始めて其の徵收金額の千分の七に相當する金額を市町村に交付することと爲せしが、而も右交付金交付の率は、他の國稅の徵收に對する交付の率に比して著しき懸隔を存せしを以て、之が匡正の必要を唱ふる意見は爾後引續き行はれ、第二十八回帝國議會に於ては地租徵收交付金を他の國稅徵收交付金同樣、稅額の百分の四と改むることに關する建議案衆議院議員に依り提出せられて其の可決を見、更に第三十回帝國議會に於ては、右の趣旨に基く國稅徵收法中改正法律案衆議院議員に依り提出せられしが、審議未了に終りて成立せざりき。然るに既述の如く第三十一回帝國議會に於て各種租稅の輕減に關する法律案提出せらるるや、地租徵收交付金增額に關する國稅徵收法中改正法律案は再び衆議院議員に依りて提出せらるるに至れり。然れども斯くては地租徵收交付金增額の爲に約二百五十萬圓の歲出增加を要するに至るのみならず、從來の交付金制度は徵收費用の實際と適合せざる點あるを以て、衆議院は右案を審議の上、總て市町村に於て徵收すべき國稅に對しては、一樣に其の徵收費用として、其の徵收金額の百分の三に相當する金額、及納稅告知書一通に付金二錢の割合を以て計算したる金額を其の市町村に交付することに修正し、大正三年四月一日より之を實施することと爲したり。右修正案は貴族院も異議なく之を可決し、政府亦之に對して同意を表せしを以て、裁可を經て大正三年三月二十八日法律第十二號を以て公布せられたり。右改正の結果國庫の歲出は二百三十六萬七千九百三十八圓を增加するの計算となりしが、此の國庫歲出の增加は夫れ丈け市町村の負擔の輕減を來すこととなり、殊に本改正の結果に依る增額は、事實上主として地租徵收交付金の增額に歸するものなるを以て、間接に地租輕減と相均しき效果を齎すものなることは、言を俟たざる所なりとす。

### 第三項　災害地地租免除法の制定

既に述べたるが如く災害に因り收穫皆無に歸したる土地に對する救濟は、水害に關するものと水害以外の災害に因るものとに依りて、其の方法を異にし、前者に在りては其の地租を全免せらるるに反し、後者に在りては其の地租の延納を許可せらるるに止まるものなるが、右救濟方法を統一して其の一に歸せしめんとするの議は、第十六回帝國議會以來殆ど每年の議會に於ける問題となり、而して衆議院は此の問題に關しては災害地地租全免主義を以て終始し、政府は之に反して常に災害地地租延納主義を以て、衆議院の意見に反對し來りしものにして、既に第二十六回帝國議會に於ては政府は既述の如く災害地地租延納法案を提出して、延納主義に依る統一を企圖せしが、此の案は議會の協贊を經ること能はざりしのみならず、爾後災害地地租免除に關する法律案は、每年衆議院に於て提出せらるるの狀勢なりしを以て、政府も漸く災害地地租の救濟方法を、延納主義に統一することの實行上困難なるを認むるに至れり。然るに會〻大正二年東北地方及北海道地方に亙りて大凶作あり、其の災害の範圍頗る廣汎にして、其の程度亦激甚を極め、地租の徵收に關しても、特別なる救濟方法を講ずるの必要を生ぜしを以て、玆に政府は災害地地租に對して從來採り來りし主義を改めて、新に免除主義

に統一することと爲し、第三十一回帝國議會に於て災害地地租免除法案を提出したり。而して本法案の施行期日は大正三年四月一日と定められしと雖も、本案の提出には前述の如く大正二年に於ける災害救濟の理由をも存せしが故に、特に其の適用を施行期日前一年に遡ることの規定を設けたり。從つて本法案は將來に於ける災害地地租の免除を規定すると同時に、大正二年に於ける各地方の災害救濟をも、其の目的と爲したるものなり。本法案は異議なく議會を通過し、大正三年二月法律第一號を以て左の如く公布せられ、之と同時に明治三十四年法律第二十七號及同三十六年法律第三號は廢止せられたり。斯くて災害地地租救濟方法の統一に關する從來の懸案は玆に始めて解決せられ災害地地租の救濟は免除主義に依りて統一せらるるに至れり。

## 災害地地租免除法（大正三年二月二十日法律第一一號）

第一條　北海道又ハ府縣ノ全部又ハ一部ニ亙ル災害又ハ天候不順ニ因リ收穫皆無ニ歸シタル田畑ノ地租ハ納稅義務者ノ申請ニ因リ其ノ年分ニ限リ之ヲ免除ス

前項ノ申請ハ被害現狀ノ存スル間ニ於テ其ノ事實ヲ證明シテ之ヲ爲スコトヲ要ス

第二條　地目變換若ハ開墾成功ノ届出アリタル土地又ハ耕地整理工事完了シ地價ノ配當ノ申出アリタル土地ニシテ土地臺帳ニ登錄セラレサルモノニ付テハ其ノ成功地目カ田畑ナルトキハ現地租ニ付前條ノ規定ヲ準用ス但シ耕地整理ノ場合ニ於テ免除スヘキ地租ノ金額ハ配賦スヘキ地價ニ依リ算出シタルモノトス

第三條　被害ノ調査中ハ其ノ年分地租ノ徵收ヲ猶豫スルコトヲ得

第四條　第一條又ハ第二條ノ規定ニ依リ免除シタル地租ハ法律上總テノ納稅資格中ヨリ之ヲ控除セス

### 附　則

第五條　本法ハ大正三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

第六條　明治三十四年法律第二十七號及明治三十六年法律第三號ハ之ヲ廢止ス

第七條　本法ハ本法施行前一年內ニ北海道又ハ府縣ノ全部又ハ一部ニ亙ル災害又ハ天候不順ニ因リ收穫皆無ニ歸シタル田畑又ハ第二條ニ該當スル土地ノ地租ニ之ヲ適用ス但シ明治三十四年法律第二十七號又ハ明治三十六年法律第三號ニ依リ地租ノ免除又ハ年賦延納ヲ出願シ不許可ト爲リタルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ規定ニ依リ免租ノ處分ヲ受ケムトスル者ハ大正三年五月三十一日限リ被害ノ事實ヲ證明シテ之ヲ申請スルコトヲ要ス但シ明治三十四年法律第二十七號又ハ明治三十六年法律第三號ニ依ル地租ノ免除又ハ年賦延納ノ出願ハ本法ニ依ル地租ノ免除ノ申請ト看做ス

第八條　明治三十六年法律第三號ニ依リ許可シタル延納年賦金ニシテ未タ徵收セサルモノハ之ヲ免除ス

右法律の制定に伴ひ、同年三月二十三日大藏省令第五號を以て、其の施行方を左の如く定めたり。

大藏省令第五號（大正三年三月二十三日）

第一條　災害地地租免除法ニ依リ地租免除ヲ受ケムトスル者ハ收穫皆無ニ歸シタル事由、土地ノ番號、地目、段別及地價ヲ記載シタル書面ヲ以テ所轄稅務署長ニ申請スヘシ但シ段別及地價ニ付テハ各筆ノ記載ヲ省略シ地目別合計額ヲ記載スルモ妨ナシ

第二條　前條ノ申請ヲ爲ストキハ收穫皆無ノ事實ヲ證明スルニ足ルヘキ作毛ノ存置ヲ爲スコトヲ要ス但シ所轄稅務署長ノ承認ヲ受ケタルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第三條　災害地地租免除法ニ依リ耕地整理ノ場合ニ於ケル免除スヘキ地租額ハ左ノ各號ノ定ムル所ニ依ル

一　換地ノ全部ニ被害アリタルトキハ現地租額ニ相當スル金額

二　換地ノ一部ニ被害アリタルトキハ其ノ部分ニ相當スル地價ヲ見積リ其ノ見積地價ト換地ノ全部ニ配賦スヘキ地價トノ割合ニ依リ現在稅額ニ對シ算出シタル金額

第四條　災害地地租免除法ニ依リ免除スヘキ地租ハ免除處分ノ時期如何ニ拘ラス被害ノ年ノ一年分地租トス

第五條　稅務署長ニ於テ災害地地租免除法ニ依リ地租ノ免除處分ヲ爲サムトスルトキハ豫メ稅務監督局長ニ稟議スヘシ

被害區域カ他ノ稅務監督局管內ニ涉ルトキハ稅務監督局長ハ大藏大臣ニ稟議スヘシ

附　則

本令ハ大正三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

災害地地租免除法第七條第二項ノ規定ニ依ル申請ニ付テハ第二條ノ規定ヲ適用セス

災害地地租免除法第八條ニ依ル延納年賦金ノ免除ニ付テハ特ニ指令ヲ爲サス

災害地地租免除法は爾後何等の改正をも加へらるることなくして大正末年に及べり。今明治二十五年法律第一號に依る免租處分以來、大正末年に至る間に於ける各種法律に基く累年の免租額、竝に明治三十六年法律第三號に依る延納處分額に就ては本節附表を參照すべし。尙災害地地租免除法第八條は、明治三十六年法律第三號に依り許可せられたる年賦延納金にして未徵收に係るものを免除することを定めしが故に、右規定に基き總計六十八萬五千三百七十二圓（內災害に因るもの十二萬九千三百八十四圓）は、同法施行と共に其の徵收を免除せられたり。

## 第四項　改租延納年賦金の免除

地租改正事業は既述の如く明治七八年の交に於て著手せられ、調査の終了したる地方より順次新法を施行し、其の後れたるものと雖も明治九年前半分若くは後半分より施行せしものなるが、獨り熊本縣の一部及鹿兒島縣のみは、明治十年西南の役の爲め改租の事業遲延し、已むを得ず此等の地方に對しては新地租法の施行を延期したり。然れども之より曩き明治八年八月太政官達第百五十四號を公布し、全國一般に地租改正完成の期限を明治九年と決定する所ありしを以て、此等改租事業の完成せざる地方に對しても、明治九年以降は新租率に依りて地租を徵收せざるべからざることとなれり。茲に於て政府は此等の地方に對しては、假に舊稅米を基礎として之に其の地の平均米價を乘じて地租額を算出し、之を假納せしむることと爲し、地租改正事業の完了したる曉に於て、其の確定地租額と右の假納地租額とを比較して、過納の分は之を追徵することと爲したり。然れども斯かる不足分を一時に納付せしむることは納稅者の極めて苦痛とする所なるを以て、其の金額に應じて五箇年乃至五十箇年賦に分割して、之が延納を許すことと爲したり。之れ卽ち改租延納年賦金と稱せらるるものにして、其の總額は當初は七百九十七萬圓に達せしが、明治十三

年以降年々之を徵收の結果、大正三年一月一日現在に於ては僅に千七百六十二圓の未納金を存するに過ぎざるに至れり。然るに右千七百餘圓の未納金に對する納付義務者の數は二千六百餘人の多きに達し、而も其の年賦期限は最長期のものに在りては、大正二十二年に迄及ぶものを存したり。玆に於てか政府は斯くの如き少額の租稅を、多數の納稅者より長期に亙りて年々徵收することは、徵收上多大の手數を要して官民共に不便少からざるのみならず、前述の如く災害地地租免除法を制定し其の第八條に依り從來の災害地地租の延納年賦金を總て免除することと爲す以上は、之に對する權衡上よりするも改租延納年賦金の徵收を免除するを相當なりと認め、之に關する法律案を前記災害地地租免除法案と共に第三十一回帝國議會に提出したり。本法案は異議なく議會を通過し、裁可を經て大正三年二月法律第二號を以て左の如く公布せられたり。

法律第二號（大正三年二月二十日）

改租延納年賦金ニシテ未タ徵收セサルモノハ之ヲ免除ス

附　則

本法ハ大正三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

## 第五項　大嘗祭齋田の土地免租

大正三年十一月に於て御卽位式を行はせ給ふことに決定せらるるや、大正三年二月大嘗祭齋田點定の儀を行はせられ、其の結果大嘗祭の齋田は悠紀田を愛知縣に、主基田を香川縣に勅定せられしを以て、右兩地方の知事をして其の管內に齋田を定め、其の所有者をして新穀を供納せしむるの手續を執らしめたり。依つて兩縣知事は調査の上三月六日悠紀齋田として愛知縣三河國碧海郡六ヶ美村大字中島、早川定之助所有地たる中島字上丸ノ內七・八・九・十番地合計田四段歩（地價二二二圓五〇錢）を、同月十二日主基齋田として香川縣讃岐國綾歌部郡山田村大字山田上、岩瀨辰三郎所有地たる大字山田上字田頃甲一七六六番地の三、田四段四歩（地價二七七圓九四錢）を選定したり。而して政府は此等兩齋田に指定せられし土地に對しては、古例に則りて大正三年分地租を免除するを至當と認め、之に關する法律案を第三十一回帝國議會に提出せしに、議會は滿場一致之を可決せしを以て、大正三年三月法律第十七號を以て左の如く公布せられたり。

法律第十七號（大正三年三月三十一日）

大嘗祭ノ齋田ニ指定セラレタル土地ノ地租ハ大正三年分ニ限リ之ヲ免除ス

府縣市町村其ノ他ノ公共團體ハ前項ノ土地ニ對シ大正三年度ニ於テ租稅其ノ他ノ公課ヲ課スルコトヲ得ス

本法ニ依リ免除シタル稅金ハ法律上總テノ納稅資格中ヨリ控除セス

然るに測らずも同年四月十一日昭憲皇太后崩御のことあり、御卽位式の擧行は翌大正四年十一月に延期せらるることとなりしが、而も齋田は古例に據り其の儘存置せらるる旨御沙汰あらせられしを以て、政府は同年十二月第三十五回帝國議會に再び大嘗祭齋田の免租に關する法律案を提出して其の協贊を得、同年十二月法律第四十五號を以て左の如く之を公布したり。

法律第四十五號（大正三年十二月二十九日）

大嘗祭ノ齋田ニ指定セラレタル土地ニ付テハ大正四年分地租ヲ免除ス

府縣市町村其ノ他ノ公共團體ハ前項ノ土地ニ對シ大正四年度ニ於テ租稅其ノ他ノ公課ヲ課スルコトヲ得ス

本法ニ依リ免除シタル稅金ハ法律上總テノ納稅資格中ヨリ控除セス

以上の兩法律に依り齋田に指定せられし前記の土地は、大正三年分及同四年分の地租を免除せらるることとなりしが、其の免租額は合計四十六圓二錢（香川縣大正三年分十三圓六錢、大正四年分十二圓五十錢、愛知縣大正三年分十圓四十五錢、大正四年分十圓一錢、計二十圓四十六錢）なりとす。

### 第六項　大正四年田租第一期分の延納

大正三年三月頃より低落の趨勢を辿りつつありし米價は、同年秋季收穫期に至りて益〻暴落し、頻年の米價高騰の反動を蒙りたる農民は其の疲弊甚しく、或は納稅の遲滯者を生じ、或は鄉村の離散者を生じ、延て農村購買力萎縮し、一般經濟界に及ぼす影響も漸く大ならんとせしを以て、朝野を擧て之が救濟の必要を唱道するに至れり。此の時に方り政府は米價調節に關する臨時應急の手段として、大正三年度產米の買上を實行せしも、之と同時に米價調節の根本策を樹立せんが爲め大正四年十月農商務大臣管理の下に米價調節調查會を設置したり。同會は米價の恒久的調節策を議するに先ち、差當り其の應急的調節策に關する審議を遂げ、同月二十八日之を農商務大臣に上申せしが、右上申中には田租納期の臨時繰下を爲すべきことの條項を包含したり。玆に於てか政府は調查會の決議の趣旨に基き大正四年田租第一期分の納期を延長し、以て地租納稅者の苦痛を緩和せんことを圖り、之に關する法律案を、第三十七回帝國議會に提出して其の協贊を經、大正四年十二月法律第二十八號を以て左の如く之を公布したり。

法律第二十八號（大正四年十二月二十二日）

地租條例第十二條第一項ノ規定ニ依ル田租第一期分ハ大正四年分ニ限リ大正五年六月十五日迄之ヲ延納スルコトヲ得

前項延納ニ係ル收入ハ之ヲ大正四年度所屬トス

右法律に依れば大正四年田租第一期分の納期（旨大正四年十二月十六日至同五年一月十五日）の、終期を六月十五日迄延長し、五箇月間の猶豫期間を與へんとするものにして、同時に之に因り國庫の收入に缺陷を生ずるを避けんが爲め、該延納額は大正四年度所屬の收入と爲すことゝせしものなり。卽ち之に依り農民は田畑第一期の納稅の爲め、收穫期の直後通例米價下落すべき季節に於て米穀を賣急ぐの必要なく、翌年五六月の交、通例米價騰貴すべき季節を待ちて換價することを得、隨つて納稅上の苦痛は緩和せらるると共に、幾分米價の低落を防止するを得べきなり。而して右法律に依りて延納を許されし地租額は約千百十八萬圓なりとす。

## 第五款　歐洲戰時及戰後の地租

### 第一項　地租關係法規の改正

#### 第一目　地租條例の改正

大正三年七月歐洲大戰勃發し、翌八月に至り我國亦之に參加せしが、大戰勃發の打擊に依り當初極

度の沈衰に陷りし我經濟界は、時局の進展に伴ひて大正五年以後漸く好況に轉じ、之に伴ひ大戰開始當時低落せし物價は漸次騰貴の勢を示し、爾後經濟界の活況に應じて益昂騰の勢を加へしが、特に米價の騰貴は大正七年に入りて其の極に達し、同年八月に至りては各地に於て米價高に基く暴動の勃發を見るに至れり。玆に於てか食糧問題乃至米價問題は當面の重要問題となり、之が對策は朝野を擧げて論議せらるるに至りしが、此の對策の一として開墾を奬勵して耕地の擴張を圖り、以て米穀の增收を期せんとするの方策唱道せられたり。斯くて政府は同年十二月召集の第四十一回帝國議會に於て、開墾事業に對して一定の助成金を交付せんとする開墾助成法案を提出し、又衆議院議員より も右と同樣の趣旨を以て地租條例中改正法律案を提出したり。右法案は地租條例第十六條に規定せる開墾地地價修正時期開墾鍬下年期・開拓鍬下年期・新開免租年期等を一樣に二十箇年延長すると共に、此等年期に附せられたる『以內』なる字句を削除して年期を固定することに依り、年期の査案に關する官民相互の紛議を避けんとするものなりしが、衆議院に於て審議の末、年期二十箇年延長を十箇年延長に修正の上之を可決し、貴族院亦異議なく之を可決せしを以て、右法案は大正八年四月法律第四十六號を以て公布せられたり。今其の改正の要點を示せば左の如し。

（一）開墾地は開墾著手の年より二十一年目に其の成功部分に對し地價を修正す（改正前十年目）。

（二）十年以內に成功し能はざる開墾地の鍬下年期は四十年とす（改正前三十年以內）。

（三）開拓鍬下年期は二十年とす（改正前十年以內）。

（四）新開免租年期は六十年とす（改正前五十年以內）。

（五）地目變換地價据置年期は四十年とす（改正前三十年以內）。

（六）本改正法律施行前既に開墾届出を爲し、又は年期の許可を受けたる土地は從前の例に依る。

右改正法律の全文を揭ぐれば左の如し。

法律第四十六號（大正八年四月十日）

地租條例中左ノ通改正ス

第十六條第二項中「十年目」ヲ「二十一年目」ニ、第三項中「三十年以內」ヲ「四十年」ニ、第四項中「十年以內」ヲ「二十年」ニ、第五項中「五十年以內」ヲ「六十年」ニ、第六項中「三十年以內」ヲ「四十年」ニ改ム

附　則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（大正八年勅令第二百六十二號ヲ以テ大正八年六月一日ヨリ施行）

本法施行前第十六條第一項ノ届出ヲ爲シ又ハ同條第三項乃至第六項ノ許可ヲ受ケタル土地ニ關シテハ仍ホ從前ノ例ニ依ル

右改正法律公布の結果其の施行上其の他手續上に補正を要するものあるを以て、同年五月勅令第二百六十三號を以て地租條例施行規則に左の如き改正を加へたり。尙右施行規則は大正三年三月に於ける地租條例の改正の際には、之に伴ふ改正を加へられざりしを以て、今次の改正を機として此等の點に就ても適宜の改正を行ひたり。

勅令第二百六十三號（大正八年五月三十一日）

地租條例施行規則中左ノ通改正ス

第三條乃至第五條中「十年以內」ヲ「二十年以內」ニ改ム

第六條及第十一條中「水面ヲ埋立テ」ノ下ニ「若ハ干拓シ」ヲ加フ

第八條中「十年目」ヲ「二十一年目」ニ改ム

第十三條第一項第三號中「軌道用地」ノ下ニ「運河用地」ヲ加ヘ同條第二項ヲ削ル

第十五條　左ノ場合ニ於テハ土地ノ所有者又ハ納稅義務者ハ年期滿了後六十日內ニ稅務署長ニ屆出ツヘシ

一　荒地免租年期ヲ有スル土地ニシテ其ノ年期明ニ至リ他ノ地目ニ變シタルトキ

二　低價年期又ハ免租繼年期ヲ有スル土地ニシテ其ノ年期明ニ至リ原地價ニ復シ難キトキ又ハ他ノ地目ニ變シタルトキ

三　鍬下年期、地價据置年期、新開免租年期ヲ有スル土地ニシテ年期明トナリタルトキ

第十五條ノ二　地價ヲ定メ又ハ修正スヘキ場合ニ於テハ土地ノ所有者又ハ納稅義務者ハ土地ノ測量圖及實地ノ狀況ニ依リ近傍ノ類地ト其ノ地力ヲ比較シ其ノ地價ヲ見積リタル書面ヲ稅務署長ニ差出スヘシ

附　則

本令ハ大正八年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前地租條例第十六條第一項ノ屆出ヲ爲シタル土地ニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル

尙地租條例の施行に當り關係官署に於ける取扱方に關する心得に就ては、明治四十三年十二月二十一日大藏大臣より稅務監督局及稅務署に對し內訓を發する所ありしが（第三款第三項參照）、右內訓は其の後大正七年六月十八日に至り第八條に『前項以外ノ方法ニ依リ地盤ヲ丈量セムトスルトキハ大藏大臣ノ承認ヲ受クヘシ』との一項を追加せられ、更に翌八年六月二十八日に至り其の第二十三條中



『新開免租年期』の下に『ノ年期延長』の五字を追加せられたり。

### 第二目　耕地整理法の改正

前述の如く第四十一回帝國議會に於ては衆議院議員に依り地租條例中改正法律案提出せられしが、右の如く地租條例に改正を加ふる上は、耕地整理法中の之と關係ある條項をも改正して、耕地整理地價据置年期其の他の年期を延長するの必要あるを以て、地租條例中改正法律案の提案者は、之と同時に耕地整理法中改正法律案を提出したり。然るに同一議會に於て政府は前述開墾助成法案に關聯して耕地整理法中改正法律案を提出せしを以て、衆議院に於ては此等兩案を同一委員會に併せ付託して審議したる結果、政府提出案に修正を加へて、衆議院提出案の趣旨を之に包含せしむることとなしたる上之を可決し、貴族院亦異議なく之を可決せしを以て、法律案は大正八年四月法律第四十五號を以て公布せられたり。今其の中地租條例の改正に關係ある主要改正條項の要領を擧ぐれば左の如し。

（一）耕地整理に因る開墾地に對しては工事著手の年より四十年（改正前二十年以上三十年以內）の耕地整理地價据置年期を付與す（第十四條）。

（二）耕地整理に因る開拓・埋立・干拓に對しては、埋立地又は干拓地には六十年（改正前五十年以內）、其の他の土地には二十年（改正前十年以內）の耕地整理新開免租年期を付與す（第十四條ノ二）。

（三）耕地整理施行地區內の土地中、開墾著手後二十年（改正前九年）を經過せざるものは、工事著手の際地價を修正又は設定し、開墾著手後二十一年目（改正前十年目）に至り、修正地價又は設定地價に

依り地租を徵收す（第十五條）。

今右條項に對する改正法律の條文を揭ぐれば左の如し。

法律第四十五號（大正八年四月十日）（抄錄）

耕地整理法中左ノ通改正ス

第十四條第二項中「二十年以上三十年以內」ヲ「四十年」ニ、但書中「二十年以內」ヲ「十年以內」ニ改ム

第十四條ノ二中「五十年以內」ヲ「六十年」ニ、「十年以內」ヲ「二十年」ニ、但書中「二十年以內」ヲ「十年以內」ニ改ム

第十五條中「九年」ヲ「二十年」ニ、第三號中「十年目」ヲ「二十一年目」ニ改ム

第十六條中「九年」ヲ「二十年」ニ改ム

附　則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（大正八年勅令第二百四十五號ヲ以テ大正八年六月一日ヨリ施行）

本法施行前第十四條及第十四條ノ二ノ規定ニ依ル許可アリタル土地ニ關シテハ仍從前ノ例ニ依ル

## 第二項　私立學校用地の免租

學校用地に就ては從來官公立學校と私立學校との間に課稅上著しき差異を存し、前者が「地所名稱區別」及地租條例の規定に依り免租地となれるに反し、後者に對しては一般に地租を賦課せらるるものにして、均しく國家教育上重要なる機關なるに拘らず、兩者の間に權衡を失すること甚だ大なるものありたり。玆を以て私立學校用地の免租に關しては、公立學校との權衡竝に私學奬勵の趣旨等より從來屢〻問題となり、旣に第三十回帝國議會に於ても、私立の小學校・中學校・高等女學校・實業學校・專門學校其の他大藏・文部兩大臣の指定したる私立學校の用地に對しては、地租を免除せんとするの法律案衆議院議員に依りて提出せられしが、當時政府は、斯く私立學校用地に對する地租を免除するときは、之との權衡上祭祀・宗教・慈善等其の他の公益を目的とする法人の用地に對しても免除せざるべからざることとなり、免租の範圍擴大して國庫收入に影響を及ぼすに至るべしと爲して此の案に反對し、同案は遂に貴族院に於て審議未了に終りたり。爾後政府に於て種々調査を遂げたる末、翌第三十一回帝國議會に於ては政府自ら私立學校及公益法人の用地免租に關する法律案を提出したり。右法案は前回提出案に比し更に免租の範圍を擴大せしものにして、卽ち免租すべき私立學校中に幼稚園を加ふると共に、日本赤十字社・恩賜財團濟生會其の他勅令を以て指定する公益法人の用地に對しても免租せんとするものなりしが、同案は衆議院に於て可決せられしも、貴族院に於て再び審議未了に終りし爲め、遂に成立するに至らずして止みたり。爾後第三十七回及第四十回兩次の帝國議會に於て、右政府案と同一の法律案は衆議院議員に依りて提出せられ、共に衆議院に於ては異議なく可決せられしも、貴族院に於て審議未了に終りたり。然るに第四十一回帝國議會に至り、政府は從來の案に多少の變更を加へて、私立學校用地免租に關する法律案として提出せしが、兩院は之を可決せしを以て、右法律案は大正八年四月法律第三十八號を以て公布せられ、私立學校用地免租に關する問題は玆に始めて解決を告げたり。今本法律の內容を從來の案に比較するに、其の主要なる相異點は、公益法人の用地に對する免租規定を削除したる點に在り。蓋し從前の案に於ては私立學校の外、日本赤

十字社恩賜財團濟生會其の他勅令を以て指定する公益法人の用地に對しても、地租を免除せんとするものなりしが、斯く免租の規定を公益法人に迄及ぼす時は、免租を適當とする公益法人の範圍は甚だ明瞭を缺くを以て、動もすれば免租の範圍を擴大し、遂に際限なきに至るの虞あり、從て又國庫の收入にも影響を及ぼす所少からざるに至るべきを以て、本次の提案に於ては公益法人の用地の免租は之を除外し、單に私立學校の保護のみに止むることと爲したり。右の外尙本法律に於ては高等學校令及大學令の制定に伴ひ、高等學校及大學をも免租すべき私立學校に加ふると共に、直接保育又は教育の用に供する土地と雖も、收益を生ずるものに就ては、大藏大臣は免租すべき區域を制限するを得るの規定を設けたり。今本法律の全文を掲ぐれば左の如し。

法律第三十八號（大正八年四月五日）

第一條　左ニ掲クルモノノ用ニ供スル土地ニ付テハ納稅義務者ノ申請ニ因リ其ノ地租ヲ免除ス但シ有料借地ハ此ノ限ニ在ラス

一　私立ノ幼稚園、小學校、中學校、高等女學校、實業學校、專門學校、高等學校及大學

二　前號ニ掲ケサル私立學校ニシテ大藏大臣ニ於テ指定シタルモノ

第二條　前條ノ規定ニ依リ地租ヲ免除スヘキ土地ハ校舍及寄宿舍、圖書館其ノ他保育又ハ教育上必要ナル附屬建物ノ敷地竝運動場、實習用地其ノ他直接ニ保育又ハ教育ノ用ニ供スルモノニ限ル但シ收益ヲ生スル土地ニ付テハ大藏大臣ハ免租スヘキ區域ヲ制限スルコトヲ得

第三條　北海道府縣市區町村其ノ他ノ公共團體ハ本法ニ依リ免租セラレタル土地ニ對シ租稅其ノ他ノ公課ヲ課スルコトヲ得ス

附　則

本法ハ大正九年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

右法律の制定に伴ひ同年十二月大藏省令第三十三號を以て左の如く之が施行方を定めたり。

大藏省令第三十三號（大正八年十二月二十二日）

私立學校用地ニ對シ地租ノ免除ヲ請ハムトスル者ハ左ノ事項ヲ具シ所轄稅務署長ニ申請スヘシ

一、所在郡、市區町村竝土地ノ字、番號、地目、段別又ハ坪數、地價及其ノ用途

二、學校管理者ト納稅義務者ト異ナルトキハ無料借地タルコトヲ證スル書面

三、學校ノ設立又ハ變更ノ年月日

前項ノ申請ヲ受ケタル場合ニ於テ收益ヲ生スル土地アルトキハ稅務署長ハ大藏大臣ニ稟議スヘシ

地租ノ免除ヲ受ケタル土地ニシテ之カ供用ヲ廢止シ又ハ無料借地ヲ有料借地ト爲シタルトキハ土地所有者又ハ納稅義務者ハ直ニ所轄稅務署長ニ屆出ツヘシ

附　則

本令ハ大正九年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

尙私立學校用地免租に關する法律第一條第二號に依り免租せらるべき私立學校に就ては、翌大正九年六月二十二日に至り、大藏省告示第百十號を以て、北海道東京府其の他二府三十縣に於ける私立學校百三十九校を指定したり。

本法に依り免租を受けたる私立學校用地は、昭和二年一月一日現在に於て段別四百十七町五段三畝、筆數三千七百九十六筆なりとす。

### 第三項　北海道特別免租年期地の處分

旣に述べたるが如く政府は明治維新以來大に北海道の開拓に意を用ゐ、明治八年の山林荒蕪地拂下規則を始めとして各種の法令を公布し、此等法令の定むる所に從ひ、北海道國有未開地を無代又は低價を以て移住者に交付して開墾に從事せしめ、而して此等の土地に對しては開墾成功後一定期間の特別免租年期を付與することゝ爲し、以て士民の北海道移住開墾を奬勵するの方策を採りしが、今此等各種法令の規定に據る特別免租年期地の種類竝に免租期間等を一括表示すれば左の如し。

| 免租地の種類 | 根據法令 | 免租年期 |
|---|---|---|
| (一)還祿者に拂下げたる山林荒蕪地 | 明治八年五月開拓使布達第三號、山林荒蕪地拂下規則第二條 | 營業著手の年より二十年間 |
| (二)本法に依り拂下げたる官有未開地 | 明治十九年六月閣令第十六號、北海道土地拂下規則第十條 | 拂下の年より二十箇年（改正以前は十箇年） |
| (三)開墾地にして明治二年以後有租地となりたる田畑及郡村宅地 | 明治二十二年六月法律第十八號 | 明治二十二年より三十一年迄。現に開墾年期中のものは滿期の年の翌年より十箇年 |
| (四)屯田兵給與地 | 明治二十三年九月法律第七十九號、屯田兵土地給與規則第三條及第八條 | 服役中及滿期の年より十年間。從前北海道に移住したるものに付ては服役中及滿期の年より二十年間 |
| (五)本法に依り賣拂・付與又は交換したる國有未開地 | 明治三十年三月法律第二十六號、北海道國有未開地處分法第十八條（舊法） | 民有となりたる年の翌年より二十箇年 |
| (六)舊土人保護の爲め之に下付したる土地 | 明治三十三年三月法律第二十七號、北海道舊土人保護法第二條 | 下付の年より三十箇年 |
| (七)本法に依り下付したる國有未開地 | 明治四十一年四月法律第五十七號、北海道國有未開地處分法第十九條（新法） | 事業成功期間滿了の翌年より十年。素地の儘使用する土地又は交換若は公益事業に供する土地に付ては民有となりたる翌年より十年 |

右表中(一)乃至(六)の各法令は、何れも明治四十一年四月北海道國有未開地處分法（右表中(七)の法律）の制定に際して廢止せられ（但し右表中(四)の法律のみは明治三十九年四月法律第四十一號を以て廢止）、爾後北海道土地に對する特別免租年期は、右明治四十一年北海道國有未開地處分法に依りてのみ付與せらるゝこととなりしと雖も、此の時以前旣に前揭の諸法令に依りて免租年期を付與せられし土地は、從來の年期の滿了するを俟ちて地租を課せらるべきものなることは勿論なりとす。

北海道の開拓は上述の如き政府の保護奬勵の結果漸次其の成績を擧げ、移民の數竝に之に付與せられし土地の面積は逐年增加を示せしが、而も此等の土地は何れも前記諸法令に依りて夫々長期の特別免租年期を付與せらるゝものにして、其の中免租年期滿了して有租地となるものの數は、大正初年に至る迄は極めて少數に止まり、大部分は尙特別免租年期中に屬したり。今大正四年一月一日現在に於ける民有地總數と有租地との割合を揭ぐれば左の如し。

| 地目 | 民有地總額 | 同上の內有租地 | | | | 總額に對する有租地の割合 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 段別 | 筆數 | 段別 | 筆數 | 段別 | 筆數 | |
| 田 | 八五五、五五町 | 五五三、〇九六 | 三六、五二九町 | 三五、〇四二 | 八一、五五三 | 〇・〇四二厘 | |
| 畑 | 六、六二六 | 二三、八九八 | 三、三六六 | 一四、〇五八 | 五九、九〇三 | 〇・五〇八 | |
| 宅地 | 一、四六、〇〇九 | 一六二、四三八 | 二、二四一、二一一 | 一四二、〇三八 | 三一、八二三 | 〇・一五二 | |
| 其他 | | | | | | | |
| 合計 | 二、二六八、一八六 | 八二八、四三二 | 二、三四四、一二六 | 八二、一九七 | 一六三、二七八 | 〇・一二三 | 〇・一九七 |

而して之を地方別に觀察すれば、函館・檜山・壽都・小樽・札幌・浦河・釧路・根室の各稅務署管內の如き海岸地方に在りては有租地比較的に多く、其の割合三割乃至五割に達する町村も之れありと雖も、其の開發比較的新しき空知・上川・河西・網走の各稅務署管內の如きは有租地最も少く、民有地の大部分は免租年期地に屬するものにして、今試に此等四稅務署管內に於ける田畑に就き有租地の割合を見るに、段別に就ては空知一分三厘、上川二厘、河西二毛、網走七厘にして、筆數に就ては空知三分七厘、上川三厘、河西八厘、網走一分四厘に過ぎざるの狀況なりき。

然るに此等の特別免租年期地も年と共に年期滿了となるもの漸次增加し、殊に大正四年以後に於て右年期明地は急激に增加することとなりしが、此等の年期明地に就き新に地價の設定を爲すに當り、從來よりの有租地の比較的多き地方に在りては、內地に於て實行せる如き類地比準の方法に依ることを得べしと雖も、有租地の數極めて少き地方に在りては、地價の設定に用ふべき地價段金表の設なきものも尠からず、且此等年期地は通常廣汎なる地域に點在せるを以て、近隣に比準すべき類地なき爲め適實なる地價の設定容易ならざるものあり。更に又既定有地價地に在りても、其の地價設定の方針は三縣分立時代以來時に依り區々に亙りて一定せざりしのみならず、從來北海道に於ける土地の開發が一定の地區を限定せずして全道各地に亙り點々として行はれし爲め、其の地價設定も所管廳に依りて適宜に行はれし事情あり、斯くして設定せられし此等有地價地の地價は、之を全體的に觀察するときは相互の間に甚しき不權衡不統一を存するを免れざりき。是を以て今後年々多數生ずべき年期明地に對し新に地價設定を爲さんとするに當り、斯かる不權衡不統一なる既設地價に比準して之を定むるときは、北海道の地價をして愈、其の不權衡を大ならしめ、從つて本道に於ける地租は勿論、地租を基準とする附加稅をして更に一層不公平ならしむるに至るの虞を存したり。

以上の如く北海道特別免租年期明地に對する地價の設定に當りては、原則として類地比準の方法に依ることを得ざる以上は、此の際既定地價全部を修正し、爾後此の修正地價に比準して地價を設定するを以て理想的と爲すは勿論なりと雖も、右は多大の經費と日子とを要する一大事業なるを以て之が實行は容易ならざるものあり。依て大藏省は將來年期明となるべき土地に對してのみ、全道を一貫したる衡平且適實なる地價を設定するの方針を決定し、札幌稅務監督局は右方針に基き大正四・五兩年に亙りて全道の地價整齊事業を實行したり。卽ち其の方法は先づ國郡區町村の等位を定めて更に民有地田畑各筆毎に其の優劣を表示すべき等級を調査し、該調査に基く現實の收穫量及收入金に對し、北海道に於ける特殊事情を斟酌して其の低減すべき割合（大體現實の收穫量に對し低減割合田五割二分、畑六割五分）を定め、以て各區町村に於ける適用段金を決定し、而して此の段金を基準として、新に年期滿了したる土地に對し順次地價の設定を行ふことと爲したり。尤も北海道に於ける區町村總數三百五箇の中、既定有地價地多くして將來地價設定を要する土地比較的少き八十二箇町村は、之が等

級調査を爲すも地價査定上實益なきを以て、等級調査は之を省略し、大體現定地價に比準して設定することと爲し、他の二百二十三箇區町村に就て田畑等級調査を行ふこととしたり。而して宅地に就ても上述田畑の地價設定と同樣の方針に基き、類地比準の方法に依ることなく、明治四十三年宅地地價修正法實施當時調査せる材料に依り、之に相當の斟酌を加へて地價の設定を行ひたり。

上述の北海道地價整齊事業は固より時宜に適したる對策なりしと雖も、當時偶、米價下落の際なりしと、地價整齊事業を地價引上策の如く誤解せしものありし爲め、稅務當局の地價設定に對して不滿を抱き、空知・札幌・上川各稅務署管內地方の地主にして訴願を提起するもの相次ぎて生ぜしのみならず、將來多數の土地に大影響ありと爲して、北海道農會・北海道協會等は地價設定方針の變更に關して建議する所あり、更に新に北海道地價衡正期成會を組織して、當局に對し地價算出方法の改正、田畑等級表の低減、地價調査委員會の設置等に就き陳情請願を行ふ等、其の運動益〻熾となり、玆に地方の大問題として紛擾を惹起するに至れり。玆に於て大正六年七月召集の第三十九回帝國議會に於ては、衆議院議員中より(一)北海道地價設定の爲め官民組織の調査機關を設置すること(二)北海道土地免租年期中に於て開墾せんとするものに對し地價据置年期を許可することの二點に關し、政府は次期議會に法律案を提出せんことを希望するの建議案提出せられ、之が可決を見るに至れり。政府亦其の必要を認めしを以て、翌大正七年一月に至り大藏省令第二號を以て左の如く北海道土地調査に關する件を公布し、先づ地價調査委員會設置の件を定めたり。

大藏省令第二號（大正七年一月二十一日）

第一條　稅務署長ハ左ニ揭ケタル土地ニシテ地租ヲ課スルニ至リ地價ヲ設定セムトスルトキハ當分ノ內之ヲ地價調査委員會ニ諮問スヘシ

一　明治八年開拓使布達第三號山林荒蕪地拂下規則第二條ニ依リ地租ヲ課セサル土地

二　明治十九年閣令第十六號北海道土地拂下規則第十條但書ニ依リ地租ヲ課セサル土地

三　明治二十二年法律第十八號ニ依リ地租ヲ課セサル土地

四　明治二十三年法律第七十九號屯田兵土地給與規則第三條及第八條ニ依リ地租ヲ免除シタル土地

五　明治三十年法律第二十六號北海道國有未開地處分法第十八條ニ依リ地租ヲ課セサル土地

六　明治三十二年法律第二十七號北海道舊土人保護法第二條ニ依リ地租ヲ課セサル土地

七　明治四十一年法律第五十七號北海道國有未開地處分法第十九條ニ依リ地租ヲ課セサル土地

第二條　各稅務署所轄內ニ地價調査委員會ヲ置ク

第三條　地價調査委員會ハ地價設定ニ關シ稅務署長ノ諮問シタル事項ヲ調査ス

第四條　稅務署長ハ地價調査書ヲ作製シ之ヲ調査委員會ニ送付スヘシ

第五條　調査委員ノ定數ハ九人トシ左ノ如ク之ヲ定ム

一　北海道廳長官ノ指名シタル稅務署所轄內北海道廳支廳所管ノ官吏及公吏三人

二　稅務署所轄內區町村長又ハ戶長ノ推薦シタル調査委員候補者ノ互選シタル者六人

前項第二號ノ互選ハ稅務署長ノ通知ニ依リ之ヲ爲ス

特別ノ事由ニ依リ第一項第二號ノ定數ヲ增減スルトキハ別ニ之ヲ告示ス

第六條　前條ニ依リ調査委員定マリタルトキハ稅務署長ハ其ノ氏名ヲ公示スヘシ

第七條　各稅務署所轄內區町村長又ハ戶長ハ本令施行ノ年及調査委員任期滿了ノ翌年ニ於テ其ノ區町村內ニ土地ヲ所有スル者ノ中ヨリ各區町村ニ付一人ノ調査委員候補者ヲ推薦シ其ノ住所氏名ヲ其ノ年四月三十日迄ニ所轄稅務署長ニ報告スヘシ

第八條　調査委員ノ任期ハ第六條ノ公示アリタル年ヨリ二年トス

第九條　調査委員ニ闕員ヲ生シタルトキハ官吏又ハ公吏ニ在リテハ第五條ノ規定ニ準シ北海道廳長官ノ指示ニ依リ其ノ他ノモノニ在リテハ調査委員候補者中年長者ヨリ順次之ヲ補充シ年齡同シキ者アルトキハ抽籤ニ依リ之ヲ定ム

前項ノ場合ニ於テハ第六條ノ規定ヲ準用ス

第十條　補闕ニ因リ調査委員ト爲リタル者ノ任期ハ前任者ノ殘任期間トス

第十一條　調査委員會ハ稅務署長ノ通知ニ依リ之ヲ開ク

第十二條　調査委員ハ開會ノ始ニ於テ調査委員中ヨリ會長ヲ定ムヘシ

第十三條　調査委員會第四條ニ依リ地價調査書ノ送付ヲ受ケタルトキハ二十日以內ニ之ヲ調査シ其ノ結果ヲ會長ヨリ稅務署長ニ報告スヘシ

第十四條　調査委員ニハ手當及旅費ヲ支給ス

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

尋いで同年二月第四十回帝國議會に於て政府は地種變更免租年期に關する法律案を提出せしが衆議院は明治三十四年法律第三十號附則第一項に倣ひ、本案に對しても附則第二項を附することに修正の上之を可決し、貴族院亦異議なく之を可決せしを以て、本案は大正七年五月法律第四十三號を以て左の如く公布せられたり。

法律第四十三號（大正七年五月二十五日）

第一條　左ニ揭クル土地ニ付開墾ヲ爲シ又ハ開墾ニ等シキ勞費ヲ加ヘテ地目變換ヲ爲シタルトキハ地租ヲ課スルニ至リタル年ヨリ二十年以內ノ地種變更免租年期ヲ許可ス但シ事業成功ノ定アル土地ニ付テハ事業成功後開墾ヲ爲シ又ハ開墾ニ等シキ勞費ヲ加ヘテ地目變換ヲ爲シタル場合ニ限ル

一　明治八年開拓使布達第三號山林荒蕪地拂下規則第二條ノ規定ニ依リ地租ヲ課セサル土地

二　明治十九年閣令第十六號北海道土地拂下規則第十條但書ノ規定ニ依リ地租ヲ課セサル土地

三　明治二十二年法律第十八號ニ依リ地租ヲ課セサル土地

四　明治二十三年法律第七十九號屯田兵土地給與規則第三條及第八條ノ規定ニ依リ地租ヲ免除シタル土地

五　明治三十年法律第二十六號北海道國有未開地處分法第十八條ノ規定ニ依リ地租ヲ課セサル土地

六　明治三十二年法律第二十七號北海道舊土人保護法第二條ノ規定ニ依リ地租ヲ課セサル土地

七　明治四十一年法律第五十七號北海道國有未開地處分法第十九條ノ規定ニ依リ地租ヲ課セサル土地

地種變更免租年期明ニ至リ地味成熟ニ至ラサルモノニ付テハ更ニ年期ノ延長ヲ許可スルコトヲ得但シ通シテ三十五年ヲ超ユルコトヲ得ス

第二條　地種變更免租年期又ハ其ノ延長ノ許可ヲ受ケムトスル者ハ政府ニ申請スヘシ

附　則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本法ハ本法施行前既ニ地租ヲ課スヘキ土地トナリ未タ地價ノ設定ナキモノニモ之ヲ適用ス

右法律の公布と同時に大藏省令第二十三號を以て、左記の如く之が施行に關する手續を規定して之を公布したり。

大藏省令第二十三號（大正七年五月二十五日）

第一條　地種變更免租年期ノ許可ヲ受ケムトスル者ハ開墾成功シ又ハ地目變換ヲ爲シタル後六十日內ニ開墾又ハ地目變換ニ要シタル勞費ニ關スル明細書ヲ添ヘ地種變更免租年期ノ許可ヲ所轄稅務署長ニ申請スヘシ

第二條　前條ニ依リ地種變更免租年期ノ許可ヲ申請セムトスル者ハ工事著手前三十日迄ニ工事著手ノ年月日、土地ノ所在、地番、現在地目、目的地目、段別及豫定ノ成功期日ヲ所轄稅務署長ニ



屆出ツヘシ

第三條　地種變更免租年期延長ノ許可ヲ受ケムトスル者ハ年期滿了後六十日內ニ所轄稅務署長ニ其ノ旨申請スヘシ

附　則

第四條　本令ハ地種變更免租年期ニ關スル法律施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第五條　土地臺帳記名者地種變更免租年期ニ關スル法律第一條各號ノ年期中ノ土地ニシテ同法施行前既ニ同條ニ該當スル開墾又ハ地目變換ヲ爲シタル爲又ハ同法附則第二項ニ依リ地種變更免租年期ノ許可ヲ受ケムトスルトキハ工事著手及成功ノ年月日、土地ノ所在、地番、元地目、成功地目、段別ヲ記載シタル書面ニ開墾又ハ地目變換ニ要シタル勞費ニ關スル明細書ヲ添ヘ本令施行後六十日內ニ所轄稅務署長ニ申請スヘシ

第六條　本令施行ノ際開墾又ハ開墾ニ等シキ勞費ヲ要スル地目變換ノ工事中ノ土地ニ付地種變更免租年期ノ許可ヲ受ケムトスル者ハ本令施行後六十日內ニ工事著手ノ年月日、土地ノ所在、地番、元地目、目的地目、段別及豫定ノ成功期日ヲ所轄稅務署長ニ屆出ツヘシ

以上の如くにして、地價調査委員會の設置竝に地種變更免租年期に關する法律の制定に依り、大正四年以來北海道各地に於て紛議を惹起せし地價問題も玆に鎭靜に歸し、爾後北海道土地の地價設定は圓滑なる進捗を見るを得ることとなれり。今昭和二年一月一日現在に於ける特別免租地竝に地種變更免租地の數額を示せば左の如し。

| 地目 | 北海道特別免租地 | | 地種變更免租地 | | 合計 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 段別 | 筆數 | 段別 | 筆數 | 段別 | 筆數 |
| 田 | 一、四三九・四五町畝 | 一、三一一 | 八一、四五四・五六町畝 | 四七、二八三 | 八二、八九四・〇一町畝 | 四八、五九四 |
| 畑 | 四五〇、二二二・二〇 | 一五七、二六八 | 二一、九〇七・一七 | 五、八六六 | 四七二、一二九・三七 | 一六三、一三四 |
| 宅地 | 一、三三五・六五 | 一二、四四九 | 五一七・三一 | 五、八七〇 | 一、八五二・九六 | 一八、三一九 |
| 池沼 | 三・九六 | 五 | — | — | 三・九六 | 五 |
| 山林 | 一三二、六四八・九三 | 一三、八四二 | — | — | 一三二、六四八・九三 | 一三、八四二 |
| 牧場 | 三六二、五四八・五二 | 二五、七四〇 | — | — | 三六二、五四八・五二 | 二五、七四〇 |
| 原野 | 二二〇、七九〇・六五 | 三六、〇三三 | — | — | 二二〇、七九〇・六五 | 三六、〇三三 |
| 雜種地 | 二、一七〇・七六 | 三、四一二 | — | — | 二、一七〇・七六 | 三、四一二 |
| 合計 | 一、一七一、一六〇・一二 | 二四九、〇六〇 | 一〇三、八七九・〇四 | 五九、〇一九 | 一、二七五、〇三九・一六 | 三〇八、〇七九 |

## 第四項　田畑地價修正の準備調査

田畑の地價は既述の如く、改租以來明治十三年・二十年・二十二年・三十二年等數次に亙りて修正せられしが、明治三十二年の修正後は何等の修正も行はるることなくして、大正七年に至る迄二十有餘年を經過したり。然るに此の間に於ける時勢の變遷は地方盛衰の狀況に甚しき變化を生せしめしのみならず、特に經濟界の發達に伴ひ土地の利用方法は一變し、爲に現在地價は其の收益と相伴はず、各地の地價に漸次著しき不權衡を馴致するに至れり。斯くて地價の不權衡に基く地租其の他公課の負擔の不公平を訴ふるもの各地に續出し、田畑地價の根本的修正の要望は連年建議又は請願となりて帝國議會に現はるるに至れり。茲に於て政府は先づ以て全國田畑地價不權衡の狀態及程度如何果して根本的地價修正の要ありや否や、修正を爲すとせば如何なる方法を採るを可とすべきや、其の所要經費の見込額如何等の諸點に就き、極めて概括的の調査を遂げ、以て本問題解決の方針を定むることと爲し、第四十回帝國議會の協贊を經て、總額九十三萬五千餘圓（外に臨時事件補足費として四十一萬餘圓、合計百三十四萬六千餘圓）を支出し、大正七年度以降三箇年の繼續事業として、田畑地價修正の準備調査を實施することに決したり。依つて大藏省は新に主稅局に地價調査課を設けて各種の統一的調査を行はしむると共に、各稅務監督局及稅務署をして實地調査に當らしむることと爲し、之が爲め特に全國を通じて臨時職員三百三十九人を增置したり。斯くて本調査は大正七年八月より之に著手し爾後約三箇年の年月を經て大正十年三月に至り、漸く其の業を終へたり。以下其の經過の大要を概說すべし。

田畑地價調査の實施に際し政府の最も考慮を費せしは、地價調査の根本方針なりとす。蓋し現行地租の課稅方法は遠く改租當時の制定に係り、理論上及實際上幾多非難の點あるを以て、地價修正に關する根本的調査を爲すに當りては、先づ以て如何なる制度の下に於て如何なる方法に依り課稅するを以て、最も各人の擔稅能力に適應せしむることを得べきやの根本問題を決定し、此の方針に基き調査を進行せしむるを必要とするを以てなり。而して地租の課稅方法に關しては其の最も主要なるものとして(一)賣買價格主義（土地の賣買價格を以て地租の課稅標準と爲すもの）(二)收穫主義（土地の收穫價格より公課・耕作費等を控除したる純益を地方金利を以て還元したる價格を以て地租の課稅標準と爲すもの）(三)小作料主義（土地の小作料卽ち賃貸價格を以て課稅標準と爲すもの）の三者を擧ぐることを得べしと雖も、大藏省は右の三者に就きて其の利害得失を比較研究したる結果、小作料主義を以て調査比較的容易にして且缺點少

く、最も時世に適合するものと認めて、此の主義に依り調査を施行することと爲し、他の兩主義に就ては參考に供する爲め概數を得るの程度に於て、之に必要なる資料を併せ調査することに省議を決定し、右の方針に基き調査計畫を定めたり。

次に大藏省は田畑地價調査は、地租條例其の他の法令に依る各地の年期地中、耕地整理地價据置年期地及砂防法に依る地租輕減地を除く他の總ての田畑に就き、大正七年一月一日現在を以て之を行ふことと定めしが、現在土地臺帳に登錄せらるる土地の面積は、改租當時に於ける測量法の不完全等の理由に依り、概して各地段別に廣狹の差ありて的確なりと謂ひ難きを以て、現在田畑地價の不權衡の程度及狀態を詳細且正確に調査するが爲には、先づ以て小作料算定の基礎たる田畑の面積を改測整正し、然る後一地一筆毎に小作料を詮評査定して、町村郡市府縣の權衡如何に及ぼすの必要ありと雖も、斯くの如きは經費と時日とに限りある本調査事業に於ては、到底實行し得る所に非ざるを以て姑く之を省略し、田畑は總て土地臺帳登錄段別を基礎として調査することと爲すと共に、小作料の詮定に就ては大體小字又は之に準すべき小區域を限り、其の區域內に存在する田畑の標準となるべき小作料を調査し、之を集積して大字町村郡市又は府縣に及ぼすことと爲したり。斯くて以上の如き計畫に基き、先づ基礎的調査として、土地臺帳に據り全國田畑の現在段別地價筆數を小字又は之に準すべき區域毎に集計せしめ、次に各地の田畑に就き其の小作料の實例を、大略左記の如き方法に依りて調査せしめたり。

（一）小作料として收得する米穀其の他の物品の數量は明治四十四年より大正六年迄の七年間に於ける契約數量の平均額に依ること。

（二）前項の平均額算定の場合に於て、大正六年以前七年中循環的又は連續的の災害に基き小作料の全免を爲したる年あるも、尙其の年を加へたる數を以て平均額を算出すること。

（三）小作料は一年間の總收入額に依り調査すること。從つて種類を異にし、又二回以上に渉りて小作料を收得する場合に於ては其の全部を計算すること。二年以上に渉りて一回作を爲す場合に於ては其の耕作期間に付き小作料を收得するもの、又は數年の小作料を一時に收得するものに就ては其の期間に應じ一年分の小作料を計算すること。

（四）小作料は總て米量を以て計算すること。從つて左記各號の場合に於ては其の定むる所に從ひ米量に換算するものとす。

（イ）金錢を以て契約を爲したるもの若くは契約は米量なるも、收得時期に於ける價格を以て金錢に換算して收得するものに就ては其の收得する金額を米價を以て米量に換算すること。

（ロ）米以外の物品を以て小作料を收得する場合に於ては其の價格を米價を以て米量に換算すること。

（五）小作料の實例は左記の方法に依り調査すること。

（イ）地租名寄帳に依り、田畑を通じて二町步以上を有する者を成るべく多數に調査し、當該地主に就き既往七年間に於ける小作地の有無、契約小作料の種類、數量、減免額等を調査すること。但し田畑を通じて二町步以上を有する者少數なる場合は、右の制限に拘らず適宜調査すること。

（ロ）前號の場合に於て實地調査に甚しく手數を要するときは、便宜質問書を發し、其の答辯を求むることを得。

（ハ）調査の結果本人の供述、答申又は關係帳簿書類等に付き信を措き難しと認むる場合は、點々小作人に付き又は便宜の方法に依り其の正否を點檢すること。

右の小作料實例調査は本調査事業に於ける基本的資料たるべきものなるを以て、政府は之が調査に當りては一市町村內の一部に偏することなく、且大中小の各地主に渉り、又上中下の各土地に渉り

て、普遍的に調査せしむると同時に、其の實例は能ふ限り多數に蒐集せしめんことを期せしが、其の結果實例調査執行の數は、田に在りては總筆數の一割三分五厘、總段別の一割七分五厘、總小作地段別の二割九分九厘、畑に在りては總筆數の五分五厘、總段別の七分四厘、總小作地段別の一割四分七厘に達したり。

以上の如くにして蒐集したる多數の小作實例は、之を小字又は之に準ずべき區域毎に排列集計し之を基礎として更に各町村に就き實地踏査を遂げて田畑の地位品格を勘案したる上、概略左記の如き方法に從ひ、小作料等級を詮定せしめたり。而して右の小作料等級は全國の統一を期する爲め、豫め全國を一貫したる小作料等級表を設定して之を全國各地に適用し、以て小作料の權衡を圖るの便に供したり。

（一）田畑各筆に對し等級を定むるは至難なるを以て、各小字若くは之に準ずべき區域毎に之を定め、該等級を以て其の區域內各筆の等級と爲すこと。

（二）小作料に些少の差異あるものの如きは强て區分するを要せざるも、地位品格甚しく懸隔ありて、一小字若くは之に準ずべき區域の全部を一等級に編入するを不適當なりと認むるときは、適宜數階級に區分すること。

（三）第一號に據り難き場合及第二號の場合に於ては、小字若くは大字（大字なき市町村に在りては市町村）の區域內を達觀し、其の田畑の地位品格及小作料實例の異同に應じ差等を設くるを相當とすべき區域を概定し、該區域毎に之を分劃すること。

（四）差等を設くるを相當とすべき程度は小作料等級表を大體の目安として區分すること。但し右の目安に據るときは階級數多數に上り、階級別面積の調査困難なる場合は、適宜三四乃至五六の階級に縮約調査すること。

（五）等級は當該區域全部の田畑の標準となるべきものなるを以て、實地の情況を通觀し、中庸と認むる等級を定むることに留意すること。

以上の如くにして田畑地價調査事業は實施上幾多の困難と鬪ひて、大正九年度末を以て漸く其の業を終へしが、此の結果に依り現在地價の甚しく現實の土地の收益と背馳せる事實を明かにすることを得、從つて地租負擔の公平を期するが爲には、必ずや地價修正は之を斷行せざるべからざるの結論を得たると同時に、地價修正の方針は調査の經驗に徵し小作料主義に依るを可とすることを確認したり。然れども地價修正の實行に當り、全國の土地を一筆毎に改測して完全なる地籍圖を調製し此の改測段別に基きて一筆毎に小作料を調査し、之に依つて地價の修正を行ふの方法は、最も完全なる理想的方法なりと雖も、之が爲には約一億四千三百餘萬圓の巨費と十年の歲月とを要するを以て到底之が實行を許さず。依つて次善の策として、一筆毎の面積の改測を省略して現在土地臺帳登錄の段別に依り、一筆毎の小作料を調査し、之に基きて地價修正を行ふの方法を採用するを以て最も策の得たるものと爲し、大藏省は右案を基礎として地價修正計畫竝に之が經費の見積を立てたり。然れども右方法に依るも其の經費約四千七百餘萬圓を要し、之を五箇年の繼續事業とするも尙一箇年約八百餘萬圓を要するの計算となるを以て、當時の財政事情は到底之が實行を許さず、右計畫は遂に實行せらるるに至らずして、一先づ打切らるることとなれり。以上述ぶるが如くにして本次の調査は單に地價修正に對する準備調査に終りしと雖も、本調査の結果が大正十五年に至り土地賃貸價格調査法の制定を促す一動因となりしのみならず、同法の實施に當りては各地に於て有力なる資料たることを得し效果は、之を疑ふを得ざる所なりとす。

今參考の爲め本調査の成績中、現在地價と小作料との對照表を揭げ、以て當時に於ける現在地價の

不衡平にして地租負擔の適正ならざりし態様の一斑を示すべし。

現在地價小作料對照表

田

| 道府縣 | 一段當現在地價（錢） | 一段當小作料（合） | 現在地價十圓當小作料（合） | 小作料一石當地租（錢） |
|---|---|---|---|---|
| 埼玉 | 四三、三〇 | 九四九 | 二二九 | 一、五二 |
| 沖繩 | 一三、三三 | 三〇〇 | 二二七 | 一、二五 |
| 三重 | 四二、九七 | 九七六 | 二二七 | 一、二五 |
| 東京 | 四二、〇八 | 九六八 | 二三〇 | 一、二三 |
| 愛知 | 四三、三七 | 一、〇四二 | 二四〇 | 一、一八 |
| 滋賀 | 四三、六二 | 一、〇九九 | 二五二 | 一、一三 |
| 佐賀 | 四三、二八 | 一、〇九五 | 二五三 | 一、一三 |
| 富山 | 三六、一三 | 九二五 | 二五六 | 一、一一 |
| 靜岡 | 四一、六七 | 一、〇七二 | 二五八 | 一、一〇 |
| 神奈川 | 四三、一四 | 一、一一三 | 二五八 | 一、一〇 |
| 德島 | 四一、六一 | 一、〇七五 | 二五八 | 一、一〇 |
| 大阪 | 五一、八八 | 一、三五〇 | 二六〇 | 一、〇九 |
| 茨城 | 三三、〇八 | 八六一 | 二六八 | 一、〇六 |
| 群馬 | 四〇、五三 | 一、〇九五 | 二七〇 | 一、〇五 |
| 香川 | 四五、四八 | 一、二三八 | 二七二 | 一、〇四 |
| 岡山 | 四一、一九 | 一、一三三 | 二七三 | 一、〇四 |
| 和歌山 | 四三、四三 | 一、一八八 | 二七四 | 一、〇三 |
| 福井 | 三七、五二 | 一、〇二八 | 二七五 | 一、〇三 |
| 石川 | 三八、四七 | 一、〇六二 | 二七六 | 一、〇三 |
| 北海道 | 一三、九七 | 三八五 | 二七六 | 一、〇三 |
| 奈良 | 四八、一四 | 一、三五五 | 二八一 | 一、〇〇 |
| 福岡 | 三九、三二 | 一、一一一 | 二八三 | 一、〇〇 |
| 千葉 | 三一、八五 | 九〇三 | 二八三 | 一、〇〇 |
| 兵庫 | 四二、九七 | 一、二三〇 | 二八四 | 九九 |
| 福島 | 二八、七八 | 八〇一 | 二八五 | 九九 |
| 高知 | 三七、二一 | 一、〇六六 | 二八六 | 九九 |
| 廣島 | 三七、四二 | 一、〇九三 | 二九二 | 九七 |
| 鳥取 | 三五、〇四 | 一、〇三〇 | 二九二 | 九七 |
| 栃木 | 三一、〇八 | 九二三 | 二九三 | 九七 |
| 岐阜 | 三六、三六 | 一、一〇〇 | 三〇二 | 九四 |
| 新潟 | 三一、五三 | 九五五 | 三〇三 | 九三 |
| 長崎 | 三二、一三 | 九七五 | 三〇三 | 九三 |
| 山梨 | 四四、六二 | 一、三五五 | 三〇四 | 九三 |
| 熊本 | 三七、一二 | 一、一三三 | 三〇五 | 九三 |
| 京都 | 三八、一七 | 一、一六九 | 三〇六 | 九二 |
| 愛媛 | 三七、〇三 | 一、一五一 | 三一一 | 九一 |
| 青森 | 二二、七五 | 七二四 | 三一八 | 八九 |
| 宮崎 | 二六、四七 | 八四二 | 三一八 | 八九 |
| 長野 | 三五、三三 | 一、一四四 | 三二四 | 八七 |
| 島根 | 三三、六五 | 一、一〇四 | 三二八 | 八六 |

畑

| 道府縣 | 一段當現在地價（錢） | 一段當小作料（合） | 現在地價十圓當小作料（合） | 小作料一石當地租（錢） |
|---|---|---|---|---|
| 北海道 | 五、七三 | 一三四 | 二三四 | 一、二二 |
| 大阪 | 三、三八 | 五八六 | 二六二 | 一、〇八 |
| 佐賀 | 三、三三 | 三三六 | 二六四 | 一、〇七 |
| 滋賀 | 三、七九 | 六〇四 | 二六五 | 一、〇七 |
| 奈良 | 一九、三四 | 五一三 | 二六五 | 一、〇七 |
| 青森 | 四、七六 | 一三九 | 二九二 | 九七 |
| 三重 | 一七、三一 | 五〇八 | 二九三 | 九七 |
| 沖繩 | 一一、九五 | 三六〇 | 三〇一 | 九四 |
| 兵庫 | 一三、一五 | 三七七 | 三一〇 | 九一 |
| 福島 | 一〇、四〇 | 三二六 | 三一三 | 九一 |
| 岡山 | 一四、六二 | 四五九 | 三一四 | 九〇 |
| 秋田 | 六、四六 | 二〇六 | 三一九 | 八九 |
| 德島 | 一三、七二 | 四一六 | 三二七 | 八七 |
| 石川 | 六、九四 | 二三二 | 三三四 | 八五 |
| 廣島 | 一五、五七 | 五二六 | 三三八 | 八四 |
| 東京 | 一一、五七 | 三九八 | 三四四 | 八三 |
| 和歌山 | 一六、五六 | 五七一 | 三四五 | 八二 |
| 京都 | 一四、六五 | 五一〇 | 三四八 | 八一 |
| 栃木 | 九、七〇 | 三四二 | 三五三 | 八〇 |
| 愛媛 | 七、九〇 | 二八六 | 三六二 | 七八 |
| 福岡 | 八、四四 | 三〇七 | 三六四 | 七八 |
| 神奈川 | 一三、〇八 | 四三九 | 三六四 | 七八 |
| 千葉 | 九、一四 | 三三四 | 三六五 | 七八 |
| 香川 | 一三、一〇 | 四八二 | 三六八 | 七七 |
| 山梨 | 一一、〇四 | 四〇六 | 三六八 | 七七 |
| 群馬 | 一一、六五 | 四四三 | 三八〇 | 七四 |
| 大分 | 八、九五 | 三四四 | 三八四 | 七四 |
| 福井 | 一〇、三八 | 四〇〇 | 三八五 | 七三 |
| 宮城 | 八、五五 | 三三二 | 三八八 | 七三 |
| 熊本 | 七、八七 | 三〇六 | 三八九 | 七三 |
| 茨城 | 八、三四 | 三二四 | 三八九 | 七三 |
| 埼玉 | 一二、五五 | 四八八 | 三八九 | 七三 |
| 島根 | 八、三〇 | 三二四 | 三九〇 | 七三 |
| 新潟 | 七、七九 | 三〇六 | 三九三 | 七二 |
| 岩手 | 五、五三 | 二一九 | 三九六 | 七一 |
| 岐阜 | 一〇、二四 | 四〇八 | 三九八 | 七一 |
| 富山 | 五、五一 | 二二二 | 四〇三 | 七〇 |
| 鳥取 | 一一、二〇 | 四五六 | 四〇七 | 七〇 |
| 愛知 | 一六、二九 | 六六五 | 四〇八 | 六九 |
| 山形 | 九、五五 | 四〇三 | 四二三 | 六七 |

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 岩手 | 二三、九〇錢 | 七九七合 | 三三〇合 | 八六錢 | 靜岡 | 一〇、四〇錢 | 四四〇合 | 四二三合 | 六七錢 |
| 大分 | 三三、八六 | 一、一三六 | 三三五 | 八四 | 長崎 | 八、一七 | 三四八 | 四二六 | 六六 |
| 山形 | 二九、二七 | 九九二 | 三三九 | 八三 | 長野 | 一〇、二三 | 四七三 | 四六二 | 六一 |
| 鹿兒島 | 二四、七四 | 八七一 | 三五二 | 八一 | 鹿兒島 | 四、二四 | 二〇一 | 四七四 | 六〇 |
| 宮城 | 二〇、六九 | 七八〇 | 三七七 | 七五 | 宮崎 | 四、四六 | 二一二 | 四七五 | 六〇 |
| 秋田 | 二二、八四 | 八九六 | 三九二 | 七二 | 高知 | 二、五二 | 一三五 | 五三六 | 五三 |
| 山口 | 二五、五九 | 一、〇二九 | 四〇二 | 七〇 | 山口 | 三、四七 | 二四八 | 七一五 | 四〇 |
| 平均 | 三五、三〇 | 一、〇一八 | 二八八 | 九八 | 平均 | 九、二一 | 三四四 | 三七五 | 八二 |

（備考）一、本表は現在地價十圓當小作料の最も少きものより順次多きものを配列したり。
二、現在地價十圓當小作料の多きものは現在地價低き結果にして、小作料少きものは現在地價高きに因るものと稱することを得べきを以て、若し假りに本表の結果に依りて地價修正を行ふものとせば、平均より低き府縣は地價を引上げ、高き府縣は之を引下げらるべきものとす。
三、本表は府縣毎に平均したる數を揭げしものなるを以て、府縣內に於ける各地に異同あるは勿論とす。
四、畑の小作料が田の小作料より稍〻高きは、畑作には金納比較的多き結果改租當時に比し增加せしものなるべし。

## 第五項　地租委讓問題の發生

地租委讓論が我國に於ける稅制整理上の實際問題として論議せらるるに至りしは、臨時財政經濟調査會に於ける審議を以て嚆矢とす。政府は世界大戰の後を承けて財政經濟に關する根本的整理に關する調査を行ふが爲め、大正八年七月臨時財政經濟調査會を設置し、朝野の識者を擧げて委員と爲し、財政經濟に關する各種の問題を調査せしめしが、翌大正九年六月に至り同會に對し諮問第五號として稅制整理に關する根本方策に就て諮問を發したり。調査會は右の諮問案に對する審議を特別委員に付託せしを以て、特別委員は爾後滿二箇年の歲月を費して愼重審議討究を重ねし末、大正十一年六月十五日に至り稅制整理案を決定し、之を調査會に報告したり。右調査の經過及整理案の全文等は既に本編第一章に於て之を記載せしを以て、玆には右整理案中地租委讓を必要とする理由竝に委讓の方法に就き、之を約說するに止むべし。

（一）地租を地方に委讓せんとする理由

（イ）地租は國稅として不適當なり。

地租は營業稅と相俟て一般所得稅に對する補完稅として現行直接國稅の體系を構成するものなるも、此の兩稅の課稅物件以外に於て相當擔稅力を有する財產、卽ち有價證券又は家屋等に對して課稅せざるが故に、普遍的に資產所得重課の目的を達すること能はず。去りとて現行の稅目以外に資本利子稅及家屋稅等を新設することは、徒に稅制を煩雜ならしむる嫌あり。加之地租と營業稅とは其の課稅方法を異にするが故に、此の兩稅間に於ても負擔の均衡を得せしむること難し。又現行地租は法定地價を課稅標準と爲すが故に、土地の價格又は土地所得の變動に應じて適當の課稅を爲すこと能はず。去りとて隨時地價の修正を爲さむとせば莫大の費用と長期の年月とを要し、容易に之を行ふこと能はず。仍て宜しく地租・營業稅を廢して新に一般財產稅を創設し、一般所得稅と相俟て課稅の公平を期するの組織たらしむるを可とす。

（ロ）地租は地方稅として適當なり。

地租は以上の如く國稅として不適當なりと認むるも、之を地方に移すときは、其の施行區域狹小なるが故に、地價の修正等も比較的容易に之を行ふことを得べく、又其の課稅標準を地價以外に採りたる場合に於ても其の地方の事情を參酌して適當の課稅を爲すこと困難ならずと認めらるるを以て、地方稅としては適當の租稅なりと云ふことを得べし。

（ハ）地方稅整理上地租を地方に委讓するの必要あり。

我國現時の地方稅は國稅に對する附加稅と國稅の遺す所の稅源に對する特別稅とを以て成るも、輓近地方歲出劇增の結果之が財源の涸渇に苦しみ、勢ひ現行戶數割の如き比較的良稅たらざるものに偏重し、其の他種々の特別稅濫設せられ、雜然として其の間何等脈絡系統なく、之が整理改善の急を要するもの尠からず。而して之を整理して地方稅制の體系を確立せむが爲には、地租營業稅の如き確固たる獨立の財源を地方に與ふるにあらざれば、其の目的を達すること能はず。

（二）地租を地方に委讓する方法

（イ）一部委讓の場合

一般財產稅を創設して地租及營業稅は直に地方稅に委讓するを理想とするも、財產稅施行の初より其の稅率を高くするときは、或は其の施行の圓滿を害し、又は脫稅の弊害を助長するの虞あり。故に施行當初に於ける稅率は之を輕くし、之が爲に其の歲入が現行地租及營業稅の總額に達せざる部分は、當分の間臨機の處置として、地租及營業稅の稅率を平等に低減して此の兩稅を存續せしめ、財產稅完成の時に於て之を地方稅に委讓すること。而して當分存續すべき地租は現行の儘之を据置き、追つて地方稅に委讓する場合に於て改善を加ふること。

（ロ）全部委讓の場合

諸問の趣旨は現在の歲入に增減を來さざることを目標として整理案を作製すべしとありたるを以て、財源の關係上地租及營業稅は當分約半額を國稅として存置することとなしたるも、理想としては其の全額を地方稅に委讓すべきものなるが故に、軍備縮小により生ずる財源を以て此の兩稅の全部を地方稅に委讓したしとの附帶希望決議ありたるも、其の委讓方法に付ては何等決定したるものなし。

（ハ）地方稅としての地租賦課徵收方法

地租及營業稅が國稅より全額委讓せられたる場合に於ては、此の兩稅を以て道府縣稅の中軸たらしめ、之に配するに所得稅附加稅を以てし從來の戶數割及之に代るべき家屋稅は之を全廢し、尙地租との權衡を得しめんが爲に新に定率稅たる家屋稅を設くること、而して市町村に於ては地租、家屋稅及營業稅の附加稅を中樞とし、之に配するに戶數割を以てし、仍道府縣及市町村共特種の課稅物件に對し特別稅を設くること。

地租及營業稅を地方稅に移す場合に於て、此の兩稅の課稅方法を全然各地方の隨意に一任すべきや、又は國家に於て相當の監督を爲し全國の統一を圖る必要ありやは單純に決するを得ずと雖も、之を地方稅に委讓するの理由に鑑み、大體に於て各地方の事情に適應したる課稅を爲さしむるを可とすべし。然れども若し之を全く各地の自由に放任するときは、各地の土地及營業に對する負擔に著しき輕重を生じ、各地間の產業の消長に關係する所少なからざるべしと認められるるを以て、左記各項の要領に依り大體の統一を圖るの必要ありと認む。

一、法律を以て其の組織及課稅方法等を規定すること。

二、地租の課稅標準は法定地價を廢して賃貸價格に依ることとし、其の調査決定に付ては現行所得稅法に準じたる調査委員會の制度を設くること。

三、稅率は各地方全然同一ならしむるを得ずと雖も、現行地租及營業稅は相互權衡を保持せざるものと認められるるを以て之を改正し、其の收益を根據として兩稅間の權衡を保持したる最高稅率を法律にて規定すること。而して若し之を超過して課稅するの必要あるときは、中央政府の認可を受けしむること。

然るに特別委員會の稅制整理案が調査會の總會に付議せらるるや、同案中一般財產稅の新設案に對し反對論起りて、之が可否を決すること能はざるに至り、結局右整理案は單に政府の參考案として之を政府に提示するに止むることに決したり。斯くて臨時財政經濟調査會の特別委員會に於て愼重研究の上最も適當と認めし地租委讓案も、遂に單なる參考案に過ぎざるの結果に終りしと雖も、而も右の意見は從來の地租制度延いては我國租稅體系に關する根本的變革を意味するものにして、大に世論を聳動せしめしのみならず、右調査會の調査を動機として地租委讓論は政黨の政策中に攝取

せられ、爾後重要なる政治問題と化するに至れり。

尋いで大正十一年十二月第四十六回帝國議會の召集せらるるや、政府は前述臨時財政經濟調査會の答申に係る稅制整理案とは別個に、稅制の應急的整理を行ふことを目的として、所得稅、營業稅、賣藥稅、印紙稅の改正竝に石油稅の廢止に關する諸法律案を提出せしが、當時歐洲大戰終局後逐年深刻に趨ける財界の不況及農村の疲弊の救濟に關聯して、國民負擔の輕減論盛に唱道せられ、加ふるに同年二月華盛頓會議に於ける海軍軍備制限條約の成立を機として、政府に於て立案したる陸海軍軍備縮小の計畫は、右の要望に對して一層の勢を加へ、爲に減稅的稅制整理要望の聲は愈〻熾烈となれる際なりしを以て、右政府提出の稅制整理案を繞りて衆議院に於ける政黨各派は爭つて國民負擔の權衡及輕減の問題を論じ、之に應じて廢減稅に關する各種の法律案を同議會に提出したり。卽ち先づ憲政會所屬議員は地租輕減營業稅廢止及營業特別所得稅の新設、竝に綿織物消費稅、醬油稅の廢止を唱へ右に關する諸法律案を提出せしが、右の中地租輕減案は田畑の租率を二分輕減して、現行租率たる百分の四箇五を地租條例制定當時の租率たる百分の二箇五（北海道は百分の三箇二を百分の一箇七とす）に復せしめんとするものにして、之に依り約二千四百萬圓の減稅を行ひ、以て地方農村の疲弊を救濟し、其の振興を圖る爲めの應急策たらしめんとするものなり。而して右の地租輕減を始め其の他の租稅の廢減に依る減收額合計四千八九百萬圓の補塡は、主として軍備縮小に依る餘裕財源を以てすべきことを唱へたり。然るに之に對し革新俱樂部及庚申俱樂部の兩政黨所屬の議員は、地租及營業稅の兩稅を大正十二年度以後地方に委讓し、以て窮乏せる地方自治體の財源の涵養に資すると共に、國民負擔の輕減を圖らんことを主張し、右の趣旨に基き地租條例及營業稅法の廢止法律案を提出したり。而して右兩稅委讓の結果生ずべき約一億三千萬圓の歲入缺陷は、軍備の徹底的縮小、行政の根本的整理竝に減債基金の繰入中止に依り之を補塡し得べしと爲し、又兩稅の委讓に依つて生ずる地方の餘裕財源は、其の半を土地所有者及營業者の負擔輕減に充て、半を他の地方稅の輕減に充當すべきことを唱へたり。以上各派の稅制整理案に對し、衆議院の最多數を占むる立憲政友會は、地方財政の窮迫、農村經濟の疲弊を救濟せんが爲には、國稅及地方稅に亙る根本的整理を行ふに先ち、其の先決問題として、從來の如き地方稅の附加主義を排し、獨立の稅種として地租を地方に委讓することを必要と認めしと雖も、前述革新俱樂部所屬議員等の唱ふる如く之を大正十二年度より實行することは、財政計畫上破綻を生ずる虞ありとして反對し、本問題に就ては單に同議會に於て左記の如き建議案を提出するに止むることと爲したり。而も右建議案の趣旨の實行に關する具體的方策に就ては何等之を明示することなく、唯政府が大正十三年度の財政計畫を樹て稅制整理を行ふに際しては、地租委讓を實行すべく次期議會に之が法律案を提出すべきことを、政府に對して要望せしに止まりたり。

『　行政及稅制ノ整理ニ關スル建議案

政府ハ速ニ行政ノ根本的整理ヲ遂行シ事務ノ簡捷能率ノ增進ヲ圖リ且ツ力メテ政費ノ節約ヲ行ヒ竝ニ汎ク稅制ヲ整理シテ國民ノ負擔ノ均衡ヲ計リ殊ニ地租ノ如キ獨立稅種ヲ移讓シテ地方財政ノ基礎ヲ鞏固ニスヘシ

右建議ス

右理由書

行政ノ整理ハ從來屢之ヲ企テ現內閣亦之ニ努ムル所アリト雖孰レモ現在ノ行政組織ヲ本トシ

テ政費ノ節約ヲ圖リタルニ過キス然ルニ時代ノ趨勢ハ更ニ其ノ根本ニ遡リテ更始一新ヲ爲スノ必要ニ迫レリ乃チ大ニ行政各部ノ制度ヲ釐革シ機關ヲ改更シ經費ヲ統一シ執務ノ組織ヲ改善シテ冗費ヲ節約シ事務ヲ簡捷ニシ能率ヲ增進シ以テ徹底的ニ行政整理ノ目的ヲ達成スヘキナリ又我カ國ノ稅制ハ國稅地方稅共ニ財政上ノ必要ニ應シ隨時創設補修シテ今日ニ至レルモノニシテ國民負擔ノ均衡ヲ得サル所少カラス殊ニ地方稅ニ至リテハ歲入ノ中軸タルヘキ獨立ノ稅種乏シキニ拘ラス國稅附加稅ハ彈力性ヲ缺如スルカ爲他ノ稅種ニ向テ無制限ニ賦課スルヲ免レス故ニ地租ノ如キ獨立ノ稅種ヲ地方ニ委讓スルト共ニ國稅地方稅ヲ通シテ根本的整理ヲ斷行シ組織ヲ整ヘ體系ヲ備ヘ以テ國民負擔ノ均衡ヲ計リ併テ中央竝地方財政ノ基礎ヲ鞏固ニスルハ焦眉ノ急務ナリト信ス是レ本案ヲ提出スル所以ナリ』

以上の如き稅制整理に關する各種の法律案に就ては、衆議院に於て審議を遂げたる末、政府提出案に就ては全部之を可決し、其の他議員提出に係る諸法律案は總て之を否決したり。而して前揭行政及稅制の整理に關する建議案は結局多數を以て原案通り可決せられ、政府亦地租委讓に對しては主義として贊成なる旨を言明したり。

斯くて政府は第四十六回帝國議會終了後、議會に於ける地租委讓に關する論議特に前揭建議の趣旨に鑑み、更めて稅制整理に關する調査を行ふことと爲し、大正十二年四月大藏省內に稅制調査委員會を設置し、同會をして地租委讓の方法及其の利害得失竝に委讓後に於ける直接國稅の體系等に關する調査研究を進めしめしが、同會に於て未だ之に就きて何等の成案を得るに至らざる中に、偶〻同年九月一日關東大震災起り、更に又之と相前後して內閣の更迭行はれし爲め、右調査會は自然消滅となり、地租委讓問題も玆に一頓挫を來したり。

以上述べたる所の如くにして大正十一年六月臨時財政經濟調査會の答申に於て、始めて稅制整理上の實際問題として論議に上りし地租委讓論は、續いて開會せられたる第四十六回帝國議會に於て國民負擔の輕減竝に租稅制度の整理の問題に關聯して玆に政治上の問題と化し、之が解決の如何は將來に於ける租稅制度上に重大なる影響を及ぼすこととなるに至りしものにして、後大正十二年關東大震災の突發に遭ひて之が善後處置の爲め、本問題は一時閑却せらるるの狀況を呈せしと雖も、之を以て問題の消滅に歸せしものに非ざるは固より言を俟たざる所にして、後大正十五年に至り後述の如く政府が第五十一回帝國議會に於て一般的稅制整理案を提出するに及びて、右整理案を繞りて再び地租委讓問題の擡頭を見るに至れり。

## 第六項　關東震災と地租の特別處分

大正十二年九月一日關東地方大震災の發生に當り、政府は右に對する焦眉の急務として被害者の救濟に全力を盡すと同時に、災害地方に於ける納稅者の苦痛を緩和し災害地の復舊を速かならしむる爲め、租稅の賦課徵收に關して應急的救濟の方法を講ずるの必要を認め、玆に租稅の減免又は徵收猶豫を行ふことに決せしが、其の中差向き急施を要し議會の開會を待つ能はざる事項に就き、緊急勅令を以て之を規定することと爲し、卽ち大正十二年九月十二日勅令第四百十號を公布したり。右勅令に依れば(一)震災被害者の納付すべき大正十二年分の第三種所得稅及營業稅は之を免除又は輕減し(二)震災地に於て大正十二年度に納付すべき地租、所得稅、營業稅、相續稅は、被害の有無に拘らず之が

徴收を猶豫するを得るものにして、其の施行に關する細目に就ては之を命令の定むる所に讓ることとせり。今右勅令の全文を掲ぐれば左の如し。

勅令第四百十號（大正十二年九月十二日）

第一條　政府ハ震災被害者ノ納付スヘキ大正十二年分ノ第三種所得稅及營業稅ニ付各納稅者ノ被害ノ狀況ニ應シ命令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ免除又ハ輕減スルコトヲ得

第二條　政府ハ震災地ニ於テ大正十二年度ニ納付スヘキ左ノ租稅ニ付命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ徴收ヲ猶豫スルコトヲ得

一　地租
二　所得稅
三　營業稅
四　相續稅

第三條　第一條ノ震災被害者及前條ノ震災地ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

右緊急勅令の施行に關する勅令は同年九月三十日勅令第四百三十三號を以て公布せられ、震災地及震災被害者の意義、租稅減免及徴收猶豫の條件程度及手續等に就て規定したり。今其の中地租に關する條項を抄錄すれば左の如し。

勅令第四百三十三號（大正十二年九月三十日）（抄錄）

第一條　大正十二年勅令第四百十號第三條ノ規定ニ依リ震災地及震災被害者ヲ左ノ如ク定ム

一　震災地

東京府（西多摩郡及小笠原島ヲ除ク）
神奈川縣
埼玉縣（秩父郡、兒玉郡及大里郡ヲ除ク）
千葉縣　千葉市　千葉郡　市原郡　東葛飾郡　君津郡　安房郡
山梨縣　中巨摩郡花輪村　東八代郡富士見村　南巨摩郡鰍澤町　南都留郡明見村中野村忍野村
靜岡縣　沼津市　田方郡　駿東郡　賀茂郡

二　震災被害者

大正十二年九月一日ノ震災（之ニ伴フ火災又ハ海嘯ヲ含ム以下同シ）ニ因リ損害ヲ受ケタル者

第十四條　震災地ニ於テ納付スヘキ地租、所得稅（第二種所得稅ヲ除ク）、營業稅及相續稅ニシテ納付未濟ニ係ルモノ及大正十二年十月三十一日迄ニ納期限ノ到來スルモノニ付テハ其ノ徴收ヲ猶豫シ大正十二年十一月一日以後ニ於テ大藏大臣其ノ納期限ヲ定ム

震災地ニ於テ納付スヘキ地租、所得稅（第二種所得稅ヲ除ク）、營業稅及相續稅ニシテ大正十二年十一月一日以後ニ納期限ノ到來スルモノニ付テハ大藏大臣ノ定ムル所ニ依リ其ノ徴收ヲ猶豫ス

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

右勅令の規定に基き更に同年十月三十一日大藏省令第二十六號を公布し、地租所得稅營業稅及相續稅の徵收猶豫期間納付期間及猶豫申請期限等細目の手續を定めたり。今其の中地租に關係する部分を抄錄すれば左の如し。

大藏省令第二十六號（天正十二年十月三十一日）（抄錄）

大正十二年勅令第四百三十三號第十四條ノ規定ニ依リ震災地ニ於テ大正十二年度ニ納付スヘキ地租、所得稅、營業稅及相續稅ノ徵收ヲ猶豫シタル租稅ニ付テハ猶豫方左ノ通リ定ム

第一條　大正十二年勅令第四百三十三條第十四條第一項ノ規定ニ依リ徵收ヲ猶豫シタル租稅ノ納期限ハ本令ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外大正十二年分ノ第三種所得稅第一期分ニ在リテハ大正十三年五月三十一日限其ノ他ノ租稅ニ在リテハ大正十二年十二月二十日限トス

第二條　左ノ各號ノ一ニ該當スル土地ノ大正十二年分地租ニ付テハ納稅義務者ノ申請ニ依リ其ノ徵收ヲ猶豫シ大正十三年六月一日ヨリ同年十二月十五日迄ノ間ニ於テ稅務署長ノ適當ト認ムル時期ニ之ヲ徵收ス但シ第三號ノ宅地ノ地租ニ付テハ納稅義務者ノ申請ナキ場合ニ於テモ其ノ徵收ヲ猶豫スルコトヲ得

一　震災ニ因リ自己ノ住宅ノ過半カ滅失シ又ハ其ノ用ヲ爲ササルニ至リタル者ノ所有スル土地

二　荒地又ハ收穫皆無地トナラサルモ震災ニ因リ著シク收穫ノ減損スルニ至リタル田畑



三　震災ニ因ル被害激甚ニシテ別ニ指定スル市區町村內ノ宅地

第三條　震災ニ因リ地租名寄帳ノ滅失シタル市區町村ノ大正十二年分地租ニ付テハ地租名寄帳改調後一年以內ニ於テ稅務署長ノ適當ト認ムル時期ニ之ヲ徵收ス

第七條　第二條、第四條乃至第六條ノ規定ニ依リ徵收猶豫ノ申請ヲ爲サムトスル者ハ左ノ期限迄ニ所轄稅務署長ニ申請書ヲ提出スヘシ

一　畑租、雜地租、第三種所得稅及營業稅ニ付テハ大正十二年十一月二十日限

二　宅地租第一期分竝大正十二年十月三十一日迄ニ納期限ノ到來シタル第一種所得稅及相續稅ニ付テハ大正十二年十一月三十日限

三　田租ニ付テハ大正十二年十二月十五日限

四　宅地租第二期分ニ付テハ大正十二年十二月二十八日限

五　其ノ他ノ諸稅ニ付テハ納稅告知書ヲ受ケタル日ヨリ七日以內

市町村ニ於テ徵收スヘキ租稅ニ付テハ前項ノ申請書ハ納稅地ノ市區町村ヲ經由シテ之ヲ提出スヘシ

第八條（抄錄）　前條ノ申請書ニハ納稅義務者ノ住所又ハ居所、氏名、稅目、納期區分及左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　地租ニ在リテハ大字、字、地番、地目、段別、地價及被害狀況但シ第二條第一項第一號ノ場合ニ於テハ各大字地目每ノ筆數、段別及地價ノ合計ヲ記載スルヲ以テ足ル

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

尙前揭大藏省令第二十六號第二條第三號に依る市區町村に就ては、同年十二月十八日大藏省告示第百五十五號を以て左の通り之を指定したり。

大藏省告示第百五十五號（大正十二年十二月十八日）

大正十二年大藏省令第二十六號第二條第三號ノ規定ニ依リ左ノ市區町村ヲ指定ス

東京府　東京市　麹町區　神田區　日本橋區　京橋區　芝區　下谷區　淺草區
　　本所區　深川區
　　荏原郡　羽田町
　　北豐島郡　南千住町　王子町　日暮里町　三河島町　尾久町
神奈川縣　橫濱市
　　橘樹郡　大師町　田島町　潮田町　保土ヶ谷町
　　橫須賀市
　　三浦郡　浦賀町　逗子町
　　高座郡　藤澤町　茅ヶ崎町
　　鎌倉郡　川口村　腰越津村　戸塚町　鎌倉町
　　中郡　平塚町　大山町　秦野町
　　足柄上郡　松田町　川村
　　足柄下郡　小田原町　足柄村　酒匂村　大窪村　湯本村　溫泉村　箱根町　元箱根村　蘆湯村　早川村　眞鶴村　國府津村　宮城野村　片浦村
愛甲郡　厚木町
千葉縣　安房郡　北條町　那古町　船形町　館山町
靜岡縣　田方郡　熱海町　伊東町
　　駿東郡　御殿場町　小山町

右の如くにして政府は震災發生直後に於て取敢へず、大正十二年分又は大正十二年度に納付すべき各種租稅の減免猶豫を行ふ所ありしが、當時政府は右以外の事項に就きては、大正十二年末に於て召集せらるべき第四十八回帝國議會に提案して其の協贊を求むる豫定なりしも、會、同議會は翌十三年一月解散を命せられしを以て、政府は其の豫定事項中差向き急を要するものに就きては、再び緊急勅令に依り應急の措置を講ずることと爲し、同年二月二十三日勅令第二十一號を以て之を公布したり。右勅令は(一)震災に因り營業の狀況激變し課稅標準中著しく減損すべしと認めらるる者に對しては、大正十三年分營業稅に限り豫算を以て其の課稅標準を算定すること、(二)震災地に於て大正十三年四月一日より八月三十一日迄に納付すべき地租、第一種所得稅及相續稅に對する徵收猶豫を許すことの二事項を規定せるものにして、本規定に基き同年三月十四日大藏省令第五號を以て、更に其の徵收猶豫の期間及手續等に關して規定したり。今此等の法令中地租に關する規定を抄錄すれば左の如し。

勅令第二十一號（大正十三年二月二十三日）（抄錄）

第二條（抄錄）　政府ハ大正十二年勅令第四百十號第二條ノ震災地ニ於テ大正十三年四月一日ヨ

リ同年八月三十一日迄ニ納付スヘキ左ノ租稅ニ付命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ徵收ヲ猶豫スルコトヲ得

一　地租

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

大藏省令第五號（大正十三年三月十四日）（抄錄）

大正十三年勅令第二十一號第二條ノ規定ニ依リ震災地ニ於テ納付スヘキ地租、第一種所得稅及相續稅ノ徵收猶豫方左ノ通定ム

第一條　左ノ各號ノ一ニ該當スル地租ニ付テハ納稅義務者ノ申請ニ依リ其ノ徵收ヲ猶豫シ大正十三年十二月一日ヨリ同月十五日限之ヲ徵收ス但シ第二號ノ地租ニ付テハ納稅義務者ノ申請ナキ場合ニ於テモ其ノ徵收ヲ猶豫スルコトヲ得

一　荒地又ハ收穫皆無地トナラサルモ震災ニ因リ著シク收穫ノ減損スルニ至リタル田ノ大正十二年分田租第四期

二　大正十二年大藏省令第二十六號第二條第三號ノ規定ニ依リ指定シタル市區町村內ノ宅地ノ大正十三年分宅地租第一期

第二條　震災ニ因リ地租名寄帳ノ滅失シタル市區町村ノ大正十二年第四期分田租及大正十三年第一期分宅地租ニ付テハ地租名寄帳改調後一年以內ニ於テ稅務署長ノ適當ト認ムル時期ニ之ヲ徵收ス

第四條（抄錄）　第一條（中略）ノ規定ニ依リ徵收猶豫ノ申請ヲ爲サムトスル者ハ左ノ期限迄ニ所轄稅務署長ニ申請書ヲ提出スヘシ

一　田租ニ付テハ大正十三年四月十五日限

二　宅地租ニ付テハ大正十三年六月十五日限

田租及宅地租ニ付テハ前項ノ申請書ハ納稅地ノ市區町村ヲ經由シテ之ヲ提出スヘシ

第五條（抄錄）　前條ノ申請書ニハ納稅義務者ノ住所、氏名、稅目、被害狀況及左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　田租及宅地租ニ在リテハ大字、字、地番、地目、段別及地價

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

以上の如くにして震災被害者に對する納稅上の救濟に就ては、其の差向き急を要する事項に就き大正十二年及十三年兩次の緊急勅令に依り之が救濟方法を設くる所ありしが、此等の兩勅令に於ては所得稅及營業稅に就ては之が減免又は徵收猶豫の方法を設けられしに拘らず、地租に就ては單に徵收猶豫のみに止まり、其の減免に關しては何等の規定をも設くることなかりしなり。蓋し今次の震災に因り荒地又は收穫皆無地となりたる土地に就ては、現行地租條例又は災害地地租免除法の適用に依り夫々救濟せらるべきを以て、特に此等緊急勅令中に減免の規定を設くるの必要なく、又震災の影響に依り土地の用途を變更し、又は土地に變動を生じて收益の減損著しき土地若くは被害激甚地の宅地に就ては、假に之が救濟方法を講ずるの必要ありとするも、右は他の種類の租稅の如く緊急

の措置を要せざるものにして、之を帝國議會に提出して其の協贊を求むるの手續を採るも、敢て機宜を失するの虞なかりしを以てなり。爾後政府に於て調査の結果、震災の爲め著しく利用を妨げられたる此等の土地に就て特別の救濟を行ふの必要を認め、其の實況に應じて一定年間地租を免除することと爲し、卽ち大正十三年六月召集の第四十九回特別議會に之が法律案を提出したり。尙之と同時に前記緊急勅令第二十一號に依り、大正十三年八月三十一日迄に納付すべき分に限りて徵收を猶豫せられし租稅に就きては、權衡上九月一日以後に納付すべき分に就ても之が徵收を猶豫することと爲し、之に關する規定を右地租免除に關する法律案中に設けたり。右法律案は議會の協贊を經て同年七月法律第四號を以て左の如く公布せられたり。

法律第四號（大正十三年七月十八日）

第一條　大正十二年九月一日ノ震災（之に伴フ火災又ハ海嘯ヲ含ム）ニ因リ著シク利用ヲ妨ケラレタル土地ニシテ地租條例第二十條ノ規定ノ適用ナキモノニ付テハ其ノ實況ニ應シ命令ノ定ムル所ニ依リ大正十二年ヨリ五年以內其ノ地租ヲ免除スルコトヲ得但シ大正十二年宅地地租第一期分ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第二條（抄錄）　政府ハ大正十二年勅令第四百十號第二條ノ震災地ニ於テ大正十三年九月一日以後ニ納付スヘキ左ノ租稅ニ付命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ徵收ヲ猶豫スルコトヲ得

一　地租

附　則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

右法律の公布に伴ひ、同年八月大藏省令第二十號を以て其の施行に關する詳細の手續を規定せしが、今其の中地租に關係ある條項を抄錄すれば左の如し。

大藏省令第二十號（大正十三年八月二日）（抄錄）

大正十三年法律第四號（震災被害地ノ地租免除等ニ關スル件）施行方左ノ通定ム

第一條　左ノ各號ノ一ニ該當スル土地ニ付テハ納稅義務者ノ申請ニ依リ被害ノ實況ニ應シ宅地ニ在リテハ大正十二年ヨリ五年以內地租ヲ免除シ其ノ他ノ土地ニ在リテハ大正十二年ヨリ五年以內其ノ他ノ土地ニ在リテハ大正十二年宅地地租第一期分ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

一　水路若ハ溜池ノ破壞又ハ井戶ノ湧水涸渴等ニ因リ灌漑又ハ排水ノ便ヲ失シ收穫ヲ減損スルニ至リタル田畑

二　地下ノ變動等ニ因リ水持ヲ害シ又ハ濕地ト爲リ收穫ヲ減損スルニ至リタル田畑

三　建物ノ過半カ滅失又ハ倒壞シタル宅地

四　地盤ノ變動又ハ交通ノ障碍等ニ因リ營業ノ狀況容易ニ回復シ難キ地方ノ宅地

五　其ノ他震災ニ因リ著シク利用ヲ妨ケラレタル土地

第二條　前條ノ規定ニ依リ地租ノ免除ヲ受ケムトスル者ハ大正十三年九月十五日迄ニ納稅義務者ノ住所、氏名、被害地ノ大字、字、地番、地目、段別、地價及被害ノ狀況ヲ記載シタル申請書ヲ所轄稅務署長ニ提出スヘシ

第三條　左ノ市町村內ノ宅地ニシテ震災ニ因リ建物ノ過半カ燒失シタルモノニ付テハ前條ノ申請ナキ場合ニ於テモ其ノ地租ヲ免除スルコトヲ得

東京府　東京市
　北豐島郡　南千住町　日暮里町　三河島町
神奈川縣　橫濱市
　橫須賀市
　鎌倉郡　腰越津村　鎌倉町
　中　郡　秦野町
　足柄下郡　小田原町　眞鶴村
　愛甲郡　厚木町
千葉縣　安房郡　船形町

第四條　第二條ノ申請アリタル土地ニ付テハ被害調査中地租ノ徵收ヲ猶豫スルコトヲ得

第五條　震災ニ因リ地租名寄帳ノ滅失シタル市區町村內ノ地租ニシテ地租名寄帳改調迄ニ納期ノ到來スルモノニ付テハ其ノ改調後一年以內ニ於テ稅務署長ノ適當ト認ムル時期ニ之ヲ徵收ス

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

尙右法律の公布と同時に之に關聯して左の如く法律第五號を公布し、震災に因り地租を免せらるる者の法令上の納稅資格要件に關する件を定めたり。

法律第五號（大正十三年七月十八日）





大正十二年九月ノ震災ニ因リ免除セラルル地租ハ法令上ノ納稅資格要件ニ關シテハ免除セラレサルモノト看做ス

附　則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

今以上各種の法令の規定に基き、關東震災に因る地租の免除又は徵收猶豫に關する處分の概要を表示すれば左の如し。

## （一）免　租

| 被害狀況又は要件 | 種別 | 免租期間 | 備考 | 根據法規 |
|---|---|---|---|---|
| (一)建物の過半が滅失又は倒壞したる宅地 | 宅地租 | 大正十二年より三年以內 | 大正十二年宅地租第一期分を除く | 大正一三年法律第四號第一條及同年大藏省令第二〇號第一條 |
| (二)地盤の變動又は交通の障碍等に因り營業の狀況容易に回復し難き地方の宅地 | 同 | 同上 | 同上 | 同上 |
| (三)水路若は溜池の破壞又は井戶の湧水涸渴等に因り灌漑又は排水の便を失し收穫を減損するに至りたる田畑 | 田畑租 | 大正十二年より五年以內 | 同上 | 同上 |
| (四)地下の變動等に因り水持を害し又は濕地となり收穫を減損するに至りたる田畑 | 同 | 同上 | 同上 | 同上 |
| (五)其の他震災に因り著しく利用を妨げられたる土地 | 地租 | 同上 | 同上 | 同上 |

## （二）徵收猶豫

| 被害狀況又は要件 | 種別 | 年度區分 | 猶豫期間 | 備考 | 根據法令 |
|---|---|---|---|---|---|
| （一）震災に因り又は震災に因るの損害に基き納稅者の所有する宅地又は山林の價格が著しく減少したとき | 地租 | 大正十二年分 | 大正十二年十二月三十一日まで | 時價の減少の程度を參酌して相當と認むる額 | 二第六一正大號四一條 |
| （二）震災に因り荒地となりたるとき又は震災に因り收穫皆無となりたるとき | 地租 | 大正十二年分 | 大正十二年十二月三十一日まで | 收穫なきの程度を參酌して相當と認むる額 | 二第六一正大號四一條 |
| （三）震災に因る被害激甚にして別に指定（大正十二年大藏省告示第一五號）する市區町村內の宅地 | 地租 | 大正十二年分 | 大正十二年十二月三十一日まで | 震災に因る被害の程度を參酌して相當と認むる額 | 二第六一正大號四一條 |
| （四）震災に因り地租名寄帳の滅失したる市區町村內の土地 | 地租 | 大正十三年第一期 | 大正十三年六月三十日まで | 震災に因る被害の程度を參酌して相當と認むる額 | 二第六一正大號四一條 |
| （五）震災當時納付未濟に係る宅地租 | 地租 | 大正十三年第一期 | 大正十三年六月三十日まで | 震災に因る被害の程度を參酌して相當と認むる額 | 二第六一正大號四一條 |
| （六）震災に因り土地の現況又は地租申請（大正十一年法律第四十二號震災ある一利用を缺けたる分） | 地租 | 大正十一年及十二年 | 大正十三年十二月三十一日まで | 震災に因る被害の程度を參酌して相當と認むる額 | 二第六一正大號四一條 |

以上の諸規定に基き震災被害地に對して行はれたる處分の實蹟を掲ぐれば左の如し。

### （一）震災被害地免租額表

| 地目 | 價額 | 免租額 | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 大正十二年分 | 同十三年分 | 同十四年分 | 同十五年分 | 昭和二年分 | 合計 | |
| 雜種地 | 三、九三〇、九五四円 | 二、六八二円 | 七、〇〇二、六四二円 | 二、七〇、六二円 | 八、三七九円 | 六、五三四円 | 三、四一、七四四円 | |
| 宅地 | 三五、三三四 | 一、六九二 | 一、四〇一 | 九六二 | 一三五 | 八四 | 三、四九七 | |
| 畑 | 一、一三、三六五 | 一、三三、六五〇 | 三、三三、六五〇 | 一〇、六三七 | 一、四三五 | 一、一 | 三、一四、六七七 | |
| 田 | 三五 | 三 | 三 | 三 | 一 | 一 | 九 | |
| 合計 | 九三、〇〇三、六八 | 一、一九一、四三五 | 二、三九三、六五〇 | 三、六八、六 | 八、五三六 | 六、六三四 | 三、六九、六七四 | |

### （二）震災被害免租年期地表

| 府縣 | 田 | | | 畑 | | | 宅地 | | | 合計 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 段別 | 地價 | 筆數 | 段別 | 地價 | 筆數 | 段別 | 地價 | 筆數 | 段別 | 地價 | 筆數 |
| 在現日一月一年四十正大 | | | | | | | | | | | | |
| 東京 | 一・六 | 七、九 | 六〇 | 〇・〇五 | 二 | 一 | — | — | — | 一・七 | 七、三 | 六二 |
| 神奈川 | 三、三〇・三五 | 四、一四四 | 五、三三 | 〇・九 | 一四四 | 七 | 二、三五、六 | 六、四三、三四 | 三、七 | 四、七三、九五 | 六、四七、三四 | 五、四七 |
| 千葉 | 一四・五 | 四、一五三 | 三九 | 八・〇二 | 一、三四四 | 一四 | 三九、一六 | 二九、三五 | 三六、七一 | 四、三六、七 | 三九、八三 | 四、三六 |
| 埼玉 | 一、三四四・二九 | 四五、四六 | 三、九 | 一、三四四 | 四五、三五 | 三、九 | 三九、三五 | 一、三四、〇四四 | 三、六六 | 一、三四、八五 | 一、三四、三五 | 三、六〇 |
| 茨城 | 三〇、八五 | 三、四四 | 三、六 | 七、三五 | 八、四四 | 六 | 七七、三五 | 八、四四、三四 | 五、六六 | 七九、三五 | 八、四四、三四 | 五、六七 |
| 栃木 | 三、四四・四六 | 一、三四、三五 | 一、一四 | 三、四四・四六 | 一、三四、三五 | 一、一四 | 一、一四、三五 | 四、四五、四六 | 一、一四 | 四、四五、四六 | 四、四五、四六 | 一、一四 |
| 群馬 | 一、一四・三五 | 四五、四六 | 一、一四 | 一、一四・三五 | 四五、四六 | 一、一四 | 一、一四、三五 | 四五、四六 | 一、一四 | 一、一四・三五 | 四五、四六 | 一、一四 |
| 山梨 | 一、一四・三五 | 四五、四六 | 一、一四 | 一、一四・三五 | 四五、四六 | 一、一四 | 一、一四、三五 | 四五、四六 | 一、一四 | 一、一四・三五 | 四五、四六 | 一、一四 |
| 計 | 一〇、一三・四一 | 三、六、七三 | 一、一三、三五 | 一〇、一三・四一 | 三、六、七三 | 一、一三、三五 | 一〇、一三、四一 | 三、六、七三 | 一、一三、三五 | 一〇、一三・四一 | 三、六、七三 | 一、一三、三五 |

| 十五年一月一日現在 | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 神奈川 | 一、三二二・八九 町畝 | 六五八、九七二 円 | 二一、一一九 | 〇・九六 町畝 | 二四四 円 | 七 | 六六・九〇 町畝 | 三五七、三六二 円 | 二、二五七 | 一、三八〇・七五 町畝 | 一、〇一六、五七八 円 | 二三、三八三 |
| 埼玉 | 〇・九三 | 二二一 | 三九 | 四・三〇 | 六四〇 | 一〇六 | — | — | — | 五・二三 | 八六一 | 一四五 |
| 千葉 | 六二九・六五 | 二〇三、七二八 | 一〇、二五六 | 二・三四 | 二五七 | 四七 | 七・八九 | 一六、九三〇 | 六一二 | 六三九・八八 | 二二〇、九一五 | 一〇、九一五 |
| 山梨 | 三二〇・〇八 | 八九、九七〇 | 七、四五二 | 一二九・一六 | 一九、九三〇 | 三、九五二 | — | — | — | 四四九・二四 | 一〇九、九〇〇 | 一一、四〇四 |
| 計 | 二、二六五・二一 | 九五三、六一〇 | 三八、九二六 | 一三六・八一 | 二一、〇八二 | 四、一一三 | 七四・七九 | 三七四、二九二 | 二、八六九 | 二、四七六・八一 | 一、三四八、九八四 | 四五、九〇八 |
| 昭和二年一月一日現在 | | | | | | | | | | | | |
| 神奈川 | 一、二六七・〇五 | 六三六、〇四三 | 二〇、二二六 | — | — | — | — | — | — | 一、二六七・〇五 | 六三六、〇四三 | 二〇、二二三 |
| 埼玉 | 〇・〇五 | 二五 | 一 | 〇・〇九 | 一三 | 三 | — | — | — | 〇・一四 | 三八 | 四 |
| 千葉 | 四一・七一 | 一一、八八六 | 五二六 | — | — | — | — | — | — | 四一・七一 | 一一、八八六 | 五二六 |
| 山梨 | 五七・二四 | 一二、九六一 | 九六七 | 二六・一七 | 三、五九七 | 一、一一四 | — | — | — | 八三・四一 | 一六、五五八 | 二、〇八一 |
| 計 | 一、三六六・〇五 | 六六〇、九一五 | 二一、七二〇 | 二六・二六 | 三、六一〇 | 一、一一七 | — | — | — | 一、三九二・三一 | 六六四、五二五 | 二三、八三七 |

## （三）地租徵收猶豫額表

| 田租 | 畑租 | 宅地租 | 雜地租 | 合計 |
|---|---|---|---|---|
| 七一、六二一 円 | 二二、七四七 円 | 一、二〇四、二四六 円 | 二、五七四 円 | 一、三〇一、一八八 円 |

（備　考）大正十二年勅令第四三三號に依る徵收猶豫額を揭ぐ。

尙以上の免租額の外、大正十三年法律第四號公布前に於て、大正三年法律第一號災害地地租免除法に據りて震害地地租免除の處分を爲せるものあり。其の額左の如し（畑租免除の事實なし）。

| 地目 | 人員 | 筆數 | 段別 | 地價 | 地租 |
|---|---|---|---|---|---|
| 田 | 一、三一九 | 七、八三六 | 三、三三六 段 | 一〇三、〇一四 円 | 四、六三五 円 |

又震災の結果地租條例第二十條の規定に依り荒地免租年期を賦與せられしものは左の如し。

| 地目 | 筆數 | 段別 | 地價 | 地租 |
|---|---|---|---|---|
| 田 | 三六、六七七 | 二一、五三六 段 | 七八三、六一三 円 | 三五、二六二 円 |
| 畑 | 一八、三三八 | 一七、二六八 | 一五五、四三三 | 六、九九四 |
| 宅地 | 二、二一六 | 一、三八七 | 一四八、〇〇二 | 三、七〇〇 |
| 雜地 | 三、五八五 | 一一、一七六 | 七、七五六 | 四二六 |
| 合計 | 六〇、八一六 | 五一、三六七 | 一、〇九四、八〇四 | 四六、三八二 |

（備　考）一、年期別數額不明なり。
二、地租は地價に稅率を乘じたる一箇年分地租額とす。

# 第六款　大正末年の地租

## 第一項　地租制度の改正

大正十三年六月加藤（高）內閣成立するや、同內閣は多年の懸案に係る稅制の一大整理を實行せんことを企圖し、翌十四年四月大藏省內に稅制調査會を設置して之が調査に當らしめしが、同調査會は爾來銳意調査の步を進めし結果、同年八月末に至り國稅・地方稅に亙る整理案の大綱を決定し、更に引續き之が具體的實行案を作成せしを以て、政府は之に基き翌大正十五年一月第五十一回帝國議會に於て、稅制整理に關する各種法律案を提出したり。今其の中地租に關する整理案の要綱を揭ぐれば左の如し。

（一）地租委讓は實行困難なるを以て、地租は之に相當の改善を加へたる上依然國稅として存置せしむること。

（二）地租負擔の公平を期する爲め地租の課稅標準を總て賃貸價格に改むること。

（三）賃貸價格の調査は大正十五年四月より著手し、大正十六年十二月迄に之を完了し、大正十七年度分より之に依り地租を徵收すること。

（四）賃貸價格を決定する迄の田畑の地租は現行稅率百分の四·五を百分の三·五（北海道は現行百分の三·二を百分の二·五）に低減して徵收すること。

（五）前項期間中は納稅者が住所地市町村內に於て所有する田畑の地價二百圓未滿（家族の分は合算）なる場合は、其の田畑の地租を免除すること。

（六）賃貸價格決定後に於ける地租の稅率は、賃貸價格決定の時に於ける現在地租額を超過せざる範圍內に於て適當に定むること。

（七）改正地租の免稅點は賃貸價格調査の結果に依り適當に之を定むること。

（八）賃貸價格調査の結果地租の稅率及免稅點を決定するに至りたるときは、新地租法を立案して議會に提出すること。

（九）右整理に因る地租減收見込額は左の如し。

| 種別 | | 大正十五年度（改正初年度）分 | | | | 平年度分 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 地價二百圓未滿免稅に因る減額 | 稅率低減に因る減額 | 計 | | 地價二百圓未滿免稅に因る減額 | 稅率低減に因る減額 | 計 | |
| 田 | 北海道 | 四、三二五 | 六、〇六五 | 一〇、三八〇 | | 七、九二一、四二三 | 一三、一三〇 | 二〇、七六〇 | |
| | 內地 | 五、九三一、四二九 | 六、二四九、一七六 | 一二、一八〇、五八五 | 円 | 一四、〇一八、五五三 | 一八、八六〇 | 三二、一八〇、五八五 | 円 |
| 畑 | 北海道 | 四、〇八〇、九三一 | 一、三〇九、九三三 | 五、三九〇、八三五 | | 一四、一四三、三一〇 | 四、五二〇 | 一八、六六三、三一〇 | |
| | 內地 | 九、二四五、六四七 | 七、五二七、一九四 | 一七、四六二、八四一 | 円 | 二一、九二一、三四五 | 二三、四四〇 | 四五、三六二、八四一 | 円 |
| 合計 | 北海道 | 六六、五九四 | 四一、八八五 | 一〇八、四七九 | | 一三三、三八七 | 八三、七八〇 | 二一七、一六七 | |
| | 內地 | 一〇、〇二三、三四一 | 七、五五九、〇七九 | 一七、五七一、四二〇 | 円 | 二三、〇五四、七三一 | 一六、三四七、七二一 | 三九、四〇二、四五二 | 円 |

（備考）一、土地の異動に依る增減租額を差引きたるものを揭上す。

二、伊豆七島分は本表には之を除外す。

三、大正十五年度に在りては、田租に就ては、平年度に比し、內地分四分の三、北海道分二分の一、畑租に就ては內地分全年分、北海道分二分の一を計算せり。

右の如く地租に免稅點を設定することと爲すの結果は、免稅點以下の土地に對する地租附加稅は當然消滅し、爲に地方歲入に缺陷を生ずるに至るべきを以て、整理案に於ては右の地租附加稅に代るべき財源を與ふる趣旨を以て、新に府縣稅として特別地稅を設定し、左の如き要領に依り免稅點以下の土地に對し、他の一般土地の地租附加稅と同一程度迄課稅することと爲したり。

（一）田畑地價合計二百圓未滿（國稅地租免稅點）の者に對して府縣稅として特別地稅を課すること。

（二）納稅義務者及課稅標準は地租と同一とすること。

（三）稅率は北海道に在りては地價百分の三·七以內、府縣に在りては地價百分の二·六以內、府縣稅特別地稅に對し其の賦課制限の百分の八十以內の附加稅の賦課を市町村に許すこと。

（四）府縣稅特別地稅に對し其の賦課制限の百分の

以上の如き整理の要綱に從ひ政府が第五十一回帝國議會に提出したる地租關係法律案は、地租條例中改正法律案・明治三十七年法律第十二號（地租徵收に關する件）中改正法律案・土地賃貸價格調査法案・地方稅制限に關する法律中改正法律案・地方稅に關する法律案の五法案なりとす。然るに右政府提出案に對しては衆議院に於て頗る異論を生じ、政黨各派は夫々自己の主張に基き獨自の整理案を立て、之を議會に提出したり。卽ち先づ立憲政友會は整理の根本方針に於て政府案と意見を異にし、國稅・地方稅を通じて稅制の一般的改革を行はんとするに當りては、重きを地方稅に置きて整理方針を立てざるべからずと爲し、其の年來の主張に基き地租を市町村に委讓すべきことを唱へ、此の方針に從ひ同黨所屬議員山本悌二郎外十三名は市町村稅地租法案及市町村稅地租法の施行に關する法律案を提出したり。今其の要綱を揭ぐれば左の如し。

（一）地租は國より地方に委讓し、之を市町村稅とすること。

（二）地租の課稅標準は土地の賃貸價格とすること。

（三）土地の賃貸價格は各市町村に於ける土地賃貸價格調査委員會の議決に依り、地方長官の認可を經て市町村長之を決定すること。

（四）地方長官は各市町村の土地賃貸價格に關する市町村位を定め、前項認可の基準とすること。

（五）土地の賃貸價格は大正十七年一月一日現在に依り之を決定し、大正十七年分地租より之を適用すること。

（六）地租委讓は大正十六年分地租より實行し、前項の賃貸價格決定に至る迄は從前の地價に依り地租を徵收すること。

（七）地租の租率は各地目を通じ均一とし、當分の內各市町村に於て土地に賦課したる大正十五年分地租及市町村附加稅の合計額以內に於て之を定むること。

（八）北海道及府縣は勅令の定むる所に依り地租に附加稅を課するを得ること。

（九）地租の納稅義務者及賦課免除、其の他土地の異動に關しては、大體地租條例の規定に準ずること。

（一〇）地租條例は大正十六年一月一日より之を廢止すること。但し大正十五年分以前の地租の徵收に關しては仍從前の例に依るべきこと。

而して右地租委讓案提出の理由として擧げらるゝ所は（一）地方團體に獨立の財源を與へ、地方分權の實を擧ぐるの要あること（二）地租を財源として地方財政を整理せしむるの要あること（三）地租は國稅としては不適當なること（四）地租の課稅標準たる土地賃貸價格の調査決定は、國に於て之を爲すより も、市町村の如き地方の實情に通じたるものをして、小區域に於て行はしむる方比較的完全なるを得べきこと（五）地租を委讓することに依りて、從來の地租と其の附加稅とを合したる額より適當なる輕減を行はしむると共に、社會政策的見地より地方稅中最も負擔の重き市町村戶數割家屋稅の各附加稅を輕減せしむることを得ること等にして、此の地租委讓の結果生ずべき國庫の歲入缺陷約七千四百萬圓は、之を關稅の增徵竝に震災善後費充當の普通財源を公債支辨に振替ふることに依り補塡すべしと主張したり。而して立憲政友會提出の右案に於ては、財政の現狀に鑑み之が實行を他日に期するを適切と爲せしに依るものにして、又地租委讓後の國稅體系に於て地租に代りて所得稅を補完すべき租稅に關しては、提案者は其の具體的方策を明示することなく唯租稅體系は國稅・地方稅を通じて脈絡を保つを以て足ると說明したり。

次に政友本黨は上述の如き地租委讓案に對しては反對の意を表すると共に、差向き應急的の整理を行ふの趣旨を以て地租條例に改正を加ふることとと爲し、同黨所屬議員床次竹二郎外二十三名は之に關する法律案を提出したり。卽ち其の要領は(一)自作農保護の趣旨を以て自作田畑の地租を免除すること(二)永小作權者の負擔する地租も同樣の趣旨に依り之を免除すること等の諸點にして、之と同時に地方財政の窮乏を緩和する爲め、他方に於て市町村義務教育費國庫負擔額を四千萬圓增額（政府提出案は二千萬圓增額）して八千萬圓（政府案は六千萬圓）と爲す法律案を提出したり。

以上政府竝に議員提出に係る諸法律案は、一括して之を衆議院に於ける特別委員の審議に付せられしが、委員會は愼重なる審議を加へし後、政府提出に係る地租條例中改正法律案に對して二個の點に於て修正を加へたり。卽ち其の一は田畑租の現行率地價百分の四·五（北海道百分の三·二）より一分を減じて百分の三·五（北海道二·五）と爲すの條項を削除せんとするものにして、之れ義務教育費國庫負擔增額を政府原案より更に一千萬圓增加することに決せし爲め、之に要する財源に充當せんが爲め田畑地租一分減の計畫を中止せんとするものなり。修正の第二點は地租の免稅點設定に關する條項の修正なり。卽ち政府原案は地租條例中改正法律案中新に第十三條ノ二として『前條ノ規定ニ依リ地租ヲ納ムヘキ者（法人ヲ除ク）ノ同一市町村內ニ於ケル田畑地價ノ合計金額其ノ同居家族ノ分ト合算シ二百圓未滿ナルトキハ其ノ田畑ノ地租ヲ徵收セス但シ其ノ住所地以外ノ市町村ニ於ケル田畑ニ付テハ此ノ限ニ在ラス』なる條項を設け、田畑の地租に免稅點を設定することと爲せしが、此の免稅點設定の目的とする所は、之に依り主として小地主たる自作農の負擔の輕減を圖り、以て之が維持創設を助成せんとするに在りしものなり。蓋し右の規定に依れば小地主が偶〻他町村に於て所有し自作せる土地は免稅を受けざることとなると同時に、他面住所地の市町村に於ける地價二百圓未滿の田畑は、假令小作に付する場合と雖も尙免稅せらるることとなり、理論上自作農保護の趣旨を貫徹せざるの憾を存すと雖も、同一人の全國に於ける所有田畑に就き現實自作せるや否やを調査して、地租の免否を決するは實行上甚だ困難なるを以て、政府は大體に於て自作農免稅の目的を達することを得べき簡明なる方法として、右の如き規定を設けしなり。然るに衆議院に於ては前述の如く政友本黨所屬議員よりも地租條例中改正法律案を提出し、同條例中第十三條ノ二として『田畑ヲ主トシテ其所有者又ハ之ト世帶ヲ同フスル者ニ依リ耕作セラルルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ其地租ヲ徵收セス』（第一項）『前項ニ於テ世帶ト稱スルハ住居及家計ヲ共ニスル戶主家族ヲ謂フ』（第二項）『本法施行前ノ永小作權者ニシテ地租ヲ負擔スル者ハ第一項規定ノ適用ニ付テハ之ヲ所有ト看做ス』（第三項）なる條項を設くることに依り、地價の限度に據らずして總ての自作農及永小作權者を免稅することを主張したり。茲に於て衆議院の特別委員會は此等兩案に就き審議の結果、遂に政府案を修正して、住所地の市町村の外、其の隣接市町村に於ける自作農の田畑に就ても地租を免除することと爲すと同時に、別に永小作權者を自作農と同一に見做して免除することに關する單行の法律案を、衆議院より同議會に提出することに決したり。地租條例の改正案に對して以上の修正を加へたる外は、委員會は前述田畑地租一分減中止に伴ひ、地方稅制限に關する法律の改正案中地租附加稅に關する字句を削除せしのみにて、其の他の政府提出諸法律案は總て原案通り可決し、同時に議員提出に係る諸法律案中政友會所屬議員提出の市町村稅地租法案及其の施行に關する法律案の兩者は之を否決し、又政友本黨所屬議員提出の地租條例中改正法律案は、政府提出案を右の如く修正可決せし結果、之が議決を要

せざるものと決定したり。

衆議院本會議に於ては右特別委員會の決定通り政府提出地租關係諸法律案を可決すると共に、衆議院提出に係る永小作權者に對する地租免除に關する法律案を可決し、尋いで貴族院亦此等各法律案を可決せしを以て、各法律は何れも大正十五年三月を以て公布せられたり。今此等の地租關係法律中土地賃貸價格調査法に就ては、別項に於て之を詳述すべきを以て玆には之を省略し、左に其の他の諸法律の全文竝に地方稅に關する法律中特別地稅に關する條項を揭載すべし。尙左記條例中改正法律中第四條に關する改正は、郡制の廢止竝に軌道法の制定實施に伴ふ法文の整理に過ぎざるものなり。而して永小作權者に對する地租免除に因る地租の減收額に就ては、當時正確なる調査を存せざる爲め不明なるも、政府の概算に依れば總額二萬圓を超えざる見込なりとす。

**（一）地租條例中改正法律**

法律第六號（大正十五年三月二十七日）

地租條例中左ノ通改正ス

第四條中「郡」及第三項ヲ削ル

第十三條ノ二　前條ノ規定ニ依リ地租ヲ納ムヘキ者（法人ヲ除ク）ノ住所地市町村及其隣接市町村内ニ於ケル田畑地價ノ合計金額其同居家族ノ分ト合算シ二百圓未滿ナルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ其田畑ノ地租ヲ徵收セス但小作ニ付シタル田畑ニ付テハ此限ニ在ラス

附　則

本法ハ大正十五年分地租ヨリ之ヲ適用ス



**（二）明治三十七年法律第十二號（地租徵收ニ關スル件）中改正法律**

法律第七號（大正十五年三月二十七日）

明治三十七年法律第十二號中左ノ通改正ス

第三條ノ二　市町村ハ前條ノ報告ト同時ニ地租條例第十三條ノ二ノ規定ニ依リ地租ヲ徵收セサル田畑ノ地價ヲ所轄收稅官廳ニ報告スヘシ

附　則

本法ハ大正十五年分地租ヨリ之ヲ適用ス

**（三）舊慣ニ依リ永小作權者カ地租額負擔ヲ約シタル田畑ノ地租免除ニ關スル法律**

法律第四十七號（大正十五年三月三十一日）

民法施行前ヨリ引續キ存スル永小作權ニ付其ノ設定ノ當時舊來ノ慣行ニ依リテ小作料支拂ノ外當該田畑ノ地租ノ全額ヲ永小作權者ニ於テ負擔スルコトヲ約シタル田畑ニ關シ地租條例第十三條ノ二ノ規定ノ適用ニ付テハ命令ノ定ムル所ニ依リ永小作權者ヲ所有者ト看做ス

附　則

本法ハ大正十五年分地租ヨリ之ヲ適用ス

**（四）地方稅ニ關スル法律**

法律第二十四號（大正十五年三月二十七日）（抄錄）

第一條　北海道、府縣ハ本法ニ依リ特別地稅、家屋稅、營業稅及雜種稅ヲ賦課スルコトヲ得

第二條　特別地稅ハ地租條例第十三條ノ二ノ規定ニ依リテ地租ヲ徵收セサル田畑ニ對シ地租條例第一條ノ地價ヲ標準トシテ之ヲ賦課ス

特別地稅ノ徵收ニ關シテハ地租條例第十三條ノ規定ヲ準用ス

第三條　特別地稅ノ賦課率ハ北海道ニ在リテハ地價百分ノ二・六以內、府縣ニ在リテハ地價百分ノ三・七以內トス

特別地稅ニ對シ市町村其ノ他ノ公共團體ニ於テ賦課スヘキ附加稅ノ賦課率ハ前項ニ規定スル制限ノ百分ノ八十以內トス

第四條　府縣費ノ全部ノ分賦ヲ受ケタル市ハ第二條ノ例ニ依リ地價百分ノ二・九ノ外其ノ分賦金額以內ニ限リ前條第一項ニ規定スル制限ニ達スル迄特別地稅ヲ賦課スルコトヲ得

北海道地方費又ハ府縣費ノ一部ノ分賦ヲ受ケタル市町村ハ前條第二項ニ規定スル制限ノ外其ノ分賦金額以內ニ限リ特別地稅附加稅ヲ賦課スルコトヲ得但シ北海道、府縣ノ賦課額ト市町村ノ賦課額トノ合算額ハ前條第一項ニ規定スル制限ヲ超ユルコトヲ得ス

第五條　特別地稅又ハ其ノ附加稅ト段別割トヲ併課スル場合ニ於テハ段別割ノ總額ハ第三條又ハ前條ノ規定ニ依リテ其ノ地目ノ土地ニ對シ賦課シ得ヘキ制限額ト特別地稅額又ハ其ノ附加額トノ差額ヲ超ユルコトヲ得ス

第六條　特別地稅又ハ其ノ附加稅ノ賦課カ第三條乃至前條ニ規定スル制限ニ達シタル場合ニ非サレハ明治四十一年法律第三十七號第五條ノ規定ニ依ル地租、營業收益稅又ハ所得稅ノ附加稅ノ制限外課稅ヲ爲スコトヲ得ス

特別地稅又ハ其ノ附加稅ト段別割トヲ併課シタル場合ニ於テ一地目ニ對スル賦課カ前條ニ規定スル制限ニ達シタルトキハ前項ノ規定ノ適用ニ付テハ特別地稅又ハ其ノ附加稅カ制限ニ達シタルモノト看做ス

第七條　特別ノ必要アル場合ニ於テハ內務大臣及大藏大臣ノ許可ヲ受ケ第三條乃至第五條ニ規定スル制限ヲ超過シ其ノ百分ノ十二以內ニ於テ特別地稅又ハ其ノ附加稅ヲ課賦スルコトヲ得

左ニ揭クル場合ニ於テハ特ニ內務大臣及大藏大臣ノ許可ヲ受ケ前項ニ規定スル制限ヲ超過シテ課稅スルコトヲ得

一　內務大臣及大藏大臣ノ許可ヲ受ケテ起シタル負債ノ元利償還ノ爲費用ヲ要スルトキ

二　非常ノ災害ニ因リ復舊工事ノ爲費用ヲ要スルトキ

三　水利ノ爲費用ヲ要スルトキ

四　傳染病豫防ノ爲費用ヲ要スルトキ

前二項ノ規定ニ依リ制限ヲ超過シテ課稅スルハ營業收益稅及所得稅ノ附加稅ノ賦課カ明治四十一年法律第三十七號第二條及第三條ニ規定スル制限ニ達シタルトキニ限ル

第八條　特別地稅及其ノ附加稅ノ賦課率ハ當該年度ノ豫算ニ於テ定メタル田畑ニ對スル地租附加稅ノ賦課率ヲ以テ算定シタル地租附加稅額ノ當該田畑ノ地價ニ對スル比率ヲ超ユルコトヲ得ス

附　則

本法ハ大正十五年度分ヨリ之ヲ適用ス但シ家屋稅營業稅及雜種稅其ノ附加稅竝戶數割ニ關スル規定ハ大正十六年度分ヨリ之ヲ適用ス

明治十三年第十六號布告及同年第十七號布告ハ大正十五年度分限リ之ヲ廢止ス

第六條及第七條中營業收益稅トアルハ大正十五年度分特別地稅及其ノ附加稅ニ付テハ國稅營業稅トス

右の如く地租條例の改正竝に永小作權者に對する地租免除の法律の制定せられしに伴ひ、地租條例施行規則中にも改正追加を要する點を生ぜしを以て、同年五月勅令第百三十九號を以て左の如く改正勅令を公布せられたり。

勅令第百三十九號（大正十五年五月三十一日）

地租條例施行規則中左ノ通改正ス

第十七條　大正十五年法律第四十七號ニ規定スル永小作權者ニシテ地租條例第十三條ノ二ノ規定ノ適用ヲ受ケムトスルモノハ毎年六月中ニ左ノ事項ヲ田畑所在ノ市町村長ニ屆出ツヘシ

一　永小作權ノ目的タル田畑ノ番號、地目、段別及地價

二　田畑所有者ノ住所氏名

三　永小作權設定年月日

前項ノ屆出期間經過後新ニ地租條例第十三條ノ二ノ規定ニ該當スルニ至リタル場合ニ於テハ次ノ納期開始前ニ於テ前項ノ屆出ヲ爲スヘシ

市町村長ニ於テ必要アリト認ムルトキハ第一項又ハ前項ノ屆出ヲ爲シタル者ニ對シ永小作權ノ設定ヲ證明スヘキ證書其ノ他必要ナル書類ノ呈示又ハ提出ヲ求ムルコトヲ得

第一項又ハ第二項ノ屆出ヲ爲シタル永小作權者ハ當該田畑ニ關シ地租條例第十三條ノ二ノ規定ノ適用ニ付テハ之ヲ所有者ト看做ス

第十八條　田畑ニ付地租ヲ納ムヘキ者（前條ノ規定ニ依リ所有者ト看做サレタル永小作權者ヲ含ム）ニシテ地租條例第十三條ノ二ノ規定ノ適用ヲ受ケムトスルモノハ毎年六月中（鹿兒島縣大島郡及沖繩縣ニ在リテハ三月中）ニ當該田畑各筆ノ番號及地目ヲ記載シ住所地ノ市町村長ヲ經由シ稅務署長ニ申請スヘシ但シ其ノ住所地及隣接市町村內ニ於ケル其ノ者ノ田畑ノ全部ニ付申請ヲ爲ス場合ニ於テハ各筆ノ記載ヲ省略スルコトヲ得

前項ノ申請期間經過後新ニ地租條例第十三條ノ二ノ規定ニ該當スルニ至リタル田畑ニ付テハ次ノ納期開始前ニ於テ前項ノ申請ヲ爲スコトヲ得

第十九條　市町村長ハ其ノ市町村內ノ田畑ニ付地租ヲ納ムヘキ者ノ住所カ隣接市町村內ニ在ルトキハ各人別田畑ノ地價合計金額ヲ前條第一項ノ申請期間內ニ其ノ住所地ノ市町村長ニ通知スヘシ

前項ノ通知事項ニ異動ヲ生シタルトキハ田畑地租ノ各納期開始前之ヲ住所地ノ市町村長ニ通知スヘシ

第二十條　隣接市町村內ノ田畑ニ付第十八條ノ申請アリタル場合ニ於テ申請者ノ住所地市町村及其ノ隣接市町村內ニ於ケル田畑地價ノ合計金額其ノ同居家族ノ分ト合算シ二百圓未滿

ナルトキハ住所地ノ市町村長ハ其ノ旨田畑所在ノ市町村長ニ通知スヘシ

前項ノ通知事項ニ異動ヲ生シタルトキハ田畑地租ノ各納期開始前之ヲ田畑所在ノ市町村長ニ通知スヘシ

第二十一條　市町村長ハ其ノ市町村內ノ田畑ニ付第十八條ノ申請又ハ前條ノ通知アリタルトキハ地租條例第十三條ノ二ノ規定ニ依リ地租ヲ徵收セサル田畑ヲ調査シ之ヲ稅務署長ニ報告スヘシ

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

田畑地租ノ納期ハ六月一日ヨリ開始スル地方ニ在リテハ大正十五年六月一日ニ於ケル田畑地租ノ納稅義務者ハ大正十五年ニ限リ第十八條第一項ノ申請ヲ爲シタルモノト看做ス

尙市町村稅地租法案竝に之が施行に關する法律案は前述の如く第五十一回帝國議會に於て否決せられ、成立するに至らざりしものなりと雖も、右は立憲政友會多年の宿論たる地租委讓論を具體化せしものなるのみならず、昭和年間に至りて再び擡頭せる地租委讓計畫と相關聯して、極めて密接なる關係を有するものなるを以て、參考の爲め左に其の全文を揭ぐべし。

市町村稅地租法案

第一條　市町村ハ本法ノ定ムル所ニ依リ其ノ市町村內ノ土地ニ付地租ヲ賦課スルコトヲ得

第二條　左ニ揭クル土地ニ付テハ地租ヲ課スルコトヲ得ス但シ第一號及第二號ヲ土地ニ付テハ所有者以外ノ者ニ於テ之ヲ使用收益スルトキ其ノ土地ニ對シ地租ヲ課スルハ此ノ限ニ在ラス

一　國、北海道府縣、市町村其ノ他勅令ヲ以テ指定スル公共團體ニ於テ公用又ハ公共ノ用ニ供スル土地

二　北海道府縣市町村其ノ他勅令ヲ以テ指定スル公共團體カ公用又ハ公共ノ用ニ供スヘキモノト定メタル其ノ所有地但シ命令ノ定ムル期間內ニ公用又ハ公共ノ用ニ供セサルトキハ此ノ限ニ在ラス

三　府縣社地、鄉村社地、招魂社地但シ有料借地ハ此ノ限ニ在ラス

四　墳墓地

五　用惡水路、溜池、堤塘、井溝

六　鐵道用地、軌道用地、運河用地

七　保安林

八　公衆ノ用ニ供スル道路

九　勅令ヲ以テ指定スル私立學校用地但シ有料借地ハ此ノ限ニ在ラス

軌道用地ノ區域ニ關シテハ地方鐵道法第十五條ノ規定ヲ準用ス

第三條　地租ハ土地ノ賃貸價格ヲ課稅標準トシ各地目均一ノ稅率ニ依リ每年之ヲ賦課ス

第四條　土地ノ賃貸價格ハ貸主カ公課、修繕費其ノ他土地ノ維持ニ必要ナル經費ヲ負擔スル條件ヲ以テ之ヲ賃貸スル場合ニ於テ貸主ノ收得スヘキ金額ニ依リ之ヲ算定ス

第五條　土地ノ賃貸價格ハ各市町村ニ於ケル土地賃貸價格調查委員會ノ議決ニ依リ地方長官ノ認可ヲ經テ市町村長之ヲ決定ス

左ノ場合ニ於テハ市町村會ノ議決ニ依リ地方長官ノ認可ヲ經テ市町村長ニ於テ土地ノ賃貸價格ヲ決定ス

一　調查委員會成立セサルトキ

二　調查委員會ノ調查ニ付シタル日ヨリ三十日以內ニ調查終了セサルトキ

土地賃貸價格調查委員及調查委員會ニ關スル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第六條　地方長官ハ命令ノ定ムル所ニ依リ道府縣內各市町村ノ土地賃貸價格ニ關スル市町村位ヲ決定スヘシ」

第五條第一項及第二項ノ規定ニ依ル土地ノ賃貸價格ノ決定ニ關スル認可ハ前項ノ市町村位ニ準據スルコトヲ要ス

第七條　土地ノ賃貸價格ハ左ノ場合ニ該當スルニ非サレハ之ヲ修正セス

一　地目又ハ地類ヲ變換シタルトキ

二　開墾シタルトキ

三　開拓鍬下年期明ニ至リタルトキ

四　荒地免租年期明ニ至リ原賃貸價格ニ復シ難ク若ハ他ノ地目ニ變シタルトキ又ハ賃貸價格低減年期明ニ至リ原賃貸價格ニ復シ難キトキ

第八條　免租地ノ有租地ト爲ルニ至リタルトキハ其ノ地ムル所ニ依リ免租年期ノ許可ヲ與ヘタル土地ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第九條　地類ヲ變換シ又ハ地目ヲ變換シタルトキハ直ニ其ノ賃貸價格據置年期ノ許可ヲ與ヘタル土地ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

開墾地ハ開墾成功ノトキ其ノ賃貸價格ヲ修正ス但シ命令ノ定ムル所ニ依リ鍬下年期ノ許可ヲ與ヘタル土地ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第十條　命令ノ定ムル所ニ依リ新開免租年期賃貸價格据置年期鍬下年期ノ許可ヲ與ヘタル土地ニ對シテハ年期明ト爲リタルトキ其ノ賃貸價格ヲ定メ又ハ修正ス

命令ノ定ムル所ニ依リ荒地免租年期又ハ賃貸價格低減年期ノ許可ヲ與ヘタル土地ニ付テハ賃貸價格ニ復シ難キモノ又ハ年期明ニ至リ原地目ニ復セス他ノ地目ニ變換スルモノハ其ノ際賃貸價格ヲ修正ス

第十一條　第八條乃至第十條ニ依ル賃貸價格ノ決定又ハ修正ニ付テハ第五條ノ規定ニ拘ラス市町村長ニ於テ近傍類地ニ比準シテ其ノ賃貸價格ヲ決定又ハ修正スルコトヲ得

第十二條　地租ハ左ノ者ニ之ヲ賦課ス

一　質權ノ目的タル土地ニ付テハ質權者

二　百年ヨリ長キ存續期間ノ定アル地上權ノ目的タル土地ニ付テハ地上權者

三　其ノ他ノ土地ニ付テハ所有者

前項ニ於テ質權者、地上權者所有者ト稱スルハ土地臺帳ニ質權者、地上權者、所有者トシテ登錄セラレタル者ヲ謂フ

第十三條　開墾地開拓地新開地及荒地ニ付テハ命令ノ定ムル所ニ依リ地租ヲ減免スルコトヲ得

地目ヲ變換スル爲開墾ニ等シキ勞費ヲ要スルモノハ開拓地ニ準スル取扱ヲ爲スコトヲ得

海嘯ノ爲海水浸入シ作土ヲ損害シタルモノハ其ノ情況ニ依リ荒地ニ準據スルコトヲ得

第十四條　災害又ハ天候不順ニ基因シ田畑ノ收穫皆無ニ歸シタルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ被害當年分ノ地租ヲ免除スルコトヲ得

第十五條　前二條ノ規定ニ依ル地租ノ減免ハ納稅義務者ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

前項ノ申請アリタルトキハ市町村長ハ當該土地ニ對スル地租ノ徵收ヲ猶豫スルコトヲ得

第十六條　地租ハ同一人ニ屬スル其ノ市町村內ノ土地ノ賦課期日現在ニ於ケル賃貸價格合計額ニ稅率ヲ乘シテ之ヲ算出ス

地租算出上一錢未滿ノ端數ハ之ヲ切捨ツ但シ一年分ノ地租又ハ各納期ニ配分シタル地租額一錢未滿ナルトキハ之ヲ一錢トス

第十七條　賃貸價格ヲ修正シタル土地ニ付テハ賃貸價格修正後ニ開始スル納期分ヨリ修正賃貸價格ニ依リ地租ヲ徵收ス但シ賃貸價格修正後ニ開始スル納期ニ於テ前年分地租ヲ徵收スル場合ニ於テハ翌年分地租ヨリ修正賃貸價格ニ依リ地租ヲ徵收ス

第十八條　有租地カ免租地ト爲リタルトキハ其ノ屆出アリタル後又ハ其ノ事實ヲ認メタル後ニ開始スル納期

ヨリ地租ヲ免除ス

免租地カ有租地ト爲リタルトキハ賃貸價格設定後ニ開始スル納期ヨリ地租ヲ徵收ス但シ賃貸價格設定後ニ開始スル納期ニ於テ前年分地租ヲ徵收スヘキ場合ニ於テハ其ノ納期分ノ地租ハ之ヲ徵收セス

前二項ノ規定ハ荒地免租年期若ハ新開免租年期明若ハ新開免租年期明ノ場合ニ之ヲ準用ス

第十九條　市町村長又ハ其ノ代理吏員ハ地租ノ賦課徵收ニ關シ必要アルトキハ土地ヲ檢査シ又ハ納稅義務者若ハ其ノ納稅管理人又ハ土地ヲ使用若ハ占有スル者ニ對シ質問スルコトヲ得

第二十條　左ノ場合ニ於テハ土地所有者又ハ納稅義務者ハ之ヲ市町村長ニ屆出ツヘシ

一　地類又ハ地目ヲ變換シタルトキ

二　開墾ニ著手シタルトキ開墾成功シタルトキ開墾ヲ廢止シタルトキ及開墾ノ目的ヲ變更シタルトキ

三　有租地ノ免租地ト爲リタルトキ又ハ免租地ノ有租地ト爲リタルトキ

四　土地ヲ分割シ又ハ合併セムトスルトキ

五　鉱下年期賃貸價格据置年期新開免租年期ヲ有スル土地ニシテ年期明ト爲リタルトキ

六　荒地免租年期ヲ有スル土地ニシテ年期明ニ至リ他ノ地目ニ變換シタルトキ

七　賃貸價格低減年期ヲ有スル土地ニシテ其ノ年期明ニ至リ原賃貸價格ニ復シ難キトキ又ハ他ノ地目ニ變換シタルトキ

第二十一條　納稅義務者其ノ土地所在ノ市町村內ニ住所又ハ居所ヲ有セサルトキハ地租ニ關スル事務ヲ處理セシムル爲其ノ市町村內ニ住居スル者ヲ納稅管理人ト定メ當該市町村長ニ之ヲ屆出ツヘシ

第二十二條　第五條ニ依リ土地ノ賃貸價格ヲ決定シタルトキハ市町村長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ告示シ同時ニ其ノ決定書ヲ市役所又ハ町村役場內ニ於テ七日間每日午前八時ヨリ午後四時迄地租ヲ納ムル義務アル者又ハ其ノ納稅管理人ノ縱覽ニ供スヘシ

第二十三條　地租ヲ納ムル義務アル者又ハ其ノ納稅管理人第五條ノ規定ニ依リ市町村長ノ決定シタル土地ノ賃貸價格ニ異議アルトキハ縱覽期間滿了ノ日ヨリ二十日以內ニ市町村長ニ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得

前項ノ異議ハ之ヲ市參事會又ハ町村會ノ決定ニ付スヘシ決定ヲ受ケタル者其ノ決定ニ不服アルトキハ道府縣參事會ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル決定及裁決ニ付テハ市町村長ヨリモ訴願又ハ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第二十四條　本法ノ適用ニ付テハ町村組合ニシテ町村ノ事務ノ全部ヲ共同處理スルモノハ之ヲ一町村ト看做ス

第二十五條　市制町村制ヲ施行セサル地ニ在リテハ本法中市町村市町村長ニ關スル規定ハ之ニ相當スル地區吏員ニ之ヲ準用ス

第二十六條　北海道府縣ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ地租ニ附加スル道府縣稅ヲ賦課スルコトヲ得

第二十七條　北海道府縣市町村其ノ他ノ公共團體ハ特別法ノ規定ニ依ルノ外市町村稅地租ヲ賦課スヘキ土地ヲ目的トシテ租稅其ノ他ノ公課ヲ課スルコトヲ得ス

第二十八條　本法ノ施行ニ必要ナル命令ノ規定ハ內務大臣及大藏大臣之ヲ定ム

附　則

本法ハ大正十六年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

地租條例ハ本法施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス但シ大正十五年分以前ノ地租ノ徵收ニ關シテハ仍從前ノ例ニ依ル

土地ノ情況又ハ從前ノ慣行ニ依リ本法ノ全部又ハ一部ヲ適用シ難キ地方ニ在リテハ內務大臣及大藏大臣ニ稟申シテ特例ヲ設クルコトヲ得

## 市町村稅地租法ノ施行ニ關スル法律案

第一條　法律命令中地租トアルハ市町村稅地租、地租附加稅トアルハ其ノ府縣ニ於テ賦課スヘキモノハ市町村

稅地租ニ附加スル府縣稅其ノ市町村ニ於テ賦課スヘキモノハ市町村稅地租ト看做ス

第二條　本法施行前地租條例其ノ他ノ法令ノ規定ニ依リ決定シタル地租ノ輕減又ハ免除ニ關スル處分ハ市町村稅地租法ノ施行ニ依リテ其ノ效力ヲ失フコトナシ

第三條　本法施行前地租條例其ノ他ノ法令ノ規定ニ依リ許可シタル地租ノ免租年期、減下年期、低價年期、地價据置年期及其ノ繼續年期ハ市町村稅地租法ノ施行ニ依リテ其ノ效力ヲ中斷セラルルコトナシ

第四條　前二條ノ規定ノ適用アル土地ニ付テハ其ノ地租ヲ輕減若ハ免除スル間又ハ年期中ハ市町村稅地租法ニ依ル賃貸價格ノ決定ヲ爲サス地租ノ輕減若ハ免除期間ノ滿了又ハ年期明ノトキ其ノ賃貸價格ヲ決定ス

第五條　本法施行前耕地整理法又ハ明治三十年法律第三十九號ニ依リ耕地ノ整理又ハ土地ノ改良ニ著手シ事業成功ニ至ラサル地區內ニ在ル土地ニ付テハ市町村稅地租法ニ依ル賃貸價格ノ決定ヲ爲サス事リ類地ノ比準ニ依リ其ノ賃貸價格ヲ決定ス

第六條　市町村稅地租法ニ依ル土地ノ賃貸價格ハ大正十七年一月一日ノ現在ニ於テ之ヲ決定シ大正十七年分地租ヨリ之ヲ適用ス

第七條　市町村稅地租法ニ依ル地租ノ賦課ハ土地ノ賃貸價格ヲ決定スルニ至ル迄ハ從前ノ地價ニ依ル新ニ地價ヲ定メ又ハ地價ノ修正ヲ要スルモノニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル

第八條　各市町村ニ於ケル市町村稅地租ノ賦課總額ハ當分ノ內其ノ市町村內ノ土地ニ付賦課シタル大正十五年分地租及市町村附加稅ノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス但シ地價ヲ標準トシ地目別ニ從前ノ國稅地租ノ稅率ト同一又ハ低キ稅率ニ依テ地租額ヲ計上スル場合ニ於テ增加スヘキ地租額ノ增徵ヲ妨ケス

附　則

本法ハ大正十六年一月一日ヨリ之ヲ施行ス土地ノ情況又ハ從前ノ慣行ニ依リ本法ノ全部又ハ一部ヲ適用シ難キ地方ニ在リテハ內務大臣及大藏大臣ニ稟申シテ特例ヲ設クルコトヲ得

## 第二項　北海道御料地拂下地の地租免除

北海道に於ける御料地の設定は明治二十二年渡島國外八箇國に亙り、國有未開地約二百萬町歩を撰擇して帝室財產に編入せしに始まるものなるが、其の後北海道拓殖事業著しく進捗し、移住民の渡來愈〻增加するに及び、勢ひ御料地を割讓して此等移住民の開拓に充つるの必要を生ずるに至りしを以て、茲に御料地の大部分は拓殖事業の緩急を察し時機を量りて之を官有地に移すの內議を決定し卽ち之に基き明治二十七年約六十三萬町歩を除くの外、御料地は總て之を舊に復して國有未開地と爲したり。而して此等の御料地は始めは專ら森林事業經營の爲めに使用せられしが、北海道に於ける開墾拓殖事業漸次進捗するに伴ひて漸く世人の注目する所となり、此等の御料地中農耕適地に就ては續々之が貸下を出願する者を生ずるに至りしを以て、帝室林野管理局に於ては御料地貸付規程、馬匹貸付規程等の諸規定を制定して此等移住民の保護を圖り、以て御料地の開墾を助成するの方策を採用したり。然るに大正七年十二月に至り皇室令第十六號を以て不要存御料地處分令制定せられ、御料地の一部は之を年期借受人又は開墾成功者等の緣故者に隨意契約を以て賣拂ふこととなりしを以て、之に基き大正九年以後漸次拂下を實行して、大正末年迄には既に約三萬町歩の御料地を拂下げしが、尙現に貸付中の農耕適地にして將來拂下見込の土地は約四萬町歩に達したり。

然るに既に述べたる所の如く北海道に於ては、北海道國有未開地を拂下げたる土地に對しては、年間地租を免除するの特典を與へらるるものなるが、之に反し上述の如き御料地の拂下地は其の實質に於て國有未開地の拂下地と異る所なく、均しく北海道

開拓の奬勵を圖ることを目的として拂下げらるるものなるに拘らず、之に對しては何等地租の賦課に關する緩和の制度をも設けらるることなく、兩者の間に權衡を失すること甚しきものありしを以て、政府は御料地の拂下地に對しても國有未開地の拂下地と同樣、一定年間地租免除の特典を付與するの必要を認め、之に關する法律案を第五十二回帝國議會に提出して其の協贊を經、昭和二年三月法律第十八號を以て左の如く之を公布したり。茲に於てか從來略、同一の狀況に在る北海道拂下地が其の國有地たりしと御料地たりしとに依りて、地租負擔に差異を存せし不權衡は、始めて矯正せらるることを得、延いては將來北海道拓殖計畫の遂行に對して好影響を及ぼすこととなれり。

法律第十八號（昭和二年三月三十日）

第一條　北海道ニ於ケル御料地ニ屬スル未開地ヲ開拓シテ拂下ヲ受ケ又ハ之ヲ開拓シ若ハ素地ノ儘使用スルノ目的ヲ以テ拂下ヲ受ケ民有ト爲リタル土地ニ對スル地租ハ民有ト爲リタル年ノ翌年ヨリ起算シ十年ヲ經過シタル後ニ非サレハ之ヲ賦課セス

第二條　前條ノ拂下地ニ付テノ拂下ニ因ル所有權取得ノ登記ニハ登錄稅ヲ免除ス但シ所有權取得後六月內ニ登記ノ囑託ヲ請求セサルトキハ此ノ限ニ在ラス

附　則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第一條ノ規定ハ本法施行前拂下ヲ受ケ民有ト爲リタル土地ニシテ本法施行ノ際未タ地價ノ設定ヲ爲ササルモノニモ亦之ヲ適用ス

第二條ノ規定ハ前項ノ規定ニ該當スル土地ニシテ本法施行ノ際未タ拂下ニ因ル所有權取得ノ登記ヲ受ケサルモノニモ亦之ヲ適用ス此ノ場合ニ於テハ六月ノ期間ハ本法施行ノ日ヨリ之ヲ起算ス

## 第三項　土地賃貸價格の調査

### 第一目　土地賃貸價格調査法の制定

既に述べたる所の如く大正十五年政府が國民負擔の衡平を圖る爲め、國稅地方稅に亙る一般的稅制整理を計畫するや、地租に就ては多年の懸案に鑑み現行課稅標準たる地價を改めて、土地の賃貸價格に依ることに決したり。蓋し現行地租の課稅標準たる地價は概ね明治六年地租改正條例に基きて定められたる所に係り、爾來年を閱すること既に五十年、其の間明治十三年に於ける一部の地價特別修正、明治二十二年及同三十二年に於ける田畑地價特別修正、明治四十三年に於ける宅地地價修正等、數次に亙りて地價の特別修正を行はれしと雖も、此等の修正は或は地目を限り或は地域を定めて施行せられしに止まり、全國一般的に地價の修正を行ひしことは未だ曾て之れあらず、宅地以外の土地の地價は大體に於て明治初年設定の儘之を据置き、以て當時に及びしものなり。然るに此の間に於ける我國經濟界の變遷・運輸交通の發達・農事の改良進步等、各般の事情に依る土地利用の狀況の變動は極めて著しきものあり、爲に現在土地の法定地價は其の收益と相伴はず、隨つて現行地租の負擔は地方に依り、又同地方に在りても各地間に於て著しく權衡を失し、甚しき負擔の不公平を生ずるに至れり。而して宅地に在りても明治四十三年の地價修正より時を距つること既に十數年、時勢の進運に伴ひ漸次地價の不公平を馴致し、殊に商工業の發達に伴ふ都市の異常なる發展は、宅地地價をして

益、其の不公正を激成するに至れり。是を以て政府に於ても既述の如く、田畑に就ては曩に大正七年以降三箇年の繼續事業として田畑地價修正の準備調査を行ふ所あり、其の結果は現在の地價が現實の土地の收益と相背馳せる事實を明かにせるのみならず、地租負擔の公平を期するが爲には、必ずや地價修正を斷行せざるべからずとの結論に達したりと雖も、地價の一般的修正は一大事業にして多大の勞費を必要とするを以て、其の實施は之を後日に讓ることとなれり。茲に於てか大正十五年に至り國民負擔の衡平を圖る爲め租稅制度の根本的改正を決行し、以て年來の懸案を解決せんとしたり。如き狀況に鑑み斷然全國の各地目に亙り地價修正を斷行せんとするに當りては、政府は上述の而して右の如く全國の土地に就き其の地價の修正を斷行せんとするに當り、政府は其の根本問題として地租の課稅標準を如何に定むべきやを攻究することと爲し、之に關し收穫主義、賣買價格主義、賃貸價格主義の各案に就き其の利害得失を研究したる結果、左の如き理由に基き、遂に多年實行し來れる標準を捨てて賃貸價格主義を採用することに決したり。

（一）收穫主義は明治初年地租改正の際定めたる地價の計算に採用せし所にして、土地の純益を基礎と爲すものなるを以て、能く土地の負擔力に適應したる課稅を爲し得べしと雖も、其の調査最も困難にして、之が計算又複雜なり。賣買價格主義は之に比し調査比較的容易なるも、土地の賣買價格は必ずしも其の賃貸料又は純益に比し高低するものに非ざるが故に、收益稅たる地租の課稅標準として不適當なるを免れず。

（二）地租は營業收益稅及資本利子稅と同じく所得稅に對する補完稅として、之に依りて資產所得重課の目的を達せんとするものなり。卽ち地租は農業なる企業利益に課稅せんとするものに非ずして、土地夫れ自體の資產收益に課稅せんとするものなり。故に企業利益を包含せる收穫よりは、之を含まざる賃貸價格を以て課稅標準と爲すを可とす。

（三）土地の賃貸借は第二類地等に付き多少の例外なきに非ずと雖も、一般には其の例乏しからず。賃貸價格は其の實例賃貸料を基礎として評定し得べきものなるを以て、其の調査は比較的容易なり。

（四）宅地に就ては既に明治四十三年の宅地地價修正に於て、全國の土地各筆に亙りて其の賃貸價格を調査し、其の十倍を以て地價と定め、又田畑に就ては大正七年田畑地價準備調査の際、地租の課稅標準は土地の賃貸價格に依るを最も適當なりと認め、全國に亙りて其の賃貸價格を調査せり。故に之が調査に就ては最も深き經驗を有す。

茲に於てか政府は大正十五年四月より同十六年十二月迄の間に於て、全國に亙りて土地賃貸價格の調査を行ひ、其の調査の完了を俟ちて大正十七年より、右賃貸價格を標準として地租を徵收するの計畫を樹て、之に基き第五十一回帝國議會に於て各種の稅制整理法律案と共に土地賃貸價格調査法案を提出せしが、右は議會の協贊を經て大正十五年三月法律第四十五號を以て、左の如く公布せられたり。

## 土地賃貸價格調査法（大正十五年三月三十一日法律第四十五號）

第一條　政府ハ本法ニ依リ土地ノ賃貸價格ヲ調査ス

第二條　賃貸價格ノ調査ハ大正十五年四月一日現在ノ地租ヲ課スヘキ土地ニ付之ヲ行フ但シ地租條例其ノ他ノ法律ニ依ル各種ノ免租年期地ハ此ノ限ニ在ラス

第三條　土地ノ賃貸價格ハ各地目毎ニ土地ノ情況類似スル區域内ニ於ケル標準賃貸價格ニ依ル

標準賃貸價格トハ前項ノ區域内ニ於ケル標準ト爲ルヘキ土地ニ付貸主カ公課、修繕費其ノ他土地ノ維持ニ必要ナル經費ヲ負擔スル條件ヲ以テ之ヲ賃貸スル場合ニ於テ貸主ノ收得スヘキ金額ヲ謂フ

第四條　前條ノ區域及標準賃貸價格ハ別ニ定ムル所ニ依リ賃貸價格調査委員會ノ議ニ付シ政府ニ於テ之ヲ定ム

附　則

本法ハ大正十五年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

本法ハ地租條例ヲ施行セサル地ニハ之ヲ施行セス

以下右法律に基き施行せられたる土地賃貸價格調査事業の顚末を略述すべし。

## 第二目　土地賃貸價格の調査

### 第一　調査の經過大要

土地賃貸價格調査事業は大正十五及昭和二の二箇年度を以て完了するの豫定を以て計畫せし所にして、大正十五年四月其の實行に著手し、昭和二年末に至りて之が完了を見るに至れり。今本事業の經過を概觀するに、大正十五年三月第五十一回帝國議會の協賛を經たる土地賃貸價格調査法及之に伴ふ豫算案の公布を見るや、大藏省は同年四月より愈〻事業の實行に著手し、先づ同月下旬全國稅務監督局長會議を開催して親しく政府の方針を指示すると共に、實行上の諸問題に就き愼重協議を重ね、尋いで五月一日土地賃貸價格調査手續を制定して調査の順序及方法等を詳細規定し、更に同月十日に至り官制を改正して、大藏省に事務官二人及屬十五人、稅務監督局及稅務署に屬八百七十人の臨時職員を增置し、以て本調査事業に從事せしむることとしたり(勅令第百一號)。但し本調査の如き大事業は到底右の如き僅少の人員のみを以て急速之が完成を期するを得ざるを以て、各稅務當局に於ては各稅事務の繁閑を量り、苟も餘力あるものは分課の如何を問はず悉く之を援助せしめ、殆んど全稅務機關を擧げて本調査に從事せしめたり。

斯くて實行の衝に當れる全國各稅務署は、內部に於ては本調査の基礎となるべき有租地現在額の調査、竝に實地調査の資料として必要なる地圖の作成等に努め、外部に於ては賃貸實例の調査、米價其の他の物價の調査等、各種參考資料の調査蒐集に力を注ぎ、夫々事務の進捗を圖りし結果此等各種の調査は何れも豫期の如く進行し、米價其の他の物價調査は大正十五年八月、有租地現在額の調査及地圖の調製は同年十一月、賃貸實例の調査は同年十二月之を完了することを得たり。次に本事業の眼目を爲すべき標準賃貸價格及其の適用區域の調査に就ては最も愼重の注意を拂ひ、先づ調査の初めに當りて調査從事員の步調を統一する爲め、大藏省・稅務監督局及稅務署に於て夫々實地に就き模範調査又は基準調査を施行したる後、大正十五年九月より全國一齊に之が調査に著手せしが、各調査從事員は異常の努力を以て殆んど晝夜兼行實地の踏査を遂げたる結果、翌昭和二年五月に至り漸く全國一應の調査を終りしを以て、右調査の結果に基き各地方の權衡を査覈して、更に全國的に補正調査を行ひ、同年九月に至りて之を完了し、漸く土地賃貸價格調査委員會の議に付すべき案の準備を整ふ

ることを得たり。

他方に於て政府は土地賃貸價格調査法の規定に依る賃貸價格調査委員會の組織權限賃貸價格決定の手續等を定むる爲め、第五十二回帝國議會に土地賃貸價格調査委員會法案を提出し、其の協贊を經て昭和二年三月法律第十六號を以て之を公布したり。然るに偶、議會閉會後若槻內閣は總辭職し同年四月田中內閣成立するに及びて、政府は現行地租を廢止して之を地方に委讓するの計畫を樹て之が準備に著手することとなりしを以て、地租に關する從來の方針は一變せられ、賃貸價格調査完了後新地租法を制定し、昭和三年分より賃貸價格を標準として地租を徵收せんとする計畫は遂に中止せらるるに至れり。然りと雖も既に著手せる賃貸價格の調査は法律施行の結果に係り、而も其の調査したる賃貸價格は、地租委讓の有無に拘らず、土地賃貸價格調査委員會法の明文に從ひ、之を委員會に附議決定するを要するのみならず、右賃貸價格は地租を地方に委讓したる後に於ても亦、地方稅たる地租の課稅標準として利用し得べきものなるを以て、政府は既に著手せる賃貸價格の調査は既定計畫通り之を續行して、其の完成を期することに決定したり。依て政府は同年六月大藏省令第十八號を以て土地賃貸價格調査委員會法施行規則を公布し、同年七八月の交に於て全國に亙り賃貸價格調査委員の選擧を行ひ、同年九月中旬より順次調査委員會を開會して、豫て調査せる標準賃貸價格及其の適用區域に關する原案を附議し、其の決議を經て同年十二月之を決定し、尋いで規定に從ひ之を市町村に通知して一定期間關係者の縱覽に供したり。斯くの如くにして地租改正事業以來の大事業たる土地賃貸價格調査の事業は、著手以來僅に二箇年の日子と一千餘萬圓の經費とを以て、豫期の如き成績を得て其の完成を告ぐるに至れり。

## 第二　調査手續の制定

土地賃貸價格調査事業の根本方針を定むるものは、固より大正十五年法律第四十五號土地賃貸價格調査法なりと雖も、同法は既述の如く單に調査の大綱を規定するに止まり、其の細目に及ばざるを以て、同法の趣旨に基き大藏省主稅局に於て土地賃貸價格調査手續を作成して、賃貸價格調査の方法及順序其の他內部に於ける取扱手續を詳細規定し、昭和二年五月一日之を各稅務監督局長に對して通牒したり。右手續は其の後調査の進行に伴ひ之に數次の改正を加へ、以て調査の統一を圖れり。今此等の改正を經たる手續の全文を揭ぐれば左の如し。

### 土地賃貸價格調査手續

#### 第一章　通則

一　賃貸價格ハ土地一筆毎ニ之ヲ調査セス各地目毎ニ情況類似スル土地ヲ一區域トシ其ノ區域內ニ於ケル賃貸實例ヲ調査シテ賃貸價格等級表ニ依リ標準賃貸價格ヲ定ムルモノトス

二　前項ノ區域ヲ定ムルニ當リテハ個々ノ賃貸實例ニ拘泥シテ之ヲ細分スルカ如キコトナク實地ノ情況著シク相違セサルモノハ成ルヘク之ヲ合併スル方針ヲ採ルモノトス

三　賃貸價格ノ調査ニ付テハ新ニ地盤ノ丈量ヲ爲サス土地臺帳ニ揭ケタル面積ニ依リ計算スルモノトス

四　土地臺帳ニ依リ大正十五年四月一日ノ現在ニ於ケル有租地ノ地目毎段別、地價筆數ノ小字計大字計竝市區町村計ヲ調査シ現在額ノ正確ヲ期スルモノトス（大正十四年期明ノ荒地復舊ニシテ四月一日迄ニ復舊處理ヲ爲ササル分ヲモ之ヲ算入スルコト但シ改租以前ノ荒地ヲ除ク）

五　左記事項ノ調査ハ左ノ期限內ニ於テ成ルヘク速ニ之ヲ完了スル樣適實ノ計畫ヲ立ツルモノトス

| 調査事項 | 調査終了期限 | 主稅局へ報告（到達）期限 |
|---|---|---|
| 米穀其他ノ物價調査 | 大正十五年五月末日限 | 大正十五年末日限 |

| | |
|---|---|
| 地圖ノ調製 | 大正十五年十月末日限 |
| 有租地現在額調査 | 同　十二月末日限 |
| 賃貸實例調査 | 同　十一月末日限 |
| 土地編級狀況調査 | 大正十六年六月末日限 |
| 賃貸價格見込額調査 | 同 |

六　稅務監督局長ハ直ニ調査計畫ヲ定メ大正十五年五月末日限主稅局長ニ報告スルモノトス報告後變更シタルトキ亦同シ

七　稅務監督局長ニ於テ賃貸價格ノ調査ニ關シ稅務署長ニ令達シタルトキハ其ノ寫ヲ添ヘ直ニ主稅局長ニ報告スルモノトス

八　賃貸價格調査ニ關スル施設及調査成績等ニシテ參考トナルヘキ事項ハ其ノ時々主稅局長ニ報告スルト共ニ各局相互通報スルモノトス

九　稅務監督局長ハ毎月末日ニ於ケル調査進行ノ狀況ヲ翌月十日限主稅局長ニ報告スルモノトス（期限改正）

## 第二章　賃貸實例調査

一　標準賃貸價格ヲ定ムル資料ニ供スル爲各地目ニ涉リ成ルヘク多數ノ賃貸實例ヲ調査スルモノトス

二　賃貸實例ハ成ルヘク一筆毎ニ賃貸料ノ判明スルモノヲ選定シテ之ヲ調査スルモノトス但シ其ノ實例少ナキ場合ニ於テハ數筆ノ土地ヲ一括シ賃貸シアルモノニ付其ノ內容ヲ精査シ適當ニ各筆毎ノ賃貸料ヲ區分スルモノトス

三　穀類其ノ他ノ物品ヲ以テ賃貸料ヲ支拂フモノニアリテハ既往五年間ニ於ケル物價ノ平均ニ依リ換算スルモノトス

四　田畑ノ小作料ハ左ノ方法ニ依リ調査スルモノトス

イ　成ルヘク田畑ヲ通シテ二町步以上ヲ有スル者ニ付キ調査スルコト

ロ　既往五年間ニ於ケル各年分ノ契約小作料及其ノ減免額ヲ調査スルコト

ハ　桑畑果樹畑等ニシテ地主ニ於テ植樹シタルモノヲ賃貸シタル場合ハ其ノ植樹ニ對スル賃貸料ヲ見積リ控除スルコト

五　市街地又ハ集團地ニ於ケル宅地ノ賃貸料ハ左ノ方法ニ依リ調査スルモノトス

イ　貸地貸家調査簿其ノ他ヲ參照シ地押的ニ調査スルコト

ロ　大正十五年四月一日現在ノ契約賃貸料ヲ調査スルコト

ハ　一筆ノ土地ヲ數人ニ分割賃貸シアルモノニ付テハ各人別坪數及賃貸料ヲ區分調査スルコト

六　鑛泉地ノ賃貸料ハ市街宅地ニ準シ調査スルモノトス

七　其ノ他ノ土地ニ付テハ適宜ノ方法ニ依リ大正十五年四月一日現在ノ契約賃貸料ヲ調査スルモノトス

八　賃貸實例調査ト共ニ土地ノ賣買價格收穫高公課其ノ他土地ノ維持費等ヲ適宜調査シテ參考ニ資スルモノトス

## 第三章　賃貸料ノ算定

一　田畑及鹽田ノ小作料ハ左記各號ニ依リ大正十年ヨリ大正十四年迄五年間ノ平均額ヲ計算スルモノトス

イ　小作爭議其他ニ依リ將來ニ涉リ契約小作料ノ低減ヲ爲シタル小作料ヲ各年ノ小作料ト看做シテ計算スルコト

ロ　循環的又ハ連續的ノ災害ニ依リ契約小作料ノ減免ヲ爲シタルモノニ付テハ其ノ減免額ハ之ヲ當該年分ノ小作料ヨリ控除スルコト（前項ニ依リ低減セラレタル小作料ヲ各年ノ小作料ト認メタル場合ハ災害ノ年ノ契約高ニ對スル減免高ノ割合ニ依リ控除額ヲ計算スルヨルコト）

ハ　地方ノ慣習ニ依リ小作人奬勵ノ目的ヲ以テ地主ヨリ小作人ニ支給スル奬勵米ノ支給額ハ之ヲ控除スルコト

ニ　地方ノ慣習ニ依リ米延米其ノ他ノ名稱ヲ以テ契約小作料ノ外一定ノ數量ヲ附加シテ收得スル場合ニ

於テハ之ヲ加算スルコト

ホ　其ノ他前各號ニ類スルモノニシテ收入小作料ニ增減アルトキハ之ヲ加除スルコト

ヘ　小作料ノ平均額算定ノ場合ニ於テ大正十四年以前五年中循環的又ハ連續的被害ニ基ク小作料ノ全免ヲ爲シタル年アルモ尙其ノ年ヲ加ヘタル數ヲ以テ平均額ヲ算出スルコト

ト　小作料ハ一年間ノ總額ニ依リ調査スルコト從テ種類ヲ異ニシ又ハ二回以上ニ涉リテ小作料ヲ收得スル場合ニ於テハ其ノ全部ヲ計算スルコト

チ　二年以上ニ涉リテ一回作ヲ爲ス場合ニ於テ其ノ耕作期間ニ付小作料ヲ收得スルモノニ付テハ一年分ノ小作料ヲ計算スルコト

二　前項以外ノ土地ニ付テハ大正十五年四月一日現在ノ契約賃貸料ヲ基礎トシテ一ケ年分ヲ計算スルモノトス（物納ノ場合ハ五年平均價格ニテ換算ス）

三　賃貸價格ノ計算ニ用ユル米價ハ左記方法ニ依リ調査スルモノトス

イ　各郡市毎ニ大正十年ヨリ大正十四年迄五年間ノ平均價格ニ依ルコト

ロ　平均價格ハ農家ノ庭渡價格ニ依ルコト

ハ　平均價格ノ調査ハ適當ト認ムル米穀商數人ヲ選定シ毎年一月ヨリ十二月迄ニ於ケル其地方產米ノ買入石數及買入價額ヲ調査シ數人分ヲ合算シタル買入總石數ヲ以テ買入總價額ヲ除シ各年毎ノ一石當價格ヲ求メ之ヲ五ケ年平均スルコト

ニ　地方ノ狀況ニ依リ郡市別ノ調査ニ依リ難キトキハ適當ノ區域毎ニ區分調査スルコト

四　米以外ノ物品ノ價格ハ前各號ニ準シ調査スルモノトス

## 第四章　編級調査

一　土地ノ區域等級ヲ調査スル爲左記ノ方法ニ依リ甲、乙、丙ノ三種類ニ分チ地圖ヲ調製スルモノトス

イ　甲圖ハ市區町村圖トシ山川、溝渠、道路及大字界（若ハ町界）ヲ示スコト

ロ　乙圖ハ大字圖（大字ナキ市町村ニ在リテハ適宜區分）トシ山川、溝渠、道路及小字界（若ハ丁界）ヲ示シ且色別（田ハ着色セス畑ハ橙黃色宅地ハ赤色山林原野ハ綠色）ニ依リ各地目ノ所在ヲ示スコト但シ他地目トノ境界ヲ濃クスルコト

ハ　丙圖ハ市街地及集團地ノ宅地圖トシ宅地毎筆ノ位置形狀及地番ヲ示スコト

ニ　地方ノ狀況ニ依リ乙圖ヲ以テ甲圖ニ丙圖ヲ以テ甲圖又ハ乙圖ニ兼用スルヲ便宜トスル場合ニ於テハ各必要ナル記載ヲ爲シ甲圖又ハ乙圖ヲ省略スルコトヲ得

ホ　地圖ハ成ルヘク美濃紙四面大以內ヲ以テ調製スルコト

二　田畑ハ左記方法ニ依リ其ノ區域ヲ編成スルモノトス

イ　同一小字內ニ於ケル田畑ハ其ノ情況著シク相違スル場合ノ外成ルヘク之ヲ別區域ト爲ササルコト

ロ　同一大字（大字ナキ市町村ニ在リテハ之ニ準スル區域）內ノ小字ニアリテモ其ノ情況ニ依リ成ルヘク合併シテ一區域ト爲スコト

ハ　同一市町村內ノ大字ト雖其ノ情況ニ依リ之ヲ合併シテ一區域ト爲スヲ妨ケサルコト

三　市街地ノ宅地ハ左記方法ニ依リ其ノ區域ヲ編成スルモノトス

イ　區域ハ成ルヘク道路、溝渠等一見認識シ易キモノヲ目標トシテ之ヲ區劃スルコト

ロ　奥行ノ長短著シク異ナラサルモノハ主トシテ表通ノ情況ニ依リ適當ニ區域ヲ定ムルコト

ハ　奥行ノ長短若ハ土地ノ情況著シク異ナルモノハ各筆別區域ト爲スモ妨ナキコト

ニ　郡部ニ於ケル集團地ノ宅地ハ其ノ情況ニ依リ市街宅地ノ例ニ準シ編級スルモノトス

四　前項以外ノ宅地ハ田畑ノ例ニ準シ編級スルモノトス

五　鑛泉地ハ市街宅地ノ例ニ準シ編級スルモノトス

六　其ノ他ノ土地ハ大字（大字ナキ市町村ニ在リテハ之ニ準スル區域）ヲ一區域トスルモノトス但シ情況ニ依リ數大字ヲ合併シ又ハ一大字ヲ數區域ト爲スモ妨ナキモノトス

七　區域ノ編成ヲ終リタルトキハ其ノ區域内ニ於テ中庸ヲ得タル土地ヲ選定シテ標準地ト爲シ其ノ標準賃貸價格ヲ定ムルモノトス

八　前項ノ場合ニ於テ標準地ノ實際賃貸價格ニ恰當スル等級ナキトキハ最モ近キ下位ノ等級ニ依ルモノトス

九　山林原野等ニシテ適當ト認ムル賃貸實例ナキ場合ニ於テハ賣買實例ヲ調査シ他ノ地目ニ於ケル賃貸價格ト時價トノ割合等ヲ勘案シテ適當ニ其ノ賃貸價格ヲ評定スルモノトス

一〇　區域及等級ヲ定メタルトキハ適宜ノ方法ニ依リ乙圖又ハ丙圖ニ之ヲ表示シ比較對照シテ不權衡ナキヲ期スルモノトス

一一　稅務監督局長ハ編級調査ノ著手前ニ於テ各府縣毎ニ標準トナルヘキ適當ノ區域ヲ選定シ模範調査ヲ行フモノトス

模範調査ニハ最寄ノ稅務署長及署員ヲ參加セシムルモノトス

一二　稅務監督局長ハ模範調査ヲ爲スヘキ場所及調査著手時期竝終了豫定時期等ヲ調査開始十五日前主稅局長ニ報告スルモノトス

一三　模範調査終了シタルトキハ稅務監督局長ハ調査方法及其ノ顚末ヲ直ニ主稅局長ニ報告スルモノトス

一四　稅務署長ハ其ノ管内ニ於ケル編級調査ノ始ニ於テ模範調査ニ倣ヒ基準調査ヲ行フモノトス

（等級表ハ後ニ掲グルヲ以テ省略ス）

## 第五章　調査委員會及賃貸價格ノ決定

一　稅務署長編級調査ヲ了シタルトキハ郡市區毎各地目別ノ賃貸價格調査額表ヲ添付シ稅務監督局長ニ稟議スルモノトス

二　稅務監督局長前項ノ稟議ヲ受ケタルトキハ府縣毎郡市區別各地目毎ノ賃貸價格調査額表ヲ添付シ意見ヲ具シ大藏大臣ニ稟請ノ上指令スルモノトス

三　前項ノ指令アリタルトキハ稅務署長ハ直ニ調査委員會開會ノ手續ヲ爲スモノトス

四　調査委員會ハ可成九月下旬（峯山稅務署ニ限リ十月下旬）ニ於テ開會スルモノトス

五　調査委員會開會中ハ日誌ヲ作成シ出席委員ノ氏名調査著手終了時刻議事ノ經過其他參考トナルヘキ事項ヲ記載スルモノトス

六　調査委員會ノ開會閉會及進行ノ狀況等ハ機宜ヲ失セサル樣其ノ時々速ニ主稅局長ニ報告スルモノトス

七　賃貸價格調査委員會ノ決議ヲ不當ト認ムル爲再議ニ付セムトスルトキハ稅務監督局長ニ稟議スルモノトス」

前項ノ稟議ヲ受ケタルトキハ大藏大臣ニ稟請ノ上指令スルモノトス

八　賃貸價格ヲ決定セムトスルトキハ意見ヲ付シ稅務監督局長ニ稟議スルモノトス

前項ノ稟議ヲ受ケタルトキハ大藏大臣ニ稟請ノ上指令スルモノトス

九　標準賃貸價格及適用區域ヲ決定シタルトキハ郡市區別各地目毎等級別ノ賃貸價格ヲ調査シ稅務監督局長ニ報告スルモノトス

一〇　前項ノ報告アリタルトキハ府縣毎郡市區別各地目毎等級別ノ賃貸價格ヲ調査シ昭和二年十二月十五日限主稅局長ニ報告スルモノトス（樣式ハ第五號土地賃貸價格見込額表ニ準據スルコト）

一一　標準賃貸價格竝其適用區域ニ付異議ノ申立ヲ受ケタルトキハ意見ヲ付シ遲滯ナク稅務監督局長ニ送付スルモノトス

前項ノ異議申立ニ對シ審査決定セムトスルトキハ大藏大臣ニ稟請スルモノトス

（附屬樣式省略）

## 第三　調査すべき土地の範圍の確定

土地賃貸價格の調査は大正十五年四月一日現在の地租を課すべき土地全部に就き之を行ふものとし、地租條例第十三條ノ二に依り地租を免除せらるる地價二百圓未滿の自作農地をも包含するものとす。但し地租條例其の他の法律に依る各種の免租年期地、及大正十五年四月一日以降地租を課

すべき土地となりたるものに就ては、今回は賃貸價格の調査を行はず、此等の土地に就ては其の年期明に至り、又は一般に賃貸價格に依り地租を徴收するに至りし際に於て、近傍類地の比準等に依り適當に其の賃貸價格を調査することと爲したり。

賃貸價格の調査を行ふべき土地に在りても、異動地・年期地・耕地整理地等特殊の土地に於ては、大正十五年四月一日現在の土地臺帳記載の事實を基礎とし、左記の如く其の賃貸價格を調査したり。

**(一)異動地**　大正十五年四月一日以後地目變換其の他の異動ありたる土地に就ては、大正十五年四月一日現在の地目段別等に依り之に相當する賃貸價格を調査することとし、將來一般に賃貸價格に依り地租を徴收するに至り し際相當修正することとせり。又無屆異動地に就ても大正十五年四月一日現在の土地臺帳面の地目に基き、其の地目相當の賃貸價格を調査することとし、本調査終了後適當の時期に於て無屆異動地の整理を行ひ現地相當の賃貸價格に更正することとせり。

**(二)諸年期地**　低價年期地・地價据置年期地・開拓鑛下年期地・開墾年期地（鑛下年期地を含む）等免租年期地以外の諸年期地に就ては、大正十五年四月一日以前の地價配賦濟のものは現況に依り賃貸價格を調査し、同日現在に於て工事中のもの及工事完了せるも地價配賦未濟のものは、土地臺帳面の地目段別を基礎とし之に相當する賃貸價格を調査せり。

**(三)耕地整理地**　耕地整理地及區劃整理地に就ては、大正十五年四月一日以後の地價配賦濟のものは現況に依り賃貸價格を調査し、同日現在に於て工事中のもの及工事完了せるも地價配賦未濟のものは、土地臺帳面の地目段別を基礎とし之に相當する賃貸價格を調査せり。

**(四)內書地及外書地**　山林原野等有租地の地目を有する內書地に就ては其の地目相當の賃貸價格を調査して之を本地の賃貸價格に合算し、畦畔石塚等の內書地及外書地は全然賃貸價格を計算せざることとせり。

賃貸價格の調査に當りては新に地盤の丈量は之を行はず、總て土地臺帳に記載せられたる面積に依り之を算定したり。蓋し全國の土地の各筆に亙り地盤の丈量を行ふは巨額の經費と多大の年月とを要し、實行容易ならざるを以てなり。

**第四**　有租地現在額の調査

賃貸價格の調査を爲すべき土地の範圍を確定し其の總額を調査することは、賃貸價格調査事業に於て先づ第一に行はざるべからざる重要事項に屬す。故に稅務當局は上述の如き方針に從ひ、先づ土地臺帳に依りて調査すべき土地を確定し、各小字毎に其の段別・地價及筆數を集計し、以て有租地の現在額を調査せしが、右は賃貸價格計算の基礎を爲すものにして、其の調査は速に之を完了するの要ありしを以て、本事業開始と共に全力を擧げて之に從事し、大正十五年十一月一應の調査を完了し、其の後に於ても有租地集計簿の現在額と符合せざるもの等に就ては更に之を念査し、極力其の正確を期したり。今右に依り調査したる、大正十五年四月一日現在の有租地總額は左表の如し。

有租地現在額表

| 地目 | 筆數 | 面積 | 現在地價 |
|---|---|---|---|
| 田 | 五一、〇三四、九四七 | 二、九七三、四一三町 五八、一〇歩 | 一〇一七、三五八、四五三円 五七 |
| 畑 | 外 三 | 二、七六〇、一三一町 七六〇二、四一〇 | 二三〇、七五一、五八八、九三 |
| 宅地 | 四二、八二一、一六七 外一七、九八一 | 一、二三七、〇五五、三八六坪 一七〇 | 六九九、四三四、〇七二、六五 |
| 鹽田、鑛泉地 | 一〇、九八〇、〇六二 外 一 | 五、八〇六、六二一三町 四〇〇歩 | 一、八七〇、八五四、一六 |
| 池沼 | 二二、四三五 | 一三、二九六坪 七六〇 | 一七三、一四六、七六 |
| 山林 | 三、九一八 一七八、七五七 外 一九 | 一二、九〇一町 九五〇歩 七五七〇 | 一八三、五七七、六二 |
| | 二三、三一五、六八一 外 四 | 八、四七九、三七四町 一五一二、四八〇 | 二七、二二〇、六二二、三二 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 牧場 | 一一、三九〇 | 一三二、四三五・六三〇五・〇〇〇 町段畝歩 | 三六〇、九六四・一三 円 |
| 原野 | 六、四二一、七四一 外 一五六 | 一、五三八、五三三・〇一一二・二六〇 | 二、九九〇、四七七・七五 |
| 雜種地 | 三一六、〇五〇 外 一 | 一六、〇〇五・三一二三・二四五 | 一、六三五、六八八・六〇 |
| 合計 | 一三五、一六七、一四八 外 一八、一六五 | 一六、三三〇、九五八・二六二〇・〇六五 | 一、九八一、九七九、四四六・四九 |

（備考）筆數欄の外書は一筆中に二地目を包含する土地に付き、其の一を外書として揭げたるものなり。

## 第五　賃貸實例調査

土地賃貸價格の調査に當り賃貸實例の最も重要なる調査資料たるは多言を要せざる所なるを以て、今次の調査に在りては之が調査に最善の力を致すことと爲し、調査手續中に於て詳細に亙りて其の調査方法を規定したり。今其の概要を揭ぐれば左の如し。

一、賃貸實例は成るべく一筆毎に賃貸料の判明せるものを選定して調査すること。但し數筆の土地を一括して賃貸せるもの又は一筆の土地を數人に分割賃貸せるものに付き調査せんとする時は、其の內容を精査し適當に賃貸料を區分すること。

二、穀類其の他の物品を以て賃貸料を支拂ふものに在りては、既往五年間に於ける物價の平均に依り換算すること。

三、田畑及鹽田の小作料は成るべく田畑を通じて二町歩以上を有する者に付き調査し、既往五年間に於ける各年分の契約小作料及其の減免額を調査すること。但し桑畑・果樹畑等にして地主に於て植樹したるものを賃貸したる場合には、其の植樹に對する賃貸料を見積り控除すること。

四、市街地又は集團地に於ける宅地の賃貸料は地押的に調査し、大正十五年四月一日現在の契約額を調査すること。

五、鑛泉地の賃貸料は市街宅地に準じ調査すること。

六、其の他の土地は適宜の方法に依り大正十五年四月一日現在の契約額を調査すること。

以上の方法に依り調査したる賃貸實例は、概略左の如き方法に依り其の賃貸料を算定したり。

一、田畑及鹽田の小作料は左記各號に依り大正十年より同十四年迄五箇年間の平均額を計算し、物納の場合に於ては大正十年より同十四年迄五箇年間平均の價格にて換算す。

イ、小作爭議其の他に依り將來に亙り契約小作料の低減を爲したるものは、從前の契約高に拘らず、低減せられたる小作料を各年の小作料と見做して計算すること。小作爭議の爲め契約小作料の更改を爲さざるも、年年實況に應じ小作料の減免を爲し來り、大正十四年に於ける減免程度が將來地主の爲に有利に變更せられざるものと認めらるる場合は、契約更改の場合と同一に取扱ふこと。

ロ、循環的又は連續的の災害に依り契約小作料の減免を爲したるものに就ては、其の減免額は之を當該年分の小作料より控除すること。

ハ、地方の慣習に依り、小作人奬勵の目的を以て地主より小作人に支給する奬勵米の支給額は之を控除すること。

ニ、地方の慣習に依り口米・延米其の他の名稱を以て契約小作料の外一定の數量を附加して收得する場合に於ては之を加算すること。

ホ、其の他前各號に類するものにして收入小作料に增減あるときは之を加除すること。

ヘ、小作料の平均額算定の場合に於て、大正十四年以前五年中循環的又は連續的災害に因り小作料の全免を爲したる年あるも、尙其の年を加へたる數を以て平均額を算出すること。

ト、小作料は一年間の總額に依り調査すること。從つて種類を異にし又は二回以上に亙りて小作料を收得する場合に於ては、其の全部を計算すること。

チ、二年以上に亙りて一回作を爲す場合に於て、其の耕作期間に付き小作料を收得するもの、又は數年の小作料を一時に收得するものに就ては、一年分の小作料を計算すること。

二、田畑、鹽田以外の土地は、大正十五年四月一日現在の契約賃貸料を基礎として一箇年分を計算し、物納の場合は大正十年より同十四年迄五箇年間平均の價格にて換算す。

右の如く田畑及鹽田の賃貸料に就てのみ前五箇年の平均額に依り算定することゝ爲せしは、蓋し此等の土地は其の契約高に拘らず、年の豐凶に依り屢〻小作料の減免を行ひ、毎年其の賃貸料の實收額を異にするを通例と爲すを以て、相當年間の賃貸料を調査するに非ざれば適當のものを得難しと認めしに因るものにして、唯其の間に於て契約の更改を爲せしものに就ては成るべく現況に添はしめんが爲めに、其の變更額に依ることゝ爲せしものなり。

賃貸實例は賃貸價格調査の基礎資料を爲すものなるを以て、各地目に亙り成るべく多數の實例を蒐集するを要し、且其の調査は賃貸價格調査前に成るべく速に之を完了するの必要あり。故に之が調査は本事業開始後直に之に著手し、鋭意之が進捗を圖りし結果、大正十五年中に於て大體之が調査を終了するを得たり。今以上の方法に依り調査したる賃貸實例の成績を表示すれば左の如し。

土地賃貸價格實例調査表

| 地目 | 有租地總額 | 賃貸實例調査地 | | | | | 一段歩當實例賃貸料 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 有租地總額に對する割合 | | | | | | |
| | 筆數 | 面積 | 賃貸料總額 | 筆數 | 面積 | 最高 | 最低 | 平均 |
| 田 | 五一、〇三四、九四七 | 二、九二三、四二一・八 | 一六八、九四六、八三 | 一四・五% | 一八・八% | 七、四一〇、四八一 | 一、〇三五 | 一、〇九三 |
| 畑 | 四二、八三一、一六七 | 二、六〇一、二九八・八 | 米五二八四、六三四石 | 四、八三五、二三〇 | 四五・九 | 二、一〇九、五三三 | 一三五 | 一七・二三 |
| 宅地 | 一七、九六一 | 一、二三七、〇五五、三八五 | 一九、〇九七、四七四 | 五・二 | 五・〇 | 五五六、〇四九 | 八〇八 | 八・一二 |
| 鹽田 | 一〇、九二〇、〇六二 | 八、四七九、一一一 | 六、一三七、一三三 | 五・二 | 八・五 | 三一、四八一、七二四 | 二〇、九二三 | 四三 |
| | 二三、三五、六八一 | 一、三五七、三五〇・七 | 一、一六二、一二五 | 二六・五 | 四五・九 | 二、六六七、四 | 一、一五 | 一・一五 |

| 地目 | 有租地總額 | 賃貸實例調査地 | | | | | 一段歩當實例賃貸料 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 有租地總額に對する割合 | | | | | | |
| | 筆數 | 面積 | 賃貸料總額 | 筆數 | 面積 | 最高 | 最低 | 平均 |
| 鑛泉地 | 三、九一八 | 一三、二九六坪 | 一七八、七五七 | 一・九 | 一・八 | 一三五 | 一、〇九三坪 | 一、〇九三 |
| 池沼 | 外 一七八、七五七 | 一二、八九九・八町段 | 外 一七、九六一 | 一・四 | 一・六 | 一三五 | 一、〇九三坪 | 一、〇九三 |
| 山林 | 二三、三二五、六八一 外 一四 | 八、四七九、三七四・一 | 一、二三七、〇五五、三八五坪 | 五・二 | 五・〇 | 二、一〇九、五三三 | 二〇、九二三 | 四三 |
| 牧場 | 一一、三九〇 | 一三二、四三四・五 | 一九、〇九七、四七四 | 四・八 | 四・八 | 一、一六二、一二五 | 一、一五 | 一・一五 |
| 原野 | 六、四二一、七四一 外 一五六 | 一、五三八、五三〇・七 | 米五二八四、六三四石 | 一四・五% | 一八・八% | 七、四一〇、四八一 | 一、〇三五 | 一、〇九三 |
| 雜種地 | 三一六、〇五〇 外 一 | 一六、〇〇一・八 | 四、八三五、二三〇 | 四・三 | 四五・九 | 二、一〇九、五三三 | 一三五 | 一七・二三 |

（備考）一、面積の單位は宅地及鑛泉地は坪、其の他の土地は段とし、單位未滿は切捨とす。

二、一段歩當賃貸料の欄に於て宅地は一坪當、鑛泉地は一筆當の價額とす。

三、一段歩當平均賃貸料の米量は合未滿、金額は錢未滿を四捨五入せり。

尙賃貸料を米麥其の他の物品を以て收得する場合に於ては、之を金錢に換算するの必要あるを以て、之が換算に用ふる米價其の他の物價を左記の如き方法に從ひ、既往五箇年（自大正十年至同十四年）の平均に依りて之を調査したり。

一、各郡市毎に大正十年より同十四年に至る五箇年間の平均價格に依ること。但し郡市別に依り難きときは適當の區域毎に區分調査すること。

二、農家の庭渡價格に依ること。

三、各地方に於て適當なる米穀商數人を選び、毎年一月より十二月迄に於ける其の地方產米の買入石數及買入價格を調査し、數人分を合算したる買入總石數を以て買入總價格を除し、各年毎の一石當價格を求め、其の五箇年分を合算し、之を五分して算出すること。

四、米以外の物品の價格も前各號に準じ調査すること。

而して右方法に依り各稅務署に於て調査したる米價其の他の物價は、更に稅務監督局及大藏省に

於て各種參考資料と比較考究の上、其の不適當と認むるものは之を更正變更せしめ、以て全國的に權衡を得せしめんことを圖れり。今其の結果を示せば左の如し。

米麥其の他物價表（一石當道府縣平均價格）

| 道府縣名 | 米 | 大麥 | 小麥 | 大豆 | 道府縣名 | 米 | 大麥 | 小麥 | 大豆 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 北海道 | 円錢 二八・一〇 | 円錢 — | 円錢 — | 円錢 三・一〇 | 新潟 | 円錢 三一・二〇 | 円錢 一六・〇〇 | 円錢 一七・四〇 | 円錢 一七・四〇 |
| 青森 | 三〇・七〇 | 九・八〇 | 一七・〇〇 | 一六・二〇 | 長野 | 三一・一〇 | 一〇・三〇 | 一七・〇〇 | 一七・三〇 |
| 山形 | 三一・一〇 | — | — | 一六・二〇 | 岐阜 | 三三・二〇 | 一〇・〇〇 | — | — |
| 秋田 | 三一・四〇 | — | — | 一六・四〇 | 滋賀 | 三三・九〇 | 一〇・四〇 | 一七・二〇 | 一七・二〇 |
| 岩手 | 三〇・四〇 | 九・八〇 | 一七・〇〇 | 一六・四〇 | 京都 | 三三・六〇 | 一〇・四〇 | 一七・二〇 | 一七・二〇 |
| 宮城 | 三一・〇〇 | 九・八〇 | 一七・〇〇 | 一六・四〇 | 大阪 | 三四・〇〇 | 一〇・四〇 | — | — |
| 福島 | 三一・四〇 | 九・八〇 | — | 一六・九〇 | 兵庫 | 三四・二〇 | 一〇・四〇 | 一六・二〇 | 一七・二〇 |
| 茨城 | 三三・〇〇 一六・四〇 | 九・七〇 | 一七・一〇 | 一七・三〇 | 奈良 | 三三・四〇 | — | — | 一七・二〇 |
| 群馬 | 三四・三〇 | 九・七〇 | 一七・〇〇 | 一七・四〇 | 和歌山 | 三二・七〇 | — | — | 一七・二〇 |
| 栃木 | 三三・三〇 | 一〇・三〇 | 一七・二〇 | 一七・二〇 | 石川 | 三一・二〇 | 一〇・七〇 | — | 一七・二〇 |
| 埼玉 | 三四・三〇 | 一〇・二〇 | 一七・〇〇 | 一六・八〇 | 福井 | 三〇・九〇 | 一〇・四〇 | 一六・八〇 | 一七・二〇 |
| 千葉 | 三二・九〇 | 九・五〇 | 一六・八〇 | 一七・二〇 | 富山 | 三〇・六〇 | 一〇・七〇 | 一七・二〇 | 一七・二〇 |
| 東京 | 三二・八〇 | 九・五〇 | 一六・五〇 | 一七・二〇 | 鳥取 | 三〇・八〇 | — | — | 一七・〇〇 |
| 神奈川 | 三二・一〇 | 九・九〇 | 一六・八〇 | 一七・二〇 | 島根 | 二九・九〇 | 九・七〇 | — | 一七・二〇 |
| 山梨 | 三二・一〇 一七・一〇 | 一〇・五〇 | 一六・八〇 | 一七・二〇 | 岡山 | 三二・七〇 | 九・六〇 | 一六・三〇 | 一七・〇〇 |
| 靜岡 | 三二・一〇 | 一〇・五〇 | 一六・八〇 | 一七・二〇 | 廣島 | 三二・四〇 | 九・五〇 | 一七・〇〇 | 一七・二〇 |
| 愛知 | 三二・三〇 | 一〇・三〇 | — | — | 山口 | 三二・一〇 | 一〇・〇〇 | 一七・〇〇 | 一七・三〇 |
| 三重 | 三二・一〇 | 一一・〇〇 | 一六・〇〇 | — | 香川 | 三四・一〇 | — | — | — |



| 道府縣名 | 米 | 大麥 | 小麥 | 大豆 | 道府縣名 | 米 | 大麥 | 小麥 | 大豆 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 德島 | 三二・七〇 | — | — | 一六・九〇 | 佐賀 | 三一・五〇 | 一〇・一〇 | 一七・四〇 | 一七・四〇 |
| 愛媛 | 三二・三〇 | — | — | 一七・四〇 | 長崎 | 三一・三〇 | 九・四〇 | — | — |
| 高知 | 三二・二〇 | — | — | — | 鹿兒島 | 三一・〇〇 | 八・二〇 | 一六・〇〇 | 一七・三〇 |
| 福岡 | 三二・二〇 | — | — | 一七・九〇 | 宮崎 | 三一・八〇 | 九・九〇 | 一五・七〇 | 一七・六〇 |
| 大分 | 三一・六〇 | — | 一五・八〇 | 一七・一〇 | 沖繩 | 二五・三〇 | — | — | — |
| 熊本 | 三一・八〇 | 九・〇〇 | 一五・九〇 | 一七・八〇 | | | | | |

## 第六　地圖の調製

土地の狀況を明かにし、實地調査の便に供すると共に、其の調査したる標準賃貸價格の區域及等級を示し、以て各地各區域間の權衡勘案の用に供する爲め、各稅務署に於ては土地臺帳附圖以外に左の手續に從ひ甲乙丙三種の地圖を調製したり。

一、甲圖は市區町村の區別に依り山川溝渠道路及大字界（若くは町界）を示す。

二、乙圖は大字（大字なき市町村に在りては適宜區分）の區別に依り山川溝渠道路及小字界（若くは丁界）を示し、且色別に依り各地目の所在を示す。

三、丙圖は市街地及集團地の宅地圖とし、宅地毎筆の位置、形狀及地番を示す。

四、標準賃貸價格の區域及等級を定めたるときは、適宜の方法に依り乙圖又は丙圖に之を表示す。

五、地方の狀況に依り乙圖を以て甲圖に丙圖を以て乙圖に兼用し、各必要なる記載を爲して甲圖又は乙圖を省略することを得。

右地圖の調製は一般編級調査前に於て完了するの要ありしを以て、大正十五年五月之が調製に著手せしが、右は有租地現在額の調査と共に、今次の調査に於ける內部事務中最も手數を要したる事項にして、著手以來非常の努力を拂ひて之が完成に努めし結果、同年十月に至り漸く其の全部の作成を

終了したり。其の調整したる地圖の數は甲圖一萬千二百三十一枚、乙圖十三萬六千六百七十八枚、丙圖三萬六千二百六十一枚、合計十八萬四千百七十枚に達せり。

**第七**　標準賃貸價格及其の適用區域の調査

土地賃貸價格の調査は土地賃貸價格調査法の規定するが如く、各地目毎に情況類似する土地を一區域として其の標準賃貸價格を調査し、以て其の區域內一般の土地に適用するものなり。而して玆に所謂標準賃貸價格とは其の區域內に於て標準となるべき土地を選定し、其の土地に就き貸主が公課修繕費其の他土地の維持に必要なる經費を負擔する條件を以て之を賃貸する場合に於て、貸主の收得すべき金額を稱するものとす。蓋し同一地目の土地に在りても、地味の沃瘠、水利耕作の便否、地理地形の關係等の詳細に亙りて檢するときは、其の間多少の差違あるべきは自然の數なりと雖も、全國有租地の各地目に亙り其の一地一筆に就き土地の地位品格を審査して、其の賃貸價格を調査するが如きは非常の難事にして、到底僅々二箇年の歲月の能くすべき所に非ず。之れ今次の調査に於て右の如く區域主義に依る調査の方法を採用せし所以なり。

標準賃貸價格及其の適用區域の調査は今次の調査事業の眼目を爲すものにして、其の調査の適否は本事業の成果に至大の影響を及ぼすものなるを以て、之が調査に當りては最も深き注意を拂ひ、各種の資料を基礎と爲すは勿論、離島僻村と雖も洽ねく實地を踏査すると共に、又廣く一般事情精通者の意見を徵する等の方法を講じ、以て最も適當なる標準賃貸價格及區域を定むることに努めたり。而して標準賃貸價格は其の區域內に於て成るべく多數の賃貸實例を調査し、之を基礎として評定するの方針を採りしと雖も、個々の實例中には法律所定の條件を具備せざるものあり、或は特殊の事情に因り適當と認め難きものあり、或は又賃貸實例僅少にして之を基礎とすること能はざる場合も尠からざりしを以て、斯かる場合に於ては收穫高又は時價等をも調査し、他の區域との權衡をも考慮し實地の狀況に應じて適當に其の賃貸價格を評定したり。尙標準賃貸價格の調査に當りては、後述の如く全國一貫の土地賃貸價格等級表を制定し、其の等級及金額に依りて之を調査したり。

標準賃貸價格及適用區域の調査に當りては、政府は右の如く其の評定に就き最も愼重なる注意を拂ふと同時に、又各地間の權衡の保持に就て極めて細心の注意を拂ひ、前揭賃貸價格調査手續中に於て詳細に亙りて其の調査方法を規定し、屢〻稅務監督局長會議及稅務署長會議を開きて、調査方針及資料調査の統一を圖る所ありしが、更に實地に就き之を指示し各從事員の步調の統一を圖るの必要を認め、一般の編級調査著手前に模範調査及基準調査を執行したり。卽ち大藏省に於ては先づ各稅務監督局直稅部長及局員を召集して模範調査及基準調査を執行し、實地に就き情況類似と認むる區域の程度、標準賃貸價格調査の方法其の他の事項を指示する所あり、各稅務監督局に於ては更に右の方法に倣ひ各府縣每に標準となるべき適當の市町村を選定し、其の府縣下の各稅務署長及署員を參加せしめて夫々模範調査を行ひたり。而して右の各府縣每模範調査には各稅務署に於ける從事員の全部を參加せしむることを得ざりしを以て、各稅務署に於ては其の管內の基準となるべき町村を選定し、右の模範調査に參加したる者の主導の下に、從事員全部を參加せしめ前記模範調査の例に倣ひて基準調査を執行したり。右の基準調査終了の後各稅務署に於て夫々適當の計畫を樹てて一般編級調査を施行し、各市町村に亙り實地に臨みて、狀況類似の區域を定め其の等級を詮定したり。而して此の編級調査に當りては各稅務署に於て屢〻隣接稅務署間の立會調査を行ひ、以て相互の不權衡を防止すると

共に、又大藏省及稅務監督局に於ては努めて多數の吏員を派して調査の監督に力を注ぎ、專ら各地間不統一なきを期したり。斯くて編級調査は大正十五年九月より全國一齊に之に著手し、爾來日夜孜孜として之が調査に努め其の進行を圖りし結果、宅地以外の土地に就ては昭和二年三月、宅地に就ては同年五月に至りて、一應其の調査を完了するに至れり。

今標準賃貸價格及其の適用區域の調査方法の大要を掲ぐれば概略左の如し。尙賃貸料算定の方法に就ては既に之を說明せしを以て、爰には之を再說せず。

（一）田畑の調査

（イ）區域の調査

田畑の情況類似すと認むる區域は、大體一小字又は、之に準ずべき區域を基礎として定む。但し同一小字內と雖も情況を異にするものある場合は之を區分し、又情況類似する場合は同一大字又は數小字に同一等級を適用せしものあり。

（ロ）標準賃貸價格の調査

田畑に在りては賃貸實例多きを以て概ね之を基礎として標準賃貸價格を調査せり。一區域中賃貸實例なきもの、賃貸實例あるも高低の一方に偏し中庸と認むべきものなきもの等に就ては、牧種高賣買價格等を參考とし、接續地との權衡を稽へ、適當に之を評定せり。又左の如き特殊事情を有する土地に就ては之を考慮して適當に調査せり。

1. 山間僻地の町村にて小作地の實例少く、而も需給關係上小作料著しく高きに失し、此の實例を以て大多數の自作地を率するは穩當ならずと認めらるるものに對しては、相當斟酌を加へたり。

2. 電力又は火力を使用すべき排水機又は揚水機の設備なくしては耕作困難なる地方にして、此等の機械の建設竝に維持の爲め特に多額の費用を要する地域の賃貸價格には、相當の斟酌を加へたり。

3. 小作爭議地にして爭議解決の結果契約小作料の變更を爲せしものは、其の變更後の小作料を基礎として賃貸價格を調査し、其の未解決地に對しては其の地方の解決地に準じ、其の地方に解決地なき場合は爭議の經過其の他の事情に鑑み適當に評定せり。

4. 循環的又は連續的の災害に因りて小作料の減免を爲したるものは、其の減免額を控除したる小作料を基礎として賃貸價格を調査せり。

5. 永小作地又は永小作類似の小作慣行地に就ては、普通の小作地との權衡を失せざる樣其の實況に應じ適當に賃貸價格を評定せり。

（二）宅地の調査

（イ）區域の調査

1. 市街地及之に準ずべき集團地の宅地は、商工業の盛衰、交通の便否、土地の形狀廣狹其の他各種の事情に依り相接續せる土地と雖も著しく利用の狀況を異にするを以て、各筆毎に其の實況を精査して適當に區域を定めたり。

2. 村落部の宅地は交通の便否其の他諸般の事情を考慮して適當に區域を定めたり。

（ロ）標準賃貸價格の調査

1, 市街地及之に準ずべき集團地の宅地に就ては、賃貸實例の調査と共に賣買價格、商工業の繁閑、地利の便否需給の關係、現在地價の等級其の他の狀況を調査し、適當に之を評定せり。

2. 村落部宅地には賃貸實例乏しく、其の賃貸せらるるものも多くは小作人が田畑等と共に附屬的に賃借するものに係り、一般の宅地賃貸價格評定の資料として適實なる事例極めて少きを以て、市街地に於ける賃貸價格、田畑の賃貸價格等を勘案し、尙將來負擔に及ぼすべき影響等をも考慮し、全國各地の權衡に鑑み適當に評定を加へたり。

（三）鹽田の調査

（イ）區域の調査

鹽田の實況に應じ大體一戸前（又は一軒）を一區域として調査せり。

（ロ）標準賃貸價格の調査

鹽田は賃貸實例比較的多きを以て、概ね之を基準として賃貸價格を調査し適當なる賃貸實例なきものに就ては賣買價格、製鹽高事情精通者の意見等を參酌し適當に之を評定せり。

**（四）** 鑛泉地の調査

（イ）區域の調査

鑛泉地は區域的に連續せずして各筆點在し、又其の鑛泉の湧出量及利用價値等も各筆毎に異るもの多きを以て、總て一筆を一區域とせり。

（ロ）標準賃貸價格の調査

鑛泉地は賃貸實例少きを以て、賃貸實例の調査の外に賣買價格、湧出量、泉質、溫度、交通の便否、浴客の多少等を調査し、全國各地を比較して適當に賃貸價格を評定せり。而して鑛泉地は各筆の面積概して狹小なるのみならず、其の利用價値は面積の廣狹に殆ど關係なきを以て、總て一筆を單位として賃貸價格を調査することとし、一筆の土地中鑛泉地以外の地目（宅地等）に利用せる部分ある場合は之に相當する賃貸價格を加算したり。

**（五）** 山林池沼、牧場、原野、雜種地の調査

（イ）區域の調査

山林は其の樹種に依り杉檜山、松山、雜木林、竹林、芝草山、岩石山等の種類毎に其の區域を分ち、又同一種類中地味及利用狀況等の相違する場合は更に之を細分せり。池沼、牧場、原野、雜種地の區域は其の利用狀況に應じて適當に之を定めたり。

（ロ）標準賃貸價格の調査

山林の標準賃貸價格は賃貸實例相當多數ある地方は之に依り調査し、其の他は一般に時價を基礎とし其の利廓を以て之を評定せり。但し市街地及其の附近に介在せる山林、別莊地、海水浴場、景勝地附近の山林にして特に時價高きものに就ては附近の畑と權衡を失せざる樣相當斟酌して評定したり。山林以外の第二類地は山林に準じて夫々標準賃貸價格を評定せり。

**（六）** 賃貸價格等級表の設定

標準賃貸價格調査を全國的に連絡統一するが爲め土地賃貸價格等級表を設定し、各地目を通じ全國一律に之を適用せり。右等級表は賃貸價格年額五厘を一級とし、百圓を百三級とし、其の間順次相當程度の間差を以て等級を定め、百圓以上は適當に其の等級を定めしものにして、即ち左の如し。

土地賃貸價格等級表（宅地は一坪當年額、鑛泉地は一筆當年額、其の他は一段歩當年額）

| 等級 | 賃貸價格 | 等級 | 賃貸價格 | 等級 | 賃貸價格 | 等級 | 賃貸價格 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 一 | 五厘 | 一三 | 一八 | 二六厘 | 三四 | 二五 | 二、〇〇〇厘 |
| 二 | 六 | 一四 | 二〇 | 三〇 | 三五 | 二六 | 二、二〇〇 |
| 三 | 七 | 一五 | 二二 | 三五 | 三六 | 二七 | 二、四〇〇 |
| 四 | 八 | 一六 | 二四 | 四〇 | 三八 | 二八 | 二、六〇〇 |
| 五 | 九 | 一七 | 二六 | 四五 | 四〇 | 二九 | 二、八〇〇 |
| 六 | 一〇 | 一八 | 二八 | 五〇 | 四二 | 三〇 | 三、〇〇〇 |
| 七 | 一二 | 一九 | 三〇 | 五五 | 四四 | 三一 | 三、二〇〇 |
| 八 | 一四 | 二〇 | 三二 | 六〇 | 四六 | 三二 | 三、四〇〇 |
| 九 | 一六 | 二一 | 三四 | 六五 | 四八 | 三三 | 三、六〇〇 |
| 一〇 | 一八 | 二二 | 三六 | 七〇 | 五〇 | 三四 | 三、九〇〇 |
| 一一 | 二〇 | 二三 | 三八 | 八〇 | 五二 | 三五 | 四、二〇〇 |
| 一二 | 二三 | 二四 | 四〇 | 九〇 | 五四 | 三六 | 四、五〇〇 |

| 等級 | 金額 | 等級 | 金額 | 等級 | 金額 | 等級 | 金額 | 等級 | 金額 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 六一 | 五、一〇〇厘 | 七〇 | 九、〇〇〇厘 | 七九 | 一八、〇〇〇厘 | 八八 | 三九、〇〇〇厘 | 九七 | 七〇、〇〇〇厘 |
| 六二 | 五、四〇〇 | 七一 | 九、五〇〇 | 八〇 | 二〇、〇〇〇 | 八九 | 四二、〇〇〇 | 九八 | 七五、〇〇〇 |
| 六三 | 五、七〇〇 | 七二 | 一〇、〇〇〇 | 八一 | 二二、〇〇〇 | 九〇 | 四五、〇〇〇 | 九九 | 八〇、〇〇〇 |
| 六四 | 六、〇〇〇 | 七三 | 一一、〇〇〇 | 八二 | 二四、〇〇〇 | 九一 | 四八、〇〇〇 | 一〇〇 | 八五、〇〇〇 |
| 六五 | 六、五〇〇 | 七四 | 一二、〇〇〇 | 八三 | 二六、〇〇〇 | 九二 | 五一、〇〇〇 | 一〇一 | 九〇、〇〇〇 |
| 六六 | 七、〇〇〇 | 七五 | 一三、〇〇〇 | 八四 | 二八、〇〇〇 | 九三 | 五四、〇〇〇 | 一〇二 | 九五、〇〇〇 |
| 六七 | 七、五〇〇 | 七六 | 一四、〇〇〇 | 八五 | 三〇、〇〇〇 | 九四 | 五七、〇〇〇 | 一〇三 | 一〇〇、〇〇〇 |
| 六八 | 八、〇〇〇 | 七七 | 一五、〇〇〇 | 八六 | 三三、〇〇〇 | 九五 | 六〇、〇〇〇 | | |
| 六九 | 八、五〇〇 | 七八 | 一六、〇〇〇 | 八七 | 三六、〇〇〇 | 九六 | 六五、〇〇〇 | | |

(備考)　一、年額百圓以上は十圓を、二百圓以上は四十圓を、四百圓以上は五十圓を、七百圓以上は百圓を、千圓以上は二百圓を增す每に各一級を進むるものとす。
二、標準賃貸價格は總て本等級表の等級及金額に依り、實際の賃貸價格に恰當する等級及金額なきときは最も近き下位の等級及金額に依る。

標準賃貸價格及其の適用區域の調査は上述の如き方法竝に順序に從ひ、最善の注意を拂ひて施行したりと雖も、之を其の結果に徵するときは、或は調査員を異にするが爲め、或は調査時期に前後あるが爲め、其の他種々の原因に依り區域の編成に粗密あり、標準賃貸價格の評定に甲乙ありて、其の結果は各町村の均衡を害し、延いては各市郡・各府縣間の權衡を失するに至れるものなしとせざりしを以て、大藏省は前記編級調査の終了後、其の結果に就きて全國各府縣郡市町村間の權衡を稽査し、其の不適當と認むるものに對しては更に精細なる補正調査を行ふことと爲したり。而して右補正調査を行ふに當りては、全國府縣の權衡に就ては大藏省に於て、各郡市の權衡に就ては各稅務監督局に於て各町村以下の權衡に就ては各稅務署に於て、主として之を調査するの方針の下に、大藏省に於ては各地編級調査の成績を基礎として賃貸實例・收穫高賣買價格・人口戶數及各種經濟統計等の資料と對查考究を遂げ、以て各府縣の權衡を調査の上、其の補正を要すべきものを指摘したり。稅務監督局及稅務署に於ても右方法に準じて郡市以下の權衡に就て調査を行ひ、其の結果に基き各稅務署に於て夫夫補正調査を施行したり。右補正調査は編級調査後引續き之を行ひ、土地賃貸價格調査委員會の開會に至る迄機會ある每に之を施行し、以て調査の完璧を期したり。

以上の如くにして各稅務署に於て編級調査を終了したる時は、其の賃貸價格調査額を稅務監督局に稟議せしめ、監督局に於ては之を稽査の上意見を具して大藏省に稟請し、其の認可を得て之を各稅務署に指令し、直に土地賃貸價格調査委員會に付議するの手續を執らしめたり。

### 第三目　土地賃貸價格調査委員會

土地の賃貸價格は土地賃貸價格調査法第四條の規定に從ひ土地賃貸價格調査委員會の議に付したる後、政府之を決定するものなり。依て右調査委員會の組織權限竝に賃貸價格決定の手續等を定むる爲め、政府は昭和二年第五十二回帝國議會に土地賃貸價格調査委員會法案を提出せしが、衆議院に於ては審議の結果政府原案に對し左記の數點に就き修正を加へたる上之を可決したり。

(一)調査委員の定數に就ては、政府案に於ては其の決定を命令に讓り、命令を以て一委員會に就き郡部は二十人、市部は十人を標準とし、地方の情況に應じ適當なる定數を定むるの腹案なりしが、衆議院に於ては本事業の重大性に鑑み之に參與する委員は成るべく多數なるを可とすとの理由

に依り、市は十人、町村は各一人を原則とし、市町村の情況に依り之を增減し得ることを法律中に明定したり。

(二)調査委員の選擧方法に就ては、政府案に於ては複選擧制を採用せしが、衆議院に於ては之を直接選擧制に依ることと改め、尙之に關聯して選擧手續に多少の修正を加へたり。

(三)委員會開會日數に就ては政府案の五十日以內を承認せしも、委員定數增加の結果其の最終期日の十月三十一日を十一月二十日に修正したり。

尙衆議院に於ては右法案を修正可決の際、賃貸價格の調査に就き左の如き希望條項を附したり。

一、土地の標準賃貸價格の決定に適用すべき物納小作物の價格は成るべく各町村に於ける庭相場に據ること。

二、小作料を基礎に置き田畑の賃貸價格を定むるの結果、自作農地の負擔すべき地租に甚しき不均衡を生ずるの虞尠しとせず。仍て政府は深く此點に留意し、之を避くる爲特に最善の方法を採られたきこと。

三、著しく賃貸價格の騰貴せる爲其の地租負擔の極めて急激に增加すべき土地に對し、之を緩和する目的を以て或制限を設けむとする場合は最愼重なる考慮を拂ひ、課稅法改正の意義を毀損せざること。

貴族院に於ては衆議院の修正通り之を可決せしを以て、同法は昭和二年三月法律第十六號を以て左の如く公布せられたり。

## 土地賃貸價格調査委員會法（昭和二年三月三十日法律第十六號）

第一條　土地賃貸價格調査法第四條ノ規定ニ依リ同法第三條ノ區域及標準賃貸價格ヲ定ムル爲稅務署長ハ其ノ調査書ヲ作成シ之ヲ賃貸價格調査委員會ニ提出スヘシ

第二條　各稅務署所轄內ニ賃貸價格調査委員會ヲ置ク但シ稅務署所轄內ニ在ル市ニ付テハ命令ヲ以テ特ニ賃貸價格調査委員會ヲ置クコトヲ得

第三條　賃貸價格調査委員會ハ之ヲ置クヘキ區域內ノ各市町村ニ於テ地租納稅義務者ノ選擧シタル調査委員ヲ以テ之ヲ組織ス

各市町村ニ於テ選擧スヘキ調査委員ノ數ハ市ニ在リテハ十人、町村ニ在リテハ一人トス但シ市町村ノ情況ニ依リ命令ヲ以テ之ヲ增減スルコトヲ得

第四條　選擧期日前十五日ノ現在ニ於テ地租名寄帳ニ納稅義務者トシテ記載セラレタル個人（地租條例第十三條ノ二ノ規定ニ依リ地租ヲ徵收セラレサル者ヲ含ム）ハ當該市町村內ニ於テ調査委員ヲ選擧シ又ハ調査委員ニ選擧セラルルコトヲ得但シ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ此ノ限ニ在ラス

一　無能力者

二　破產者ニシテ復權ヲ得サルモノ

三　國稅滯納處分ヲ受ケタル後一年ヲ經サル者

四　六年以上ノ懲役若ハ禁錮ノ刑ニ處セラレ又ハ舊刑法ノ重罪ノ刑ニ處セラレタル者

五　六年未滿ノ懲役又ハ禁錮ノ刑ニ處セラレタル者ニシテ其ノ刑ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受クルコトナキニ至ル迄ノモノ

法人ニシテ地租ノ納稅義務ヲ有スル者ハ前項ノ規定ニ準シ調査委員ヲ選擧スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ選擧ニ關スル代表者ヲ定メ當該市町村長ニ申告スヘシ

第一項但書各號ノ一ニ該當スル者ハ前項ノ規定ニ依ル法人ノ代表者タルコトヲ得ス

第五條　投票及開票ニ關スル事務ハ市町村長之ヲ擔任シ其ノ他ノ選擧ニ關スル事務ハ稅務署長之ヲ擔任ス

第六條　稅務署長ハ調査委員ノ選擧期日ヲ定メ之ヲ市町村長ニ通知スヘシ

市町村長前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ少クトモ選擧期日七日前ニ之ヲ公示スヘシ

前項ノ公示ニハ投票及開票ノ日時及場所ヲ記載スヘシ

第七條　調査委員ノ選擧ハ無記名投票ヲ以テ之ヲ行フ

投票ハ一人一票ニ限ル

選擧人ハ選擧ノ當日投票時間內ニ自ラ投票所ニ至リ被選擧人一人ノ氏名ヲ投票用紙ニ記載シテ投票スヘシ

投票用紙ハ選擧ノ當日投票所ニ於テ之ヲ選擧人ニ交付スヘシ

第八條　市町村長ハ當該市町村內ニ於テ選擧資格ヲ有スル者ノ內ヨリ二人ノ立會人ヲ選任シ投票及開票ニ立會ハシムヘシ

立會人ニハ命令ノ定ムル所ニ依リ手當ヲ支給ス

第九條　投票ノ效力ハ立會人ノ意見ヲ聽キ市町村長之ヲ決定スヘシ

第十條　市町村長ハ投票ヲ調査シ直ニ左ノ事項ヲ稅務署長ニ通知スヘシ

一　投票人及投票ノ數竝有效投票及無效投票ノ數

二　投票ヲ無效ト決定シタル事由

三　被選擧人ノ住所、氏名、生年月日及其ノ得票數

第十一條　稅務署長前條ノ通知ヲ受ケタルトキハ之ヲ調査シ當選人ヲ決定スヘシ

第十二條　投票ノ多數ヲ得タル者ヲ以テ當選人トス得票數同シキトキハ年齡多キ者ヲ取リ年齡モ亦同シキトキハ稅務署長抽籤シテ之ヲ定ム

第十三條　稅務署長當選人ヲ決定シタルトキハ其ノ氏名ヲ公示シ且之ヲ當選人及市町村長ニ通知スヘシ

市町村長前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ當選人ノ氏名ヲ公示スヘシ

第十四條　調査委員ニ當選シタル者ハ正當ノ事由ナクシテ之ヲ辭スルコトヲ得ス

第十五條　調査委員第四條第一項但書各號ノ一ニ該當スルニ至リタルトキハ其ノ職ヲ失フ

第十六條　調査委員ニ缺員ヲ生シタルトキハ當選人トナラサリシ者ノ內得票數多キ者ヨリ順次之ヲ補充ス其ノ得票數同シキトキハ第十二條ノ規定ヲ準用ス

第十七條　調査委員ノ選擧ニ於テ當選人ノ數カ定數ニ達セサルトキ又ハ調査委員ニ缺員ヲ生シ前條ノ規定ニ依リ補充スヘキ者ナキトキハ補缺選擧ヲ行フ但シ賃貸價格調査委員會開會後缺員ヲ生シタル場合ニ於テハ之ヲ行ハサルコトヲ得

第十八條　賃貸價格調査委員會ハ稅務署長ノ通知ニ依リ之ヲ開ク其ノ開會日數ハ五十日以內

トシ地方ノ情況ニ依リ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十九條　賃貸價格調査委員會ハ開會ノ始ニ於テ調査委員中ヨリ會長ヲ選擧スヘシ會長事故アルトキハ出席シタル調査委員中ノ年齡多キ者會長ノ職務ヲ代理ス

第二十條　賃貸價格調査委員會ハ定員ノ過半數ニ當ル委員出席スルニ非サレハ決議スルコトヲ得ス

議事ハ出席員ノ多數ヲ以テ之ヲ決ス可否同數ナルトキハ會長ノ決スル所ニ依ル

第二十一條　賃貸價格調査委員會ノ決議ハ會長之ヲ稅務署長ニ通知スヘシ

第二十二條　昭和二年十一月二十日迄ニ賃貸價格調査委員會成立セサルトキハ稅務署長ニ於テ土地賃貸價格調査法第三條ノ區域及標準賃貸價格ヲ定ム

賃貸價格調査委員會開會ノ日ヨリ第十八條ノ期間內又ハ昭和二年十一月二十日迄ニ決議終了セサルトキハ稅務署長ニ於テ土地賃貸價格調査法第三條ノ區域及標準賃貸價格ヲ定ム

第二十三條　稅務署長ハ賃貸價格調査委員會ノ決議ヲ不當ト認ムルトキ又ハ再議期間內ニ決議終了セサルトキハ十日以內ノ期間ヲ定メ再議ニ付ス仍其ノ決議ヲ不當ト認ムルトキハ十日以內ノ期間ヲ定メ賃貸價格調査委員會ニ出席シ意見ヲ陳述スルコトヲ得

第二十四條　稅務署長又ハ其ノ代理官ハ賃貸價格調査法第三條ノ區域及標準賃貸價格ヲ定ム

第二十五條　調査委員ニハ命令ノ定ムル所ニ依リ手當及旅費ヲ支給ス

第二十六條　土地賃貸價格調査法第三條ノ區域及標準賃貸價格ヲ定メタルトキハ稅務署長ハ之ヲ市町村長ニ通知スヘシ

第二十七條　自己ノ納稅義務ヲ有スル土地ニ適用セラルヘキ標準賃貸價格ニ關シテ異議アル者ハ前條ノ縱覽期間滿了ノ日ヨリ二十日以內ニ不服ノ事由ヲ具シ稅務署長ヲ經由シテ稅務監督局長ニ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得

第二十八條　前條ノ申立アリタルトキハ稅務監督局長ハ之ヲ審査決定シ異議申立人ニ通知スヘシ

第二十九條　前條ノ決定ニ對シ不服アルトキハ訴願ヲ爲シ又ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第三十條　賃貸價格ノ調査又ハ決議ニ從事シタル者ハ其ノ調査又ハ決議ニ關シ知リタル祕密ヲ正當ノ事由ナクシテ他ニ漏洩スルコトヲ得ス

第三十一條　町村組合ニシテ町村ノ事務ノ全部又ハ役場事務ヲ共同處理スルモノハ本法ノ適用ニ付テハ之ヲ一町村、其ノ組合管理者ハ之ヲ町村長ト看做ス

市制第六條ノ市ニ於テハ本法中市ニ關スル規定ハ區ニ、市長ニ關スル規定ハ區長ニ之ヲ適用ス

町村制ヲ施行セサル地ニ於テハ本法中町村ニ關スル規定ハ町村ニ準スヘキモノニ、町村長ニ關スル規定ハ町村長ニ準スヘキモノニ之ヲ適用ス

附　則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

同法の公布に伴ひ同年六月大藏省令第十八號を以て、左の如く之が施行規則を制定公布したり。

土地賃貸價格調査委員會法施行規則（昭和二年六月十五日大藏省令第十八號）

第一條　稅務署長ハ土地賃貸價格調査委員會法第一條ノ規定ニ依リ土地賃貸價格調査書正副二通ヲ作成シ之ヲ賃貸價格調査委員會ニ提出スヘシ

第二條　各稅務署所轄內ニ在ル市及市制第六條ノ市ノ區ニ付テハ土地賃貸價格調査委員會法第二條但書ノ規定ニ依リ特ニ賃貸價格調査委員會ヲ置ク但シ東京市ノ區、大阪市ノ區、橫濱市、神戶市及本令施行後市トナリタルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第三條　土地賃貸價格調査委員會法第三條第二項但書ノ規定ニ依リ調査委員ノ數ヲ增減スヘキ市區町村及其ノ調査委員ノ數ハ別表ニ依ル

第四條　土地賃貸價格調査委員會法第四條第二項ノ規定ニ依ル法人ノ代表者ノ申告ハ選擧期日ノ前日迄ニ之ヲ爲スヘシ

第五條　賃貸價格調査委員會ノ開會日數ハ其ノ區域內ニ於テ賃貸價格ヲ調査スヘキ土地ノ筆數ニ從ヒ左ノ如ク之ヲ定ム

百萬筆以上ナルトキ　五十日以內

七十萬筆以上ナルトキ　四十五日以內

五十萬筆以上ナルトキ　四十日以內

三十萬筆以上ナルトキ　三十五日以內

三十萬筆未滿ナルトキ　三十日以內

第六條　調査委員ニハ手當百圓ヲ支給ス但シ調査委員會ニ全ク出席セサル者ニハ之ヲ支給セス

調査委員ニハ前項手當ノ外往復旅費ヲ支給ス

前二項ノ手當及旅費ノ支給ニ關シテハ大正二年大藏省令第二十五號第二條第四條及第五條ノ規定ヲ準用ス

第七條　調査委員ノ選擧ニ關スル立會人ニハ國庫ヨリ日當二圓ヲ支給ス

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

（別表省略）

右施行規則に依る土地賃貸價格調査委員會及調査委員數を集計すれば左表の如し。

| 稅務監督局名 | 調査委員會數 | | | 調査委員數 | | | 管轄市町村數 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 市部 | 郡部 | 計 | 市部 | 郡部 | 計 | 市 | 郡 | 町村 |
| 東京 | 二一 | 四九 | 七〇 | 二一九 | 二、〇一一 | 二、二三〇 | 一四 | 八二 | 二、〇四九 |
| 大阪 | 二六 | 六六 | 九二 | 二八七 | 二、六七三 | 二、九六〇 | 二〇 | 一三〇 | 二、六七九 |
| 札幌 | 六 | 一七 | 二三 | 四七 | 二七九 | 三二六 | 六 | 八三 | 二六三 |
| 仙臺 | 一一 | 四四 | 五五 | 八七 | 一、四三二 | 一、五一九 | 一一 | 七四 | 一、四七九 |
| 名古屋 | 一九 | 五二 | 七一 | 一七〇 | 二、〇三六 | 二、二〇六 | 一九 | 九六 | 二、〇三三 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 廣島 | 一三 | 四八 | 六一 | 一〇八 | 一、七六四 | 一、八七二 | 一三 | 一、七八二 |
| 熊本 | 一九 | 五三 | 七二 | 一五八 | 一、六三六 | 一、七九四 | 一九 | 一、五三三 |
| 計 | 一二五 | 三二九 | 四四四 | 一、〇七六 | 一二、八三一 | 一三、九〇七 | 一〇二 | 一二、八一八 |

土地賃貸價格調査委員の選擧は全國概ね昭和二年七月下旬之を執行せしが、北海道は交通不便の離島を存する關係上八月十八日に、又峯山稅務署は震災の爲め八月三十日に之を執行したり。調査委員選擧の終了に依りて玆に土地賃貸價格調査委員會は其の確定を見、尋いで調査委員會に提出すべき調査額の稟議に對しても認可の指令を發せられしを以て、各稅務署長に於て夫々委員會開會の手續を執りたり。斯くて調査委員會は昭和二年九月十七日仙臺稅務署に於ける郡部委員會の開會を最初として、內地に於ては十月十五日迄の間に順次開會し、北海道に於ては十月十五日より同二十二日迄の間に開會したり。唯京都府峯山稅務署に於ける委員會のみは、昭和二年三月七日奧丹後地方の震火災に因り賃貸價格調査に關する書類を燒失せし爲め、約一箇月遲れて十月二十八日に開會したり。

各地に於ける調査委員會の狀況は固より多樣にして、一々玆に記述するを得ずと雖も、各調査委員は何れも其の職責の重大なるを自覺して極めて公平熱心に調査に從事し、又稅務當局も懇切に其の調査原案の說明に努めたるを以て、委員會の議事は概ね順調に進行し、大局に影響なき些少の修正を加へしのみにて、大體に於て圓滿に其の決議を了せり。唯板橋（東京府）・小田原（神奈川縣）・銚子（千葉縣）・小松（石川縣）・高岡（富山縣）・河西（北海道）・岐阜（岐阜市）・惠那（岐阜縣）・庄原（廣島縣）・飫肥（宮崎縣）各稅務署に於ける各調査委員會の決議は、他の地方との權衡を失し適當ならずと認めらるるものありし爲め之を再議に付



せしが、其の結果右委員會は何れも前の決議を改め、政府の是認し得べき程度に決議せしも、獨り小松稅務署に於ける委員會のみは再び其の決議當を得ざるものありしを以て、遂に政府決定の已むなきに至れり。又北海道空知稅務署管內調査委員會に於ては委員間の內訌の爲め、二箇町分に就き決議未了の儘期間經過せしを以て、已むを得ず右二箇町分に就ては政府決定の途に出でたり。以上の如くにして調査委員會は昭和二年十月四日下閉伊稅務署（岩手縣）及高千穗稅務署（宮崎縣）管內調査委員會の閉會を最初として、十月中に二百九十三、十一月中に百四十九の委員會は閉會を告げ、十二月に入りては再調査等の爲め遲延したる河西及小松兩稅務署管內委員會のみにして、十二月十五日小松稅務署管內委員會を最後として、全國四百四十四委員會は全部閉會を告げたり。隨つて各委員會の開會日數の如きも、法定日數を要したるものは僅に一委員會のみにして、他は悉く法定日數以內に閉會したり。

## 第四目　土地賃貸價格の決定

### 第一　土地賃貸價格の決定

前述の如く土地賃貸價格調査委員會は、極めて良好なる成績を以て其の決議を了したるを以て、各稅務署長は其の決議に基き標準賃貸價格及其の適用區域を決定し、全國概ね昭和二年十二月之を市町村に通知し、各市町村に於ては二十日間之を關係者の縱覽に供したり。

斯くて標準賃貸價格及其の適用區域決定の後、各稅務署に於て各筆每に其の面積に應じて賃貸價格を算出し、玆に全國に亙る各種有租地の賃貸價格は其の決定を見たり。今本次の調査に依り決定

したる土地賃貸價格に關する諸計數を示せば左の如し。

## （一）土地賃貸價格決定額表（總額）

| 地目 | 筆數 | 面積 | 賃貸價格（円・錢） | 平均賃貸價格（円・厘） | 現在地價（円・錢） | 平均現在地價（円・厘） | 現在地價に對する賃貸價格の割合（割分厘） | 最高等級 | 最低等級 | 適用等級數 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 田 | 五二、〇三四、九四七 外三 | 二、九七三、四一三町・五八一〇歩・七七〇 | 八三八、二七八、八七六・三八 | 二八・五六三 | 一、〇一七、三五八、四五三・五七 | 三四・六六五 | 八二三 | 一〇八 | 二五 | 七五 |
| 畑 | 四二、八八二、一六七 外一七、九八一 | 二、七六〇、一三一・七六〇二・四一〇 | 二二五、五六七、七五一・七六 | 七・八五七 | 二三〇、七五一、五八八・九三 | 八・四一〇 | 九三四 | 一〇一 | 一四 | 八四 |
| 宅地 | 一〇、九八〇、〇六二 外一 | 一、二三七、〇五五、三八六坪・一七〇 | 六二八、九四五、八〇一・九八 | 五〇八 | 六九九、四三四、〇七二・六五 | 五六五 | 八九九 | 一〇三 | 一 | 一〇三 |
| 鹽田 | 三二、四三五 | 五、八〇六町・六二二三歩・四〇〇 | 二、七二六、八六〇・一三 | 四七・〇九三 | 一、八七〇、八五四・一六 | 三二・三一〇 | 一、四五七 | 一〇六 | 二六 | 六二 |
| 鑛泉地 | 三、九一八 | 一三、二九六坪・七六〇 | 三八二、六四五・九六 | 九七・六六四 | 一七三、一四六・七六 | 四四・一九三 | 二、二〇九 | 一四四 | 一 | 一〇〇 |
| 池沼 | 一七八、七五七 外一九 | 三、九〇一町・九五〇七歩・五七〇 | 三三一、八六九・一三 | 二・五七三 | 一八三、五七七・六二 | 一・四二三 | 一、八〇七 | 一三七 | 八 | 一一三 |
| 山林 | 二三、三一五、六八一 外四 | 八、四七九、三七四・一五二二・四八〇 | 四一、四八二、五三六・四九 | 四八九 | 二七、二三〇、六二二・三二 | 三二一 | 一、五二三 | 一〇〇 | 八 | 八二 |
| 牧場 | 一一、三九〇 | 一三二、四三五・六三〇五・〇〇〇 | 二〇一、三六二・四七 | 一五二 | 三六〇、九六四・一三 | 二七三 | 五五七 | 六八 | 二 | 三六 |
| 原野 | 六、四二一、七四一 外一五六 | 一、五三八、五三三・〇二一二・二六〇 | 四、五三六、八六八・三六 | 二九五 | 二、九九〇、四七七・七五 | 一九四 | 一、五一六 | 一三一 | 八 | 八八 |
| 雜種地 | 三一六、〇五〇 外一 | 一六、〇〇五・三二一三・二四五 | 二、二六四、五三八・七三 | 一四・一四九 | 一、六三五、六八八・六〇 | 一〇・二三〇 | 一、三八四 | 一六九 | 八 | 一三六 |
| 計 | 一三五、一六七、一四八 外一八、一六五 | 一六、三三〇、九五八・二六二〇・〇六五 | 一、七三四、七一九、一二一・三七 | — | 一、九八一、九七九、四四六・四九 | — | 八七五 | — | — | — |

（備考）一、本表の賃貸價格は政府の當初決定額にして、異議申立・訴願・訴訟に依る其の後の異動額は之を加除せず。

二、筆數欄の外書は一筆中に二地目を包含する土地に付、其の一を外書として掲記したるものなり。

三、平均賃貸價格及平均現在地價は、宅地は一坪當、鑛泉地は一筆當、其の他の地目は一段歩當を算出し、厘位未滿は四捨五入せり。

四、現在地價對賃貸價格の割合は現在地價及賃貸價格の總額に依り算出し、厘位未滿は切捨てたり。





## （二）土地賃貸價格決定額表（道府縣）

| 局名 | 道府縣名 | 田 賃貸價格（円・錢） | 田 平均賃貸價格（円・厘） | 田 現在地價（円・錢） | 田 平均現在地價（円・厘） | 田 現在地價に對する賃貸價格の割合（割分厘） | 畑 賃貸價格（円・錢） | 畑 平均賃貸價格（円・厘） | 畑 現在地價（円・錢） | 畑 平均現在地價（円・厘） | 畑 現在地價に對する賃貸價格の割合（割分厘） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 東京 | 東京 | 四、二二六、〇九八・八九 | 二八・八八四 | 六、一三八、三九八・〇三 | 四一・九五四 | 六八八 | 五、八七〇、六七五・一七 | 一四・二九七 | 四、七〇二、一八〇・九八 | 一一・四四九 | 一、二四八 |
| | 神奈川 | 六、八四二、三五七・三四 | 三〇・一二三 | 九、五七八、九四六・七三 | 四二・一七〇 | 七一四 | 五、二三三、四九二・四〇 | 一〇・五四五 | 五、九五三、四〇一・一四 | 一一・九九五 | 八七九 |
| | 埼玉 | 一九、五七一、〇一九・六五 | 二八・九八〇 | 二九、〇三三、二二三・六四 | 四二・九九一 | 六七四 | 一一、六一五、二四五・九九 | 一一・九四六 | 一三、一一五、八〇二・六一 | 一三・四六一 | 九五八 |
| | 千葉 | 二七、九三〇、三五四・九〇 | 二六・五九九 | 三三、一〇〇、六二八・八三 | 三一・三三三 | 八四三 | 七、一三三、七八一・一七 | 八・四二一 | 七、四九〇、八六一・三〇 | 八・八三二 | 九五二 |
| | 山梨 | 六、〇七六、六一四・七九 | 三二・三〇四 | 八、一五九、一一一・五三 | 四三・三七五 | 七四四 | 三、五八一、三七九・三〇 | 八・四四〇 | 四、六八一、六七四・〇三 | 一一・〇三三 | 七六四 |
| | 栃木 | 一九、二五七、四八八・一三 | 二八・一七四 | 二〇、二九二、七一五・〇九 | 二九・六八八 | 九四八 | 五、五三八、六八九・七五 | 八・七一六 | 五、九七三、九九九・七四 | 九・四〇一 | 九二七 |
| | 茨城 | 二五、一八八、五四三・二九 | 二七・五〇一 | 二九、一三七、九九二・八七 | 三一・八一三 | 八六四 | 一〇、一九八、四五五・三〇 | 八・〇五七 | 一〇、三四六、〇八六・八一 | 八・一七三 | 九八五 |
| 京 | 群馬 | 一〇、八三六、一六六・七九 | 三二・八〇六 | 一三、〇九一、七七〇・九一 | 三九・六三五 | 八二七 | 八、五六八、一五四・五九 | 一一・一四二 | 八、七三九、六三六・二七 | 一一・三六五 | 九八〇 |
| 大 | 大阪 | 一八、二七四、三七六・二四 | 三三・九四六 | 二七、八七八、六六七・二七 | 五一・七八六 | 六五五 | 二、〇五一、〇四七・〇九 | 一五・九六九 | 二、七二五、一四〇・三七 | 二一・二二七 | 七五三 |
| | 京都 | 一四、三一九、九四二・一四 | 三一・二〇六 | 一七、四二三、一〇六・四九 | 三七・九六九 | 八二二 | 二、五〇二、五二七・四一 | 一三・七九〇 | 二、六七六、三五三・五六 | 一四・七四八 | 九三五 |
| | 兵庫 | 三八、八三六、一五三・八三 | 三四・八三四 | 四七、五三二、九八四・七四 | 四二・六二四 | 八一七 | 二、九九八、九八四・八四 | 一〇・七〇二 | 三、三七九、九〇一・六九 | 一二・〇六一 | 八八七 |
| | 奈良 | 一一、三二八、〇二二・五一 | 三三・九〇七 | 一六、〇三七、五四九・三七 | 四八・〇四五 | 七〇五 | 一、五二八、〇六三・三六 | 一四・九一九 | 一、九五八、六八二・二二 | 一九・一二三 | 七八〇 |
| | 和歌山 | 一〇、四三三、九七四・四〇 | 三一・三二一 | 一四、三九七、八八三・八二 | 四三・二二一 | 七二四 | 二、〇三三、五九二・九九 | 一三・二三六 | 二、四二八、三五四・三八 | 一五・八八四 | 八三三 |
| | 滋賀 | 一九、四五九、五八六・九六 | 三〇・四九四 | 二九、六〇一、〇四〇・三〇 | 四六・三八六 | 六五七 | 一、六六二、四七六・八六 | 一五・〇五三 | 二、四八九、三九七・二九 | 二二・五四〇 | 六六七 |
| | 福井 | 一三、三六二、三六三・一一 | 二七・六五九 | 一八、〇二九、二〇二・六二 | 三七・三一九 | 七四一 | 一、三〇六、〇七一・六九 | 九・五七二 | 一、四一七、六九二・四五 | 一〇・三九一 | 九二一 |
| | 石川 | 一六、一〇九、二二八・一六 | 二九・三八一 | 二〇、四二八、四〇六・六一 | 三七・二五八 | 七八八 | 一、七八八、九三七・六九 | 六・五五二 | 一、八五二、四五四・二四 | 六・七八四 | 九六五 |
| | 富山 | 二一、七六四、一六三・三〇 | 二六・九七五 | 二八、八一七、〇八二・三六 | 三五・七一六 | 七五五 | 九二六、〇四九・五三 | 五・八九〇 | 八六二、六一〇・九七 | 五・四八七 | 一、〇七三 |
| 阪 | 香川 | 一三、八六九、〇二二・一六 | 三四・七四〇 | 一七、九四三、五九九・三〇 | 四四・九四六 | 七七二 | 一、二七二、四七九・一三 | 一一・五八四 | 一、三七三、〇八四・四一 | 一三・五〇〇 | 九二六 |

| 局名 | 道府縣名 | 宅地 賃貸價格 | 宅地 平均賃貸價格 | 宅地 現在地價 | 宅地 平均現在地價 | 宅地 現在地價に對する賃貸價格の割合 | 鹽田 賃貸價格 | 鹽田 平均賃貸價格 | 鹽田 現在地價 | 鹽田 平均現在地價 | 鹽田 現在地價に對する賃貸價格の割合 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 円 銭 | 円 厘 | 円 銭 | 円 厘 | 割分厘 | 円 銭 | 円 厘 | 円 銭 | 円 厘 | 割分厘 |
| | 徳島 | 八、九七三、六二二・二三 | 三一・三四一 | 一一、八五一、八〇一・五五 | 四一・三九三 | 七五七 | 四、三三三、四七六・三一 | 一三・五二九 | 四、四二二、二三三・二一 | 一三・七八三 | 九八〇 |
| | 高知 | 一〇、四九九、九六三・七六 | 二八・八三六 | 一三、五五三、一一四・八七 | 三七・三二一 | 七七四 | 二、七二九、一一八・五六 | 三・一三三 | 二、二四三、九四七・〇三 | 二・五七四 | 一、二二六 |
| 札幌 | 北海道 | 一、八〇六、六五〇・一六 | 一〇・七九五 | 一、九四四、二六〇・五五 | 一一・六一八 | 九二九 | 八、三〇七、四四〇・三八 | 二・二五九 | 一三、四四一、〇〇六・四二 | 三・六五五 | 六一八 |
| 仙臺 | 宮城 | 一九、七五七、七八三・五五 | 三三・二四三 | 一七、九五八、五四〇・六八 | 四〇・二二八 | 一、一〇〇 | 三、二六六、三〇五・一三 | 七・三四九 | 三、七三八、七五七・二九 | 八・四一三 | 八七三 |
| | 岩手 | 一一、六六四、八七三・〇〇 | 二一・二六五 | 一三、九八二、一六六・六〇 | 二三・六六六 | 八九八 | 三、六四二、八二八・六六 | 四・一九二 | 四、七六七、三五四・八四 | 五・四八六 | 七六四 |
| | 福島 | 二三、八八六、四四一・〇七 | 二四・一六〇 | 二八、〇一一、三四五・四三 | 二八・三三二 | 八五三 | 六、五八七、五〇四・三六 | 七・三二六 | 九、一九〇、五四五・八三 | 一〇・二三〇 | 七一六 |
| | 秋田 | 二五、六七六、一一八・七五 | 二四・四八四 | 二三、三〇三、八八四・七三 | 二二・二二三 | 一、一〇一 | 一、四六七、一八九・四三 | 四・四五五 | 二、一一五、一五八・〇九 | 六・四三三 | 六九三 |
| | 青森 | 一三、四七一、五五三・三七 | 二〇・九七五 | 一四、三三〇、五九九・七七 | 二二・三一二 | 九四〇 | 二、〇七五、七七二・三九 | 三・六〇七 | 二、六五九、四二五・八一 | 四・六二一 | 七八〇 |
| | 山形 | 二五、二六二、四八〇・七五 | 二七・八二八 | 二五、八一八、〇五〇・七六 | 二八・四四〇 | 九七八 | 三、五一七、九九二・七五 | 八・二〇八 | 三、九八二、三〇一・六二 | 九・二九一 | 八八三 |
| 名古屋 | 愛知 | 二五、五五九、四九三・〇五 | 二七・三四七 | 三九、八七二、一〇〇・〇四 | 四二・六六〇 | 六四一 | 一〇、五四二、五六六・四八 | 一六・八二二 | 九、八四〇、九九八・五九 | 一五・六九三 | 一、〇七一 |
| | 静岡 | 一八、七八四、七六〇・五一 | 三〇・三二五 | 二五、五八七、八〇五・四四 | 四一・三〇七 | 七三四 | 七、八一六、六八五・〇九 | 一〇・八七〇 | 七、二九八、〇三六・〇七 | 一〇・一四九 | 一、〇七一 |
| | 三重 | 二〇、一三三、九八八・七六 | 二七・〇六二 | 三一、七六六、三〇六・四二 | 四二・七二〇 | 六三三 | 四、二三三、六五三・六二 | 一四・七二四 | 四、八三七、九九九・三三 | 一六・八六九 | 八七二 |
| | 岐阜 | 一九、八四〇、一〇七・二〇 | 三〇・一六二 | 二三、四八一、六四七・九五 | 三五・六九八 | 八四四 | 五、三三九、九三一・四四 | 一〇・八七六 | 四、九一六、五四五・七四 | 一〇・〇二四 | 一、〇八六 |
| | 長野 | 二一、五九五、九二九・八四 | 三〇・六〇三 | 二四、五七四、八五一・二〇 | 三四・八二四 | 八七八 | 一一、三三六、三九三・〇〇 | 一一・四七一 | 一〇、〇一八、一三一・六四 | 一〇・一四六 | 一、一三〇 |
| | 新潟 | 四六、九〇七、九三九・六六 | 二六・八九九 | 五四、一四七、五〇九・一八 | 三一・〇五〇 | 八六六 | 五、八六七、一〇七・七九 | 七・八八二 | 五、六二八、四九五・一〇 | 七・五六一 | 一、〇四二 |
| 廣島 | 廣島 | 二三、〇五六、八二七・八二 | 三〇・〇八〇 | 二八、四六四、八〇六・九七 | 三七・一三五 | 八一〇 | 四、四二九、二八三・四〇 | 一三・五一九 | 五、三三三、六〇〇・九七 | 一五・〇四四 | 八三二 |
| | 山口 | 二二、九七〇、四九八・七〇 | 二八・四七二 | 二〇、三七四、一一〇・〇八 | 二五・二五四 | 一、一二七 | 一、七一六、〇八一・五五 | 五・三四二 | 一、〇九七、〇〇八・五九 | 三・四一五 | 一、五六四 |
| | 岡山 | 二七、九八五、五三〇・二八 | 三一・八一四 | 三六、〇八九、五九五・〇八 | 四一・〇二七 | 七七五 | 四、一六七、五七五・八三 | 一一・三六一 | 五、二六四、二六三・五一 | 一四・三五一 | 七九一 |
| | 鳥取 | 九、七九二、八四五・七四 | 二九・三九九 | 一一、六三三、五九〇・六三 | 三四・八九二 | 八四二 | 一、七三八、二五四・一四 | 一一・一七九 | 一、六九二、九二〇・四四 | 一〇・八八七 | 一、〇二六 |
| | 島根 | 一五、七四七、〇一三・三三 | 二七・九六五 | 一八、八〇七、四三六・八一 | 三三・四〇〇 | 八三七 | 二、六三三、一四七・六一 | 七・二〇〇 | 三、一一四、九七三・二二 | 八・五一七 | 八四五 |
| | 愛媛 | 一五、七六八、〇二六・五九 | 三三・七二〇 | 一七、五七三、七八〇・一七 | 三六・四六七 | 八九七 | 五、一二〇、七一六・〇八 | 八・一〇二 | 五、〇八八、六八八・一五 | 八・〇五一 | 一、〇〇六 |





| 局名 | 道府縣名 | 宅地 賃貸價格 | 宅地 平均賃貸價格 | 宅地 現在地價 | 宅地 平均現在地價 | 宅地 現在地價に對する賃貸價格の割合 | 鹽田 賃貸價格 | 鹽田 平均賃貸價格 | 鹽田 現在地價 | 鹽田 平均現在地價 | 鹽田 現在地價に對する賃貸價格の割合 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 熊本 | 熊本 | 二三、四八四、六六三・四一 | 三三・〇三九 | 二六、九七四、六六五・〇三 | 三六・八〇一 | 八七〇 | 八、三三三、三六五・五三 | 八・〇五九 | 八、二〇九、三一六・八六 | 七・九〇一 | 一、〇一九 |
| | 福岡 | 三五、九六一、一八五・一五 | 三一・八四〇 | 四三、三〇七、二三〇・九二 | 三八・三四四 | 八三〇 | 四、〇七一、三〇五・四〇 | 九・〇八五 | 三、六七九、二五八・二六 | 八・二一一 | 一、一〇六 |
| | 大分 | 一七、二五六、九四八・四六 | 三一・一五八 | 一八、三五六、五〇三・六五 | 三三・一四四 | 九四〇 | 三、六六三、二二四・五二 | 八・六九七 | 三、七六五、三〇〇・二四 | 八・九三七 | 九七二 |
| | 長崎 | 九、四二〇、八二〇・六八 | 二八・〇二九 | 一〇、六六三、七九五・四九 | 三一・七六一 | 八八二 | 四、八七六、六七二・九二 | 八・四五一 | 四、六四三、二二四・七八 | 八・〇四七 | 一、〇五〇 |
| | 佐賀 | 一七、七七一、〇八〇・七八 | 三三・八〇五 | 二二、五一四、五六九・八〇 | 四二・八二九 | 七八九 | 二、〇三二、九一六・五四 | 一〇・四四七 | 二、三六七、二四〇・三七 | 一二・一六五 | 八五八 |
| | 鹿兒島 | 一六、〇七二、九三二・八六 | 二七・一一〇 | 一四、二八六、三三五・三二 | 二四・〇九七 | 一、一二五 | 九、〇四五、一一三・三一 | 五・六五六 | 六、七六五、六九四・一五 | 四・二三一 | 一、三三六 |
| | 宮崎 | 一一、〇八六、三三七・七三 | 二四・八三四 | 一一、四六四、四九一・四二 | 二五・六八一 | 九六七 | 三、八〇七、八三七・四五 | 五・八〇八 | 二、九一三、五五九・三九 | 四・四四四 | 一、三〇六 |
| | 沖縄 | 四二八、〇四四・八二 | 五・二五一 | 一、〇六三、二五六・五三 | 一三・〇四四 | 四〇二 | 三、〇四九、一八五・八三 | 五・四九二 | 六、五六二、三六九・九六 | 一一・八二〇 | 四六四 |
| 總計 | | 八三八、二七八、八七六・三八 | 二八・五六三 | 一、〇一七、三五八、四五三・五七 | 三四・六六五 | 八二三 | 二一五、五六七、七五一・七六 | 七・八五七 | 二三〇、七五一、五八八・九三 | 八・四一〇 | 九三四 |

| 局名 | 道府縣名 | 宅地 賃貸價格 | 宅地 平均賃貸價格 | 宅地 現在地價 | 宅地 平均現在地價 | 宅地 現在地價に對する賃貸價格の割合 | 鹽田 賃貸價格 | 鹽田 平均賃貸價格 | 鹽田 現在地價 | 鹽田 平均現在地價 | 鹽田 現在地價に對する賃貸價格の割合 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 円 銭 | 円 厘 | 円 銭 | 円 厘 | 割分厘 | 円 銭 | 円 厘 | 円 銭 | 円 厘 | 割分厘 |
| 東京 | 東京 | 一六九、七二一、九〇〇・〇八 | 三・八七一 | 一一一、四九八、八三五・四八 | 二・五四三 | 一、五二三 | — | — | — | — | — |
| | 神奈川 | 二五、二二一、四九八・八八 | 九八三 | 二五、二四八、〇三〇・六一 | 九八五 | 九九八 | 二、一一三・五一 | 一三・四三三 | 二、六四三・一六 | 一五・五四七 | 七九九 |
| | 埼玉 | 九、二三一、三三五・七〇 | 一九一 | 一五、九四四、七六一・五六 | 三三〇 | 五七九 | — | — | — | — | — |
| | 千葉 | 九、六〇一、三〇三・二六 | 一九八 | 一四、四二三、四二五・一一 | 二九七 | 六六五 | 九、九六九・一九 | 八・〇九四 | 一五、〇〇四・四七 | 一二・一八二 | 六六四 |
| | 山梨 | 三、〇一三、七七六・二一 | 二二七 | 五、四九五、四〇一・二〇 | 四一四 | 五四八 | — | — | — | — | — |
| | 栃木 | 七、八三七、七四七・八八 | 二一九 | 一一、三〇八、六五一・四九 | 三一六 | 六九三 | — | — | — | — | — |
| | 茨城 | 九、〇六三、五六〇・五三 | 一六七 | 一四、九九一、三三八・九八 | 二七六 | 六〇四 | — | — | — | — | — |
| | 群馬 | 七、一六五、九六三・八〇 | 二四〇 | 一一、一四一、五九三・四六 | 三七三 | 六四三 | — | — | — | — | — |
| 大阪 | 大阪 | 八七、四四七、〇三〇・四二 | 三・一二一 | 七一、七六〇、二二六・〇四 | 二・五五三 | 一、二一八 | — | — | — | — | — |
| | 京都 | 二三、八一九、五二六・七七 | 一・一二九 | 二二、三六三、〇五九・七四 | 一・〇五一 | 一、〇六五 | — | — | — | — | — |

| 局名 | 道府縣名 | 鑛泉地 賃貸價格 (円銭) | 鑛泉地 平均賃貸價格 (円厘) | 鑛泉地 現在地價 (円銭) | 鑛泉地 平均現在地價 (円厘) | 鑛泉地 現在地價に對する賃貸價格の割合 (割分厘) | 池沼 賃貸價格 (円銭) | 池沼 平均賃貸價格 (円厘) | 池沼 現在地價 (円銭) | 池沼 平均現在地價 (円厘) | 池沼 現在地價に對する賃貸價格の割合 (割分厘) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 阪 | 兵庫 | 三四、九六六、八六二・五一 | 九四〇 | 四〇、三七五、六〇〇・二四 | 一・〇八六 | 八六六 | 四〇六、二七五・二七 | 四五・二三九 | 四〇〇、四〇九・四二 | 四四・五八六 | 一、〇二四 |
| | 奈良 | 二、七九三、二五七・六五 | 二七九 | 四、二七四、九四二・五三 | 四二八 | 六五三 | — | — | — | — | — |
| | 和歌山 | 四、三七九、九九六・八四 | 三七八 | 六、〇九五、三七七・九四 | 五二六 | 七一八 | 二四八・六七 | 九・九九七 | 四四五・一〇 | 一七・八九五 | 五五八 |
| | 滋賀 | 四、〇八八、八〇二・二九 | 二二一 | 八、四五一、九三六・一〇 | 四五六 | 四三三 | — | — | — | — | — |
| | 福井 | 三、六〇二、二九三・一五 | 二六八 | 六、四四三、二四三・三七 | 四七九 | 五五九 | 六三・五八 | 三・一六四 | 七九・四三 | 四・〇一六 | 七八七 |
| | 石川 | 四、九九四、二三七・四三 | 三一二 | 八、五〇一、七七一・六六 | 五三三 | 五八七 | 一三、九六〇・八九 | 一三・五〇〇 | 一〇、六九一・二八 | 一〇・三一一 | 一、二二三 |
| | 富山 | 四、三五〇、六〇八・〇七 | 二三八 | 七、九八八、五一六・四三 | 四三六 | 五四四 | — | — | — | — | — |
| | 香川 | 三、九四六、四五六・七二 | 二七一 | 七、〇九三、二八八・八七 | 四八七 | 五五六 | 七三八、〇七七・六五 | 八二・八二三 | 三三一、〇一六・〇四 | 三六・〇二三 | 二、二九九 |
| | 徳島 | 三、六〇七、一九七・〇六 | 二五二 | 六、五四九、七〇四・八〇 | 四五八 | 五五〇 | 二五一、六四七・〇三 | 五二・六二三 | 二一五、〇二六・〇五 | 四四・九六五 | 一、一七〇 |
| | 高知 | 二、六九二、八三五・九四 | 二五七 | 四、八二〇、六八一・六六 | 四六〇 | 五五八 | 六八四・八五 | 九九六 | 九三八・一五 | 一・三六四 | 七三〇 |
| 札幌 | 北海道 | 一三、七四二、三三一・四〇 | 五六二 | 一五、六五三、四二七・九三 | 六四〇 | 八七七 | — | — | — | — | — |
| 仙臺 | 宮城 | 五、八九八、八二二・六八 | 二〇五 | 八、五六三、〇六七・七六 | 二九八 | 六八八 | 二七、四〇九・六八 | 三六・六七六 | 二六、五六四・〇三 | 三五・五四五 | 一、〇三一 |
| | 岩手 | 三、三四六、七九七・〇〇 | 一一一 | 六、一〇七、三八九・七九 | 二〇二 | 五四七 | 六二・一六 | 五・二四四 | 一〇二・九九 | 八・六八九 | 六〇三 |
| | 福島 | 五、九九四、九八八・六三 | 一七七 | 一〇、七六五、九三二・一五 | 三一八 | 五五六 | 五三六・〇三 | 一一・六二八 | 三六三・四七 | 七・八八四 | 一、四七四 |
| | 秋田 | 三、九九九、〇〇五・二八 | 一五四 | 六、八九四、八一四・五五 | 二六六 | 五八〇 | 一・五二 | 三・〇〇〇 | 五・二六 | 一〇・三八二 | 二八八 |
| | 青森 | 三、五七三、〇六九・八六 | 一六一 | 五、五五五、五九〇・八三 | 二五〇 | 六四三 | — | — | — | — | — |
| | 山形 | 五、三三三、六八〇・八八 | 二〇一 | 九、二二八、五二三・一五 | 三四八 | 五七六 | — | — | — | — | — |
| 名古屋 | 愛知 | 三五、二九三、〇三三・〇三 | 六九三 | 三七、六四九、五一七・八五 | 七三九 | 九三七 | 四一、八〇一・〇六 | 一九・七〇四 | 二一、一四八・三四 | 九・九六九 | 一、九七六 |
| | 靜岡 | 一〇、四五八、六〇一・四一 | 三〇六 | 一五、三三六、〇九四・九九 | 四四九 | 六八一 | 二、七二八・一六 | 一八・九三九 | 一、九七七・二三 | 一三・七七六 | 一、三七四 |
| | 三重 | 六、八六〇、二七〇・三五 | 二八四 | 一三、六九七、〇五一・一三 | 五二五 | 五四〇 | — | — | — | — | — |
| | 岐阜 | 六、三八三、一一八・五三 | 二五三 | 一一、〇三八、三三七・二四 | 四三五 | 五七八 | — | — | — | — | — |
| | 長野 | 八、五六一、三〇八・四二 | 二三〇 | 一四、四七三、三〇四・一三 | 三九〇 | 五九一 | — | — | — | — | — |





| 局名 | 道府縣名 | 鑛泉地 賃貸價格 (円銭) | 鑛泉地 平均賃貸價格 (円厘) | 鑛泉地 現在地價 (円銭) | 鑛泉地 平均現在地價 (円厘) | 鑛泉地 現在地價に對する賃貸價格の割合 (割分厘) | 池沼 賃貸價格 (円銭) | 池沼 平均賃貸價格 (円厘) | 池沼 現在地價 (円銭) | 池沼 平均現在地價 (円厘) | 池沼 現在地價に對する賃貸價格の割合 (割分厘) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| （名古）屋 | 新潟 | 九、七二一、五八七・九〇 | 二〇九 | 一七、四三六、八三八・六四 | 三七五 | 五五六 | 三九七・四三 | 七五五 | 一、〇六七・五〇 | 二・〇二九 | 三七二 |
| 廣島 | 廣島 | 一二、六〇二、二〇一・四六 | 四五一 | 一七、七四一、六二一・一五 | 六九〇 | 六五三 | 二四七、六四一・七九 | 四五・二六一 | 二三六、五四七・四三 | 四三・二三四 | 一、〇四六 |
| | 山口 | 七、六二二、七二二・三七 | 二九五 | 七、三九九、〇二〇・八一 | 二八六 | 一、〇三〇 | 四二五、五二九・七五 | 四四・六五三 | 二一一、九四二・四二 | 二二・二四〇 | 二、〇〇七 |
| | 岡山 | 八、〇五五、九四五・五三 | 二九八 | 一三、三九四、六五七・〇三 | 四九六 | 六〇一 | 三〇四、四六六・一七 | 六一・一六八 | 二二三、三四八・七八 | 四四・六七〇 | 一、三六九 |
| | 鳥取 | 一、九八五、六六八・七二 | 二〇五 | 三、六二〇、二二九・八二 | 三七五 | 五四八 | — | — | — | — | — |
| | 島根 | 二、五七一、四五三・三〇 | 一六三 | 四、九二五、一二六・二八 | 三一二 | 五二三 | — | — | — | — | — |
| | 愛媛 | 四、六三一、三二一・三〇 | 二五一 | 七、九八九、九五七・五二 | 四三三 | 五七九 | 一七二、八七七・三六 | 五四・四二九 | 一三七、五二六・六一 | 四〇・一五一 | 一、三五五 |
| 熊本 | 熊本 | 七、五一三、四五五・八二 | 二四七 | 一一、七四二、八〇五・二九 | 三八七 | 六三九 | 四〇・二〇 | 一六・三八六 | 九・五五 | 三・八九三 | 四、二〇九 |
| | 福岡 | 一九、一九三、三三二・〇三 | 四八八 | 一九、一七〇、一三二・五二 | 四八七 | 一、〇〇一 | 二三、七〇六・八七 | 一三・〇四八 | 一〇、〇〇一・二四 | 五・五〇五 | 二、三七〇 |
| | 大分 | 四、二八一、三〇五・一五 | 二一三 | 五、九五八、九一二・二四 | 二九七 | 七一八 | 三四、三一八・六〇 | 二一・六二六 | 一四、四〇四・九二 | 九・〇七七 | 二、三八二 |
| | 長崎 | 六、七四一、三三七・八六 | 三七一 | 一〇、五四四、八五三・五六 | 五八一 | 六三九 | 七六四・八四 | 六・二五九 | 八四九・七三 | 六・九五四 | 九〇〇 |
| | 佐賀 | 三、一八六、九二七・七四 | 二三四 | 五、八三四、一七四・四一 | 四二九 | 五四六 | 二四・二六 | 一九・九九五 | 三三・四〇 | 二六・七〇三 | 七四八 |
| | 鹿兒島 | 七、一四五、九一五・八一 | 一八六 | 八、九二七、一九三・〇〇 | 二三三 | 八〇〇 | 一七、九三四・八七 | 二四・二四三 | 二三、八七五・四九 | 三〇・九二一 | 七八四 |
| | 宮崎 | 二、八六九、四一六・八七 | 一五一 | 四、一〇三、二九三・〇一 | 二一六 | 六九九 | 七四・六六 | 七・〇一三 | 一〇七・一二 | 一〇・一一八 | 六九三 |
| | 沖繩 | 八七三、〇四三・四九 | 〇七三 | 一、九一三、八六九・六〇 | 一五九 | 四五六 | 四、五一五・〇七 | 四・三九七 | 六、七二五・九五 | 六・五五〇 | 六七一 |
| 總計 | | 六二八、九四五、八〇一・九八 | 五〇八 | 六九九、四三四、〇七二・六五 | 五六五 | 八九九 | 二、七二六、八六〇・一三 | 四七・〇九三 | 一、八七〇、八五四・一六 | 三二・三一〇 | 一、四五七 |

| 局名 | 道府縣名 | 鑛泉地 賃貸價格 (円銭) | 鑛泉地 平均賃貸價格 (円厘) | 鑛泉地 現在地價 (円銭) | 鑛泉地 平均現在地價 (円厘) | 鑛泉地 現在地價に對する賃貸價格の割合 (割分厘) | 池沼 賃貸價格 (円銭) | 池沼 平均賃貸價格 (円厘) | 池沼 現在地價 (円銭) | 池沼 平均現在地價 (円厘) | 池沼 現在地價に對する賃貸價格の割合 (割分厘) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 東（京） | 東京 | 二二・〇〇 | 七・三三三 | 一二八・〇〇 | 四二・六六七 | 一七一 | 一五、四四二・八四 | 一一・二五九 | 五、六四八・三四 | 四・一一八 | 二、七三四 |
| | 神奈川 | 三四、六四五・〇〇 | 二七〇・六六四 | 七、六四〇・三三 | 五九・六九〇 | 四、五三四 | 四六二・三三 | 五三〇 | 一四四・三九 | 一六五 | 三、二〇一 |

| 局 | 府縣 | 円銭 | 円厘 | 円銭 | 円厘 | 割分厘 | 円銭 | 円厘 | 円銭 | 円厘 | 割分厘 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 京 | 埼玉 | — | — | — | — | — | 二、六七六・四五 | 七〇三 | 二、二七一・六〇 | 五九六 | 一、一七八 |
| | 千葉 | — | — | — | — | — | 四、五二五・五〇 | 四八九 | 二、七九三・二八 | 三〇三 | 一、六二〇 |
| | 山梨 | 一、九〇三・〇〇 | 五一・四三二 | 二、九八二・一六 | 八〇・五九九 | 六三八 | 二八一・八五 | 八一〇 | 四三八・三六 | 一・二六〇 | 六四二 |
| | 栃木 | 三、六九七・六〇 | 八〇・三八三 | 一七一・八三 | 三・七三五 | 二一、五一八 | 七七九・七一 | 六五五 | 三九二・七二 | 三三〇 | 一、九八五 |
| | 茨城 | 一九一・四八 | 九・五七四 | 一五〇・七九 | 七・五四〇 | 一、二六九 | 四、二九一・七二 | 七三三 | 二、六六七・五九 | 四五五 | 一、六〇八 |
| | 群馬 | 一三、一五二・九〇 | 一〇一・二七四 | 四、八三九・九七 | 四〇・三三三 | 二、五一〇 | 三、九九七・三五 | 一・三三三 | 一、六二五・八九 | 五三八 | 二、四五八 |
| 大阪 | 大阪 | 四八・〇〇 | 四八・〇〇〇 | 一〇〇・〇〇 | 一〇〇・〇〇〇 | 四八〇 | 一三、八九二・二七 | 六・六三三 | 九、六九四・〇四 | 四・六二九 | 一、四三八 |
| | 京都 | — | — | — | — | — | 七、八八二・七五 | 一・四〇二 | 四、二八七・九五 | 七六三 | 一、八三八 |
| | 兵庫 | 五、四二九・一一 | 一三二・四一七 | 四、二七九・七四 | 一〇四・三八四 | 一、二六八 | 一、三九一・二〇 | 一・八五五 | 一、〇二二・四五 | 一・三六二 | 一、三六一 |
| | 奈良 | 七〇・〇〇 | 三五・〇〇〇 | 九九 | 四九五 | 七〇、七〇七 | 五、四四五・四三 | 三二・九三七 | 三、六六八・〇三 | 二二・一八六 | 一、四八四 |
| | 和歌山 | 一、九八三・七〇 | 八六・二四八 | 一、二九八・三一 | 五六・四四八 | 一、五二七 | 一、五〇四・七五 | 四・六〇一 | 一、二六〇・八三 | 三・八五五 | 一、一九三 |
| | 滋賀 | — | — | — | — | — | 二、五九三・七七 | 八七八 | 三、三六七・六六 | 一・一四〇 | 七七〇 |
| | 福井 | 五、五二四・〇〇 | 九八・六四三 | 八三九・七五 | 一四・九九六 | 六、五七八 | 七三四・〇九 | 八九二 | 八七一・二三 | 一・〇五八 | 八四二 |
| | 石川 | 一〇、七四一・二〇 | 一七〇・四九五 | 九、九二一・七九 | 一五七・三三〇 | 一、〇八三 | 三、一九三・八七 | 一・六一五 | 二、四〇三・四三 | 一・二二五 | 一、三三八 |
| | 富山 | 一、七九〇・三〇 | 三三・七七九 | 二、五二六・七〇 | 四七・六七四 | 七〇八 | 一、四九二・二六 | 一・一八一 | 一、一二七・七〇 | 八八四 | 一、三三五 |
| | 香川 | 一三〇・〇〇 | 六〇・〇〇〇 | 二三・三四 | 一一・六七〇 | 五、一四一 | 二、八六九・〇六 | 五・四五七 | 一、八一七・六四 | 三・四五七 | 一、五七八 |
| | 徳島 | — | — | — | — | — | 一、二〇六・一四 | 七三一 | 一、七九一・九九 | 一・〇八七 | 六七三 |
| | 高知 | — | — | — | — | — | 一、八一九・〇七 | 九〇三 | 一、二〇〇・五五 | 五九六 | 一、五一五 |
| 札幌 | 北海道 | 六、八七三・一〇 | 一〇四・一三八 | 一、九二五・〇二 | 二九・一六七 | 三、五七〇 | 五八二・二〇 | 一・二九四 | 二三九・二一 | 五三二 | 二、四三三 |
| 仙 | 宮城 | 五、九七四・〇〇 | 七二・八五四 | 三、九九七・九五 | 四八・七五五 | 一、四九四 | 二、六二五・六二 | 五一八 | 三、四三三・三四 | 六七六 | 七六七 |
| | 岩手 | 一、八一五・〇〇 | 五八・五四八 | 二三七・八五 | 七・六七三 | 七、六三〇 | 一三六・八五 | 二二一 | 七九・八一 | 一二九 | 一、七一四 |
| | 福島 | 一一、八三三・四〇 | 四七・七一五 | 五、一六八・六七 | 二〇・八四一 | 二、二八九 | 一、一二三・五三 | 五七六 | 六八二・七四 | 三一九 | 一、八〇六 |





| 局 | 府縣 | 円銭 | 円厘 | 円銭 | 円厘 | 割分厘 | 円銭 | 円厘 | 円銭 | 円厘 | 割分厘 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 臺 | 秋田 | 三五九・九九 | 二二・四九九 | 一四八・一六 | 九・二六〇 | 二、四二九 | 一七九・六四 | 五八三 | 一四五・六二 | 四七二 | 一、二三三 |
| | 青森 | 二、二〇四・五〇 | 三三・九〇三 | 七六七・一七 | 一一・四五〇 | 二、八七三 | 一二九・四三 | 一・一三四 | 七四・九一 | 六五七 | 一、七二七 |
| | 山形 | 五、一五〇・二〇 | 五二・〇二三 | 一、二九五・七四 | 一三・〇八八 | 三、九七四 | 八二三・三七 | 八五六 | 七九七・七七 | 八三〇 | 一、〇三二 |
| 名古屋 | 愛知 | — | — | — | — | — | 五六、九四六・二三 | 三・三三九 | 三八、〇七三・三三 | 二・二三二 | 一、四九五 |
| | 靜岡 | 三〇、一六四・〇〇 | 一〇五・八三九 | 三、〇二六・六四 | 一〇・六二〇 | 九、九六六 | 五〇、八九五・七五 | 一五・七七八 | 二〇、一二四・九四 | 六・二三五 | 二、五二八 |
| | 三重 | 五三・〇〇 | 一三・二五〇 | 九七・七二 | 二四・四三〇 | 五四二 | 二五、九八二・一二 | 四・五七一 | 九、一四三・三一 | 一・六〇九 | 二、八四一 |
| | 岐阜 | 一七〇・七〇 | 二四・三八六 | 八・三七 | 一・一九六 | 二〇、三九四 | 一一、九三〇・一一 | 一・二四七 | 一八、三七六・三三 | 一・九二二 | 六四九 |
| | 長野 | 五、四七二・六〇 | 七〇・一六二 | 二、一九四・四九 | 二八・一三四 | 二、四九三 | 二、三四〇・七六 | 二・七七一 | 二、二一〇・九四 | 二・六一八 | 一、〇五八 |
| | 新潟 | 一、三五二・二八 | 一五・五四三 | 九一〇・三五 | 一〇・四六四 | 一、四八五 | 一三、一二五・二八 | 六五九 | 五、九七四・四三 | 二九八 | 二、二一三 |
| 廣島 | 廣島 | 一五・一〇 | 三・七七五 | 四・七九 | 一・一九八 | 三、一五二 | 四、二七七・六六 | 六・三九六 | 二、六三六・六三 | 三・九二七 | 一、六二八 |
| | 山口 | 三、九七九・七〇 | 一〇七・五五九 | 三、九六五・〇一 | 一〇七・一六二 | 一、〇〇三 | 一〇、六七六・七三 | 三・六四六 | 三、六五九・二九 | 一・二五〇 | 二、九一七 |
| | 岡山 | 一、〇〇七・〇〇 | 八三・九一七 | 一、三九五・二一 | 一一六・二六八 | 七二二 | 八、二六三・七九 | 五・九二〇 | 五、七三三・七九 | 四・一〇〇 | 一、四四三 |
| | 鳥取 | 六、五四八・三〇 | 八一・八五四 | 三、〇七〇・三二 | 三八・三七九 | 二、一三二 | 二三八・八二 | 一・二二八 | 一八七・二五 | 九五五 | 一、二七五 |
| | 島根 | 二、六七九・三〇 | 四三・九二三 | 二、六〇七・七九 | 四二・七五一 | 一、〇二七 | 二、一〇九・九〇 | 一・六七六 | 一、四一四・四八 | 一・一二三 | 一、四九一 |
| | 愛媛 | 三、五〇〇・〇〇 | 一、七五〇・〇〇〇 | 一、五〇〇・〇〇 | 七五〇・〇〇〇 | 二、三三三 | 五、九八三・二一 | 三・五四八 | 二、四一五・四八 | 一・四三三 | 二、四七七 |
| 熊本 | 熊本 | 九、四〇三・七〇 | 五四・六六七 | 一三、八四〇・五〇 | 七四・六五四 | 七三二 | 七、五四二・四三 | 四・一七二 | 三、九二一・三四 | 二・一六三 | 一、九二八 |
| | 福岡 | 四、八二〇・〇〇 | 一六五・八六二 | 五七五・五〇 | 一九八・四四八 | 八、三五七 | 一六、八七一・九四 | 六・五一九 | 三、九五五・七二 | 一・五二九 | 四、二六五 |
| | 大分 | 一八五、八八四・一〇 | 一一九・〇〇四 | 八八、一五四・四五 | 五六・四三七 | 二、一〇八 | 六、七三一・五五 | 五・四七三 | 二、七五八・六六 | 二・二四三 | 二、四四〇 |
| | 長崎 | 一、八七三・三〇 | 一一七・〇八一 | 一三八・三一 | 八・六四四 | 一三、五四四 | 三、一八二・六五 | 八・四三三 | 八一三・九五 | 二・一五六 | 三、九一〇 |
| | 佐賀 | 三、〇二二・八〇 | 二七三・八九一 | 四三三・五九 | 三九・三二六 | 六、九六四 | 一一、二五一・四四 | 八・七八一 | 五、七二六・四六 | 四・四六九 | 一、九六四 |
| | 鹿兒島 | 九、八〇一・六〇 | 三九・〇五〇 | 三、六八六・二八 | 一四・六八六 | 二、六五八 | 九、七二八・九四 | 八・七五三 | 一八四・九六 | 一六六 | 五二、六〇〇 |
| | 宮崎 | 三九一・〇〇 | 二四・四三八 | 一〇四・一八 | 六・五二一 | 三、七五三 | 三九二・七六 | 二・七一九 | 五七・八三 | 四〇〇 | 六、七九一 |

| 局名 | 道府縣名 | 山林 賃貸價格 | 山林 平均賃貸價格 | 山林 現在地價 | 山林 平均現在地價 | 山林 現在地價の賃貸價格に對する割合 | 牧場 賃貸價格 | 牧場 平均賃貸價格 | 牧場 現在地價 | 牧場 平均現在地價 | 牧場 現在地價の賃貸價格に對する割合 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 円 錢 | 円 厘 | 円 錢 | 円 厘 | 割分厘 | 円 錢 | 円 厘 | 円 錢 | 円 厘 | 割分厘 |
| | 沖繩 | — | — | — | — | — | 一、一〇四・〇〇 | 三・五五五 | 二、三二三・四五 | 七・四四九 | 四七七 |
| | 總計 | 三八二、六四五・九六 | 九七・六六四 | 一七三、一四六・七六 | 四四・一九三 | 二、二〇九 | 三三一、八六九・一三 | 二・五七三 | 一八三、五七七・六二 | 一・四二三 | 一、八〇七 |
| 東京 | 東京 | 五五五、二五九・二八 | 一・三五九 | 二八〇、九六八・七四 | 六八八 | 一、九七六 | — | — | — | — | — |
| | 神奈川 | 七八七、九三八・六〇 | 一・〇六四 | 四八二、七三〇・二五 | 六五二 | 一、六三二 | 二五五・五九 | 四〇 | 九〇・二九 | 一四 | 二、八三〇 |
| | 埼玉 | 一、〇六五、〇三〇・四七 | 一・五一五 | 七八三、二三一・二七 | 一・一一四 | 一、三五九 | — | — | — | — | — |
| | 千葉 | 一、二九七、〇一四・六〇 | 一・〇一六 | 七六四、二一三・四二 | 五九九 | 一、六九七 | 一〇、四六五・一六 | 五六四 | 三、六三一・九一 | 一九六 | 二、八八一 |
| | 山梨 | 三九三、九二四・八三 | 七二三 | 二九八、四四一・八八 | 五四七 | 一、三一九 | — | — | — | — | — |
| | 栃木 | 一、三五二、八七四・三一 | 七三六 | 七八六、八九四・二六 | 四二八 | 一、七一九 | 一五、八六二・七一 | 一九五 | 五、一七七・二〇 | 六四 | 三、〇六四 |
| | 茨城 | 一、三三六、七八三・二六 | 八一六 | 六五二、九八一・四二 | 三九九 | 二、〇四七 | 六、八四三・二六 | 四六七 | 一、四六六・九七 | 一〇〇 | 四、六六四 |
| | 群馬 | 一、二四二、九三七・八四 | 九六七 | 九四〇、二七九・〇八 | 七三三 | 一、三二二 | 一〇、四七五・七六 | 二八五 | 六、八二五・四八 | 一八六 | 一、五三四 |
| 大阪 | 大阪 | 三五一、二四一・三〇 | 一・三六七 | 三四七、一三二・八五 | 一・三五一 | 一、〇一一 | — | — | — | — | — |
| | 京都 | 九〇二、三七〇・九七 | 六九四 | 六三八、三六五・四三 | 四九一 | 一、四一三 | — | — | — | — | — |
| | 兵庫 | 二、一四六、四八七・五〇 | 五四四 | 一、一五三、五九五・三三 | 二九二 | 一、八六〇 | — | — | — | — | — |
| | 奈良 | 六五五、六四二・七九 | 四七六 | 三八四、八二〇・〇五 | 二七九 | 一、七〇三 | — | — | — | — | — |
| | 和歌山 | 一、一六一、三一九・〇八 | 四三三 | 四一四、四八〇・一四 | 一五四 | 二、八〇一 | — | — | — | — | — |
| | 滋賀 | 八〇四、七三五・九一 | 七一五 | 六〇五、六八一・八二 | 五三八 | 一、三二八 | — | — | — | — | — |
| | 福井 | 五五九、二二八・二七 | 五〇二 | 三一四、〇一八・六七 | 二八二 | 一、七八〇 | 三三二・六五 | 二・七九六 | 七四一・四六 | 六・二三三 | 四四八 |
| | 石川 | 五五五、三九二・〇七 | 六八三 | 二九四、七二一・三四 | 三六二 | 一、八八四 | — | — | — | — | — |
| | 富山 | 二九六、八三〇・四五 | 五七三 | 一七〇、〇二三・二三 | 三二八 | 一、七四五 | — | — | — | — | — |



| 局名 | 道府縣名 | 山林 賃貸價格 | 山林 平均賃貸價格 | 山林 現在地價 | 山林 平均現在地價 | 山林 現在地價の賃貸價格に對する割合 | 牧場 賃貸價格 | 牧場 平均賃貸價格 | 牧場 現在地價 | 牧場 平均現在地價 | 牧場 現在地價の賃貸價格に對する割合 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 大阪 | 香川 | 五五二、九九五・二〇 | 七一四 | 七九七、八一二・六六 | 一・〇三一 | 六九三 | — | — | — | — | — |
| | 徳島 | 六九七、二八五・一六 | 四二四 | 五五八、三三三・三八 | 三三九 | 一、二四八 | — | — | — | — | — |
| | 高知 | 六五三、一九八・五五 | 二五二 | 三三五、八一三・七三 | 一三六 | 二、〇〇四 | — | — | — | — | — |
| 札幌 | 北海道 | 七〇〇、六四九・〇二 | 〇八四 | 一、五一三、三〇七・二六 | 一八〇 | 四六三 | 一二四、三九八・九九 | 一三三 | 三一九、七九五・一〇 | 三四三 | 三五七 |
| 仙臺 | 宮城 | 一、〇二二、五八五・六六 | 五八〇 | 九九一、一二九・三七 | 五六七 | 一、〇三一 | 二、六三一・九三 | 三五〇 | 五六四・〇〇 | 七五 | 四、六六六 |
| | 岩手 | 一、〇六五、二四七・〇七 | 二四〇 | 五三九、八九一・六六 | 一二二 | 一、九七三 | 一五、一〇一・〇八 | 八三二 | 六、七〇一・四九 | 三六九 | 二、二五三 |
| | 福島 | 一、三八八、六二三・九四 | 四五六 | 六五四、九八二・八九 | 二一五 | 二、一二〇 | 一四七・五四 | 四五九 | 一〇三・四六 | 三二三 | 一、四二六 |
| | 秋田 | 四六八、三七四・九八 | 四五四 | 二〇九、九九二・七二 | 二〇三 | 二、二三〇 | — | — | — | — | — |
| | 青森 | 三八〇、四三二・二五 | 三四七 | 三二六、四七四・一七 | 二九八 | 一、一六五 | 九、七四三・三六 | 一一三 | 六、五〇六・一九 | 七六 | 一、四九七 |
| | 山形 | 七三八、九三二・一八 | 四〇四 | 六七九、九二三・二三 | 三七一 | 一、〇八六 | — | — | — | — | — |
| 名古屋 | 愛知 | 九〇七、三七五・〇七 | 八七〇 | 五一八、一九一・二二 | 四九七 | 一、七五〇 | 六・九二 | 七・九八五 | 五・六三 | 六・四九六 | 一、二二九 |
| | 静岡 | 一、六七七、四九八・七二 | 六〇二 | 六九七、三〇九・三〇 | 二五〇 | 二、四〇五 | 五四五・〇三 | 一八二 | 一七四・三五 | 五八 | 三、一二六 |
| | 三重 | 一、五三三、〇三三・六三 | 六二四 | 五三五、七二七・八四 | 二二〇 | 二、八四二 | — | — | — | — | — |
| | 岐阜 | 一、三五一、六四六・八九 | 三一六 | 八三九、五五八・五六 | 一九六 | 一、六〇九 | — | — | — | — | — |
| | 長野 | 一、〇一五、三三六・三七 | 四二一 | 四一七、一九八・〇六 | 一七一 | 二、四五七 | 二、九二六・〇〇 | 六五 | 七二二・四六 | 一六 | 四、〇五〇 |
| | 新潟 | 一、六〇一、〇〇九・七四 | 六三六 | 一、〇八二、五六七・三六 | 四二九 | 一、四八〇 | 一二七・九四 | 九一八 | 五五・五四 | 三九八 | 二、三〇三 |
| 廣島 | 廣島 | 一、五五二、九三二・四三 | 三七〇 | 五六八、三五六・一五 | 一三五 | 二、七三二 | 六〇・四六 | 五五〇 | 二二・一八 | 二〇二 | 二、七二五 |
| | 山口 | 一、一一七、〇三八・一三 | 四七四 | 八三七、七三七・八七 | 三五五 | 一、三三三 | — | — | — | — | — |
| | 岡山 | 九九五、八五六・二五 | 三八二 | 四一九、四六〇・二〇 | 一六一 | 二、三七四 | — | — | — | — | — |
| | 鳥取 | 二九〇、四三四・二五 | 三八八 | 一二六、二五二・〇三 | 一六九 | 二、三〇〇 | 二一七・三六 | 一三〇 | 七二・〇一 | 四〇 | 三、〇一八 |
| | 島根 | 一、〇八六、六〇九・二八 | 二九七 | 三七七、四一四・二四 | 一〇三 | 二、八七九 | 三二・五九 | 二一六 | 一二・二六 | 八二 | 二、六五八 |

| 局名 | 道府縣名 | 原野 貸價格 | 原野 平均貸價格 | 原野 現在地價 | 原野 平均現在地價 | 原野 現在地價に對する貸價格の割合 | 雜種地 貸價格 | 雜種地 平均貸價格 | 雜種地 現在地價 | 雜種地 平均現在地價 | 雜種地 現在地價に對する貸價格の割合 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 円銭 | 円厘 | 円銭 | 円厘 | 割分厘 | 円銭 | 円厘 | 円銭 | 円厘 | 割分厘 |
| | 愛媛 | 九五〇、三八四・四六 | 四三二 | 五四〇、二七七・三四 | 二四五 | 一、七五九 | — | — | — | — | — |
| 熊本 | 熊本 | 六〇五、五八二・八〇 | 八五九 | 七三五、八八三・八〇 | 一・〇四四 | 八二三 | — | — | — | — | — |
| | 福岡 | 八四七、六二〇・四三 | 一・二〇九 | 八一八、三三三・六〇 | 一・一六七 | 一、〇三五 | 八三九・三六 | 九八九 | 二二八・九一 | 二七〇 | 三、六六六 |
| | 大分 | 六五四、一八六・二三 | 一・〇〇八 | 六七六、四〇〇・七七 | 一・〇四二 | 九六七 | — | — | — | — | — |
| | 長崎 | 五一五、一八七・〇五 | 七五六 | 五一六、一八二・一八 | 七五七 | 九九八 | 四九三・二三 | 一・〇〇〇 | 四五四・三九 | 九二一 | 一、〇八五 |
| | 佐賀 | 三五一、三五七・六六 | 八九三 | 三七一、〇〇七・五〇 | 九四三 | 九四七 | — | — | — | — | — |
| | 鹿兒島 | 六三四、七五八・三四 | 七〇七 | 五五七、四八三・八六 | 六二一 | 一、一三八 | 四、三五〇・〇七 | 三五九 | 一、四八六・九八 | 一二三 | 二、九二五 |
| | 宮崎 | 五七三、三七四・四八 | 八二九 | 五二五、四六〇・四二 | 七五九 | 一、〇九一 | 二二二・一三 | 六七六 | 一五八・〇七 | 五〇四 | 一、三四一 |
| | 沖繩 | 九六、〇九八・七五 | 一五三 | 一五〇、六〇〇・八一 | 二四〇 | 六三八 | 五、二九三・三八 | 八九 | 五、九六八・八〇 | 一〇〇 | 八八六 |
| 總計 | | 四一、四八二、五三六・四九 | 四八九 | 二七、二二〇、六三三・三二 | 三二一 | 一、五二三 | 二〇一、三六二・四七 | 一五二 | 三六〇、九六四・一三 | 二七三 | 五五七 |

| 局名 | 道府縣名 | 原野 貸價格 | 原野 平均貸價格 | 原野 現在地價 | 原野 平均現在地價 | 原野 現在地價に對する貸價格の割合 | 雜種地 貸價格 | 雜種地 平均貸價格 | 雜種地 現在地價 | 雜種地 平均現在地價 | 雜種地 現在地價に對する貸價格の割合 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 円銭 | 円厘 | 円銭 | 円厘 | 割分厘 | 円銭 | 円厘 | 円銭 | 円厘 | 割分厘 |
| 東京 | 東京 | 四五、五九八・六四 | 七九一 | 一九、七五四・一四 | 三四三 | 二、三〇八 | 三、〇〇九・一八 | 二・七〇八 | 一、六四八・二七 | 一・四八三 | 一、八二五 |
| | 神奈川 | 二八、八五六・六五 | 一三三 | 一三、八三六・一六 | 〇五九 | 二、二四八 | 四、六七三・一〇 | 一・一九七 | 六四〇・八四 | 一六四 | 七、二九二 |
| | 埼玉 | 六二、三一六・六四 | 七二一 | 四四、八七三・二四 | 五一九 | 一、三八八 | 一、五七二・二八 | 二・〇四四 | 一、四一九・六六 | 一・八四六 | 一、一〇七 |
| | 千葉 | 一一五、八一六・五六 | 五〇七 | 七三、六四一・一三 | 三二三 | 一、五七二 | 三、三三九・八四 | 五三三 | 二、五四四・八六 | 四〇六 | 一、三一三 |
| | 山梨 | 六七、七六二・四三 | 四八一 | 三八、一一〇・〇三 | 二七一 | 一、七七八 | 一三、〇八九・三四 | 八・三三三 | 三、〇六〇・三九 | 一・九四六 | 四、二七七 |
| | 栃木 | 七二、六六六・八九 | 三七二 | 三四、二八〇・〇八 | 一七五 | 二、一一九 | 八一五・八七 | 三三五 | 三〇九・九七 | 一二七 | 二、六三二 |
| | 茨城 | 九五、一一二・一八 | 四四六 | 五六、三九一・〇四 | 二六四 | 一、六八六 | 一、〇八七・六七 | 九九 | 五三六・八七 | 四九 | 二、〇二五 |
| | 群馬 | 一三七、五一四・九八 | 四四八 | 九九、四〇三・七四 | 三二四 | 一、三八三 | 九八三・一〇 | 一・四一三 | 五三六・五八 | 七七一 | 一、八三二 |
| 大阪 | 大阪 | 六二、八四三・六四 | 四・三四〇 | 五二、九〇六・六六 | 三・六五四 | 一、一八七 | 二九八、二四三・三一 | 二〇〇・七四一 | 一〇二、五三六・八一 | 六九・〇一五 | 二、九〇八 |
| | 京都 | 一〇、六三三・八〇 | 七二九 | 一〇、三四二・二二 | 七〇九 | 一、〇二八 | 六、二八七・九〇 | 七・四二三 | 四、六六〇・四五 | 五・五〇一 | 一、三四九 |
| | 兵庫 | 四九、八六六・九五 | 四五二 | 二三、〇〇七・〇三 | 二〇九 | 二、一六七 | 二三五、五一三・九三 | 八六・四九八 | 二七、六六三・一一 | 一〇・六一〇 | 八、一五三 |
| | 奈良 | 二、九一七・六四 | 二八七 | 一、五六六・二九 | 一五四 | 一、八六二 | 二六・四四 | 一・七五四 | 三五・四三 | 二・三五一 | 七四六 |
| | 和歌山 | 七、一一五・〇一 | 四九三 | 二、六二三・七四 | 一八二 | 二、七一三 | 七、四八一・五一 | 九・八〇七 | 六、八六二・八四 | 八・九九六 | 一、〇九〇 |
| | 滋賀 | 二六、四一八・四五 | 三〇九 | 三三、七五八・二九 | 三九五 | 七八二 | 三、九九五・五七 | 四・一四九 | 四、九七二・五五 | 五・一六四 | 八〇三 |
| | 福井 | 二八、五二五・八〇 | 一・一一五 | 三三、二四三・三四 | 一・二九九 | 八五八 | 五、〇一五・四六 | 五・一六四 | 三、三三九・九三 | 三・四三九 | 一、五〇二 |
| | 石川 | 一七、三二〇・一九 | 五六五 | 二〇、五一八・四〇 | 六七〇 | 八四三 | 一四、〇一六・九九 | 五・八〇四 | 九、五一八・〇〇 | 三・九四一 | 一、四七二 |
| | 富山 | 二四、八〇四・五三 | 七八一 | 二五、八四八・三八 | 八一四 | 九五九 | 三、三五四・一二 | 二・三二〇 | 三、八四六・一一 | 二・六六〇 | 八七二 |
| | 香川 | 三、〇四八・二七 | 一・四九三 | 二、〇八四・〇九 | 一・〇二〇 | 一、四六二 | 二、八六六・四七 | 三・八三〇 | 二、八一二・五二 | 三・七五八 | 一、〇一九 |
| | 德島 | 七、七二三・六九 | 五九五 | 六、二二九・六五 | 四八〇 | 一、二三九 | 一、三二一・六七 | 五九七 | 一、三八四・七九 | 六七六 | 八八二 |
| | 高知 | 五、三七九・八四 | 二五五 | 二、七〇三・三七 | 一二八 | 一、九九〇 | 一、三五〇・一七 | 一・三四三 | 八〇六・六四 | 八〇三 | 一、六七三 |
| 札幌 | 北海道 | 二二三、一四一・五四 | 〇八七 | 二九五、六四六・三五 | 一三二 | 七一七 | 九九六、七二二・〇二 | 二・三三〇 | 一、二〇六、〇四一・七二 | 二五・八〇九 | 八二六 |
| 仙臺 | 宮城 | 五三、四三四・七四 | 四五六 | 六一、六一八・四八 | 五二六 | 八六七 | 二五六・六九 | 二・〇七六 | 二五七・七二 | 二・〇八四 | 九九六 |
| | 岩手 | 二五〇、〇〇〇・二六 | 二二二 | 二三八、四三二・七一 | 二一四 | 一、九四六 | 一、二五〇・八六 | 二・二〇六 | 九二三・六二 | 一・六二七 | 一、三五五 |
| | 福島 | 一三九、五〇七・五五 | 三三二 | 五八、一〇六・四一 | 一四九 | 二、三二八 | 三、一四二・一五 | 七・〇五一 | 三、二二三・八三 | 七・二三二 | 九七四 |
| | 秋田 | 三三〇、五〇五・七五 | 三二九 | 一八五、五三一・五二 | 一八五 | 一、七八一 | 三六一・〇九 | 五三九 | 九二三・三七 | 一・三七九 | 三九一 |
| | 青森 | 二〇七、六〇二・〇六 | 二四四 | 二一〇、〇七三・三〇 | 二四七 | 九八八 | 一、七四九・五五 | 四二一 | 一、九二四・一七 | 四五二 | 九〇九 |
| | 山形 | 一三〇、七四三・六一 | 四六九 | 二二四、二三五・〇二 | 八〇五 | 五八三 | 九四二・七六 | 一・七〇九 | 二、一一六・四〇 | 三・八三七 | 四四五 |
| 名古屋 | 愛知 | 五九、七九〇・〇三 | 一・〇六九 | 三八、三二七・三七 | 六八五 | 一、五五九 | 一三四、九〇四・三三 | 一四・九八五 | 一四、四七三・七四 | 一・六〇八 | 九、三二一 |
| | 靜岡 | 一四七、八七六・〇一 | 二〇九 | 六四、八九四・四二 | 九二 | 二、二七八 | 八、四九一・七五 | 一・三三〇 | 二、六九三・〇四 | 四一九 | 三、一五四 |
| | 三重 | 二〇、九一〇・二〇 | 五一三 | 九、六二七・七五 | 二三六 | 二、一七一 | 一九、六五六・一九 | 二・六五四 | 八、六六六・〇九 | 一・一七〇 | 二、二六八 |
| | 岐阜 | 三七、四六四・四八 | 四八九 | 三五、五五五・七三 | 四六四 | 一、〇五三 | 二、〇〇六・八二 | 三・二五七 | 九八四・五九 | 一・五九八 | 二、〇三八 |

| | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 屋 | 長野 | 四二八、〇一五・六七 円錢 | 二三八 円厘 | 一七八、二七二・一一 円錢 | 九九 円厘 | 二、四〇〇 割分厘 | 二九四・四三 円錢 | 四六八 円厘 | 二三九・七三 円錢 | 三六五 円厘 | 一、二八一 割分厘 |
| | 新潟 | 一七四、五三九・八二 | 一・二三七 | 一〇九、四三八・九二 | 七七六 | 一、五九四 | 一八、九三四・九一 | 二・五八八 | 七、五四〇・六九 | 一・〇三一 | 二、五一一 |
| 廣島 | 廣島 | 一〇、七三五・五三 | 四一三 | 二一、四二四・一六 | 八二六 | 五〇〇 | 二七、一七二・〇七 | 八二三 | 一五、四九五・〇三 | 四六三 | 一、七五三 |
| | 山口 | 八、七三六・一四 | 二八一 | 六、六二二・〇七 | 二一三 | 一、三一九 | 四九、五四六・五六 | 一七・〇一六 | 七、一九〇・四四 | 二・四六九 | 六、八九〇 |
| | 岡山 | 一四、三八〇・三三 | 三五二 | 七、〇三三・七三 | 一七三 | 二、〇四四 | 一一、三四六・三〇 | 三三・〇三四 | 三、四九〇・六八 | 一〇・一六三 | 三、二五〇 |
| | 鳥取 | 九四、〇八四・五一 | 一五七 | 三七、一三七・六七 | 六二 | 二、五三三 | 五、〇五五・〇六 | 二・六四八 | 四、四四〇・三五 | 二・三三六 | 一、一三八 |
| | 島根 | 三、二八二・四一 | 二〇一 | 一、七三〇・〇一 | 一〇六 | 一、八九七 | 四、四四九・二七 | 一・五一三 | 三、四六六・四一 | 一・一七九 | 一、二八三 |
| | 愛媛 | 三、五四七・一〇 | 五三六 | 二、八六六・七二 | 四二五 | 一、二三七 | 三、七二〇・〇七 | 一四・三八二 | 六、九三四・三三 | 四・三八九 | 三、二七六 |
| 熊本 | 熊本 | 一六五、二一四・七〇 | 二八七 | 一三九、三一三・六五 | 二四二 | 一、一八五 | 四、五九七・四二 | 六・五七八 | 二、六五二・一六 | 三・七九五 | 一、七三三 |
| | 福岡 | 二四五、九二五・七九 | 五一一 | 一二六、五二〇・一五 | 二六三 | 一、九四三 | 二二六、六八二・三〇 | 三六・九一〇 | 二七、五五六・七九 | 二〇・〇二五 | 一、八四三 |
| | 大分 | 二六二、七九三・七三 | 四〇八 | 一〇五、七八八・〇九 | 一六四 | 二、四八四 | 三六、三八四・〇九 | 八・二〇八 | 九、〇七九・四二 | 二・〇四八 | 四、〇〇七 |
| | 長崎 | 一〇三、六四六・二八 | 三六〇 | 三四、八七八・五七 | 一三三 | 二、九四二 | 七五、九一二・〇七 | 二三・一二三 | 一七、〇四七・九八 | 五・一九三 | 四、四五二 |
| | 佐賀 | 一五五、九五一・五八 | 三七九 | 五七、九二一・〇三 | 一四一 | 二、六九二 | 六、二八八・四〇 | 一〇・三五五 | 五、五九〇・五〇 | 九・二〇五 | 一、一二四 |
| | 鹿兒島 | 二五八、五八五・〇三 | 三三九 | 一五九、〇九七・六〇 | 二〇九 | 一、六二五 | 一、二四四・三二 | 七九三 | 七二四・四九 | 四六二 | 一、七一七 |
| | 宮崎 | 一三六、五三三・七五 | 三六二 | 六五、七六六・三一 | 一七四 | 二、〇七五 | 五、二六五・八六 | 一・一五三 | 一、二九四・〇七 | 二八三 | 四、〇六九 |
| | 沖縄 | 一九、七一八・九九 | 七二 | 三〇、五二七・九一 | 一一 | 六四五 | 一一、二三七・四八 | 四・八八四 | 一一、五九四・六三 | 五・〇四四 | 九六八 |
| 總計 | | 四、五三六、八六八・三六 | 二九五 | 二、九九〇、四七七・七五 | 一九四 | 一、五一六 | 二、二六四、五三八・七三 | 一四・一四九 | 一、六三五、六八八・六〇 | 一〇・二三〇 | 一、三八四 |

（備考） 前表備考に同じ。以下の諸表之に倣ふ。

## （三） 總賃貸價格總地價一覽表（道府縣別）





| 税務監督局名 | 道府縣名 | 現在地價 | 賃貸價格 | 地價對賃貸價格の割合 |
|---|---|---|---|---|
| 東京 | 東京 | 一三、六四六、五六一・九八 円錢 | 一八〇、四二八、〇〇六・〇八 円錢 | 一・四七一 割分厘 |
| | 神奈川 | 四一、二八七、〇九三・九〇 | 三八、一四六、二九三・四〇 | 九二三 |
| | 埼玉 | 五七、九二五、五七三・五八 | 四一、五五〇、一八七・一八 | 七一七 |
| | 千葉 | 五五、八七六、七四四・三一 | 四六、一〇六、五六九・一八 | 八二五 |
| | 山梨 | 一八、六七九、二二九・五六 | 一三、一四七、七三一・七五 | 七〇三 |
| | 栃木 | 三八、四〇二、五九二・三八 | 三四、〇八〇、六二三・八四 | 八八七 |
| | 茨城 | 五五、一八九、六〇三・三四 | 四五、八九四、八六八・六九 | 八三一 |
| | 群馬 | 三四、〇二六、五二一・三八 | 二七、九七八、三四七・一一 | 八二三 |
| 大阪 | 大阪 | 一〇三、八七六、三九四・〇四 | 一〇八、四九八、七二三・二七 | 一・〇五四 |
| | 京都 | 四三、一二〇、一七五・八三 | 四一、五六九、一七三・七四 | 九六四 |
| | 兵庫 | 九二、八八七、四六二・七五 | 七九、六三六、九六四・一四 | 八五七 |
| | 奈良 | 二三、六六一、二六四・九〇 | 一六、三〇三、四四四・八二 | 七一九 |
| | 和歌山 | 二三、三四八、五八六・一〇 | 一八、〇一七、二二六・九五 | 七七一 |
| | 滋賀 | 四一、一九〇、一五四・〇一 | 二六、〇四八、六〇九・八一 | 六三二 |
| | 福井 | 二六、二四三、二七二・二五 | 一八、八七〇、一五〇・八〇 | 七一九 |
| | 石川 | 三一、一三〇、三八六・七五 | 二三、五〇六、〇二八・四八 | 七五五 |
| | 富山 | 三七、八七一、五七〇・八七 | 二七、三六九、〇九二・五六 | 七二二 |
| | 香川 | 二七、五三五、五三八・八七 | 二〇、三八七、九二四・六六 | 七四〇 |
| | 德島 | 二三、六〇五、五〇四・四一 | 一七、八七三、三六八・一九 | 七五七 |
| | 高知 | 二〇、九四八、二〇六・〇〇 | 一六、五八四、三五〇・七四 | 七九一 |
| 札幌 | 北海道 | 三四、三七四、六四九・五六 | 二五、八八七、七六八・八〇 | 七五三 |
| 仙臺 | 宮城 | 三一、三四七、九一九・六二 円錢 | 三〇、〇二七、八一九・六八 円錢 | 九五七 割分厘 |
| | 岩手 | 二四、五三三、二八〇・三六 | 一九、九八八、二一一・九四 | 八一四 |
| | 福島 | 四八、六九〇、四五三・八八 | 三八、〇〇三、九五八・二〇 | 七八〇 |
| | 秋田 | 三二、七一〇、六〇四・〇三 | 三一、九四二、〇九六・四三 | 九七六 |
| | 青森 | 二三、〇九一、四三六・三三 | 一九、七三二、二五六・七七 | 八五四 |
| | 山形 | 三九、九三七、一三二・六八 | 三四、九七九、七四六・五〇 | 八七五 |
| 名古屋 | 愛知 | 八七、九九二、八三四・〇九 | 七二、五九五、九一五・一九 | 八二五 |
| | 静岡 | 四九、〇一二、一二五・四三 | 三八、九七八、二三六・四二 | 七九五 |
| | 三重 | 四九、八六四、六一八・五九 | 三二、七九五、五三七・八七 | 六五七 |
| | 岐阜 | 四〇、三三一、〇一四・五一 | 三三、九六六、三七六・一七 | 八一七 |
| | 長野 | 四九、六六七、一一三・七六 | 四二、九四七、九〇七・〇九 | 八六四 |
| | 新潟 | 七八、四二〇、三九七・七〇 | 六四、二九八、二三三・七五 | 八一九 |
| 廣島 | 廣島 | 五二、三七三、四九五・四六 | 四〇、九三一、一三七・七二 | 七八一 |
| | 山口 | 二九、九四一、二四六・五八 | 三三、九二四、七八九・六二 | 一、一三三 |
| | 岡山 | 五五、四〇七、九六八・〇一 | 四一、五四四、三七一・四七 | 七四九 |
| | 鳥取 | 一七、一〇六、九〇〇・五一 | 一三、九一三、三四六・九〇 | 八一三 |
| | 島根 | 二七、二三四、一七一・四九 | 二三、〇五〇、七七六・八八 | 八〇九 |
| | 愛媛 | 三一、三三三、九四六・三一 | 二六、六七九、〇七六・一七 | 八五一 |
| 熊本 | 熊本 | 四七、八二一、三九八・一七 | 四〇、一六三、八二五・〇一 | 八三九 |
| | 福岡 | 六七、二三三、七七三・六一 | 六〇、五八二、二六九・二七 | 九〇一 |

| 市名 | 平均 | | | | 最高 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 賃貸価格 | 現在地価 | 地価格対賃貸価格の割合 | 賃貸合理価格 | 賃貸価格 | 宅地の時価修正賃貸価格 | 基準賃貸価格 |
| 東京 | 九円・〇五厘 | 七四・三厘 | 一五・〇〇 | 一五・〇〇 | 一〇〇・〇〇円 | 一一・〇〇 | 一一・〇〇銭 |
| 大阪 | 六・二五 | 四・五五 | 一五・〇〇 | 一一・三五 | 一〇〇・〇〇 | 一一・〇〇 | 一一・〇〇 |
| 名古屋 | 四・五〇 | 三・二五 | 一五・〇〇 | 九・〇〇 | 八〇・〇〇 | 八・八〇 | 八・八〇 |
| 神戸 | 四・〇〇 | 二・九〇 | 一五・〇〇 | 八・〇〇 | 七〇・〇〇 | 七・七〇 | 七・七〇 |
| 京都 | 三・五〇 | 二・五〇 | 一五・〇〇 | 七・〇〇 | 六〇・〇〇 | 六・六〇 | 六・六〇 |
| 横浜 | 三・五〇 | 二・五〇 | 一五・〇〇 | 七・〇〇 | 六〇・〇〇 | 六・六〇 | 六・六〇 |
| 門司 | 三・〇〇 | 二・一五 | 一五・〇〇 | 六・〇〇 | 五〇・〇〇 | 五・五〇 | 五・五〇 |
| 小樽 | 二・五〇 | 一・八〇 | 一五・〇〇 | 五・〇〇 | 四〇・〇〇 | 四・四〇 | 四・四〇 |
| 函館 | 二・五〇 | 一・八〇 | 一五・〇〇 | 五・〇〇 | 四〇・〇〇 | 四・四〇 | 四・四〇 |
| 岡崎 | 二・五〇 | 一・八〇 | 一五・〇〇 | 五・〇〇 | 四〇・〇〇 | 四・四〇 | 四・四〇 |
| 濱屋 | 二・五〇 | 一・八〇 | 一五・〇〇 | 五・〇〇 | 四〇・〇〇 | 四・四〇 | 四・四〇 |
| 戸畑 | 二・五〇 | 一・八〇 | 一五・〇〇 | 五・〇〇 | 四〇・〇〇 | 四・四〇 | 四・四〇 |
| 阪 | 二・五〇 | 一・八〇 | 一五・〇〇 | 五・〇〇 | 四〇・〇〇 | 四・四〇 | 四・四〇 |
| 長下 | 二・五〇 | 一・八〇 | 一五・〇〇 | 五・〇〇 | 四〇・〇〇 | 四・四〇 | 四・四〇 |
| 横須賀 | 二・五〇 | 一・八〇 | 一五・〇〇 | 五・〇〇 | 四〇・〇〇 | 四・四〇 | 四・四〇 |
| 横浜 | 二・五〇 | 一・八〇 | 一五・〇〇 | 五・〇〇 | 四〇・〇〇 | 四・四〇 | 四・四〇 |
| 名古屋 | 二・五〇 | 一・八〇 | 一五・〇〇 | 五・〇〇 | 四〇・〇〇 | 四・四〇 | 四・四〇 |
| 神戸 | 二・五〇 | 一・八〇 | 一五・〇〇 | 五・〇〇 | 四〇・〇〇 | 四・四〇 | 四・四〇 |
| 京都 | 二・五〇 | 一・八〇 | 一五・〇〇 | 五・〇〇 | 四〇・〇〇 | 四・四〇 | 四・四〇 |
| 大阪 | 二・五〇 | 一・八〇 | 一五・〇〇 | 五・〇〇 | 四〇・〇〇 | 四・四〇 | 四・四〇 |
| 東京 | 二・五〇 | 一・八〇 | 一五・〇〇 | 五・〇〇 | 四〇・〇〇 | 四・四〇 | 四・四〇 |

（四）市街宅地一坪當賃貸価格表

（備考）地価對賃貸価格の割合は厘位未滿を切捨てたり。

第五編　内國稅（上）

| 本 | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 縣 | 鹿兒島 | 佐賀 | 長崎 | 大分 | 熊本 | 宮崎 | 鹿兒島 | 總計 |
| 神宮 | 三、三五〇 | 三、三五〇 | 三、三五〇 | 三、三五〇 | 三、三五〇 | 三、三五〇 | 三、三五〇 | 三、三五〇 |
| 細崎 | 三、三五〇 | 三、三五〇 | 三、三五〇 | 三、三五〇 | 三、三五〇 | 三、三五〇 | 三、三五〇 | 三、三五〇 |
| 計 | 六、七〇〇 | 六、七〇〇 | 六、七〇〇 | 六、七〇〇 | 六、七〇〇 | 六、七〇〇 | 六、七〇〇 | 六、七〇〇 |
| 總 | 一、九七九、三四六圓 | 一、九七九、三四六圓 | 一、九七九、三四六圓 | 一、九七九、三四六圓 | 一、九七九、三四六圓 | 一、九七九、三四六圓 | 一、九七九、三四六圓 | 一、九七九、三四六圓 |
| | 一、三七九、三四六圓 | 一、三七九、三四六圓 | 一、三七九、三四六圓 | 一、三七九、三四六圓 | 一、三七九、三四六圓 | 一、三七九、三四六圓 | 一、三七九、三四六圓 | 一、三七九、三四六圓 |
| | 六〇〇、〇〇〇圓 | 六〇〇、〇〇〇圓 | 六〇〇、〇〇〇圓 | 六〇〇、〇〇〇圓 | 六〇〇、〇〇〇圓 | 六〇〇、〇〇〇圓 | 六〇〇、〇〇〇圓 | 六〇〇、〇〇〇圓 |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 高知 | 円厘 一・一八六 | 円厘 一・六三五 | 圓分厘 七二五 | 円錢 一二・〇〇 | 円錢 二・三〇 | 錢 七 |
| 豐橋 | 一・三九三 | 一・四七〇 | 九四七 | 一二・〇〇 | 一・六〇 | 八 |
| 松山 | 一・一八七 | 一・三八四 | 八五七 | 一二・〇〇 | 一・七五 | 九 |

（備考）一、地價對賃貸價格の割合は厘位未滿を切捨てたり。
二、最高欄の宅地地價修正當時の賃貸價格は今回調査の最高場所に關係なく、宅地地價修正當時に於ける最高級適用のものに依る。
三、最高（宅地地價修正當時の分とも）及最低賃貸價格は割出金額に依らず、適用せる等級の金額を以て調理せり。
四、最高賃貸價格十二圓（月一圓）以下の都市は之を省略したり。

上掲諸表の示す所に依つて之を觀れば、全國に於て地租を課せらるべき土地の賃貸價格は十七億三千四百七十一萬餘圓に達し、之を從來地租の課稅標準たりし法定地價の合計十九億八千百九十七萬餘圓に比すれば、其の八割七分五厘に當れり。而して之を地目別に見れば田・畑・宅地に在りては賃貸價格と法定地價との割合は、略〻右有租地合計に於ける兩者の割合に近似せるも、之に反し其の他の地目に在りては、其の中牧場を除くの外は、悉く其の賃貸價格は法定地價よりも多く、特に鑛泉地の如きは倍額以上に增加せり。之れ明治初年以來交通の發達其の他の事情に依り、此等雜地の利用價値を增加せしに因るものなるべしと雖も、又田・畑・宅地等に比し其の地價の見積の低かりしに基くものなりと謂ふを得べし。次に又之を府縣別に就て見れば、有租地全體に於て賃貸價格の法定地價を超過せるものは東京・大阪・山口・鹿兒島の四府縣にして、之れ卽ち東京・大阪の二府は大都市の膨脹發展に因り、山口・鹿兒島の兩縣は其の地價の見積低かりしに因るものと稱するを得べし。更に之を主なる地目別に見るときは、地價に比し賃貸價格の增加せる府縣は、田に於ては宮城・秋田・山口・鹿兒島の諸縣畑に於ては東京・富山・高知・靜岡・岐阜・長野・新潟・山口・鳥取・愛媛・熊本・福岡・長崎・鹿兒島・宮崎の諸府縣、宅地に於ては東京・大阪・京都・山口・福岡の諸府縣、山林に於ては北海道・香川・熊本・大分・長崎・佐賀・沖繩を除く其の他の諸府縣なりとす。尙宅地に就ては大都市に於ける賃貸價格昂騰の勢極めて顯著にして、今次の調査に依る最高額を明治四十三年宅地地價修正當時に於ける最高額に比較すれば、何れも數倍に增加し、中には十倍以上に達せるものも尠からず。以て時代の進運に伴ふ都市發達の勢を推測し得べし。

## 第二　異議申立・訴願及行政訴訟

土地賃貸價格調査委員會法第二十七條の規定に依り、政府の決定したる標準賃貸價格に對し異議の申立を爲したるものは、當初全國に於て三萬九千二百七人、其の件數一萬四千六百九十七件、筆數三十三萬二千百六十二筆に達せしが、其の後稅務當局の說明に依り異議申立を取下げしもの多數ありて、結局稅務監督局長に於て審査決定を爲したるものは、人員二萬三十三人、其の件數七千八百九十三件、筆數十二萬千七十九筆なりとす。異議申立の處理に就ては大藏省は最深の注意を拂ひ、單純なる誤記・誤謬に基くものの外は、悉く審査決定前に之を大藏省に稟請して其の認可を受けしむることと爲し、主稅局に於ては之に對し必要に應じて實地調査を行ふ等愼重なる手續を採り、以て全國の統一を圖れり。斯くて此等異議申立地に對する審査決定は概ね昭和三年十二月中に終了せしが、其の成績は左表に示すが如くにして、決定の結果賃貸價格の減じたるものは僅に十萬七百十圓に過ぎざりき。

異議申立に對する審査決定額表

| 地目 | 區分 | 申立町村數 | 申立件數 | 申立人員 | 筆數 | 面積 | 賃貸價格 | 現在地價 | 減差額 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | 圓錢 | 圓錢 | 圓 |
| 田 | 元決定額 | 三三 | 三、六八一 | 二、九〇六 | 七七、七六四 | 四、八〇三町二四歩 | 一、三四七、六六八・三八 | 一、三七二、七三二・九九 | — |
| | 内（同額決定變更決定） | 二三 | 三、四二九 | 七、四七七 | 四三、一三九 | 三、一五三、一三二・九〇 | 八四一、二四四・九七 | 八四九、四六八・二二 | — |
| 畑 | 元決定額 | 一二三 | 六二三 | 三、五三三 | 三四、六四七 | 一、六五二、二二・〇〇 | 四三九、〇三一・八七 | 四八、三四四・七八 | 六七、三七一・五四 |
| | 内（同額決定變更決定） | 五〇 | 一、三一六 | 三、七八四 | 二六、七四六 | 六、〇九三、九六・三五 | 三三六、七二一・五一 | 三七、一九一・二七 | 三、七二一・五四 |
| | 元決定額 | 三五 | 七八四 | 二、七〇四 | 一八、五七一 | 五、三六八、七三二・三〇 | 二五四、八五八・八五 | 二七、〇四七・八九 | — |
| | 内（同額決定變更決定） | 三五 | 六六四 | 一、四三三 | 八、一七五 | 九五四、五七八・九七 | 六六、一八九・八一 | 七、一四三・三八 | 一五、七三二・八六 |
| 宅地 | 元決定額 | 五七 | 七七七 | 二、〇〇四 | 六、四五七 | 八三三、六六二・六 | 一、五〇七、六四八・一九 | 一、四五六、三五三・七九 | — |
| | 内（同額決定變更決定） | 二元 | 四九〇 | 一、四四〇 | 五、二七七 | 八三三、六六二・六 | 一、四五六、三五三・七九 | 一、四五六、三五三・七九 | — |
| 山林 | 元決定額 | 一三 | 三三三 | 一〇三 | 一、一〇三 | 一三〇、九五二・六九 | 四一、二九八・五九 | 六三五、三四四・二二 | — |
| | 内（同額決定變更決定） | 八 | 七二 | 四五九 | 一、一〇三 | 八三、一四四・〇〇 | 三九、三四四・二二 | 六三五、三四四・二二 | — |
| 其の他（池沼・原野・雜種地） | 元決定額 | 七 | 四六 | 六九三 | 四、一六六 | 一六、一四三・〇〇 | 二、三五三・〇三 | 二、三五三・〇三 | — |
| | 内（同額決定變更決定） | 一 | 五 | 五六 | 一、八一 | 八三、八五〇・三一 | 一、六八八・八六 | 一、三六六・三四 | 六七九・四八 |
| 合計 | 元決定額 | 二 | 六 | 二五六 | 一、八一 | 八三、八五〇・三一 | 一、六八八・八六 | 一、三六六・三四 | 六七九・四八 |
| | 内（同額決定變更決定） | 二 | 二 | 一、八一 | 一、八一 | 八三、八五〇・三一 | 一、六八八・八六 | 一、三六六・三四 | 六七九・四八 |
| | 元決定額 | 四四五 | 七、八三九 | 三、〇三五 | 三一、〇七九 | 一三、一〇七・〇〇 | 四、八〇三・三四 | 四、八〇三・三四 | 六七九・四八 |
| | 内（同額決定變更決定） | 二八一 | 四、九〇 | 一、二六 | 七三、二八〇 | 二、四四四・八六八・八八 | 二、五七〇、五五〇・九四 | 二、七三五、一三一・一九 | — |
| | | 一九七 | 一、六五七 | 四四八 | 四八、七九九 | 六、四五〇・六七七・六六 | 五六六、三五〇・〇一 | 六二五、四八五・三二 | 一〇〇、七一〇・〇〇 |

（備考）申立町村數・件數・人員の元決定額と其の内譯と符合せざるは、同一件中元決定額と同一に決定したるものと、決定變更したるものとある結果なり。

土地賃貸價格の異議申立に對する稅務監督局長の審査決定に對し仍不服ある者にして、大藏大臣に訴願を提起したるものは、大阪・京都・石川・香川・岡山の各府縣に於て各一件、北海道及長野縣に於て各二件、靜岡縣に於て三件、合計十二件にして、之に對しては夫々大藏大臣に於て裁決せしが、其の結果は全體の成績に對し大なる影響を及ぼすべきものに非ざるは言を俟たず。

又行政裁判所に行政訴訟を提起したるものは香川・愛知・靜岡・長野（後日取下）諸縣に於て各一件、新潟・山口兩縣に於て各二件、岡山縣に於て三十件（同一事項に關係）合計三十八件にして、何れも未だ裁判確定を見るに至らず。

### 第五目　土地賃貸價格調査の經費

土地賃貸價格調査事業の經費豫算は總額一一、五〇〇、三二九圓にして、其の年度別內譯は昭和元年度五、一八二、二七八圓、同追加一、三七八、三六〇圓（土地賃貸價格調査委員會法案議會に於て修正せられ、調査委員定數を倍加せられしに因る）、同二年度四、四三九、九九六圓、同三年度四九九、六九五圓（主として賃貸價格決定後に於ける殘務整理費）なり。而して此の中實際使用せし額は合計一〇、八四六、二七一圓六四錢にして、不用額六五四、〇五七圓三六錢を生ぜり。之れ主として既述の如く昭和三年分より賃貸價格に依り課稅せんとする當初の計畫を變更せし結果、地租名寄帳整理補助費六五四、〇〇〇圓の不用に歸したるに基くものなり。今右經費決算額の內譯を示せば左の如し。

土地賃貸價格調査費決算額表

| 科目 | 昭和元年度 | 昭和二年度 | 昭和三年度 | 計 |
|---|---|---|---|---|
| | 圓錢 | 圓錢 | 圓錢 | 圓錢 |
| 俸給 | 四九九、八二八・七〇 | 五六三、九三九・三〇 | 二九五、七八二・八二 | 一、三五九、五五〇・八二 |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 廳費 | 三二六、七七六・四七圓 | 一五二、六七〇・六五圓 | 一二、五六四・九八圓 | 四九二、〇一二・一〇圓 | |
| 旅費 | 一、〇三二、五〇九・三五 | 三一三、五三一・六九 | 二四、五四四・六二 | 一、三七〇、五八五・六六 | |
| 雜給及雜費 | 一、八六九、七三一・二三 | 三、二八三、八九五・九九 | 四六三、九四七・三三 | 五、六一七、五七四・五五 | |
| 土地賃貸價格調查委員會費 | — | 一、五一〇、五〇八・八九 | — | 一、五一〇、五〇八・八九 | |
| 賃與 | 一六九、六八六・〇〇 | 二六九、五八九・〇〇 | 二八、七〇九・〇〇 | 四六七、九四四・〇〇 | |
| 使用濟計 | 三、八九八、五三一・七五 | 六、〇九四、一三五・五二 | 八二五、五四八・七五 | 一〇、八一八、二一六・〇二 | |
| 翌年度繰越額 | 一、二八三、七四六・二五 | 三五三、九六一・二七 | 二八、〇五五・六二 | 二八、〇五五・六二 | |
| 豫算不用額 | — | 六五四、〇〇五・四六 | 五一・九〇 | 六五四、〇五七・三六 | |
| 總計 | 五、一八二、二七八・〇〇 | 七、一〇二、一〇二・二五 | 八五三、六五六・二七 | 一一、五〇〇、三二九・〇〇 | |

（備考）昭和三年度繰越額二八、〇五五圓六二錢は、殘務整理の爲め昭和四年度に於て之を使用したり。

## 第四項　丹後震災と地租の特別處分

昭和二年三月七日京都府奥丹後地方に於て激震あり、同府與謝・中・竹野・熊野の四郡に亙りて大慘害を與へしが、政府は其の震害の程度を調査の結果、此等地方の震災被害者に對しては通常の法規を以てしては、到底充分なる課稅上の救濟を行ふことを得ざるものあるを認め、爰に關東震災の場合の例に倣ひ、租稅の減免及徵收猶豫に就て特別の救濟方法を講ずることゝ爲し、當時恰も開會中の第五十二回帝國議會に右に關する法律案を提出したり。而して同府中郡峯山稅務署に於ては、右震災に因り廳舍全燒の厄に遇ひて土地臺帳其の他の書類の大部分を燒失し、且署員中數名の死傷者を生じたる爲め、前年來著手せる土地賃貸價格調查の事務は一大頓挫を來し、到底他の各署と竝行して其の事務を進捗せしむるを得ざるに至りしを以て、政府は土地賃貸價格調查委員會法第二十二條に依る調查委員會の期限を、同稅務署所轄內に限り特に一箇月延長するの必要を認め、上述の震災に因る租稅の免除猶豫に關する法律案中に之に關する規定を挿入したり。右法律案は貴衆兩院とも異議なく之を可決せしを以て、昭和二年三月法律第十七號を以て左の如く公布せられたり。

法律第十七號（昭和二年三月三十日）

第一條　政府ハ震災（昭和二年三月七日ノ震災及之ニ伴フ火災ヲ含ム以下同シ）ニ因ル被害者ノ震災地ニ於テ納付スヘキ大正十五年（昭和元年）分第三種所得稅第四期分ニ付命令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ免除スルコトヲ得

第二條　政府ハ震災ニ因リ著シク利用ヲ妨ケラレタル土地ニ付命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ地租ヲ免除スルコトヲ得

第三條　政府ハ震災地ニ於テ納付スヘキ昭和二年分ノ第三種所得稅、個人ノ營業收益稅及乙種資本利子稅ニ限リ課稅ニ關スル申告及申請竝課稅標準ノ決定ニ關シ命令ヲ以テ特例ヲ設クルコトヲ得

第四條　政府ハ震災地ニ於テ昭和二年三月七日以後ニ納付スヘキ租稅ニ付命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ徵收ヲ猶豫スルコトヲ得

第五條　第一條、第三條及前條ノ震災地ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第六條　第一條又ハ第二條ノ規定ニ依リ免除セラルル租稅ハ法令上ノ納稅資格要件ニ關シテハ免除セラレサルモノト看做ス

前項ノ規定ハ前項ノ國稅ノ附加稅タル市町村稅、震災ニ因リ免除セラルル直接府縣稅ノ附加

稅タル市町村稅及其ノ他ノ直接市町村稅ニシテ震災ニ因リ免除セラルルモノニ付之ヲ準用ス

第七條　土地賃貸價格調査委員會法第二十二條ノ期限ハ峰山稅務署所轄內ニ限リ之ヲ昭和二年十二月二十日トス

附　則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

右法律の公布に伴ひ同月大藏省令第六號を以て之が施行に關する詳細の規定を設けしが、其の中地租に關係ある條項を抄錄すれば左の如し。

大藏省令第六號（昭和二年三月三十一日）（抄錄）

昭和二年法律第十七號（震災被害者ニ對スル租稅ノ免除猶豫等ニ關スル件）施行方左ノ通定ム

第一條　昭和二年法律第十七號第五條ノ規定ニ依リ震災地ヲ左ノ如ク定ム

京都府　與謝郡　中郡　竹野郡　熊野郡

第三條　震災ニ因リ著シク利用ヲ妨ケラレタル土地（地租條例第二十條ノ規定ニ該當スルモノヲ除ク）ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルニ至リタルモノニ付テハ被害ノ實況ニ應シ宅地ニ在リテハ昭和二年ヨリ三年以內、其ノ他ノ土地ニ在リテハ昭和二年ヨリ五年以內其ノ地租ヲ免除ス

一　水路若ハ溜池ノ破壞又ハ井戶ノ湧水涸渴等ニ因リ灌漑又ハ排水ノ便ヲ失シ收穫ヲ減損スルニ至リタル田畑

二　地下ノ變動等ニ因リ水持ヲ害シ又ハ濕地ト爲リ收穫ヲ減損スルニ至リタル田畑

三　建物ノ過半カ滅失又ハ倒壞シタル宅地

四　地盤ノ變動又ハ交通ノ障碍等ニ因リ營業ノ狀況容易ニ回復シ難キ地方ノ宅地

五　其ノ他震災ニ因リ著シク利用ヲ妨ケラレタル土地

前項ノ規定ニ依ル免除ヲ受ケムトスル者ハ土地ノ番號、地目、段別、地價及被害ノ狀況ヲ記載シタル申請書ヲ昭和二年六月三十日迄ニ納稅地ノ町村ヲ經由シテ所轄稅務署ニ提出スヘシ

第四條　震災ニ因リ地租條例第二十條又ハ前條ノ規定ノ適用ヲ受クル田ニ付テハ大正十五年（昭和元年）分地租第三期分ヨリ其ノ地租ヲ徵收セス

第十一條（抄錄）　震災地ニ於テ納付スヘキ地租ニ付テハ左ノ期限迄其ノ徵收ヲ猶豫スルコトヲ得

三　大正十五年（昭和元年）分田租第三期分　昭和二年八月三十一日限

四　大正十五年（昭和元年）分田租第四期分　昭和二年十二月二十日限

第十二條　震災ニ因リ地租名寄帳ノ滅失シタル町村內ノ地租ニシテ納付未濟ニ係ルモノ及地租名寄帳改調迄ニ納期限ノ到來スルモノニ付テハ其ノ改調後一年以內ニ於テ稅務署長ノ適當ト認ムル時期ニ之ヲ徵收ス

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

今以上の法規に依り震災被害地に對して行ひし地租處分の實蹟を示せば左の如し。

## （I）震災被害地免租額表

| 地目 | 地価 | 免租 | | | | | | 額 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 昭和二年分 | 昭和三年分 | 同四年分 | 同五年分 | 同六年分 | 計 | | |
| 宅地畑田合計地 | 四一〇、七六円<br>六六、五三六<br>九、四三一 | 九、四三円<br>―<br>― | 一六、四五円<br>六、六三九<br>二四、八〇 | 一〇、八〇円<br>六、三四一<br>一七、九一 | 三、三五円<br>二、三五五<br>五、五五五 | 三六円<br>―<br>三六 | 四三、〇五円<br>一五、〇四五<br>五七、一四 | | |

（備考）地価額は免租初年分の額を掲ぐ。

## （II）震災被害免租年期地表

| | 地目 | 段別 | 地価 | 年数 |
|---|---|---|---|---|
| 昭和三年一月一日現在 | 宅地畑田計地 | 一、二四三町六段五畝<br>一五、八六<br>一七七、二一<br>一、四三六、七二 | 四八一、九三六円<br>三、〇九九<br>二〇一、八四一<br>六八六、八七六 | 一九、四三三<br>六五八<br>七、一一三<br>二七、二〇四 |
| 昭和四年一月一日現在 | 宅地畑田計地 | 五九二、〇一<br>二一六、五六<br>八〇八、五七 | 二三九、六三八<br>二五一、三六九<br>四九一、〇〇七 | 九、三四六<br>九、〇五五<br>一八、四〇一 |
| 同五年一月一日現在 | 宅地畑田計地 | 一七三、六八<br>四六、四七 | 七一、六〇二<br>九〇、二七八 | 三、〇二九<br>二、一八六 |

| | | 計 | | | | | | | | | | | | 年次 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 合 | | 宅地 | | 地 | | 畑 | | 田 | | | | | |
| | | 地価 | 地租 | 地価 | 地租 | 地価 | 地租 | 地価 | 地租 | 地価 | 地租 | | | | |
| 同五年 | 同四年 | 同三年 | 昭和二年 | 大正十五年 | | | | | | | | | | | |
| 九三三 | 九三四 | 九三五 | 九三六 | 九三七 | 九三八 | 九三九 | 九四〇 | 九四一 | 九四二 | 九四三 | 九四四 | 九四五 | 九四六 | | |
| 二、一八六 | 二、〇二九 | 二、〇九八 | 二、一一二 | 二、一四五 | 二、一七四 | 二、二〇四 | 二、二三四 | 二、二六四 | 二、二九四 | 二、三二五 | 二、三五五 | 二、三八五 | 二、四一五 | 地租 | |
| 九、八六八 | 九、八六八 | 九、八六八 | 九、八六八 | 九、八六八 | 九、八六八 | 九、八六八 | 九、八六八 | 九、八六八 | 九、八六八 | 九、八六八 | 九、八六八 | 九、八六八 | 九、八六八 | 地価 | 第二章　直接稅　第一節　地租 |
| 三、〇二九 | 三、〇二九 | 三、〇二九 | 三、〇二九 | 三、〇二九 | 三、〇二九 | 三、〇二九 | 三、〇二九 | 三、〇二九 | 三、〇二九 | 三、〇二九 | 三、〇二九 | 三、〇二九 | 三、〇二九 | 地租 | |
| 七一、六〇二 | 七一、六〇二 | 七一、六〇二 | 七一、六〇二 | 七一、六〇二 | 七一、六〇二 | 七一、六〇二 | 七一、六〇二 | 七一、六〇二 | 七一、六〇二 | 七一、六〇二 | 七一、六〇二 | 七一、六〇二 | 七一、六〇二 | 地価 | |
| 九〇、二七八 | 九〇、二七八 | 九〇、二七八 | 九〇、二七八 | 九〇、二七八 | 九〇、二七八 | 九〇、二七八 | 九〇、二七八 | 九〇、二七八 | 九〇、二七八 | 九〇、二七八 | 九〇、二七八 | 九〇、二七八 | 九〇、二七八 | 地租 | |
| 一七三、六八 | 一七三、六八 | 一七三、六八 | 一七三、六八 | 一七三、六八 | 一七三、六八 | 一七三、六八 | 一七三、六八 | 一七三、六八 | 一七三、六八 | 一七三、六八 | 一七三、六八 | 一七三、六八 | 一七三、六八 | 地価 | |
| 四六、四七 | 四六、四七 | 四六、四七 | 四六、四七 | 四六、四七 | 四六、四七 | 四六、四七 | 四六、四七 | 四六、四七 | 四六、四七 | 四六、四七 | 四六、四七 | 四六、四七 | 四六、四七 | 地租 | |
| 八〇八、五七 | 八〇八、五七 | 八〇八、五七 | 八〇八、五七 | 八〇八、五七 | 八〇八、五七 | 八〇八、五七 | 八〇八、五七 | 八〇八、五七 | 八〇八、五七 | 八〇八、五七 | 八〇八、五七 | 八〇八、五七 | 八〇八、五七 | 地価 | |
| 二一六、五六 | 二一六、五六 | 二一六、五六 | 二一六、五六 | 二一六、五六 | 二一六、五六 | 二一六、五六 | 二一六、五六 | 二一六、五六 | 二一六、五六 | 二一六、五六 | 二一六、五六 | 二一六、五六 | 二一六、五六 | 地租 | |
| 五九二、〇一 | 五九二、〇一 | 五九二、〇一 | 五九二、〇一 | 五九二、〇一 | 五九二、〇一 | 五九二、〇一 | 五九二、〇一 | 五九二、〇一 | 五九二、〇一 | 五九二、〇一 | 五九二、〇一 | 五九二、〇一 | 五九二、〇一 | 地価 | |
| 一二、三四 | 一二、三四 | 一二、三四 | 一二、三四 | 一二、三四 | 一二、三四 | 一二、三四 | 一二、三四 | 一二、三四 | 一二、三四 | 一二、三四 | 一二、三四 | 一二、三四 | 一二、三四 | 地租 | |

右の外震災の結果地租條例第二十條の規定に依り荒地免租年期を賦與せられしものは左の如し。

## （III）地租徴収猶豫額表

| 種目 | 徴収猶豫を了せる人員 | 徴収猶豫を了せる税額 | 徴収猶豫を了したる後免除せる人員 | 徴収猶豫を了したる後免除せる税額 | 後徴収猶豫を免除せられたるもの人員 | 後徴収猶豫を免除せられたるもの税額 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 田畑租第三期分 | 一、三七四 | 三一〇・一五 | 一、〇八〇 | 二四五・一〇 | 四一六 | 九四・一五 |
| 田畑租第四期分 | 一、三六六 | 三〇八・一〇 | 一、〇八〇 | 二四三・一〇 | 四一四 | 九三・一五 |
| 合計 | 二、七四〇 | 六一八・二五 | 二、一六〇 | 四八八・二〇 | 八三〇 | 一八八・三〇 |

（備考）徴収期間中に徴収を了せる人員及徴収猶豫後免除せる人員の合計が徴収猶豫せる人員に符合せざるは、同一人中免除せられしものと然らざるものとあるに因る。

| | | 四八、四八〇 | 二、一八一 | 三五、三九八 | 一六 | 二、四八〇 | 六三 | 一、八四〇 | 一、六六〇 | 五一、三二九 | 二、二五九 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 昭和六年 | 一四、八四四 | 六三三 | 二 | 二九五 | 一三 | 一、〇一三 | 二五 | 七〇〇 | 一七 | 一五、四〇三 | 六七一 |
| 同七年 | 一〇、一六一 | 四五七 | 二 | 二九四 | 一三 | 七〇〇 | 一七 | 二九〇 | 〇 | 一二、一五六 | 四八七 |
| 同八年 | 四、〇三一 | 一八〇 | 一七二 | 一六五 | 七 | 二 | 〇 | 二 | 〇 | 四、三三 | 一八七 |
| 同九年 | 三、〇五三 | 一三七 | 一三 | 一六五 | 七 | 二 | 〇 | 二 | 〇 | 三、二一〇 | 一四四 |
| 同十年 | 二、九六一 | 一三三 | 二 | 一六五 | 五 | 二 | 〇 | 二 | 〇 | 三、〇五〇 | 一三八 |
| 同十一年 | 四七六 | 二 | 九 | 七七 | 〇 | 二 | 〇 | 二 | 〇 | 四八七 | 二一 |
| 同十二年 | 一、九六一 | 九 | 九 | 七七 | 〇 | 二 | 〇 | 二 | 〇 | 六八 | 三 |
| 同十三年 | 七 | 三 | 九 | 七七 | 〇 | 二 | 〇 | 二 | 〇 | 七三 | 二 |
| 同十四年 | 二三、五一二 | 一〇五 | 二 | 六五 | 〇 | 二 | 〇 | 二 | 〇 | 六五 | 二 |
| 同十五年 | 二三、五一二 | 一〇五 | 二 | 六五 | 〇 | 二 | 〇 | 二 | 〇 | 六五 | 二 |
| 同十六年 | 五三八、四二四 | 二四、五九八 | 二 | 六五 | 〇 | 二 | 〇 | 二 | 〇 | 六五 | 二 |
| 合計 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |

（備考）荒地となりたる土地の筆數段別等の總額左の如し。

| 地目 | 筆數 | 段別又は坪數 | 地價 |
|---|---|---|---|
| 田 | 二五、二八一 | 一四七九九一畝 | 五〇八、六九八円 |
| 畑 | 一、三三五 | 三五五五 | 六、二一四 |
| 宅地 | 九二五 | 八六、四〇〇坪 | 二三、五一二 |
| 合計 | 二七、五四一 | 一五一五四六畝<br>八六、四〇〇坪 | 五三八、四二四 |

尙前述の如く震災に因る租稅の免除猶豫等に關する法律に於ては、峯山稅務署所轄內に限り土地賃貸價格調査委員會の期限を一箇月延長せられしが、同署に於ては爾後土地臺帳及諸帳簿の復舊事務を始め賃貸價格調査事務に其の全力を傾けたる結果、昭和二年十月二十八日土地賃貸價格調査委員會を開會して翌十一月三十日無事閉會を告げ、茲に全國の事業に大なる支障を與ふることなくして豫期よりも早く結了することを得たり。



## 第五項　地租の免除

地租は土地の種類及性質に依り又は特別の理由に基きて、之が賦課を免除せらるるものにして、其の免租規定は既述の如く地租條例、地所名稱區別等を始めとして、或は地租關係法規中に設けられ、或は地租關係以外の特別法規中に設けらるる等、區々として一定せず、錯雜を極むるものなるが、此等の免租規定中地租關係法規に據るものに就ては、本節中に於て適宜之が制定改廢に就て記述する所ありしを以て、茲には此等地租關係法規以外の法令中に於て特に免租の規定を設けられしものに就き其の大正十五年末現行の規定を左に列擧すべし。

### （一）水道用地

水道條例（明治二十三年二月十三日法律第九號）（抄錄）

第一條　水道トハ市町村ノ住民ノ需要ニ應シ給水ノ目的ヲ以テ布設スル水道ヲ云ヒ水道用地トハ水源地、貯水地、濾水場、喞水場及水道線路ニ要スル地ヲ云フ

第五條　水道用地ハ國稅其他ノ公課ヲ免除ス（明治四十四年三月法律第四十三號ヲ以テ本條改正）

### （二）砂防の爲め一定の行爲を禁止又は制限すべき土地

砂防法（明治三十年三月三十一日法律第二十九號）（抄錄）

第二條　砂防設備ヲ要スル土地又ハ此ノ法律ニ依リ治水上砂防ノ爲一定ノ行爲ヲ禁止若ハ制限スヘキ土地ハ主務大臣之ヲ指定ス

第十一條　第二條ニ依リ主務大臣ノ指定シタル土地ニ對シテハ勅令ノ定ムル所ニ從ヒ地租其ノ他ノ公課ヲ減免スルコトヲ得

砂防法第十一條ノ地租其ノ他ノ公課減免ニ關スル件（明治三十二年八月十六日勅令第三百七十四號）

第一條　砂防法ニ依リ一定ノ行爲ヲ禁止又ハ制限シタル土地ニ對シテハ其ノ所有者又ハ納稅義務者ノ申請ニ依リ地租ヲ免除又ハ輕減スルコトヲ得（明治四十四年十二月勅令第二百八十八號ヲ以テ本條中改正）

第二條　前條ニ依リ地租ヲ免除シタル土地ニ對シテハ地租以外ノ公課ヲ免除シ其ノ地租ヲ輕減シタル土地ニ對シテハ同一ノ割合ヲ以テ地租以外ノ公課ヲ輕減ス

第三條　本令ニ依ル地租其ノ他ノ公課ノ免除又ハ輕減ハ免除又ハ輕減ノ申請ノ日以後ニ開始スヘキ納期分ヨリ免除ニ付テハ一定ノ行爲ノ禁止又ハ制限ノ解除ノ日以前ニ開始シタル納期分迄トス（明治四十三年二月勅令第七號及四十四年十二月勅令第二百八十八號ヲ以テ本條改正）

第四條　本令ニ依リ地租ノ免除又ハ輕減ヲ受ケムトスル者ハ稅務署長ニ申請スヘシ（明治三十五年第二百五十三號及大正七年九月勅令第三百五十一號ヲ以テ本條中改正）

第五條　（大正七年九月勅令第三百五十一號ヲ以テ本條削除）

砂防法ニ依ル地租減免取扱方ノ件（明治三十二年九月四日大藏省訓令第六十二號）

明治三十二年勅令第三百七十四號第四條ニ依リ地租ノ免除又ハ輕減ヲ申請シタルモノアルトキハ地方廳ト協議シ禁止又ハ制限セラレタル行爲ノ程度ニ依リ地租ノ免除又ハ輕減ヲ決定シ輕減スヘキモノハ其割合ヲ定メ之カ許可ノ手續ヲ爲スヘシ

(三)　造林地

森林法（明治四十年四月二十三日法律第四十三號）（抄錄）

第十二條　本法施行以前ヨリ荒廢ニ屬シタル森林ニ付新ニ造林シタルトキハ其ノ納稅義務者ノ申請ニ依リ其ノ造林シタル部分ニ限リ三十年以內地租ヲ免スルコトヲ得

前項ノ規定ハ原野、山岳又ハ荒蕪地ニ新ニ造林シタル場合ニ之ヲ準用ス

府縣市町村其ノ他ノ公共團體ハ前二項ニ依リ地租ヲ免セラレタル土地ニ對シ租稅其ノ他ノ公課ヲ課スルコトヲ得ス

（備　考）森林法は明治三十年四月法律第四十六號を以て制定せられ明治四十年四月に至り法律第四十三號を以て其の全文を改正せられたり。

大藏省令第一號（明治四十一年一月十六日）

明治四十年法律第四十三號森林法第十二條ニ依リ造林地ノ地租免除ヲ得ムトスル者ハ所轄稅務署長ニ申請スヘシ

大藏省訓令第一號（明治四十一年一月十六日）
明治四十年法律第四十三號森林法第十二條ニ依リ造林地ノ地租免除ヲ申請シタル者アルトキハ地方廳ト協議シ相當免租年期ヲ定メ之カ許可ヲ與フヘシ但シ許可シタルトキハ免租年期及段別ヲ地方廳ニ通知スヘシ

農商務省訓令第四號（明治四十一年三月六日）（抄錄）　府縣（沖繩縣ヲ除ク）　稅務監督局　稅務署
森林法第十二條ノ造林地免租ニ關シテハ左記各項ニ據リ取扱フヘシ
一　府縣知事ハ明治四十一年一月大藏省訓令第一號ニ依リ造林地免租ノ協議ヲ受ケタルトキハ左ノ標準ニ依リ尚ホ造林ノ難易、植栽樹種、地味ノ良否、交通ノ便否等ヲ斟酌シテ免租年期ヲ協定スヘシ
一　喬林ヲ仕立ツル目的ヲ以テ植樹シタルモノハ十五箇年以上三十箇年以內
二　中林ヲ仕立ツル目的ヲ以テ植樹シタルモノハ十箇年以上二十箇年以內
三　矮林ヲ仕立ツル目的ヲ以テ植樹シタルモノハ十箇年以內
四　前各號ノ外利用ヲ目的トセサル植樹ニアリテハ三十箇年以內

**（四）** 東京市區改正條例又ハ大正七年法律第三十六號及同年勅令第百八十四號に依り下付を受けたる官有の河岸地

都市計畫法（大正八年四月五日法律第三十六號）（抄錄）

第三十三條　東京市區改正條例又ハ大正七年法律第三十六號大正七年勅令第百八十四號ニ依リ下付ヲ受ケタル官有ノ河岸地ハ其ノ下付ヲ受ケタル市ノ所有ニ屬スル間地租ヲ免除ス但シ其ノ市ノ都市計畫事業ノ終リタルトキハ此ノ限ニ在ラス（第一項）

**（五）** 公共の用に供する飛行場の敷地

航空法（大正十年四月九日法律第五十四號）（抄錄）

第三十八條　公共ノ用ニ供スル飛行場ノ用地ニ付テハ納稅義務者ノ申請ニ因リ其ノ地租ヲ免除ス但シ一時ノ使用ニ供スルモノ又ハ有料借地ノモノニ付テハ此ノ限ニ在ラス

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（昭和二年勅令第百四號ヲ以テ昭和二年六月一日ヨリ施行）

## 第一節附表

**第一表**　有租地地表　**（イ）**　累年

| 年次 | 田 段別 | 田 地價 | 田 地租 | 田 筆數 | 畑 段別 | 畑 地價 | 畑 地租 | 畑 筆數 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 明治二三年 | 二、七五二、〇八八・九町 | 一、一〇七、八〇九、六一三円 | 二七、六九九、七八二円 | 四八、〇〇九、〇九〇 | 二、二七七、八〇三・七町 | 二五三、二四八、八二〇円 | 六、三三五、七八〇円 | 四〇、八八八、八一九 |
| 同二四年 | 二、五三二、三七・三 | 九九八、五二一、二七一 | 二四、九五五、〇七一 | 四二、九三三、七九三 | 二、一四九、八一四・〇 | 二八、九九四、五七〇 | 五、七八八、〇五八 | 三七、四八五、二四六 |
| 同二五年 | 二、七三六、五七三・三 | 一、〇九六、〇三一、一三一 | 二七、四〇三、〇七一六 | 四七、〇三三、八四二 | 二、二七七、九七七・二 | 二五二、〇四六、九二七 | 六、三三二、六九六 | 四〇、五四六、九一三 |
| 同二六年 | 二、七三四、〇三一・三 | 一、〇九五、九三〇、三一四 | 二七、四〇一、三四九 | 四七、〇四五、五六八 | 二、二七八、五四二・五 | 二五二、〇四五、〇三六 | 六、三三二、五五三 | 四〇、五九〇、九四六 |

## 第二章　直接税　第一節　地租

| 年次 | 宅地 段別 | 宅地 地価 | 宅地 地租 | 宅地 筆数 | 山林 段別 | 山林 地価 | 山林 地租 | 山林 筆数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 明治二年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 七年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 八年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 九年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 一〇年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 一一年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 一二年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 一三年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 一四年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 一五年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 一六年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 一七年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 一八年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 一九年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 二〇年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 二一年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 二二年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 二三年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 二四年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 二五年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 二六年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 二七年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 二八年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 二九年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 三〇年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 三一年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 三二年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 三三年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 三四年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 三五年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 三六年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 三七年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 三八年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 大正元年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 二年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 三年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 四年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 五年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 六年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 七年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 八年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 九年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 一〇年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 一一年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 一二年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 一三年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 一四年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 一五年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 一六年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 一七年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 一八年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 一九年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 二〇年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 二一年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |

## 第五編　内国税（上）

| 年次 | 宅地 段別 | 宅地 地価 | 宅地 地租 | 宅地 筆数 | 山林 段別 | 山林 地価 | 山林 地租 | 山林 筆数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 明治二年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 七年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 八年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 九年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 一〇年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 一一年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 一二年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 一三年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 一四年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 一五年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 一六年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 一七年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 一八年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 一九年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 二〇年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 二一年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 二二年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 二三年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 二四年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 二五年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 二六年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 二七年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 二八年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 二九年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 三〇年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 三一年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 三二年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 三三年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 四年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 五年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 六年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 七年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 八年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 九年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 一〇年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 一一年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 一二年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 一三年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 一四年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 一五年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 一六年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 一七年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 一八年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 一九年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 二〇年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 二一年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |

## 第二章　直接税　第一節　地租　九四一

| 年次 | 宅地 段別 | 宅地 地価 | 宅地 地租 | 宅地 筆数 | 山林 段別 | 山林 地価 | 山林 地租 | 山林 筆数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 明治二年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 七年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 八年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 九年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 一〇年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 一一年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 一二年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 一三年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 一四年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 一五年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 一六年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 一七年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 一八年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 一九年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 二〇年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 二一年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 二二年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 二三年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 二四年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 二五年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 二六年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 二七年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 二八年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 二九年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 三〇年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 三一年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 三二年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 三三年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 四年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 五年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 六年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 七年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 八年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 九年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 一〇年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 一一年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 一二年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 一三年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 一四年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 一五年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 一六年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 一七年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 一八年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 一九年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 二〇年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |
| 二一年 | 三万六千八百町 | 一億二千八百万円 | 一千二百万円 | 三百万筆 | 七百町 | 二千四百万円 | 二十四万円 | 三万筆 |

## 第五編　内国税（上）　九四〇

第五輯　内國稅（上）

| 年次 | 畑 段別 | 畑 地価 | 畑 地租 | 畑 筆数 | 野 段別 | 野 地価 | 野 地租 | 野 筆数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 明治二年 | 一〇五町一反六畝 | 一〇五万六〇〇円 | 一〇五円六〇銭 | 一〇五筆 | 一〇町一反六畝 | 一〇万六〇〇円 | 一〇円六〇銭 | 一〇筆 |
| 三年 | 一〇五町一反六畝 | 一〇五万六〇〇円 | 一〇五円六〇銭 | 一〇五筆 | 一〇町一反六畝 | 一〇万六〇〇円 | 一〇円六〇銭 | 一〇筆 |
| 四年 | 一〇五町一反六畝 | 一〇五万六〇〇円 | 一〇五円六〇銭 | 一〇五筆 | 一〇町一反六畝 | 一〇万六〇〇円 | 一〇円六〇銭 | 一〇筆 |
| 五年 | 一〇五町一反六畝 | 一〇五万六〇〇円 | 一〇五円六〇銭 | 一〇五筆 | 一〇町一反六畝 | 一〇万六〇〇円 | 一〇円六〇銭 | 一〇筆 |
| 六年 | 一〇五町一反六畝 | 一〇五万六〇〇円 | 一〇五円六〇銭 | 一〇五筆 | 一〇町一反六畝 | 一〇万六〇〇円 | 一〇円六〇銭 | 一〇筆 |
| 七年 | 一〇五町一反六畝 | 一〇五万六〇〇円 | 一〇五円六〇銭 | 一〇五筆 | 一〇町一反六畝 | 一〇万六〇〇円 | 一〇円六〇銭 | 一〇筆 |
| 八年 | 一〇五町一反六畝 | 一〇五万六〇〇円 | 一〇五円六〇銭 | 一〇五筆 | 一〇町一反六畝 | 一〇万六〇〇円 | 一〇円六〇銭 | 一〇筆 |
| 九年 | 一〇五町一反六畝 | 一〇五万六〇〇円 | 一〇五円六〇銭 | 一〇五筆 | 一〇町一反六畝 | 一〇万六〇〇円 | 一〇円六〇銭 | 一〇筆 |
| 一〇年 | 一〇五町一反六畝 | 一〇五万六〇〇円 | 一〇五円六〇銭 | 一〇五筆 | 一〇町一反六畝 | 一〇万六〇〇円 | 一〇円六〇銭 | 一〇筆 |
| 一一年 | 一〇五町一反六畝 | 一〇五万六〇〇円 | 一〇五円六〇銭 | 一〇五筆 | 一〇町一反六畝 | 一〇万六〇〇円 | 一〇円六〇銭 | 一〇筆 |
| 一二年 | 一〇五町一反六畝 | 一〇五万六〇〇円 | 一〇五円六〇銭 | 一〇五筆 | 一〇町一反六畝 | 一〇万六〇〇円 | 一〇円六〇銭 | 一〇筆 |
| 一三年 | 一〇五町一反六畝 | 一〇五万六〇〇円 | 一〇五円六〇銭 | 一〇五筆 | 一〇町一反六畝 | 一〇万六〇〇円 | 一〇円六〇銭 | 一〇筆 |
| 一四年 | 一〇五町一反六畝 | 一〇五万六〇〇円 | 一〇五円六〇銭 | 一〇五筆 | 一〇町一反六畝 | 一〇万六〇〇円 | 一〇円六〇銭 | 一〇筆 |
| 大正元年 | 一〇五町一反六畝 | 一〇五万六〇〇円 | 一〇五円六〇銭 | 一〇五筆 | 一〇町一反六畝 | 一〇万六〇〇円 | 一〇円六〇銭 | 一〇筆 |
| 二年 | 一〇五町一反六畝 | 一〇五万六〇〇円 | 一〇五円六〇銭 | 一〇五筆 | 一〇町一反六畝 | 一〇万六〇〇円 | 一〇円六〇銭 | 一〇筆 |
| 三年 | 一〇五町一反六畝 | 一〇五万六〇〇円 | 一〇五円六〇銭 | 一〇五筆 | 一〇町一反六畝 | 一〇万六〇〇円 | 一〇円六〇銭 | 一〇筆 |
| 四年 | 一〇五町一反六畝 | 一〇五万六〇〇円 | 一〇五円六〇銭 | 一〇五筆 | 一〇町一反六畝 | 一〇万六〇〇円 | 一〇円六〇銭 | 一〇筆 |
| 五年 | 一〇五町一反六畝 | 一〇五万六〇〇円 | 一〇五円六〇銭 | 一〇五筆 | 一〇町一反六畝 | 一〇万六〇〇円 | 一〇円六〇銭 | 一〇筆 |



| 年次 | 共他 段別 | 共他 地価 | 共他 地租 | 共他 筆数 |
|---|---|---|---|---|
| 明治二年 | 三五町一反六畝 | 三五万六〇〇円 | 三五円六〇銭 | 三五筆 |
| 三年 | 三五町一反六畝 | 三五万六〇〇円 | 三五円六〇銭 | 三五筆 |
| 四年 | 三五町一反六畝 | 三五万六〇〇円 | 三五円六〇銭 | 三五筆 |
| 五年 | 三五町一反六畝 | 三五万六〇〇円 | 三五円六〇銭 | 三五筆 |
| 六年 | 三五町一反六畝 | 三五万六〇〇円 | 三五円六〇銭 | 三五筆 |
| 七年 | 三五町一反六畝 | 三五万六〇〇円 | 三五円六〇銭 | 三五筆 |
| 八年 | 三五町一反六畝 | 三五万六〇〇円 | 三五円六〇銭 | 三五筆 |
| 九年 | 三五町一反六畝 | 三五万六〇〇円 | 三五円六〇銭 | 三五筆 |
| 一〇年 | 三五町一反六畝 | 三五万六〇〇円 | 三五円六〇銭 | 三五筆 |
| 一一年 | 三五町一反六畝 | 三五万六〇〇円 | 三五円六〇銭 | 三五筆 |
| 一二年 | 三五町一反六畝 | 三五万六〇〇円 | 三五円六〇銭 | 三五筆 |
| 一三年 | 三五町一反六畝 | 三五万六〇〇円 | 三五円六〇銭 | 三五筆 |
| 一四年 | 三五町一反六畝 | 三五万六〇〇円 | 三五円六〇銭 | 三五筆 |
| 大正元年 | 三五町一反六畝 | 三五万六〇〇円 | 三五円六〇銭 | 三五筆 |
| 二年 | 三五町一反六畝 | 三五万六〇〇円 | 三五円六〇銭 | 三五筆 |
| 三年 | 三五町一反六畝 | 三五万六〇〇円 | 三五円六〇銭 | 三五筆 |
| 四年 | 三五町一反六畝 | 三五万六〇〇円 | 三五円六〇銭 | 三五筆 |
| 五年 | 三五町一反六畝 | 三五万六〇〇円 | 三五円六〇銭 | 三五筆 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 明治三一年 | 一、〇五八、四五一・五町 | 二、三七五、九五二円 | 五九、五〇一円 | 五、五六五、五四〇 | 四七、一六一・九町 | 三、一三二、二三二円 | 六五、四一八円 | 四二九、三三〇 |
| 同三三年 | 一、〇五五、〇〇一・四 | 二、三七七、二九二 | 七八、一〇五 | | 四九、五四六・七 | 三、一四一、四八七 | 八三、八六四 | |
| 同三四年 | 一、〇五三、四八四・六 | 二、三六七、四〇四 | 七七、七四三 | | 五三、三〇七・六 | 三、一六六、二九六 | 八四、五八二 | |
| 同三五年 | 一、〇五六、二五七・六 | 二、三六七、〇七七 | 七七、七二一 | | 五三、一六〇・三 | 三、二二九、八三三 | 八六、六一六 | |
| 同三六年 | 一、〇六九、〇二三・一 | 二、三七七、二三一 | 七八、〇四五 | | 六〇、六〇七・〇 | 三、二六七、六八〇 | 八七、九〇五 | |
| 同三七年 | 一、〇九七、五三六・四 | 二、四二三、七八五 | 六〇、六七五 | 五、七二八、三六四 | 六六、二六五・七 | 三、三三六、八九二 | 七〇、四三八 | 四五四、五一八 |
| 同三八年 | 一、一三一、二八四・〇 | 二、四七八、四四六 | 一三六、〇八六 | 五、七三四、一五三 | 六七、四〇一・五 | 三、三八八、三九二 | 一七三、二〇七 | 四六〇、二六八 |
| 同三九年 | 一、一二八、九六四・一 | 二、五一三、八三八 | 一三八、〇〇四 | 五、七三七、四三五 | 六八、四〇〇・二 | 三、四三四、四五四 | 一七五、七八〇 | 四六〇、一一四 |
| 同四〇年 | 一、一三六、一三三・三 | 二、五五七、六四三 | 一四〇、三六六 | 五、七三七、一七六 | 七一、六五四・二 | 三、四八七、七六四 | 一七八、五七五 | 四六四、六四二 |
| 同四一年 | 一、一六四、七六四・三 | 二、六四二、八二四 | 一五五、九七六 | 五、七五八、一九九 | 七一、六六九・九 | 三、四一五、一七二 | 一七五、八八七 | 五一六、一二九 |
| 同四二年 | 一、一八七、九二一・九 | 二、七〇一、〇六八 | 一四八、二三五 | 五、七九三、九六六 | 七一、四八一・九 | 三、四二一、五八三 | 一七六、五一三 | 四六八、七六七 |
| 同四三年 | 一、二三三、三六九・一 | 二、八一一、六四四 | 一五四、三一五 | 五、八四七、三五六 | 七一、六一六・六 | 三、四五二、九一〇 | 一七八、二三八 | 四七三、〇七一 |
| 同四四年 | 一、二四七、四三八・九 | 二、八五〇、五四九 | 一五六、四一九 | 五、八六六、〇三七 | 七四、〇七七・三 | 三、四八七、一八一 | 一八〇、〇四六 | 四七七、九五五 |
| 大正元年 | 一、二六二、九三一・二 | 二、六八八、三八五 | 一四七、六二九 | 五、九一一、四四五 | 七四、〇〇五・三 | 三、三一六、七九六 | 一七〇、四二三 | 四七七、三六二 |
| 同二年 | 一、二七九、六三六・八 | 二、七一五、一五九 | 一四九、一二三 | 五、九五二、一二四 | 七三、九五八・四 | 三、一七一、八四七 | 一六二、三〇九 | 四八一、一一三 |
| 同三年 | 一、二八五、四二一・〇 | 二、七一七、九二三 | 一四九、二七六 | 六、〇〇八、二一五 | 七四、〇四八・六 | 三、一八三、四四三 | 一六二、八〇八 | 四八四、九八一 |
| 同四年 | 一、二九五、〇八七・一 | 二、七三四、七〇三 | 一五〇、一六一 | 六、〇五二、〇〇三 | 七三、八二三・〇 | 三、二〇〇、二二二 | 一六三、六三六 | 四八五、七八二 |
| 同五年 | 一、三〇二、四三四・五 | 二、七五〇、九二七 | 一五〇、九七七 | 六、一〇一、三〇七 | 七四、四四〇・三 | 三、二〇〇、八九八 | 一六二、九五二 | 四八七、六一五 |
| 同六年 | 一、三〇八、一一一・八 | 二、七六七、七八二 | 一五一、六九四 | 六、一三四、八〇五 | 七五、二六九・三 | 三、二六〇、三六五 | 一六六、五九六 | 四九二、七八〇 |
| 同七年 | 一、三〇七、四四二・四 | 二、七六一、三〇五 | 一五一、三四五 | 六、一五二、二〇八 | 七五、四九〇・六 | 三、二九一、三三八 | 一六六、九四四 | 四九五、三五九 |
| 同八年 | 一、三二七、三二九・三 | 二、七七三、七五三 | 一五一、七七二 | 六、一六八、四九六 | 七七、一九二・五 | 三、三三二、二五九 | 一六八、二八六 | 四八八、〇七一 |
| 同九年 | 一、三三六、五四四・九 | 二、八〇二、五八〇 | 一五二、九七三 | 六、一九五、三四四 | 八三、三一六・四 | 三、四四六、七四八 | 一七三、四九五 | 五二七、八〇三 |
| 同一〇年 | 一、三五九、〇〇三・五 | 二、八二三、六七四 | 一五三、七三〇 | 六、二二三、六三八 | 九四、八四〇・五 | 三、五八〇、八三〇 | 一七九、六一七 | 五〇八、六五四 |
| 同一一年 | 一、三八八、六五七・七 | 二、八四六、八九一 | 一五四、四七〇 | 六、二四五、二八七 | 一一九、〇八九・四 | 三、七八二、三六二 | 一八八、七四二 | 五一三、三五四 |
| 同一二年 | 一、四二二、五八〇・七 | 二、八八二、四四六 | 一五五、八三一 | 六、二五五、三〇九 | 一三九、二〇二・二 | 三、九一六、三〇六 | 一九四、六一二 | 五一七、五七六 |
| 同一三年 | 一、四五七、〇六九・八 | 二、九一三、一〇三 | 一五六、九四〇 | 六、三〇五、四一六 | 一五三、四八七・三 | 四、〇五〇、五七〇 | 二〇〇、八五〇 | 五三二、六三一 |
| 同一四年 | 一、五〇六、〇四〇・三 | 二、九五五、一一四 | 一五八、五九三 | 六、三三四、七四〇 | 一六一、一四六・八 | 四、一五一、三三三 | 二〇五、七二四 | 五三五、七九五 |
| 昭和元年 | 一、五三九、八四八・三 | 二、九八五、九七二 | 一五九、七八六 | 六、三八八、二二二 | 一六七、二九三・九 | 四、一九一、四九八 | 二〇七、五八二 | 五三九、八五四 |





| 年次 | 總計 段別 | 地價 | 地租 | 筆數 |
|---|---|---|---|---|
| 明治二三年 | 一三、七九九、六四〇・八町 | 一、五三三、四三四、三〇九円 | 三八、三〇五、九九七円 | 一三、九九〇、三六八 |
| 同二四年 | 一二、四九六、〇六七・一 | 一、三八一、九五七、六三〇 | 三四、五一三、五三八 | 一一、三八七、七三五 |
| 同二五年 | 一三、七七三、二四三・六 | 一、五一九、〇九八、一七九 | 三七、九四三、九三四 | 一三、六七四、五六五 |
| 同二六年 | 一三、七八二、八七〇・二（外 二、七三〇・四） | 一、五一九、三三一、九八一 | 三七、九四九、八九一 | 一三、八七三、三六四 |
| 同二七年 | 一三、八〇九、三三一・三（外 一七〇・四） | 一、五二五、六五五、七八九 | 三八、一〇七、九四五 | 一三、三九九、三三八 |
| 同二八年 | 一三、八三六、〇二三・六（外 一三一・二） | 一、五二九、三九八、一五一 | 三八、二〇一、七二九 | 一三、七六三、七七一 |
| 同二九年 | 一三、八二一、八〇五・四（外 三一五・四） | 一、五二二、五三二、九八二 | 三八、〇〇六、八五二 | 一三、二四九、四八一 |
| 同三〇年 | 一三、七八八、五〇五・九（外 一二四・七） | 一、五二三、八四七、二三七 | 三八、〇六六、四三〇 | 一三、五五四、一七五 |
| 同三一年 | 一三、六八八、二二三・四（外 八五・五） | 一、五一九、二三八、九一四 | 三七、九四八、〇三三 | 一三、七五五、一九八 |
| 同三三年 | 一三、五一五、六八七・二（外 四七・八） | 一、三八〇、〇八三、三九六 | 四六、〇四六、一三五 | 一三、九八四、九八五 |

| 年 | 明治三年 | 四年 | 五年 | 六年 | 七年 | 八年 | 九年 | 十年 | 十一年 | 十二年 | 十三年 | 十四年 | 十五年 | 十六年 | 十七年 | 十八年 | 十九年 | 二十年 | 二十一年 | 二十二年 | 二十三年 | 二十四年 | 二十五年 | 二十六年 | 二十七年 | 二十八年 | 二十九年 | 三十年 | 三十一年 | 三十二年 | 三十三年 | 三十四年 | 三十五年 | 三十六年 | 三十七年 | 三十八年 | 三十九年 | 四十年 | 四十一年 | 四十二年 | 四十三年 | 四十四年 | 四十五年 | 四十六年 | 四十七年 | 四十八年 | 四十九年 | 五十年 | 五十一年 | 五十二年 | 五十三年 | 五十四年 | 五十五年 | 五十六年 | 五十七年 | 五十八年 | 五十九年 | 六十年 | 六十一年 | 六十二年 | 六十三年 | 六十四年 | 六十五年 | 六十六年 | 六十七年 | 六十八年 | 六十九年 | 七十年 | 七十一年 | 七十二年 | 七十三年 | 七十四年 | 七十五年 | 七十六年 | 七十七年 | 七十八年 | 七十九年 | 八十年 | 八十一年 | 八十二年 | 八十三年 | 八十四年 | 八十五年 | 八十六年 | 八十七年 | 八十八年 | 八十九年 | 九十年 | 九十一年 | 九十二年 | 九十三年 | 九十四年 | 九十五年 | 九十六年 | 九十七年 | 九十八年 | 九十九年 | 百年 | 百一年 | 百二年 | 百三年 | 百四年 | 百五年 | 百六年 | 百七年 | 百八年 | 百九年 | 百十年 | 百十一年 | 百十二年 | 百十三年 | 百十四年 | 百十五年 | 百十六年 | 百十七年 | 百十八年 | 百十九年 | 百二十年 | 百二十一年 | 百二十二年 | 百二十三年 | 百二十四年 | 百二十五年 | 百二十六年 | 百二十七年 | 百二十八年 | 百二十九年 | 百三十年 | 百三十一年 | 百三十二年 | 百三十三年 | 百三十四年 | 百三十五年 | 百三十六年 | 百三十七年 | 百三十八年 | 百三十九年 | 百四十年 | 百四十一年 | 百四十二年 | 百四十三年 | 百四十四年 | 百四十五年 | 百四十六年 | 百四十七年 | 百四十八年 | 百四十九年 | 百五十年 | 百五十一年 | 百五十二年 | 百五十三年 | 百五十四年 | 百五十五年 | 百五十六年 | 百五十七年 | 百五十八年 | 百五十九年 | 百六十年 | 百六十一年 | 百六十二年 | 百六十三年 | 百六十四年 | 百六十五年 | 百六十六年 | 百六十七年 | 百六十八年 | 百六十九年 | 百七十年 | 百七十一年 | 百七十二年 | 百七十三年 | 百七十四年 | 百七十五年 | 百七十六年 | 百七十七年 | 百七十八年 | 百七十九年 | 百八十年 | 百八十一年 | 百八十二年 | 百八十三年 | 百八十四年 | 百八十五年 | 百八十六年 | 百八十七年 | 百八十八年 | 百八十九年 | 百九十年 | 百九十一年 | 百九十二年 | 百九十三年 | 百九十四年 | 百九十五年 | 百九十六年 | 百九十七年 | 百九十八年 | 百九十九年 | 二百年 | 二百一年 | 二百二年 | 二百三年 | 二百四年 | 二百五年 | 二百六年 | 二百七年 | 二百八年 | 二百九年 | 二百十年 | 二百十一年 | 二百十二年 | 二百十三年 | 二百十四年 | 二百十五年 | 二百十六年 | 二百十七年 | 二百十八年 | 二百十九年 | 二百二十年 | 二百二十一年 | 二百二十二年 | 二百二十三年 | 二百二十四年 | 二百二十五年 | 二百二十六年 | 二百二十七年 | 二百二十八年 | 二百二十九年 | 二百三十年 | 二百三十一年 | 二百三十二年 | 二百三十三年 | 二百三十四年 | 二百三十五年 | 二百三十六年 | 二百三十七年 | 二百三十八年 | 二百三十九年 | 二百四十年 | 二百四十一年 | 二百四十二年 | 二百四十三年 | 二百四十四年 | 二百四十五年 | 二百四十六年 | 二百四十七年 | 二百四十八年 | 二百四十九年 | 二百五十年 | 二百五十一年 | 二百五十二年 | 二百五十三年 | 二百五十四年 | 二百五十五年 | 二百五十六年 | 二百五十七年 | 二百五十八年 | 二百五十九年 | 二百六十年 | 二百六十一年 | 二百六十二年 | 二百六十三年 | 二百六十四年 | 二百六十五年 | 二百六十六年 | 二百六十七年 | 二百六十八年 | 二百六十九年 | 二百七十年 | 二百七十一年 | 二百七十二年 | 二百七十三年 | 二百七十四年 | 二百七十五年 | 二百七十六年 | 二百七十七年 | 二百七十八年 | 二百七十九年 | 二百八十年 | 二百八十一年 | 二百八十二年 | 二百八十三年 | 二百八十四年 | 二百八十五年 | 二百八十六年 | 二百八十七年 | 二百八十八年 | 二百八十九年 | 二百九十年 | 二百九十一年 | 二百九十二年 | 二百九十三年 | 二百九十四年 | 二百九十五年 | 二百九十六年 | 二百九十七年 | 二百九十八年 | 二百九十九年 | 三百年 | 三百一年 | 三百二年 | 三百三年 | 三百四年 | 三百五年 | 三百六年 | 三百七年 | 三百八年 | 三百九年 | 三百十年 | 三百十一年 | 三百十二年 | 三百十三年 | 三百十四年 | 三百十五年 | 三百十六年 | 三百十七年 | 三百十八年 | 三百十九年 | 三百二十年 | 三百二十一年 | 三百二十二年 | 三百二十三年 | 三百二十四年 | 三百二十五年 | 三百二十六年 | 三百二十七年 | 三百二十八年 | 三百二十九年 | 三百三十年 | 三百三十一年 | 三百三十二年 | 三百三十三年 | 三百三十四年 | 三百三十五年 | 三百三十六年 | 三百三十七年 | 三百三十八年 | 三百三十九年 | 三百四十年 | 三百四十一年 | 三百四十二年 | 三百四十三年 | 三百四十四年 | 三百四十五年 | 三百四十六年 | 三百四十七年 | 三百四十八年 | 三百四十九年 | 三百五十年 | 三百五十一年 | 三百五十二年 | 三百五十三年 | 三百五十四年 | 三百五十五年 | 三百五十六年 | 三百五十七年 | 三百五十八年 | 三百五十九年 | 三百六十年 | 三百六十一年 | 三百六十二年 | 三百六十三年 | 三百六十四年 | 三百六十五年 | 三百六十六年 | 三百六十七年 | 三百六十八年 | 三百六十九年 | 三百七十年 | 三百七十一年 | 三百七十二年 | 三百七十三年 | 三百七十四年 | 三百七十五年 | 三百七十六年 | 三百七十七年 | 三百七十八年 | 三百七十九年 | 三百八十年 | 三百八十一年 | 三百八十二年 | 三百八十三年 | 三百八十四年 | 三百八十五年 | 三百八十六年 | 三百八十七年 | 三百八十八年 | 三百八十九年 | 三百九十年 | 三百九十一年 | 三百九十二年 | 三百九十三年 | 三百九十四年 | 三百九十五年 | 三百九十六年 | 三百九十七年 | 三百九十八年 | 三百九十九年 | 四百年 | 四百一年 | 四百二年 | 四百三年 | 四百四年 | 四百五年 | 四百六年 | 四百七年 | 四百八年 | 四百九年 | 四百十年 | 四百十一年 | 四百十二年 | 四百十三年 | 四百十四年 | 四百十五年 | 四百十六年 | 四百十七年 | 四百十八年 | 四百十九年 | 四百二十年 | 四百二十一年 | 四百二十二年 | 四百二十三年 | 四百二十四年 | 四百二十五年 | 四百二十六年 | 四百二十七年 | 四百二十八年 | 四百二十九年 | 四百三十年 | 四百三十一年 | 四百三十二年 | 四百三十三年 | 四百三十四年 | 四百三十五年 | 四百三十六年 | 四百三十七年 | 四百三十八年 | 四百三十九年 | 四百四十年 | 四百四十一年 | 四百四十二年 | 四百四十三年 | 四百四十四年 | 四百四十五年 | 四百四十六年 | 四百四十七年 | 四百四十八年 | 四百四十九年 | 四百五十年 | 四百五十一年 | 四百五十二年 | 四百五十三年 | 四百五十四年 | 四百五十五年 | 四百五十六年 | 四百五十七年 | 四百五十八年 | 四百五十九年 | 四百六十年 | 四百六十一年 | 四百六十二年 | 四百六十三年 | 四百六十四年 | 四百六十五年 | 四百六十六年 | 四百六十七年 | 四百六十八年 | 四百六十九年 | 四百七十年 | 四百七十一年 | 四百七十二年 | 四百七十三年 | 四百七十四年 | 四百七十五年 | 四百七十六年 | 四百七十七年 | 四百七十八年 | 四百七十九年 | 四百八十年 | 四百八十一年 | 四百八十二年 | 四百八十三年 | 四百八十四年 | 四百八十五年 | 四百八十六年 | 四百八十七年 | 四百八十八年 | 四百八十九年 | 四百九十年 | 四百九十一年 | 四百九十二年 | 四百九十三年 | 四百九十四年 | 四百九十五年 | 四百九十六年 | 四百九十七年 | 四百九十八年 | 四百九十九年 | 五百年 | 五百一年 | 五百二年 | 五百三年 | 五百四年 | 五百五年 | 五百六年 | 五百七年 | 五百八年 | 五百九年 | 五百十年 | 五百十一年 | 五百十二年 | 五百十三年 | 五百十四年 | 五百十五年 | 五百十六年 | 五百十七年 | 五百十八年 | 五百十九年 | 五百二十年 | 五百二十一年 | 五百二十二年 | 五百二十三年 | 五百二十四年 | 五百二十五年 | 五百二十六年 | 五百二十七年 | 五百二十八年 | 五百二十九年 | 五百三十年 | 五百三十一年 | 五百三十二年 | 五百三十三年 | 五百三十四年 | 五百三十五年 | 五百三十六年 | 五百三十七年 | 五百三十八年 | 五百三十九年 | 五百四十年 | 五百四十一年 | 五百四十二年 | 五百四十三年 | 五百四十四年 | 五百四十五年 | 五百四十六年 | 五百四十七年 | 五百四十八年 | 五百四十九年 | 五百五十年 | 五百五十一年 | 五百五十二年 | 五百五十三年 | 五百五十四年 | 五百五十五年 | 五百五十六年 | 五百五十七年 | 五百五十八年 | 五百五十九年 | 五百六十年 | 五百六十一年 | 五百六十二年 | 五百六十三年 | 五百六十四年 | 五百六十五年 | 五百六十六年 | 五百六十七年 | 五百六十八年 | 五百六十九年 | 五百七十年 | 五百七十一年 | 五百七十二年 | 五百七十三年 | 五百七十四年 | 五百七十五年 | 五百七十六年 | 五百七十七年 | 五百七十八年 | 五百七十九年 | 五百八十年 | 五百八十一年 | 五百八十二年 | 五百八十三年 | 五百八十四年 | 五百八十五年 | 五百八十六年 | 五百八十七年 | 五百八十八年 | 五百八十九年 | 五百九十年 | 五百九十一年 | 五百九十二年 | 五百九十三年 | 五百九十四年 | 五百九十五年 | 五百九十六年 | 五百九十七年 | 五百九十八年 | 五百九十九年 | 六百年 | 六百一年 | 六百二年 | 六百三年 | 六百四年 | 六百五年 | 六百六年 | 六百七年 | 六百八年 | 六百九年 | 六百十年 | 六百十一年 | 六百十二年 | 六百十三年 | 六百十四年 | 六百十五年 | 六百十六年 | 六百十七年 | 六百十八年 | 六百十九年 | 六百二十年 | 六百二十一年 | 六百二十二年 | 六百二十三年 | 六百二十四年 | 六百二十五年 | 六百二十六年 | 六百二十七年 | 六百二十八年 | 六百二十九年 | 六百三十年 | 六百三十一年 | 六百三十二年 | 六百三十三年 | 六百三十四年 | 六百三十五年 | 六百三十六年 | 六百三十七年 | 六百三十八年 | 六百三十九年 | 六百四十年 | 六百四十一年 | 六百四十二年 | 六百四十三年 | 六百四十四年 | 六百四十五年 | 六百四十六年 | 六百四十七年 | 六百四十八年 | 六百四十九年 | 六百五十年 | 六百五十一年 | 六百五十二年 | 六百五十三年 | 六百五十四年 | 六百五十五年 | 六百五十六年 | 六百五十七年 | 六百五十八年 | 六百五十九年 | 六百六十年 | 六百六十一年 | 六百六十二年 | 六百六十三年 | 六百六十四年 | 六百六十五年 | 六百六十六年 | 六百六十七年 | 六百六十八年 | 六百六十九年 | 六百七十年 | 六百七十一年 | 六百七十二年 | 六百七十三年 | 六百七十四年 | 六百七十五年 | 六百七十六年 | 六百七十七年 | 六百七十八年 | 六百七十九年 | 六百八十年 | 六百八十一年 | 六百八十二年 | 六百八十三年 | 六百八十四年 | 六百八十五年 | 六百八十六年 | 六百八十七年 | 六百八十八年 | 六百八十九年 | 六百九十年 | 六百九十一年 | 六百九十二年 | 六百九十三年 | 六百九十四年 | 六百九十五年 | 六百九十六年 | 六百九十七年 | 六百九十八年 | 六百九十九年 | 七百年 | 七百一年 | 七百二年 | 七百三年 | 七百四年 | 七百五年 | 七百六年 | 七百七年 | 七百八年 | 七百九年 | 七百十年 | 七百十一年 | 七百十二年 | 七百十三年 | 七百十四年 | 七百十五年 | 七百十六年 | 七百十七年 | 七百十八年 | 七百十九年 | 七百二十年 | 七百二十一年 | 七百二十二年 | 七百二十三年 | 七百二十四年 | 七百二十五年 | 七百二十六年 | 七百二十七年 | 七百二十八年 | 七百二十九年 | 七百三十年 | 七百三十一年 | 七百三十二年 | 七百三十三年 | 七百三十四年 | 七百三十五年 | 七百三十六年 | 七百三十七年 | 七百三十八年 | 七百三十九年 | 七百四十年 | 七百四十一年 | 七百四十二年 | 七百四十三年 | 七百四十四年 | 七百四十五年 | 七百四十六年 | 七百四十七年 | 七百四十八年 | 七百四十九年 | 七百五十年 | 七百五十一年 | 七百五十二年 | 七百五十三年 | 七百五十四年 | 七百五十五年 | 七百五十六年 | 七百五十七年 | 七百五十八年 | 七百五十九年 | 七百六十年 | 七百六十一年 | 七百六十二年 | 七百六十三年 | 七百六十四年 | 七百六十五年 | 七百六十六年 | 七百六十七年 | 七百六十八年 | 七百六十九年 | 七百七十年 | 七百七十一年 | 七百七十二年 | 七百七十三年 | 七百七十四年 | 七百七十五年 | 七百七十六年 | 七百七十七年 | 七百七十八年 | 七百七十九年 | 七百八十年 | 七百八十一年 | 七百八十二年 | 七百八十三年 | 七百八十四年 | 七百八十五年 | 七百八十六年 | 七百八十七年 | 七百八十八年 | 七百八十九年 | 七百九十年 | 七百九十一年 | 七百九十二年 | 七百九十三年 | 七百九十四年 | 七百九十五年 | 七百九十六年 | 七百九十七年 | 七百九十八年 | 七百九十九年 | 八百年 | 八百一年 | 八百二年 | 八百三年 | 八百四年 | 八百五年 | 八百六年 | 八百七年 | 八百八年 | 八百九年 | 八百十年 | 八百十一年 | 八百十二年 | 八百十三年 | 八百十四年 | 八百十五年 | 八百十六年 | 八百十七年 | 八百十八年 | 八百十九年 | 八百二十年 | 八百二十一年 | 八百二十二年 | 八百二十三年 | 八百二十四年 | 八百二十五年 | 八百二十六年 | 八百二十七年 | 八百二十八年 | 八百二十九年 | 八百三十年 | 八百三十一年 | 八百三十二年 | 八百三十三年 | 八百三十四年 | 八百三十五年 | 八百三十六年 | 八百三十七年 | 八百三十八年 | 八百三十九年 | 八百四十年 | 八百四十一年 | 八百四十二年 | 八百四十三年 | 八百四十四年 | 八百四十五年 | 八百四十六年 | 八百四十七年 | 八百四十八年 | 八百四十九年 | 八百五十年 | 八百五十一年 | 八百五十二年 | 八百五十三年 | 八百五十四年 | 八百五十五年 | 八百五十六年 | 八百五十七年 | 八百五十八年 | 八百五十九年 | 八百六十年 | 八百六十一年 | 八百六十二年 | 八百六十三年 | 八百六十四年 | 八百六十五年 | 八百六十六年 | 八百六十七年 | 八百六十八年 | 八百六十九年 | 八百七十年 | 八百七十一年 | 八百七十二年 | 八百七十三年 | 八百七十四年 | 八百七十五年 | 八百七十六年 | 八百七十七年 | 八百七十八年 | 八百七十九年 | 八百八十年 | 八百八十一年 | 八百八十二年 | 八百八十三年 | 八百八十四年 | 八百八十五年 | 八百八十六年 | 八百八十七年 | 八百八十八年 | 八百八十九年 | 八百九十年 | 八百九十一年 | 八百九十二年 | 八百九十三年 | 八百九十四年 | 八百九十五年 | 八百九十六年 | 八百九十七年 | 八百九十八年 | 八百九十九年 | 九百年 | 九百一年 | 九百二年 | 九百三年 | 九百四年 | 九百五年 | 九百六年 | 九百七年 | 九百八年 | 九百九年 | 九百十年 | 九百十一年 | 九百十二年 | 九百十三年 | 九百十四年 | 九百十五年 | 九百十六年 | 九百十七年 | 九百十八年 | 九百十九年 | 九百二十年 | 九百二十一年 | 九百二十二年 | 九百二十三年 | 九百二十四年 | 九百二十五年 | 九百二十六年 | 九百二十七年 | 九百二十八年 | 九百二十九年 | 九百三十年 | 九百三十一年 | 九百三十二年 | 九百三十三年 | 九百三十四年 | 九百三十五年 | 九百三十六年 | 九百三十七年 | 九百三十八年 | 九百三十九年 | 九百四十年 | 九百四十一年 | 九百四十二年 | 九百四十三年 | 九百四十四年 | 九百四十五年 | 九百四十六年 | 九百四十七年 | 九百四十八年 | 九百四十九年 | 九百五十年 | 九百五十一年 | 九百五十二年 | 九百五十三年 | 九百五十四年 | 九百五十五年 | 九百五十六年 | 九百五十七年 | 九百五十八年 | 九百五十九年 | 九百六十年 | 九百六十一年 | 九百六十二年 | 九百六十三年 | 九百六十四年 | 九百六十五年 | 九百六十六年 | 九百六十七年 | 九百六十八年 | 九百六十九年 | 九百七十年 | 九百七十一年 | 九百七十二年 | 九百七十三年 | 九百七十四年 | 九百七十五年 | 九百七十六年 | 九百七十七年 | 九百七十八年 | 九百七十九年 | 九百八十年 | 九百八十一年 | 九百八十二年 | 九百八十三年 | 九百八十四年 | 九百八十五年 | 九百八十六年 | 九百八十七年 | 九百八十八年 | 九百八十九年 | 九百九十年 | 九百九十一年 | 九百九十二年 | 九百九十三年 | 九百九十四年 | 九百九十五年 | 九百九十六年 | 九百九十七年 | 九百九十八年 | 九百九十九年 | 千年 | 千一年 | 千二年 | 千三年 | 千四年 | 千五年 | 千六年 | 千七年 | 千八年 | 千九年 | 千十年 | 千十一年 | 千十二年 | 千十三年 | 千十四年 | 千十五年 | 千十六年 | 千十七年 | 千十八年 | 千十九年 | 千二十年 | 千二十一年 | 千二十二年 | 千二十三年 | 千二十四年 | 千二十五年 | 千二十六年 | 千二十七年 | 千二十八年 | 千二十九年 | 千三十年 | 千三十一年 | 千三十二年 | 千三十三年 | 千三十四年 | 千三十五年 | 千三十六年 | 千三十七年 | 千三十八年 | 千三十九年 | 千四十年 | 千四十一年 | 千四十二年 | 千四十三年 | 千四十四年 | 千四十五年 | 千四十六年 | 千四十七年 | 千四十八年 | 千四十九年 | 千五十年 | 千五十一年 | 千五十二年 | 千五十三年 | 千五十四年 | 千五十五年 | 千五十六年 | 千五十七年 | 千五十八年 | 千五十九年 | 千六十年 | 千六十一年 | 千六十二年 | 千六十三年 | 千六十四年 | 千六十五年 | 千六十六年 | 千六十七年 | 千六十八年 | 千六十九年 | 千七十年 | 千七十一年 | 千七十二年 | 千七十三年 | 千七十四年 | 千七十五年 | 千七十六年 | 千七十七年 | 千七十八年 | 千七十九年 | 千八十年 | 千八十一年 | 千八十二年 | 千八十三年 | 千八十四年 | 千八十五年 | 千八十六年 | 千八十七年 | 千八十八年 | 千八十九年 | 千九十年 | 千九十一年 | 千九十二年 | 千九十三年 | 千九十四年 | 千九十五年 | 千九十六年 | 千九十七年 | 千九十八年 | 千九十九年 | 二千年 | 二千一年 | 二千二年 | 二千三年 | 二千四年 | 二千五年 | 二千六年 | 二千七年 | 二千八年 | 二千九年 | 二千十年 | 二千十一年 | 二千十二年 | 二千十三年 | 二千十四年 | 二千十五年 | 二千十六年 | 二千十七年 | 二千十八年 | 二千十九年 | 二千二十年 | 二千二十一年 | 二千二十二年 | 二千二十三年 | 二千二十四年 | 二千二十五年 | 二千二十六年 | 二千二十七年 | 二千二十八年 | 二千二十九年 | 二千三十年 | 二千三十一年 | 二千三十二年 | 二千三十三年 | 二千三十四年 | 二千三十五年 | 二千三十六年 | 二千三十七年 | 二千三十八年 | 二千三十九年 | 二千四十年 | 二千四十一年 | 二千四十二年 | 二千四十三年 | 二千四十四年 | 二千四十五年 | 二千四十六年 | 二千四十七年 | 二千四十八年 | 二千四十九年 | 二千五十年 | 二千五十一年 | 二千五十二年 | 二千五十三年 | 二千五十四年 | 二千五十五年 | 二千五十六年 | 二千五十七年 | 二千五十八年 | 二千五十九年 | 二千六十年 | 二千六十一年 | 二千六十二年 | 二千六十三年 | 二千六十四年 | 二千六十五年 | 二千六十六年 | 二千六十七年 | 二千六十八年 | 二千六十九年 | 二千七十年 | 二千七十一年 | 二千七十二年 | 二千七十三年 | 二千七十四年 | 二千七十五年 | 二千七十六年 | 二千七十七年 | 二千七十八年 | 二千七十九年 | 二千八十年 | 二千八十一年 | 二千八十二年 | 二千八十三年 | 二千八十四年 | 二千八十五年 | 二千八十六年 | 二千八十七年 | 二千八十八年 | 二千八十九年 | 二千九十年 | 二千九十一年 | 二千九十二年 | 二千九十三年 | 二千九十四年 | 二千九十五年 | 二千九十六年 | 二千九十七年 | 二千九十八年 | 二千九十九年 | 三千年 | 三千一年 | 三千二年 | 三千三年 | 三千四年 | 三千五年 | 三千六年 | 三千七年 | 三千八年 | 三千九年 | 三千十年 | 三千十一年 | 三千十二年 | 三千十三年 | 三千十四年 | 三千十五年 | 三千十六年 | 三千十七年 | 三千十八年 | 三千十九年 | 三千二十年 | 三千二十一年 | 三千二十二年 | 三千二十三年 | 三千二十四年 | 三千二十五年 | 三千二十六年 | 三千二十七年 | 三千二十八年 | 三千二十九年 | 三千三十年 | 三千三十一年 | 三千三十二年 | 三千三十三年 | 三千三十四年 | 三千三十五年 | 三千三十六年 | 三千三十七年 | 三千三十八年 | 三千三十九年 | 三千四十年 | 三千四十一年 | 三千四十二年 | 三千四十三年 | 三千四十四年 | 三千四十五年 | 三千四十六年 | 三千四十七年 | 三千四十八年 | 三千四十九年 | 三千五十年 | 三千五十一年 | 三千五十二年 | 三千五十三年 | 三千五十四年 | 三千五十五年 | 三千五十六年 | 三千五十七年 | 三千五十八年 | 三千五十九年 | 三千六十年 | 三千六十一年 | 三千六十二年 | 三千六十三年 | 三千六十四年 | 三千六十五年 | 三千六十六年 | 三千六十七年 | 三千六十八年 | 三千六十九年 | 三千七十年 | 三千七十一年 | 三千七十二年 | 三千七十三年 | 三千七十四年 | 三千七十五年 | 三千七十六年 | 三千七十七年 | 三千七十八年 | 三千七十九年 | 三千八十年 | 三千八十一年 | 三千八十二年 | 三千八十三年 | 三千八十四年 | 三千八十五年 | 三千八十六年 | 三千八十七年 | 三千八十八年 | 三千八十九年 | 三千九十年 | 三千九十一年 | 三千九十二年 | 三千九十三年 | 三千九十四年 | 三千九十五年 | 三千九十六年 | 三千九十七年 | 三千九十八年 | 三千九十九年 | 四千年 | 四千一年 | 四千二年 | 四千三年 | 四千四年 | 四千五年 | 四千六年 | 四千七年 | 四千八年 | 四千九年 | 四千十年 | 四千十一年 | 四千十二年 | 四千十三年 | 四千十四年 | 四千十五年 | 四千十六年 | 四千十七年 | 四千十八年 | 四千十九年 | 四千二十年 | 四千二十一年 | 四千二十二年 | 四千二十三年 | 四千二十四年 | 四千二十五年 | 四千二十六年 | 四千二十七年 | 四千二十八年 | 四千二十九年 | 四千三十年 | 四千三十一年 | 四千三十二年 | 四千三十三年 | 四千三十四年 | 四千三十五年 | 四千三十六年 | 四千三十七年 | 四千三十八年 | 四千三十九年 | 四千四十年 | 四千四十一年 | 四千四十二年 | 四千四十三年 | 四千四十四年 | 四千四十五年 | 四千四十六年 | 四千四十七年 | 四千四十八年 | 四千四十九年 | 四千五十年 | 四千五十一年 | 四千五十二年 | 四千五十三年 | 四千五十四年 | 四千五十五年 | 四千五十六年 | 四千五十七年 | 四千五十八年 | 四千五十九年 | 四千六十年 | 四千六十一年 | 四千六十二年 | 四千六十三年 | 四千六十四年 | 四千六十五年 | 四千六十六年 | 四千六十七年 | 四千六十八年 | 四千六十九年 | 四千七十年 | 四千七十一年 | 四千七十二年 | 四千七十三年 | 四千七十四年 | 四千七十五年 | 四千七十六年 | 四千七十七年 | 四千七十八年 | 四千七十九年 | 四千八十年 | 四千八十一年 | 四千八十二年 | 四千八十三年 | 四千八十四年 | 四千八十五年 | 四千八十六年 | 四千八十七年 | 四千八十八年 | 四千八十九年 | 四千九十年 | 四千九十一年 | 四千九十二年 | 四千九十三年 | 四千九十四年 | 四千九十五年 | 四千九十六年 | 四千九十七年 | 四千九十八年 | 四千九十九年 | 五千年 | 五千一年 | 五千二年 | 五千三年 | 五千四年 | 五千五年 | 五千六年 | 五千七年 | 五千八年 | 五千九年 | 五千十年 | 五千十一年 | 五千十二年 | 五千十三年 | 五千十四年 | 五千十五年 | 五千十六年 | 五千十七年 | 五千十八年 | 五千十九年 | 五千二十年 | 五千二十一年 | 五千二十二年 | 五千二十三年 | 五千二十四年 | 五千二十五年 | 五千二十六年 | 五千二十七年 | 五千二十八年 | 五千二十九年 | 五千三十年 | 五千三十一年 | 五千三十二年 | 五千三十三年 | 五千三十四年 | 五千三十五年 | 五千三十六年 | 五千三十七年 | 五千三十八年 | 五千三十九年 | 五千四十年 | 五千四十一年 | 五千四十二年 | 五千四十三年 | 五千四十四年 | 五千四十五年 | 五千四十六年 | 五千四十七年 | 五千四十八年 | 五千四十九年 | 五千五十年 | 五千五十一年 | 五千五十二年 | 五千五十三年 | 五千五十四年 | 五千五十五年 | 五千五十六年 | 五千五十七年 | 五千五十八年 | 五千五十九年 | 五千六十年 | 五千六十一年 | 五千六十二年 | 五千六十三年 | 五千六十四年 | 五千六十五年 | 五千六十六年 | 五千六十七年 | 五千六十八年 | 五千六十九年 | 五千七十年 | 五千七十一年 | 五千七十二年 | 五千七十三年 | 五千七十四年 | 五千七十五年 | 五千七十六年 | 五千七十七年 | 五千七十八年 | 五千七十九年 | 五千八十年 | 五千八十一年 | 五千八十二年 | 五千八十三年 | 五千八十四年 | 五千八十五年 | 五千八十六年 | 五千八十七年 | 五千八十八年 | 五千八十九年 | 五千九十年 | 五千九十一年 | 五千九十二年 | 五千九十三年 | 五千九十四年 | 五千九十五年 | 五千九十六年 | 五千九十七年 | 五千九十八年 | 五千九十九年 | 六千年 | 六千一年 | 六千二年 | 六千三年 | 六千四年 | 六千五年 | 六千六年 | 六千七年 | 六千八年 | 六千九年 | 六千十年 | 六千十一年 | 六千十二年 | 六千十三年 | 六千十四年 | 六千十五年 | 六千十六年 | 六千十七年 | 六千十八年 | 六千十九年 | 六千二十年 | 六千二十一年 | 六千二十二年 | 六千二十三年 | 六千二十四年 | 六千二十五年 | 六千二十六年 | 六千二十七年 | 六千二十八年 | 六千二十九年 | 六千三十年 | 六千三十一年 | 六千三十二年 | 六千三十三年 | 六千三十四年 | 六千三十五年 | 六千三十六年 | 六千三十七年 | 六千三十八年 | 六千三十九年 | 六千四十年 | 六千四十一年 | 六千四十二年 | 六千四十三年 | 六千四十四年 | 六千四十五年 | 六千四十六年 | 六千四十七年 | 六千四十八年 | 六千四十九年 | 六千五十年 | 六千五十一年 | 六千五十二年 | 六千五十三年 | 六千五十四年 | 六千五十五年 | 六千五十六年 | 六千五十七年 | 六千五十八年 | 六千五十九年 | 六千六十年 | 六千六十一年 | 六千六十二年 | 六千六十三年 | 六千六十四年 | 六千六十五年 | 六千六十六年 | 六千六十七年 | 六千六十八年 | 六千六十九年 | 六千七十年 | 六千七十一年 | 六千七十二年 | 六千七十三年 | 六千七十四年 | 六千七十五年 | 六千七十六年 | 六千七十七年 | 六千七十八年 | 六千七十九年 | 六千八十年 | 六千八十一年 | 六千八十二年 | 六千八十三年 | 六千八十四年 | 六千八十五年 | 六千八十六年 | 六千八十七年 | 六千八十八年 | 六千八十九年 | 六千九十年 | 六千九十一年 | 六千九十二年 | 六千九十三年 | 六千九十四年 | 六千九十五年 | 六千九十六年 | 六千九十七年 | 六千九十八年 | 六千九十九年 | 七千年 | 七千一年 | 七千二年 | 七千三年 | 七千四年 | 七千五年 | 七千六年 | 七千七年 | 七千八年 | 七千九年 | 七千十年 | 七千十一年 | 七千十二年 | 七千十三年 | 七千十四年 | 七千十五年 | 七千十六年 | 七千十七年 | 七千十八年 | 七千十九年 | 七千二十年 | 七千二十一年 | 七千二十二年 | 七千二十三年 | 七千二十四年 | 七千二十五年 | 七千二十六年 | 七千二十七年 | 七千二十八年 | 七千二十九年 | 七千三十年 | 七千三十一年 | 七千三十二年 | 七千三十三年 | 七千三十四年 | 七千三十五年 | 七千三十六年 | 七千三十七年 | 七千三十八年 | 七千三十九年 | 七千四十年 | 七千四十一年 | 七千四十二年 | 七千四十三年 | 七千四十四年 | 七千四十五年 | 七千四十六年 | 七千四十七年 | 七千四十八年 | 七千四十九年 | 七千五十年 | 七千五十一年 | 七千五十二年 | 七千五十三年 | 七千五十四年 | 七千五十五年 | 七千五十六年 | 七千五十七年 | 七千五十八年 | 七千五十九年 | 七千六十年 | 七千六十一年 | 七千六十二年 | 七千六十三年 | 七千六十四年 | 七千六十五年 | 七千六十六年 | 七千六十七年 | 七千六十八年 | 七千六十九年 | 七千七十年 | 七千七十一年 | 七千七十二年 | 七千七十三年 | 七千七十四年 | 七千七十五年 | 七千七十六年 | 七千七十七年 | 七千七十八年 | 七千七十九年 | 七千八十年 | 七千八十一年 | 七千八十二年 | 七千八十三年 | 七千八十四年 | 七千八十五年 | 七千八十六年 | 七千八十七年 | 七千八十八年 | 七千八十九年 | 七千九十年 | 七千九十一年 | 七千九十二年 | 七千九十三年 | 七千九十四年 | 七千九十五年 | 七千九十六年 | 七千九十七年 | 七千九十八年 | 七千九十九年 | 八千年 | 八千一年 | 八千二年 | 八千三年 | 八千四年 | 八千五年 | 八千六年 | 八千七年 | 八千八年 | 八千九年 | 八千十年 | 八千十一年 | 八千十二年 | 八千十三年 | 八千十四年 | 八千十五年 | 八千十六年 | 八千十七年 | 八千十八年 | 八千十九年 | 八千二十年 | 八千二十一年 | 八千二十二年 | 八千二十三年 | 八千二十四年 | 八千二十五年 | 八千二十六年 | 八千二十七年 | 八千二十八年 | 八千二十九年 | 八千三十年 | 八千三十一年 | 八千三十二年 | 八千三十三年 | 八千三十四年 | 八千三十五年 | 八千三十六年 | 八千三十七年 | 八千三十八年 | 八千三十九年 | 八千四十年 | 八千四十一年 | 八千四十二年 | 八千四十三年 | 八千四十四年 | 八千四十五年 | 八千四十六年 | 八千四十七年 | 八千四十八年 | 八千四十九年 | 八千五十年 | 八千五十一年 | 八千五十二年 | 八千五十三年 | 八千五十四年 | 八千五十五年 | 八千五十六年 | 八千五十七年 | 八千五十八年 | 八千五十九年 | 八千六十年 | 八千六十一年 | 八千六十二年 | 八千六十三年 | 八千六十四年 | 八千六十五年 | 八千六十六年 | 八千六十七年 | 八千六十八年 | 八千六十九年 | 八千七十年 | 八千七十一年 | 八千七十二年 | 八千七十三年 | 八千七十四年 | 八千七十五年 | 八千七十六年 | 八千七十七年 | 八千七十八年 | 八千七十九年 | 八千八十年 | 八千八十一年 | 八千八十二年 | 八千八十三年 | 八千八十四年 | 八千八十五年 | 八千八十六年 | 八千八十七年 | 八千八十八年 | 八千八十九年 | 八千九十年 | 八千九十一年 | 八千九十二年 | 八千九十三年 | 八千九十四年 | 八千九十五年 | 八千九十六年 | 八千九十七年 | 八千九十八年 | 八千九十九年 | 九千年 | 九千一年 | 九千二年 | 九千三年 | 九千四年 | 九千五年 | 九千六年 | 九千七年 | 九千八年 | 九千九年 | 九千十年 | 九千十一年 | 九千十二年 | 九千十三年 | 九千十四年 | 九千十五年 | 九千十六年 | 九千十七年 | 九千十八年 | 九千十九年 | 九千二十年 | 九千二十一年 | 九千二十二年 | 九千二十三年 | 九千二十四年 | 九千二十五年 | 九千二十六年 | 九千二十七年 | 九千二十八年 | 九千二十九年 | 九千三十年 | 九千三十一年 | 九千三十二年 | 九千三十三年 | 九千三十四年 | 九千三十五年 | 九千三十六年 | 九千三十七年 | 九千三十八年 | 九千三十九年 | 九千四十年 | 九千四十一年 | 九千四十二年 | 九千四十三年 | 九千四十四年 | 九千四十五年 | 九千四十六年 | 九千四十七年 | 九千四十八年 | 九千四十九年 | 九千五十年 | 九千五十一年 | 九千五十二年 | 九千五十三年 | 九千五十四年 | 九千五十五年 | 九千五十六年 | 九千五十七年 | 九千五十八年 | 九千五十九年 | 九千六十年 | 九千六十一年 | 九千六十二年 | 九千六十三年 | 九千六十四年 | 九千六十五年 | 九千六十六年 | 九千六十七年 | 九千六十八年 | 九千六十九年 | 九千七十年 | 九千七十一年 | 九千七十二年 | 九千七十三年 | 九千七十四年 | 九千七十五年 | 九千七十六年 | 九千七十七年 | 九千七十八年 | 九千七十九年 | 九千八十年 | 九千八十一年 | 九千八十二年 | 九千八十三年 | 九千八十四年 | 九千八十五年 | 九千八十六年 | 九千八十七年 | 九千八十八年 | 九千八十九年 | 九千九十年 | 九千九十一年 | 九千九十二年 | 九千九十三年 | 九千九十四年 | 九千九十五年 | 九千九十六年 | 九千九十七年 | 九千九十八年 | 九千九十九年 | 一万年 | 一万一年 | 一万二年 | 一万三年 |

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 東京 | 千葉 | 一〇五、六六一・一四町畝 | 三三、〇六五、五九四円 | 一、四八七、九五二円 | 一、八五四、四〇六 | 八四、九三九・三二町畝 | 七、四九七、〇七六円 | 三三七、三六九円 | 一、二三八、四四六 |
| | 山梨 | 一九、七〇四・〇〇 | 八、〇九〇、三九一 | 三六四、〇六八 | 六六七、六四三 | 四二、五九六・七三 | 四、六九〇、七七八 | 二一一、〇八五 | 八四六、二三四 |
| | 栃木 | 七〇、一六四・〇四 | 二〇、三五三、九八七 | 九一五、九二九 | 七五九、三九三 | 六四、二四三・〇三 | 五、九七四、八五七 | 二六八、八六八 | 七五五、五〇七 |
| | 茨城 | 九二、四八九・六二 | 二九、一三九、一八九 | 一、三一一、二六五 | 一、三五三、九六三 | 一二六、六二三・三九 | 一〇、三四九、一四〇 | 四六五、七一二 | 一、五九〇、四四四 |
| | 群馬 | 三三、三六八・四三 | 一三、〇七九、九〇三 | 五八八、五九六 | 四五三、五九二 | 七七、二九八・二五 | 八、七四七、八九六 | 三九三、六五五 | 九九八、五九四 |
| | 計 | 四二七、五四二・〇一 | 一四八、三七九、二九一 | 六、六七七、〇七四 | 七、二九一、〇三三 | 五八六、一二五・三五 | 六〇、〇二五、九九五 | 二、七〇二、一七一 | 八、〇五一、〇八一 |
| 大阪 | 大阪 | 五三、九五三・七六 | 二七、七六〇、二〇五 | 一、二四九、二〇九 | 八二三、〇三五 | 一三、八一二・〇一 | 二、六八五、四五八 | 一二〇、八四六 | 二三九、〇四七 |
| | 京都 | 四五、八五一・〇一 | 一七、三七四、〇八四 | 七八一、八三四 | 七八六、五四二 | 一八、一三九・九一 | 二、六七七、四九六 | 一三〇、四八七 | 五三二、一七二 |
| | 兵庫 | 一二一、八二〇・一四 | 四七、四六〇、〇九四 | 二、一三五、七〇四 | 一、九〇五、七四〇 | 二七、八九九・三九 | 三、三七四、五二六 | 一五一、八五四 | 七三二、七七九 |
| | 奈良 | 三三、六二八・六八 | 一六、〇〇六、八八三 | 七二〇、三一〇 | 六五三、三三七 | 一〇、三五五・二七 | 一、九六三、四三五 | 八八、三五五 | 三五三、二二八 |
| | 和歌山 | 三三、四七〇・七九 | 一四、三二七、八三〇 | 六四四、七五二 | 五七六、八六三 | 一五、六六八・一八 | 二、四三四、九三五 | 一〇九、五七二 | 三八三、九三四 |
| | 滋賀 | 六四、四七六・三七 | 二九、五八九、五六六 | 一、三三一、五三〇 | 八四四、一六七 | 一一、〇七九・三五 | 二、四八七、九二九 | 一一一、九五七 | 四二一、二九六 |
| | 福井 | 四八、四七八・四四 | 一八、〇一九、一八四 | 八一〇、八六三 | 一、〇六八、三一二 | 一三、六五五・三四 | 一、四一四、三〇三 | 六三、六四四 | 五八二、五六五 |
| | 石川 | 五五、二六三・〇三 | 二〇、四〇七、八四九 | 九一八、三五三 | 二、〇三七、七二九 | 二七、二三一・三六 | 一、八四一、五八三 | 八二、八七一 | 一、〇九二、〇八四 |
| | 富山 | 八〇、八一三・九四 | 二八、八〇九、四九八 | 一、二九六、四二七 | 三、〇九九、一七七 | 一五、七三六・一九 | 八六五、二七九 | 三八、九三八 | 六六五、〇二三 |
| | 香川 | 三九、九一三・七九 | 一七、九三〇、四八五 | 八〇六、八七二 | 五九八、三六六 | 一一、〇四〇・〇六 | 一、三七二、七一三 | 六一、七七二 | 二五〇、六一六 |
| | 徳島 | 二八、六二一・九一 | 一一、八三六、七九〇 | 五三二、六五六 | 四〇六、一八〇 | 三四、五八八・六七 | 四、四二一、一〇一 | 一九八、九五〇 | 四七四、四〇二 |
| | 高知 | 三六、三五四・三六 | 一三、五三二、四五九 | 六〇八、九六一 | 八一八、三一一 | 八六、九九七・七〇 | 二、二三九、九七六 | 一〇〇、七九九 | 一、〇七〇、〇二七 |
| | 計 | 六三三、六四四・二一 | 二六三、〇五四、九二七 | 一一、八三七、四七一 | 一三、六一七、六六九 | 二八五、二〇三・四三 | 二七、七七八、七三三 | 一、二五〇、〇四五 | 六、七八七、一七三 |
| 札幌 | 北海道 | 一八、八七九・五五 | 二、一〇〇、九八二 | 六七、二二九 | 二六、四五三 | 三九四、五三〇・〇二 | 一四、一八八、九二六 | 四五四、〇四四 | 三四一、七二五 |
| 仙臺 | 宮城 | 八九、〇五六・六一 | 一七、九五九、二九六 | 八〇八、一六八 | 一、一七五、七〇七 | 四四、五六三・八六 | 三、七四一、七六五 | 一六八、三八〇 | 七〇八、七四八 |
| | 岩手 | 五五、一九六・八六 | 一三、〇〇六、三八一 | 五八五、二八六 | 六二五、三六七 | 八六、九二八・四二 | 四、七五九、〇八四 | 二一四、一五七 | 七四九、二四三 |
| | 福島 | 九九、〇七五・二九 | 二八、〇〇一、〇七二 | 一、二六〇、〇四八 | 二、〇二一、一一八 | 九〇、三七九・五四 | 九、一八七、四五七 | 四一三、四三五 | 二、三七五、一七二 |





| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 仙臺 | 秋田 | 一〇六、〇三一・四七 | 二三、二七六、〇六五 | 一、〇四七、四二三 | 一、三五五、〇三一 | 三二、八六二・七四 | 二、一〇九、七六四 | 九四、九三八 | 六三三、六七三 |
| | 青森 | 六四、七七九・二一 | 一四、三五三、一六九 | 六四五、八九三 | 四二三、八九一 | 五七、六五六・七七 | 二、六六三、六六八 | 一一九、八六五 | 四〇〇、三二五 |
| | 山形 | 九一、七八七・〇九 | 二五、七六二、八五七 | 一、一五九、三二九 | 九一七、四四四 | 四二、八八一・七〇 | 三、九七八、二三六 | 一七九、〇二一 | 八八二、五〇一 |
| | 計 | 五〇五、九二六・五三 | 一三三、三五八、八四〇 | 五、五〇六、一四七 | 六、五一八、五五八 | 三五五、二七三・〇三 | 二六、四三九、九七四 | 一、一八九、七九六 | 五、七三八、五六二 |
| 名古屋 | 愛知 | 九四、一九一・四八 | 三九、七五三、〇三九 | 一、七八八、八八八 | 二、一三四、九二三 | 六三、二九五・七九 | 九、八二五、一六六 | 四四二、一一三 | 一、五五九、五七〇 |
| | 静岡 | 六三、九七二・五一 | 二五、五三五、四六四 | 一、一四九、〇九五 | 一、二四七、七九一 | 七三、八五八・六〇 | 七、三一九、三四七 | 三三九、三七〇 | 一、三五三、二九三 |
| | 三重 | 七四、四八二・四五 | 三一、七一六、六九七 | 一、四二七、二五二 | 一、二四四、五二五 | 二八、八二九・八二 | 四、八六一、六〇七 | 二八、七七一 | 八〇二、九三一 |
| | 岐阜 | 六六、九九四・〇〇 | 二三、四三八、二六七 | 一、〇五四、七二三 | 一、三三九、四七八 | 四九、二六一・四八 | 四、九二三、〇六三 | 三二一、五三八 | 一、〇三一、五九四 |
| | 長野 | 七八、一〇三・〇八 | 二四、四九八、〇九一 | 一、一〇三、四一三 | 一、一九〇、四八七 | 一〇二、六五二・八八 | 一〇、〇三六、八四七 | 四五一、六五八 | 一、六八九、一〇三 |
| | 新潟 | 一七五、五二三・〇五 | 五三、八四六、七三五 | 二、四二三、一〇三 | 四、一五六、三四〇 | 七四、〇七九・六六 | 五、四九六、六二〇 | 二四七、三四六 | 二、二五四、七二五 |
| | 計 | 五五三、二六五・五七 | 一九八、七八八、二九三 | 八、九四五、四七二 | 一一、三一三、五四三 | 三九一、九七八・二三 | 四二、四六二、六五〇 | 一、九一〇、八一五 | 八、六九一、二二六 |
| 廣島 | 廣島 | 七六、五六七・八一 | 二八、三一五、六三六 | 一、二七四、二〇三 | 一、三四五、六四二 | 三五、四二一・九二 | 五、三〇一、三八四 | 二三八、五六四 | 一、一〇七、七二八 |
| | 山口 | 八一、一四六・六〇 | 二〇、三〇四、〇四七 | 九一三、六八一 | 八三二、三九六 | 三三、二二六・一二 | 一、〇九五、六八六 | 四九、三〇七 | 五九六、八一四 |
| | 岡山 | 八八、五四四・〇九 | 三六、〇二八、六七八 | 一、六二二、二九〇 | 一、二三二、八七九 | 三六、八二五・二九 | 五、二四八、六七六 | 二三六、一九〇 | 九〇七、二三五 |
| | 鳥取 | 三三、五八〇・三一 | 一一、五九五、四八九 | 五二一、七九六 | 三九四、七五一 | 一五、五八三・六六 | 一、六九〇、八七八 | 七六、〇九〇 | 三八九、二三九 |
| | 島根 | 五六、五五四・三六 | 一八、七〇九、七七三 | 八四一、九四二 | 七七〇、二四七 | 三六、五七一・〇七 | 三、一〇八、九七八 | 一三九、九〇五 | 八二四、一六四 |
| | 愛媛 | 四七、八五七・九三 | 一七、四〇二、四四九 | 七八三、一一〇 | 八一八、七二六 | 六三、〇六二・一六 | 五、〇八七、八八五 | 二三八、九五五 | 一、一六四、一三〇 |
| | 計 | 三八四、二五一・一〇 | 一三二、三五六、〇七二 | 五、九五六、〇二三 | 五、三九四、六四一 | 二二九、六八〇・二三 | 二一、五三三、四八七 | 九六九、〇一一 | 四、九八九、三一〇 |
| 熊本 | 熊本 | 七五、七二三・一〇 | 二七、〇四七、六〇九 | 一、二二七、一四三 | 一、一〇二、四五三 | 一〇六、三九六・九三 | 八、二〇〇、九九三 | 三六九、〇四五 | 一、四二三、四二八 |
| | 福岡 | 一一七、二二八・五〇 | 四三、二五六、八六一 | 一、九四六、五五九 | 一、三七〇、四九七 | 四五、四四五・一一 | 三、六八〇、二八九 | 一六五、六一三 | 七七六、二七五 |
| | 大分 | 五六、五八七・九一 | 一八、四六一、一三八 | 八三〇、七五一 | 九〇六、二八九 | 四一、九三六・六〇 | 三、七三五、七七〇 | 一六八、一一〇 | 八五一、二三〇 |
| | 長崎 | 三三、六〇六・二六 | 一〇、六五五、六六八 | 四七九、五〇五 | 五四三、七一七 | 五七、七七九・八三 | 四、六四〇、八九四 | 二〇八、八四〇 | 一、一六九、二九三 |
| | 佐賀 | 五三、七〇三・六九 | 二三、五一八、五九五 | 一、〇一三、三三七 | 八四二、六九一 | 一九、五三三・五四 | 二、三六六、〇六六 | 一〇六、四七三 | 七三五、〇三七 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 鹿兒島 | 五九、七六八・一五 町畝 | 一四、二九二、〇九三 円 | 六四三、一四四 円 | 一、一七一、一七七 | 一五九、六二九・八八 町畝 | 六、七四九、七四六 円 | 三〇三、七三九 円 | 一、九九一、一二七 |
| 宮崎 | 四四、八七〇・五〇 | 一一、四五九、三三六 | 五一五、六七〇 | 八二一、四〇三 | 六五、五三八・二一 | 二、九一一、〇〇四 | 一三〇、九九五 | 七五六、四八七 |
| 沖繩 | 八、一三七・三九 | 一、〇六一、五一〇 | 四七、七六八 | 一五一、七八六 | 五五、四五三・〇六 | 六、五五八、六二五 | 二九五、一三八 | 六五一、五三〇 |
| 計 | 四四八、六二五・五〇 | 一四八、七五二、八一〇 | 六、六九三、八七六 | 六、九一〇、〇一三 | 五五一、六九二・一六 | 三八、八四三、三八七 | 一、七四七、九五三 | 八、三五四、三九七 |
| 總計 | 二、九七一、一二四・四七 | 一、〇一五、七九一、二一五 | 四五、六八三、二九一 | 五一、〇七一、九〇七 | 二、七八四、四八二・四四 | 二三一、二七三、一五二 | 一〇、三二二、八三五 | 四二、九五三、四六四 |

| 税務監督局名 | 道府縣名 | 宅地 段別 | 宅地 地價 | 宅地 地租 | 宅地 筆數 | 鹽田 段別 | 鹽田 地價 | 鹽田 地租 | 鹽田 筆數 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 東京 | 東京 | 一四、七一九・七七 町畝 | 一一一、四四九、一八八 円 | 二、七八六、二三一 円 | 二三〇、七〇七 | — 町畝 | — 円 | — 円 | — |
| | 神奈川 | 八、五九五・二四 | 二五、五三三、二八五 | 六三八、三三二 | 一八三、〇二六 | 一七・四九 | 二、六二八 | 一四五 | 二六一 |
| | 埼玉 | 一六、一三四・七二 | 一五、九五六、〇七八 | 三九八、九〇二 | 二六六、五九五 | — | — | — | — |
| | 千葉 | 一六、一八二・九九 | 一四、四七〇、五七二 | 三六一、七六五 | 二九七、一六一 | 一四三・五八 | 一七、五三九 | 九六五 | 二〇八 |
| | 山梨 | 四、四三四・七九 | 五、五一三、四九三 | 一三七、八三八 | 一一三、一七四 | — | — | — | — |
| | 栃木 | 一一、九五六・四九 | 一一、三三九、五二六 | 二八三、四八八 | 一九一、六九一 | — | — | — | — |
| | 茨城 | 一八、一七〇・四五 | 一五、〇四〇、八二三 | 三七六、〇二〇 | 二六三、六三二 | — | — | — | — |
| | 群馬 | 九、九八七・三〇 | 一一、一七八、七八〇 | 二七九、四六九 | 一九〇、三一八 | — | — | — | — |
| | 計 | 一〇〇、一八一・七五 | 二一〇、四八一、七四四 | 五、二六二、〇四五 | 一、七三五、三〇三 | 一六一・〇七 | 二〇、一六七 | 一、一一〇 | 四六九 |
| 大阪 | 大阪 | 九、六六四・九七 | 七三、一六七、二九八 | 一、八二九、一八二 | 二六三、七八四 | — | — | — | — |
| | 京都 | 七、一七五・八〇 | 二三、五三五、三六七 | 五六三、三八四 | 二四二、一一三 | — | — | — | — |
| | 兵庫 | 一三、四六一・〇五 | 四〇、五三〇、六九一 | 一、〇一三、二六七 | 四四三、八四二 | 八九九・一二 | 四〇〇、三九九 | 三二、〇三三 | 一、六九四 |
| | 奈良 | 三、三六三・二四 | 四、三二三、一八七 | 一〇八、〇八〇 | 一三六、〇六二 | — | — | — | — |
| | 和歌山 | 三、八九八・三七 | 六、一四二、七四二 | 一五三、五六九 | 一六〇、〇九三 | 二・四五 | 四三七 | 二四 | 三三 |
| | 滋賀 | 六、一九五・九八 | 八、四八一、八四七 | 二一二、〇四六 | 一九六、七三八 | — | — | — | — |





| 税務監督局名 | 道府縣名 | 宅地 段別 | 宅地 地價 | 宅地 地租 | 宅地 筆數 | 鹽田 段別 | 鹽田 地價 | 鹽田 地租 | 鹽田 筆數 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 大阪 | 福井 | 四、四九九・三一 | 六、四七四、二六三 | 一六一、八五七 | 一七八、七六六 | 一・九四 | 七八 | 四 | 三七 |
| | 石川 | 五、三四六・二九 | 八、五四六、四五七 | 二一三、六六一 | 二一九、五三二 | 一〇一・二七 | 一〇、四四七 | 五七五 | 一、八〇六 |
| | 富山 | 六、一一六・四九 | 八、〇一七、一〇一 | 二〇〇、四二八 | 二四〇、四三五 | — | — | — | — |
| | 香川 | 四、八八八・六二 | 七、一八二、一七四 | 一七九、五五四 | 一六三、五九七 | 九〇三・二三 | 三三二、八三九 | 一七、七五六 | 三、六五一 |
| | 徳島 | 四、七六八・五四 | 六、五五四、五八二 | 一六三、八六五 | 一五三、二五八 | 四七八・三五 | 二一五、〇六一 | 一一、八二八 | 九一〇 |
| | 高知 | 三、五〇四・〇二 | 四、八三四、八一四 | 一二〇、八七〇 | 一七五、三八六 | 六八・七四 | 九三八 | 五二 | 八五八 |
| | 計 | 七一、八八二・六八 | 一九六、七九〇、五二三 | 四、九一九、七六三 | 二、五六三、六〇五 | 二、四五五・〇九 | 九五〇、一九九 | 五二、二六一 | 八、九七八 |
| 札幌 | 北海道 | 八、四三〇・六六 | 一五、七六七、五一二 | 三九四、一八九 | 一四四、五五五 | — | — | — | — |
| 仙臺 | 宮城 | 九、六二八・四八 | 八、五九七、一三三 | 二一四、九二九 | 一四二、七二三 | 七四・六三 | 二六、五五四 | 一、四六〇 | 五一〇 |
| | 岩手 | 一〇、一一四・八九 | 六、一四九、六〇三 | 一五三、七四一 | 一五一、〇七三 | 一・一九 | 一〇三 | 六 | 一三 |
| | 福島 | 一一、三一三・〇五 | 一〇、八〇五、九四四 | 二七〇、一四八 | 二七九、三九五 | 四・六一 | 三六三 | 二〇 | 四一 |
| | 秋田 | 八、六四七・九二 | 六、八〇六、一二七 | 一七〇、一五三 | 一七三、一〇三 | 五 | 五 | 〇 | 一 |
| | 青森 | 七、四三四・二三 | 五、五九四、九〇一 | 一三九、八七四 | 一四二、〇六七 | — | — | — | — |
| | 山形 | 八、八八五・一六 | 九、二五一、七四六 | 二三一、二九二 | 二〇一、一九一 | — | — | — | — |
| | 計 | 五六、〇二三・七三 | 四七、二〇五、四五四 | 一、一八〇、一三七 | 一、〇八九、五五二 | 八〇・四八 | 二七、〇二五 | 一、四八六 | 五六五 |
| 名古屋 | 愛知 | 一七、一四四・七五 | 三八、〇八八、八五九 | 九五二、二二二 | 四七九、八六七 | 二一〇・七八 | 二一、一三一 | 一、一六二 | 二、六八一 |
| | 靜岡 | 一一、四七五・五九 | 一五、四五四、一一三 | 三八六、三五三 | 三五一、八四一 | 一三・五八 | 一、八七八 | 一〇三 | 一九七 |
| | 三重 | 八、一二五・六九 | 一三、八一五、七八〇 | 三三〇、三九三 | 二七九、一〇三 | — | — | — | — |
| | 岐阜 | 八、五〇五・九七 | 一一、一一九、五三〇 | 二七七、九八九 | 二九七、九二一 | — | — | — | — |
| | 長野 | 一三、四四二・八五 | 一四、五六五、八一五 | 三六四、一四六 | 三四四、九二四 | — | — | — | — |
| | 新潟 | 一五、五三八・五三 | 一七、四八一、二八〇 | 四三七、〇三〇 | 四六〇、四一〇 | 五二・八三 | 一、〇五九 | 五八 | 八六二 |
| | 計 | 七三、二二三・三八 | 一〇九、五二五、三七七 | 二、七三八、一三三 | 二、二二四、〇六五 | 二七七・一九 | 二四、〇六八 | 一、三二三 | 三、七四〇 |
| 廣島 | 廣島 | 八、六〇〇・三〇 | 一七、八二一、九五八 | 四四五、二九七 | 三八〇、七八六 | 五五一・一四 | 二三六、五八九 | 一三、〇一四 | 一、〇〇〇 |

| 稅務署名 | 總數 | 東京 | 神奈川 | 千葉 | 埼玉 | 群馬 | 栃木 | 茨城 | 福島 | 山形 | 宮城 | 岩手 | 秋田 | 青森 | 北海道 | 知床 | 函館 | 旭川 | 釧路 | 帶廣 | 札幌 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 總數 | 一、三五〇 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 |
| 計 | 一、三五〇 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 |
| 東京 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 |
| 神奈川 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 |
| 千葉 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 |
| 埼玉 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 |
| 群馬 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 |
| 栃木 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 |
| 茨城 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 |
| 福島 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 |
| 山形 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 |
| 宮城 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 |
| 岩手 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 |
| 秋田 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 |
| 青森 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 |
| 北海道 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 |
| 知床 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 |
| 函館 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 |
| 旭川 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 |
| 釧路 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 |
| 帶廣 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 |
| 札幌 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 |





| 稅務署名 | 總數 | 東京 | 神奈川 | 千葉 | 埼玉 | 群馬 | 栃木 | 茨城 | 福島 | 山形 | 宮城 | 岩手 | 秋田 | 青森 | 北海道 | 知床 | 函館 | 旭川 | 釧路 | 帶廣 | 札幌 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 總數 | 一、三五〇 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 |
| 計 | 一、三五〇 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 |
| 東京 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 |
| 神奈川 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 |
| 千葉 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 |
| 埼玉 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 |
| 群馬 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 |
| 栃木 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 |
| 茨城 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 |
| 福島 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 |
| 山形 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 |
| 宮城 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 |
| 岩手 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 |
| 秋田 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 |
| 青森 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 |
| 北海道 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 |
| 知床 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 |
| 函館 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 |
| 旭川 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 |
| 釧路 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 |
| 帶廣 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 |
| 札幌 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 | 一、〇三五 |

| 税務監督局名 | 道府縣名 | 山林 段別 | 山林 地價 | 山林 地租 | 山林 筆數 | 牧場 段別 | 牧場 地價 | 牧場 地租 | 牧場 筆數 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 青森 | 〇・一七〇〇・〇〇 | 七六六 | 四三 | 六七 | 二一・四九 | 七三 | 三 | 二三六 |
| | 山形 | 〇・〇六〇五・六〇 | 一、二九六 | 七一 | 九九 | 九七・三二 | 八〇四 | 四三 | 六六六 |
| | 計 | 〇・五四一三・一五 | 二、六六一 | 六四二 | 五四八 | 九三四・八七 | 五、三三三 | 二九〇 | 一一、三七四 |
| 名古屋 | 愛知 | — | — | — | — | 一、七六八・五五 | 三八、二八四 | 二、一〇五 | 一四、〇五七 |
| | 靜岡 | 〇・一三〇五・三六 | 三、八七三 | 二一三 | 三五三 | 三三二・三三 | 二〇、三三一 | 一、一一八 | 五、八六〇 |
| | 三重 | 〇・〇〇一五・〇〇 | 九九 | 六 | 四 | 五六二・四五 | 九、一三一 | 五〇三 | 三、四三五 |
| | 岐阜 | 〇・一〇〇七・〇〇 | 八 | 〇 | 七 | 九五五・三六 | 一八、三三八 | 一、〇〇八 | 一三、七三〇 |
| | 長野 | 〇・二〇〇一・四四 | 二、二一四 | 一三 | 八〇 | 九〇・一四 | 二、二二四 | 一二一 | 二、九一八 |
| | 新潟 | 〇・二〇〇二・九五 | 九一〇 | 四九 | 八七 | 二、〇三九・七八 | 六、一二七 | 三三八 | 一三、一〇九 |
| | 計 | 〇・六四〇一・七五 | 七、一〇四 | 三九〇 | 五三一 | 五、七三八・六〇 | 九四、四一五 | 五、一九二 | 五三、一〇九 |
| 廣島 | 廣島 | 〇・〇三〇六・〇〇 | 五 | 〇 | 四 | 七一・四九 | 二、六三〇 | 一四四 | 三、〇七四 |
| | 山口 | 〇・〇一二三・八三 | 三、九六五 | 二一八 | 三七 | 二九七・〇八 | 三、六九六 | 二〇三 | 四、四一八 |
| | 岡山 | 〇・一四〇九・六四 | 一、三九五 | 七七 | 一三 | 一三九・六三 | 五、七〇五 | 三一六 | 一〇、五四三 |
| | 鳥取 | 〇・〇八二六・二八 | 三、〇六九 | 一六九 | 八〇 | 一九・二七 | 一八四 | 一〇 | 八九二 |
| | 島根 | 〇・〇五一八・一五 | 二、五八八 | 一四二 | 六〇 | 一二六・二三 | 一、四三六 | 七九 | 五、四三〇 |
| | 愛媛 | 〇・〇〇〇三・五〇 | 一、五〇〇 | 八三 | 二 | 一六八・五六 | 二、四一三 | 一三四 | 二、七一五 |
| | 計 | 〇・三三二六・四〇 | 一三、五三三 | 六八九 | 一九六 | 八三三・二五 | 一六、〇六四 | 八八六 | 二七、〇七二 |
| 熊本 | 熊本 | 〇・一一〇八・七四 | 一三、八三九 | 七〇六 | 一七三 | 一七八・五三 | 三、八九七 | 二一四 | 二、八四七 |
| | 福岡 | 〇・一〇〇一・三〇 | 五七五 | 三二 | 二九 | 二五七・一一 | 三、六一五 | 一九九 | 一三、二五一 |
| | 大分 | 一・四三三六・〇三 | 八七、四九四 | 四、八一三 | 一、五六五 | 一三三・四三 | 二、七六四 | 一五三 | 六、三六三 |
| | 長崎 | 〇・〇〇三六・四〇 | 一三八 | 八 | 一六 | 三八・六三 | 八六三 | 四七 | 二、八三八 |
| | 佐賀 | 〇・〇一一七・七〇 | 四三三 | 二四 | 一一 | 一三八・七〇 | 五、七四七 | 三一六 | 四、〇六〇 |
| | 鹿兒島 | 〇・六二一五・四六 | 三、六三〇 | 二〇〇 | 二五四 | 一一一・六三 | 一八七 | 一〇 | 一、一六二 |





| 税務監督局名 | 道府縣名 | 山林 段別 | 山林 地價 | 山林 地租 | 山林 筆數 | 牧場 段別 | 牧場 地價 | 牧場 地租 | 牧場 筆數 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 宮崎 | 〇・〇三二一・七七 | 一一八 | 六 | 一七 | 一五・四二 | 五八 | 三 | 四二八 |
| | 沖繩 | — | — | — | — | 三一・〇六 | 二、三一三 | 一二七 | 三、三四五 |
| | 計 | 二・三三二七・三九 | 一〇五、二二七 | 五、七八八 | 二、〇六四 | 八三三・四八 | 一九、四四四 | 一、〇六八 | 三三、二九四 |
| 總計 | | 四・四八二九・五三 | 一七三、四五一 | 九、五一三 | 四、〇〇四 | 一三、〇七〇・七六 | 一八四、六七四 | 一〇、一四五 | 一八〇、七八三 |

| 税務監督局名 | 道府縣名 | 山林 段別 | 山林 地價 | 山林 地租 | 山林 筆數 | 牧場 段別 | 牧場 地價 | 牧場 地租 | 牧場 筆數 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 東京 | 東京 | 四〇、七五九・〇八 | 二七九、二六七 | 一五、三五九 | 一五五、三〇三 | — | — | — | — |
| | 神奈川 | 七〇、二八五・四三 | 四八二、五二七 | 二六、五三八 | 三一九、四二七 | 六一六・〇〇 | 八六 | 五 | 八五 |
| | 埼玉 | 七〇、六八七・四八 | 七八〇、八六九 | 四二、九四八 | 三七一、七七二 | — | — | — | — |
| | 千葉 | 一三八、五四六・四四 | 七五二、七一二 | 四一、四〇〇 | 七三〇、三二一 | 一、八三五・五七 | 三、六〇二 | 一九八 | 二、九三〇 |
| | 山梨 | 五四、五二六・六六 | 二九六、〇八三 | 一六、二八三 | 二六五、九一八 | — | — | — | — |
| | 栃木 | 一八三、六二三・七〇 | 七八四、二三〇 | 四三、一三三 | 四八四、四九八 | 八、一二六・六二 | 五、一七五 | 二八四 | 七六二 |
| | 茨城 | 一六三、六九七・三三 | 六五一、八四六 | 三五、八五二 | 六一四、四一八 | 一、四六六・二四 | 一、四六七 | 八〇 | 一六七 |
| | 群馬 | 一三八、五一九・七一 | 九三五、五一五 | 五一、四五三 | 三八四、四七三 | 三、六七八・八二 | 六、八二九 | 三七六 | 一、五九六 |
| | 計 | 八四〇、六四四・八三 | 四、九六三、〇四九 | 二七二、九六五 | 三、三二六、一三一 | 一五、七二三・二五 | 一七、一五九 | 九四三 | 五、五四〇 |
| 大阪 | 大阪 | 二五、六九五・一三 | 三四六、二二三 | 一九、〇四二 | 一七〇、二五七 | — | — | — | — |
| | 京都 | 一三〇、〇八四・一〇 | 六三七、四八九 | 三五、〇六二 | 四八三、五七四 | — | — | — | — |
| | 兵庫 | 三九四、五二六・四〇 | 一、一五三、六二〇 | 六三、四四九 | 七四二、二三四 | — | — | — | — |
| | 奈良 | 一三七、七一七・四九 | 三八四、五四〇 | 二一、一五〇 | 三三〇、七二一 | — | — | — | — |
| | 和歌山 | 二六八、四三五・一八 | 四一三、九〇六 | 二二、七六五 | 三五七、九八二 | — | — | — | — |
| | 滋賀 | 一一三、五八六・〇三 | 六〇五、四〇七 | 三三、二九七 | 三八六、四二四 | — | — | — | — |
| | 福井 | 一二一、九二四・九九 | 三一四、四七九 | 一七、二九六 | 四三二、八八六 | 二一・九〇 | 七四一 | 四一 | 九一 |

| 税務監督局名 | 道府縣名 | 原野 段別（町畝） | 原野 地價（円） | 原野 地租（円） | 原野 筆數 | 雜種地 段別（町畝） | 雜種地 地價（円） | 雜種地 地租（円） | 雜種地 筆數 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 石川 | 八一、四二四・九三 | 二九五、一九一 | 一六、二三六 | 六一九、五七九 | — | — | — | — |
| | 富山 | 五一、八五三・三〇 | 一六九、九二七 | 九、三四六 | 三七五、〇一一 | — | — | — | — |
| | 香川 | 七七、四二〇・六九 | 七九三、四四二 | 四三、六三九 | 一九二、二九六 | — | — | — | — |
| | 徳島 | 一六四、五八九・一七 | 五五七、八三二 | 三〇、六八〇 | 四二五、五九一 | — | — | — | — |
| | 高知 | 二五八、九五二・六〇 | 三二五、八四四 | 一七、九二一 | 四九四、九九六 | — | — | — | — |
| | 計 | 一、八一五、二〇九・〇〇 | 五、九九七、八七九 | 三二九、八八三 | 五、〇一一、五五一 | 一一・九〇 | 七四一 | 四一 | 九一 |
| 札幌 | 北海道 | 八八七、五二八・〇四 | 一、五六七、三三五 | 六二、六八九 | 六三、八〇七 | 一〇一、六三八・九七 | 三四二、五八五 | 一三、七〇三 | 四、八二五 |
| 仙臺 | 宮城 | 一七四、九一〇・三四 | 九九〇、六八〇 | 五四、四八七 | 二八〇、四三八 | 七五一・九九 | 五六四 | 三一 | 三 |
| | 岩手 | 四四三、九三三・八四 | 五四〇、四七四 | 二九、七二五 | 二七五、三八〇 | 一、八一五・六一 | 六、七〇一 | 三六九 | 一七五 |
| | 福島 | 三〇四、九二九・〇三 | 六五五、九六三 | 三六、〇七七 | 九四七、〇一五 | 三二・一六 | 一〇四 | 六 | 三七 |
| | 秋田 | 一〇三、二四五・八八 | 二一〇、〇三五 | 一一、五五三 | 二三四、六〇五 | — | — | — | — |
| | 青森 | 一一〇、二〇六・四四 | 三二七、九六五 | 一八、〇三七 | 一〇三、七九八 | 八、五八六・七五 | 六、五〇五 | 三五八 | 一三三 |
| | 山形 | 一八三、九二一・七四 | 六八三、五五六 | 三七、五九六 | 三六七、二一四 | — | — | — | — |
| | 計 | 一、三二一、一四七・二六 | 三、四〇八、六七三 | 一八七、四七四 | 二、二〇八、三五〇 | 二一、一八六・五一 | 一三、八七四 | 七六四 | 三四八 |
| 名古屋 | 愛知 | 一〇四、六七二・四四 | 五一八、八三二 | 二八、五三六 | 六三五、七一六 | 九 | 六 | 〇 | 二 |
| | 静岡 | 二七八、七七二・二五 | 六九五、三一五 | 三八、二四二 | 六二五、八九五 | 二九八・五六 | 一七四 | 一〇 | 七 |
| | 三重 | 二四三、六八二・六三 | 五三三、四二七 | 二九、三三八 | 七八一、八二〇 | — | — | — | — |
| | 岐阜 | 四二九、〇三四・三八 | 八三八、四五三 | 四六、一一五 | 八〇二、八九七 | — | — | — | — |
| | 長野 | 二四四、一一三・五三 | 四一六、五六九 | 二三、九一三 | 五三八、七六八 | 四、四九四・四三 | 七二一 | 四〇 | 二九 |
| | 新潟 | 二五二、六三七・〇三 | 一、〇八五、一〇六 | 五九、六八〇 | 一、三一五、七七七 | 一三・九四 | 五六 | 三 | 五三 |
| | 計 | 一、五五二、九〇二・二五 | 四、〇八七、六九二 | 二二四、八二四 | 四、七〇〇、八七三 | 四、八〇七・〇一 | 九五七 | 五三 | 一六〇 |
| 廣島 | 廣島 | 四二〇、〇三〇・六七 | 五六八、七九二 | 三一、二八二 | 一、三三九、二七六 | 一一・〇〇 | 二二 | 一 | 六 |
| | 山口 | 二三五、五九九・九七 | 八三八、八六六 | 四六、一三七 | 七七九、二五二 | — | — | — | — |





| 税務監督局名 | 道府縣名 | 原野 段別（町畝） | 原野 地價（円） | 原野 地租（円） | 原野 筆數 | 雜種地 段別（町畝） | 雜種地 地價（円） | 雜種地 地租（円） | 雜種地 筆數 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 廣島 | 岡山 | 二六〇、八〇七・四一 | 四一九、一一七 | 二三、〇五一 | 八八九、七一二 | — | — | — | — |
| | 鳥取 | 七四、六九五・八四 | 一二六、三五九 | 六、九五〇 | 二〇五、六八七 | 一八一・五三 | 七三 | 四 | 一四四 |
| | 島根 | 三六五、七八五・八八 | 三七七、二三七 | 二〇、七四九 | 六四三、二〇三 | 一五・〇八 | 三 | 〇 | 一一 |
| | 愛媛 | 二二〇、三九〇・二五 | 五三九、九四三 | 二九、六九七 | 七四四、四五八 | — | — | — | — |
| | 計 | 一、五七七、三二〇・〇三 | 二、八七〇、三一四 | 一五七、八六六 | 四、六〇一、五八七 | 二〇七・六一 | 一〇六 | 五 | 一六一 |
| 熊本 | 熊本 | 七〇、六九三・三五 | 七三七、二一四 | 四〇、五四七 | 六三九、七六九 | — | — | — | — |
| | 福岡 | 七〇、三七三・七七 | 八二〇、四九六 | 四五、一二七 | 四四二、六四〇 | 八四・八四 | 二三九 | 一三 | 四 |
| | 大分 | 六五、〇七八・六五 | 六七八、二〇一 | 三七、三〇一 | 六五四、六六二 | — | — | — | — |
| | 長崎 | 六八、二五〇・九五 | 五一六、六四九 | 二八、四一六 | 五三二、三七二 | 四九・三三 | 四五四 | 二五 | 二二 |
| | 佐賀 | 三九、二九五・六八 | 三七一、五七七 | 二〇、四三七 | 三〇九、二五四 | — | — | — | — |
| | 鹿兒島 | 九〇、三四八・六八 | 五六一、四七五 | 三〇、八八一 | 四六八、二七五 | 一、二二〇・四五 | 一、四八六 | 八二 | 三八六 |
| | 宮崎 | 六九、九八六・三五 | 五三二、六二四 | 二九、二九四 | 三五三、九三二 | 三一・三七 | 一五八 | 九 | 一〇四 |
| | 沖縄 | 六二、七六七・五二 | 一五一、一九三 | 八、三一六 | 五六、七三六 | 五、九六五・九二 | 五、九六八 | 三二八 | 一三六 |
| | 計 | 五三六、七九四・九五 | 四、三六九、四二九 | 二四〇、三一九 | 三、四五七、六四〇 | 七、三四一・九一 | 八、二九五 | 四五七 | 六四一 |
| 總計 | | 八、五三二、五三六・三四 | 二七、二六四、二六一 | 一、四七六、〇二〇 | 二三、三六九、九三九 | 一四〇、九一七・一六 | 三三三、七一七 | 一五、九六六 | 一一、七六六 |

| 税務監督局名 | 道府縣名 | 原野 段別（町畝） | 原野 地價（円） | 原野 地租（円） | 原野 筆數 | 雜種地 段別（町畝） | 雜種地 地價（円） | 雜種地 地租（円） | 雜種地 筆數 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 東京 | 東京 | 五、七四一・八六 | 一九、〇二四 | 一、〇四七 | 二七、一〇八 | 一二六・〇六 | 一、八九七 | 一〇四 | 九三一 |
| | 神奈川 | 三三、〇八三・二七 | 一三、一一六 | 七二二 | 三九、七三八 | 三八二・五九 | 六二九 | 三五 | 二、五九〇 |
| | 埼玉 | 八、七三二・九八 | 四六、〇四九 | 二、五三三 | 六七、五九八 | 七六・七七 | 一、三七八 | 七六 | 三、七五二 |
| | 千葉 | 二三、七八三・八六 | 七三、四七二 | 四、〇四二 | 一五八、七六八 | 六三〇・七七 | 二、五六六 | 一四〇 | 六、七二三 |
| | 山梨 | 一四、〇三三・五九 | 三九、二六五 | 二、一六〇 | 一一五、六七二 | 一五八・六五 | 三、〇六一 | 一六七 | 三、九一三 |

| 府縣 | 山形 | 計 | 愛知 | 三重 | 岐阜 | 静岡 | 計 | 栃木 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 名古屋 | | | | | | | | |
| 新潟 | | | | | | | | |
| 計 | | | | | | | | |
| 府縣 | 山形 | 福島 | 愛知 | 三重 | 岐阜 | 静岡 | 群馬 | 栃木 |
| 大阪 | | | | | | | | |
| 計 | | | | | | | | |
| 府縣 | 秋田 | 青森 | 岩手 | 宮城 | 福島 | 茨城 | 埼玉 | 千葉 |
| 東京 | | | | | | | | |
| 計 | | | | | | | | |
| 府縣 | 秋田 | 青森 | 岩手 | 宮城 | 福島 | 茨城 | 埼玉 | 千葉 |
| 札幌 | | | | | | | | |
| 函館 | | | | | | | | |
| 計 | | | | | | | | |
| 府縣 | 北海道 | 函館 | 札幌 | 仙臺 | 秋田 | 青森 | 岩手 | 宮城 |

| 府縣 | 栃木 | 群馬 | 計 | 東京 | 大阪 | 京都 | 兵庫 | 奈良 | 和歌山 | 滋賀 | 石川 | 富山 | 福井 | 岐阜 | 愛知 | 三重 | 静岡 | 山梨 | 長野 | 新潟 | 計 | 愛媛 | 高知 | 徳島 | 香川 | 岡山 | 鳥取 | 島根 | 広島 | 山口 | 福岡 | 佐賀 | 長崎 | 大分 | 熊本 | 宮崎 | 鹿児島 | 計 | 沖縄 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 府縣 | 栃木 | 群馬 | 計 | 東京 | 大阪 | 京都 | 兵庫 | 奈良 | 和歌山 | 滋賀 | 石川 | 富山 | 福井 | 岐阜 | 愛知 | 三重 | 静岡 | 山梨 | 長野 | 新潟 | 計 | 愛媛 | 高知 | 徳島 | 香川 | 岡山 | 鳥取 | 島根 | 広島 | 山口 | 福岡 | 佐賀 | 長崎 | 大分 | 熊本 | 宮崎 | 鹿児島 | 計 | 沖縄 |
| 第一節　地租 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 第二節　直接稅 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 第二章　直接稅 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 第五編 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |



| 府縣 | 栃木 | 群馬 | 計 | 東京 | 大阪 | 京都 | 兵庫 | 奈良 | 和歌山 | 滋賀 | 石川 | 富山 | 福井 | 岐阜 | 愛知 | 三重 | 静岡 | 山梨 | 長野 | 新潟 | 計 | 愛媛 | 高知 | 徳島 | 香川 | 岡山 | 鳥取 | 島根 | 広島 | 山口 | 福岡 | 佐賀 | 長崎 | 大分 | 熊本 | 宮崎 | 鹿児島 | 計 | 沖縄 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 府縣 | 栃木 | 群馬 | 計 | 東京 | 大阪 | 京都 | 兵庫 | 奈良 | 和歌山 | 滋賀 | 石川 | 富山 | 福井 | 岐阜 | 愛知 | 三重 | 静岡 | 山梨 | 長野 | 新潟 | 計 | 愛媛 | 高知 | 徳島 | 香川 | 岡山 | 鳥取 | 島根 | 広島 | 山口 | 福岡 | 佐賀 | 長崎 | 大分 | 熊本 | 宮崎 | 鹿児島 | 計 | 沖縄 |
| 第一節　地租 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 第二節　直接稅 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 第二章　直接稅 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 第五編 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 稅務監督局名 | 道府縣名 | 總計 | 沖繩 | 計 | 合計 | 段別 | 地租 | 地價 | 地租 | 一人當 | 地租 | 地價 | 地租 | 筆數 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 一、三五〇、六六六圓 | 一、三五〇、六六六圓 | 三、六六〇圓 | 一、三五〇、六六六圓 | 東京 | 三、六六〇圓 | 一、三五〇、六六六圓 | 三、六六〇圓 | 一、三五〇、六六六圓 | 三、六六〇圓 | 一、三五〇、六六六圓 | 三、六六〇圓 | 一、三五〇、六六六圓 |
| | | 七、六八〇、六六六圓 | 七、六八〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 七、六八〇、六六六圓 | 神奈川 | 一、三五〇圓 | 七、六八〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 七、六八〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 七、六八〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 七、六八〇、六六六圓 |
| | | 三、六六〇、六六六圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 千葉 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 |
| | | 三、六六〇、六六六圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 埼玉 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 |
| | | 三、六六〇、六六六圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 栃木 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 |
| | | 三、六六〇、六六六圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 群馬 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 |
| | | 三、六六〇、六六六圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 茨城 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 |
| | | 三、六六〇、六六六圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 栃木 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 |
| | | 三、六六〇、六六六圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 埼玉 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 |
| | | 三、六六〇、六六六圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 千葉 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 |
| | | 三、六六〇、六六六圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 東京 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 |
| | | 三、六六〇、六六六圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 山梨 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 |
| | | 三、六六〇、六六六圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 長野 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 |
| | | 三、六六〇、六六六圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 岐阜 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 |
| | | 三、六六〇、六六六圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 靜岡 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 |
| | | 三、六六〇、六六六圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 愛知 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 |
| | | 三、六六〇、六六六圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 三重 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 |
| | | 三、六六〇、六六六圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 岐阜 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 |
| | | 三、六六〇、六六六圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 愛知 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 |
| | | 三、六六〇、六六六圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 三重 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 |
| | | 三、六六〇、六六六圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 滋賀 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 |
| | | 三、六六〇、六六六圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 京都 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 |
| | | 三、六六〇、六六六圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 大阪 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 |
| | | 三、六六〇、六六六圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 兵庫 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 |
| | | 三、六六〇、六六六圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 奈良 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 |
| | | 三、六六〇、六六六圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 和歌山 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 |
| | | 三、六六〇、六六六圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 鳥取 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 |
| | | 三、六六〇、六六六圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 島根 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 |
| | | 三、六六〇、六六六圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 岡山 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 |
| | | 三、六六〇、六六六圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 廣島 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 |
| | | 三、六六〇、六六六圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 山口 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 |
| | | 三、六六〇、六六六圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 德島 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 |
| | | 三、六六〇、六六六圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 香川 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 |
| | | 三、六六〇、六六六圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 愛媛 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 |
| | | 三、六六〇、六六六圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 高知 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 |
| | | 三、六六〇、六六六圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 福岡 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 |
| | | 三、六六〇、六六六圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 佐賀 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 |
| | | 三、六六〇、六六六圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 長崎 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 |
| | | 三、六六〇、六六六圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 熊本 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 |
| | | 三、六六〇、六六六圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 大分 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 |
| | | 三、六六〇、六六六圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 宮崎 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 |
| | | 三、六六〇、六六六圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 鹿兒島 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 |
| | | 三、六六〇、六六六圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 沖繩 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 |

| 稅務監督局名 | 道府縣名 | 總計 | 沖繩 | 計 | 合計 | 段別 | 地租 | 地價 | 地租 | 一人當 | 地租 | 地價 | 地租 | 筆數 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 三、六六〇、六六六圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 東京 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 |
| | | 三、六六〇、六六六圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 神奈川 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 |
| | | 三、六六〇、六六六圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 千葉 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 |
| | | 三、六六〇、六六六圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 埼玉 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 |
| | | 三、六六〇、六六六圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 栃木 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 |
| | | 三、六六〇、六六六圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 群馬 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 |
| | | 三、六六〇、六六六圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 茨城 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 |
| | | 三、六六〇、六六六圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 栃木 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 |
| | | 三、六六〇、六六六圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 埼玉 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 |
| | | 三、六六〇、六六六圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 千葉 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 |
| | | 三、六六〇、六六六圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 東京 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 |
| | | 三、六六〇、六六六圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 山梨 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 |
| | | 三、六六〇、六六六圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 長野 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 |
| | | 三、六六〇、六六六圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 岐阜 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 |
| | | 三、六六〇、六六六圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 靜岡 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 |
| | | 三、六六〇、六六六圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 愛知 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 |
| | | 三、六六〇、六六六圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 三重 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 |
| | | 三、六六〇、六六六圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 岐阜 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 |
| | | 三、六六〇、六六六圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 愛知 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 |
| | | 三、六六〇、六六六圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 三重 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 |
| | | 三、六六〇、六六六圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 滋賀 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 |
| | | 三、六六〇、六六六圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 京都 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 |
| | | 三、六六〇、六六六圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 大阪 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 |
| | | 三、六六〇、六六六圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 兵庫 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 |
| | | 三、六六〇、六六六圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 奈良 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 |
| | | 三、六六〇、六六六圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 和歌山 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 |
| | | 三、六六〇、六六六圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 鳥取 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 |
| | | 三、六六〇、六六六圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 島根 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 |
| | | 三、六六〇、六六六圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 岡山 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 |
| | | 三、六六〇、六六六圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 廣島 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 |
| | | 三、六六〇、六六六圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 山口 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 |
| | | 三、六六〇、六六六圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 德島 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 |
| | | 三、六六〇、六六六圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 香川 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 |
| | | 三、六六〇、六六六圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 愛媛 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 |
| | | 三、六六〇、六六六圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 高知 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 |
| | | 三、六六〇、六六六圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 福岡 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 |
| | | 三、六六〇、六六六圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 佐賀 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 |
| | | 三、六六〇、六六六圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 長崎 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 |
| | | 三、六六〇、六六六圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 熊本 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 |
| | | 三、六六〇、六六六圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 大分 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 |
| | | 三、六六〇、六六六圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 宮崎 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 |
| | | 三、六六〇、六六六圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 鹿兒島 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 |
| | | 三、六六〇、六六六圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 沖繩 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 | 一、三五〇圓 | 三、六六〇、六六六圓 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 廣島 鳥取 | 一八七、一九七・二一（町畝） | 一七、〇九五、一〇六（円） | 六九八、二一三（円） | 一、二八一、八三六 | 一・八九（町畝） | 一七三（円） | 七・〇六（円） | 一三 |
| 廣島 島根 | 四六六、二七一・七六 | 二七、一六一、八四四 | 一、一三七、〇二四 | 二、五三九、七六六 | 二・三三 | 一三五 | 五・五三 | 一三 |
| 廣島 愛媛 | 三三八、八一三・二九 | 三一、一九七、〇五二 | 一、二五〇、一七〇 | 三、〇二三、八四八 | 一・四四 | 一三二 | 五・三〇 | 一三 |
| 廣島 計 | 二、二九八、六九二・一九 | 二二三、九六九、九三一 | 八、五一六、四四九 | 一七、一六八、五六四 | 一・五四 | 一四三 | 五・七〇 | 一二 |
| 熊本 熊本 | 三三〇、七六三・五二 | 四七、九三四、二七五 | 一、九三〇、二一一 | 三、五九六、五八五 | 一・一七 | 一七五 | 七・〇六 | 一三 |
| 熊本 福岡 | 二九五、三二四・九九 | 六七、二八七、七七六 | 二、六五三、二八九 | 三、〇七六、六八〇 | 〇・八七 | 一九八 | 七・七九 | 九 |
| 熊本 大分 | 二三五、四八四・一八 | 二九、〇八一、四九〇 | 一、一九七、九〇〇 | 二、八七七、一八五 | 〇・九〇 | 一一一 | 四・五九 | 一二 |
| 熊本 長崎 | 一九四、六七〇・三五 | 二六、四四二、二一〇 | 九八四、一一六 | 二、七一四、〇〇四 | 〇・九三 | 一三六 | 四・六八 | 一三 |
| 熊本 佐賀 | 一五七、四〇八・六九 | 三一、一八一、三一二 | 一、二九〇、四六一 | 二、二〇四、六六〇 | 一・〇〇 | 一九九 | 八・二三 | 一四 |
| 熊本 鹿兒島 | 四〇〇、三七〇・三八 | 三〇、六九七、五九九 | 一、二一〇、七五五 | 四、三〇一、〇三三 | 〇・九九 | 七六 | 二・九九 | 一二 |
| 熊本 宮崎 | 二二四、六七三・八一 | 一九、〇九七、二二七 | 七八二、八四二 | 二、二五四、八〇九 | 一・三九 | 一一八 | 四・八四 | 一四 |
| 熊本 沖縄 | 一六四、二九五・四九 | 九、七四四、九八五 | 四〇二、二七八 | 一、〇七六、三三四 | 一・三九 | 八三 | 三・四一 | 九 |
| 熊本 計 | 一、九九二、九九一・四一 | 二六一、四六六、八七四 | 一〇、四五一、八五二 | 二三、一〇一、二八六 | 一・〇三 | 一三六 | 五・四二 | 一二 |
| 總計 | 一六、四五六、〇八五・六二 | 一、九八五、〇九九、八三〇 | 七五、三四二、一六八 | 一三五、四二三、九一五 | 一・六二 | 一九六 | 七・四三 | 一三 |

## 第二表　伊豆七島地租徴收額表

| 年度 | 段別 | 地租 物品納 黄紬 | 地租 物品納 合絲織 | 地租 金納 | 人員 |
|---|---|---|---|---|---|
| 明治三六年度 | 四、二二六・二二（町畝） | 一〇四（反） | 一三〇（反） | 二〇六（円） | — |
| 同三七年度 | 四、二二六・二二 | 一〇四 | 一三〇 | 二〇六 | — |
| 同三八年度 | 四、二二六・二二 | 一〇四 | 一三〇 | 二〇六 | — |
| 同三九年度 | 四、二二六・二二 | 一〇四 | 一三〇 | 二〇六 | — |
| 同四〇年度 | 四、二二六・二二 | 一〇四 | 一三〇 | 二〇六 | — |
| 同四一年度 | 四、二二六・二二 | 一〇四 | 一三〇 | 二〇六 | — |
| 同四二年度 | 四、二二六・二二 | 一〇四 | 一三〇 | 二〇六 | — |
| 同四三年度 | 四、二二六・二二 | — | — | 一、四七六 | — |
| 同四四年度 | 四、二二六・二二 | — | — | 一、四七六 | — |
| 大正元年度 | 四、二二六・二二 | — | — | 一、四七六 | — |
| 同二年度 | 四、二二六・二二 | — | — | 一、四七六 | — |
| 同三年度 | 四、二二六・二二 | — | — | 一、四七六 | 六、二二二 |
| 同四年度 | 四、二二六・二二 | — | — | 一、四七六 | 六、二一五 |
| 同五年度 | 四、二二六・二二 | — | — | 一、四七六 | 六、四一七 |
| 同六年度 | 四、二二六・二二 | — | — | 一、四七六 | 七、一五三 |
| 同七年度 | 四、二二六・二二 | — | — | 一、四七八 | 八、九一七 |
| 同八年度 | 四、二二六・二二 | — | — | 一、四七八 | 八、九一七 |
| 同九年度 | 四、二二六・二二 | — | — | 一、四七八 | 八、九一七 |
| 同一〇年度 | 四、二二六・二二 | — | — | 一、四七八 | 八、九一七 |
| 同一一年度 | 四、二二六・二二 | — | — | 一、四七八 | 八、九一七 |
| 同一二年度 | 四、二二六・二二 | — | — | 一、四七八 | 八、九一七 |
| 同一三年度 | 四、二二六・二二 | — | — | 一、四七八 | 八、九一七 |
| 同一四年度 | 一〇、九三三・七〇 | — | — | 一、二六〇 | 六、八二四 |
| 昭和元年度 | 一〇、九二八・六五 | — | — | 一、三四六 | 六、四〇九 |

（備　考）一、段別欄、大正十一年度以前の分は其の年一月一日現在、大正十二年度以後の分は翌年一月一日現在とす。
二、地租は會計年度に依る。

三、八丈島の地租は明治四十二年度以前は物納なりしも同四十三年度より金納となれり。

## 第三表　免租地表（昭和二年一月一日現在）

| 種別 | 段別 | 筆數 | 種別 | 段別 | 筆數 |
|---|---|---|---|---|---|
| | 町 畝 | | | 町 畝 | |
| 公立學校用地 | 一三、八七六・九五 | 二三五、二七五 | 市區役所敷地 | 四三・五八 | 五八一 |
| 私立學校用地 | 四一七・五三 | 三、七九六 | 町村役場敷地 | 四五三・六二 | 二、二四九 |
| 府縣社地 | 二六・七七 | 二四六 | 警察官衙敷地 | 一三〇・五〇 | 三、三〇一 |
| 鄉村社地 | 一、五五三・五六 | 一七、〇七一 | 議事所敷地 | 三七・六七 | 五八〇 |
| 招魂社地 | 七・五二 | 一七五 | 郵便電信電話用地 | 七・二七 | 三六一 |
| 墳墓地 | 二四、三五二・二八 | 一、三九二、四一五 | 農事試驗場敷地 | 九二一・九〇 | 三、〇八〇 |
| 火葬場敷地 | 一〇三・七〇 | 三、九四七 | 工業試驗場敷地 | 一五・三四 | 二七三 |
| 用惡水路 | 九、二三八・五二 | 三六二、二五三 | 水產試驗場敷地 | 一七・七七 | 二三一 |
| 溜池 | 五〇、七〇六・四二 | 五二九、四九二 | 病院敷地 | 三三六・一九 | 三、八五五 |
| 堤塘 | 四、九八二・三三 | 一四二、八七三 | 隔離病舍敷地 | 七二九・六六 | 一三、一六七 |
| 井溝 | 二、七四〇・八七 | 一七一、四三五 | 隔離所敷地 | 二九・七一 | 一〇二 |
| 鐵道用地 | 五、八六九・〇五 | 三一一、九七五 | 消毒所敷地 | 三・二六 | 三五 |
| 軌道用地 | 一、二六八・五六 | 六六、一三八 | 檢疫所敷地 | 二・四〇 | 二三 |
| 水道用地 | 一、六九四・二〇 | 三四、六二四 | 運河用地 | 一八九・一三 | 五、三四三 |
| 道路 | 七、二〇七・九三 | 六七〇、九〇六 | 社地 | 一・七二 | 一三 |
| 保安林 | 七五二、五五六・〇五 | 三九四、九一四 | 寺地 | 六・〇九 | 二五 |
| 砂防地 | 一七、七五二・九一 | 八、三一〇 | 拜所 | 六七五・〇九 | 三、四六二 |
| 公園地 | 一、三〇二・一七 | 五、二二六 | 其他 | 四三二、二九七・七七 | 五〇、五四〇 |
| 府縣廳敷地 | 一二六、九六 | 五〇四 | 總計 | 一、三三二、六八二・九五 | 四、四三七、七八五 |
| | | | 有租地一〇〇に付 | 八・〇六 | 三・二六 |

## 第四表　年期地表（昭和二年一月一日現在）

| 種別 | 田 段別 | 田 地價 | 田 筆數 | 畑 段別 | 畑 地價 | 畑 筆數 | 宅地 段別 | 宅地 地價 | 宅地 筆數 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 町 畝 | 円 | | 町 畝 | 円 | | 町 畝 | 円 | |
| 荒地 | 二六、四三一・七一 內 一、四五七・九四 | 六、六二六、二〇二 | 五〇八、七七三 內 八、七二二 | 一八、四三〇・八七 內 四、七四二・九九 | 一、〇五四、九三三 | 二七六、一四七 內 九、四一四 | 四四四・九二 內 九・一五 | 三八、一四五 | 一五、二三一 內 一四四 |
| 新開地 | 六、四三五・二八 | ― | 二六、四六四 | 一、七六六・四二 | ― | 三、三七五 | 二、〇一〇・四五 | ― | 三、六八一 |
| 耕地整理新開地 | 一七五・六三 | ― | 八〇三 | 四・四六 | ― | 六八 | 〇・一二 | ― | 八 |
| 土地區劃整理新開地 | ― | ― | ― | ― | ― | ― | ― | ― | ― |
| 低價地 | 四三・五一 | 一〇、三二一 一七、一八五 | 一、〇三九 | 三・〇六 | 四一五 七二二 | 七一 | 〇・八四 | 二四五 三六四 | 九 |
| 造林地 | ― | ― | ― | 三・〇三 | 一九四 | 二二 | ― | ― | ― |
| 地租輕減地 | 〇・〇〇 | * 〇 〇 | 一 | 九七・五六 | * 六〇三 四五〇 | 一三一 | ― | ― | ― |
| 都市計畫法附則第三十三條に依る免租地 | ― | ― | ― | ― | ― | ― | ― | ― | ― |
| 北海道特別免租地 | 一、四三九・四五 | ― | 一、三一一 | 四五〇、三三三・二〇 | ― | 一五七、二六八 | 一、三三五・六五 | ― | 三、四四九 |
| 地種變更免租地 | 八一、四五四・五六 | ― | 四七、二八三 | 二、九〇七・一七 | ― | 五、八六六 | 五一七・三一 | ― | 五、八七〇 |
| 震災被害免租地 | 一、三六六・〇五 | 六六〇、九一五 | 二、七二〇 | 二六・二六 | 三、六二〇 | 一、一一七 | ― | ― | ― |
| 無年期開墾地 | 七二・六二 | 六六四 | 九二三 | 二〇七・二五 內 〇・三四 | 二、五八三 | 一、六五四 內 三 | 九〇・一四 | 三、七〇三 | 八〇六 |
| 鍬下開墾地 | 一〇・〇三 | 一六九 | 二九 | 八・四五 | 一一七 | 五六 | 一一・九〇 | 五九一 | 一八一 |
| 開拓地 | 一、〇七九・〇八 | 六、五九二 | 一、三三五 | 一、九六四・四一 | 二、三四八 | 一、五九九 | 六・六六 | 一〇一 | 二五 |
| 地目變換地價据置地 | 一九四・一四 | 四〇、〇八二 | 三、〇七七 | 五、二二三・七六 | 六八〇、八六八 | 九八、一七一 | 四五・四一 | 二五、〇八〇 | 七九三 |
| 耕地整理地價据置地 | 二、三六八・七七 | 二五五、一四四 | 二九、七五一 | 八三一・九八 | 五九、〇二四 | 八、八八九 | 一五・七五 | 八、八九四 | 三九二 |
| 土地區劃整理地價据置地 | 二・五八 | 七三九 | 一五〇 | 二八・八八 | 四、五四八 | 六四〇 | 〇・八四 | 五九二 | 二一 |
| 合計 | 一三一、〇六二・四〇 內 一一、四五七・九四 | 七、六〇〇、八一八 | 六四二、六五八 內 八、七二二 | 五〇〇、七二四・七五 內 四、七四三・三三 | 一、八〇九、二三三 | 五六四、〇七三 內 九、四一七 | 四、四八〇・〇八 內 九・一五 | 三六七、三五〇 三六四 | 四八、四五六 內 一四四 |

| 種別 | 段別 | 地目 | 地積 | 宅地 | 雑種地 | 農地 | 災害免租地 | 鉱年期間免租地 | 荒廃地 | 北海道特別免租地 | 十勝三條に依る免租地 | 都市計畫法附帶免租地 | 地租 | 地租減免地 | 造林地 | 低價地 | 土地風致保安林 | 耕地整理新開地 | 新開地 | 荒地 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 山林 | 別段 | 畑 | 一町一反三畝二十歩 | 一町一反三畝二十歩 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 地價 | | 五六、〇七 | 五六、〇七 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 筆數 | | 一 | 一 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 別段 | 畑 | 一町一反三畝二十歩 | 一町一反三畝二十歩 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 地價 | | 五六、〇七 | 五六、〇七 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 筆數 | | 一 | 一 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 牧場 | 別段 | 畑 | 一町一反三畝二十歩 | 一町一反三畝二十歩 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 地價 | | 五六、〇七 | 五六、〇七 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 筆數 | | 一 | 一 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 原野 | 別段 | 畑 | 一町一反三畝二十歩 | 一町一反三畝二十歩 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 地價 | | 五六、〇七 | 五六、〇七 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 筆數 | | 一 | 一 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 池沼 | 別段 | 畑 | 一町一反三畝二十歩 | 一町一反三畝二十歩 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 地價 | | 五六、〇七 | 五六、〇七 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 筆數 | | 一 | 一 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |



| 種別 | 段別 | 地目 | 地積 | 宅地 | 雑種地 | 農地 | 災害免租地 | 鉱年期間免租地 | 荒廃地 | 北海道特別免租地 | 十勝三條に依る免租地 | 都市計畫法附帶免租地 | 地租 | 地租減免地 | 造林地 | 低價地 | 土地風致保安林 | 耕地整理新開地 | 新開地 | 荒地 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 山林 | 別段 | 畑 | 一町一反三畝二十歩 | 一町一反三畝二十歩 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 地價 | | 五六、〇七 | 五六、〇七 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 筆數 | | 一 | 一 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 別段 | 畑 | 一町一反三畝二十歩 | 一町一反三畝二十歩 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 地價 | | 五六、〇七 | 五六、〇七 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 筆數 | | 一 | 一 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 牧場 | 別段 | 畑 | 一町一反三畝二十歩 | 一町一反三畝二十歩 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 地價 | | 五六、〇七 | 五六、〇七 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 筆數 | | 一 | 一 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 原野 | 別段 | 畑 | 一町一反三畝二十歩 | 一町一反三畝二十歩 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 地價 | | 五六、〇七 | 五六、〇七 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 筆數 | | 一 | 一 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 池沼 | 別段 | 畑 | 一町一反三畝二十歩 | 一町一反三畝二十歩 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 地價 | | 五六、〇七 | 五六、〇七 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 筆數 | | 一 | 一 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 種別 | 雜種地 段別（町畝） | 雜種地 地價（円） | 雜種地 筆數 | 地目未定地 段別（町畝） | 地目未定地 地價（円） | 地目未定地 筆數 | 合計 段別（町畝） | 合計 地價（円） | 合計 筆數 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 荒地 | 一三五・六四（內 五〇・七四） | 七、七四五 | 八二〇（內 一三五） | 四・四八（內 四・四八） | — | 八九（內 八九） | 五五、六七二・二六（內 六、四三六・六四） | 八、〇九〇、〇三六 | 八五一、八八九（內 一八、七三三） |
| 新開地 | 五七一・四七 | — | 一、一〇一 | — | — | — | 一三、四〇九・七〇 | — | 五三、八八九 |
| 耕地整理新開地 | 〇・二三 | — | 一 | — | — | — | 二〇一・〇一 | — | 八八八 |
| 土地區劃整理新開地 | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 低價地 | — | — | — | — | — | — | 四六・四四 | 一〇、九七一 一八、二六一 | 一、一三〇 |
| 造林地 | — | — | — | — | — | — | 二五、八八一・八四 | 九三、九二五 | 六、一七四 |
| 地租輕減地 | 〇・〇三 | *一 | 一 | — | — | — | 四、二四九・九五 | *七、四五四 五、〇七六 | 三、四六一 |
| 都市計畫法附則第三十三條に依る免租地 | — | — | — | 五〇・〇九 | — | 二、三八六 | 五〇・〇九 | — | 二、三八六 |
| 北海道特別免租地 | 二、一七〇・七六 | — | 三、四一三 | — | — | — | 一、一七一、一六〇・一三 | — | 二四九、〇六〇 |
| 地種變更免租地 | — | — | — | — | — | — | 一〇三、八七九・〇四 | — | 五九、〇一九 |
| 震災被害免租地 | — | — | — | — | — | — | 一、三九二・三一 | 六六四、五二五 | 三三、八三七 |
| 無年期開墾地 | 二二九・四五 | 一〇、五八三 | 二、九八七 | — | — | — | 七四、四六九・九一（內 四〇） | 四五一、五二〇 | 三四九、三九八（內 五） |
| 鍬下開墾地 | 三七九・六七（內 四六・八九） | 四、一八一 | 三、七四八（內 四一） | — | — | — | 一六、二八五・四三（內 七八・六五） | 八九、九一八 | 九一、九五〇（內 一一三） |
| 開拓地 | — | — | — | — | — | — | 三、〇五五・一五 | 九、〇五一 | 二、九六〇 |
| 地目變換地價据置地 | — | — | — | — | — | — | 五、四六九・七五 | 七四六、五九三 | 一〇三、〇六九 |
| 耕地整理地價据置地 | 二・五九 | 九 | 二九 | — | — | — | 三、九六三・七八 | 三三〇、三一四 | 四四、二三八 |
| 土地區劃整理地價据置地 | — | — | — | — | — | — | 三八・三〇 | 五、九四六 | 一、〇三〇 |
| 合計 | 三、四七九・八三（內 九七・六三） | 二二、五一九 | 一二、〇九九（內 一六六） | 五四・五七（內 四・四八） | — | 二、四七五（內 八九） | 一、四七八、二三五・〇七（內 六、五一五・六九） | 一〇、五〇〇、二三三 | 一、八四三、三五八（內 一八、八五〇） |

（備考）一、荒地、無年期開墾地及鍬下開墾地欄の內書は無地價に係るものとす。
二、低價地の地價は低減したる差額を掲げ、原地價は其の左方に掲ぐ。
三、開墾地、開拓地等の第一類地は年期中に於て成功し地目を組替へたるものにして地價未修正のものなり。
四、地租輕減地の＊印は輕減地租に相當する地價額なり。

## 第五表　地租納額別人員表（昭和二年一月一日現在）

| 稅務監督局名 | 道府縣名 | 一萬圓以上 | 五千圓以上 | 二千圓以上 | 千圓以上 | 五百圓以上 | 二百圓以上 | 百圓以上 | 五十圓以上 | 三十圓以上 | 二十圓以上 | 十五圓以上 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 東京 | 東京 | 四 | 九 | 八五 | 一四二 | 四四六 | 一、六九〇 | 三、一〇二 | 五、六九六 | 六、七五三 | 七、〇〇三 | 五、七六五 |
| | 神奈川 | 一 | 五 | 三 | 三四 | 一〇四 | 三五三 | 八二三 | 二、〇六二 | 三、七二三 | 五、一七四 | 五、一三〇 |
| | 埼玉 | — | — | — | 一五 | 七八 | 五六九 | 一、七二七 | 五、〇八七 | 八、三五六 | 一〇、二四一 | 九、四一四 |
| | 千葉 | — | — | 一 | 二 | 四五 | 三二八 | 一、二七四 | 四、四四三 | 八、七二〇 | 一三、〇七六 | 一〇、八一六 |
| | 山梨 | — | — | 一 | 五 | 三八 | 二〇三 | 四四七 | 一、一一四 | 一、八六一 | 二、八一三 | 三、〇〇三 |
| | 栃木 | — | — | — | 五 | 三七 | 二五三 | 九九〇 | 三、四九六 | 六、二五七 | 七、九八三 | 七、一三〇 |
| | 茨城 | — | — | — | 六 | 四五 | 三九五 | 一、四〇三 | 四、六五一 | 八、六四九 | 一二、五九二 | 一二、二四八 |
| | 群馬 | — | — | — | 三 | 一三 | 一八五 | 六一八 | 二、二八一 | 四、五一四 | 六、八九四 | 六、九一九 |
| | 計 | 五 | 一四 | 一〇八 | 二一三 | 八〇六 | 三、九七六 | 一〇、三八三 | 二八、八三〇 | 四八、八二三 | 六三、七七六 | 五九、四一五 |
| 大阪 | 大阪 | 一 | 五 | 二六 | 六〇 | 二八五 | 一、五八〇 | 三、三五九 | 七、六七九 | 九、七九四 | 一二、〇八四 | 九、一九五 |
| | 京都 | — | — | — | 九 | 二三 | 二七九 | 九三七 | 二、八四三 | 四、八八六 | 七、〇五三 | 七、二四四 |
| | 兵庫 | 四 | 四 | 一三 | 四七 | 一九六 | 九二七 | 二、二六三 | 六、三四六 | 一〇、五五八 | 一四、六二八 | 一三、八八六 |
| | 奈良 | — | — | — | 一 | 二一 | 一六二 | 六六五 | 二、〇九八 | 三、四二八 | 四、三七六 | 四、二六一 |
| | 和歌山 | — | — | — | 三 | 一九 | 一四二 | 四九五 | 一、六〇五 | 二、九六三 | 四、五八三 | 四、八七三 |
| | 滋賀 | — | — | — | — | 一六 | 一七三 | 八八七 | 三、七六三 | 八、一五〇 | 一〇、四七三 | 八、五六五 |

| 稅務監督局名 | 道府縣名 | 十圓以上 | 七圓以上 | 五圓以上 | 三圓以上 | 二圓以上 | 一圓以上 | 五十錢以上 | 二十錢以上 | 二十錢未滿 | 合計 | 地租條例第十三條ノ二及大正十五年法律第四十七號に依り地租を徵收せざる人員 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 大阪 | 福井 | — | — | — | 四 | 一七 | 二〇六 | 七〇五 | 二、三九四 | 四、三三〇 | 五、三八七 | 四、七八〇 |
| | 石川 | — | — | — | 一 | 一三 | 一六五 | 六三九 | 二、五三一 | 四、六八七 | 六、三二八 | 五、九四九 |
| | 富山 | — | — | — | 七 | 七三 | 四七六 | 一、三六八 | 三、九三八 | 五、四三五 | 六、一三四 | 五、七四一 |
| | 香川 | — | — | 三 | 二三 | 八三 | 三六一 | 七七七 | 二、〇四六 | 三、〇三三 | 四、二五九 | 四、二一七 |
| | 徳島 | — | — | 一 | 二 | 三一 | 一八七 | 六三一 | 一、五九一 | 二、六一四 | 三、九二九 | 四、二九一 |
| | 高知 | 一 | 一 | 二 | 五 | 一七 | 八八 | 四五二 | 一、四二六 | 二、六五三 | 三、九四五 | 三、八七六 |
| | 計 | 六 | 一〇 | 五七 | 一六一 | 七九二 | 四、七四六 | 一三、一七八 | 三八、二六〇 | 六三、四一〇 | 八二、一七八 | 七六、八七八 |
| 札幌 | 北海道 | — | 二 | 一三 | 三六 | 九二 | 三六九 | 六七一 | 一、四六八 | 一、九二六 | 二、七七九 | 三、四四四 |
| 仙臺 | 宮城 | — | — | — | 九 | 六三 | 三一八 | 八四一 | 二、二二一 | 四、〇五八 | 五、六六二 | 五、三〇九 |
| | 岩手 | — | — | — | 四 | 二〇 | 一二六 | 三四二 | 一、二四七 | 二、七三三 | 四、九四五 | 五、三八一 |
| | 福島 | — | — | 一 | — | 四〇 | 三〇九 | 八六五 | 二、九六九 | 七、七三七 | 一三、七〇一 | 一一、八〇七 |
| | 秋田 | — | 一 | 一 | 一三 | 八一 | 四七四 | 一、〇五九 | 二、五〇八 | 三、九九四 | 五、三〇四 | 四、九三七 |
| | 青森 | — | — | — | 七 | 四八 | 二〇九 | 六五二 | 一、五五七 | 二、六〇六 | 三、八八五 | 四、二四九 |
| | 山形 | — | — | 三 | 二三 | 九四 | 四五七 | 一、一六九 | 三、四四七 | 五、八〇〇 | 七、〇四五 | 六、二四八 |
| | 計 | — | 一 | 五 | 五六 | 三四六 | 一、八九三 | 四、九二八 | 一三、九四九 | 二六、九二八 | 三九、五四二 | 三七、九三一 |
| 名古屋 | 愛知 | — | — | 九 | 三二 | 一三三 | 七四八 | 一、七八三 | 五、五〇九 | 一〇、〇五四 | 一五、二一〇 | 一五、九七〇 |
| | 靜岡 | — | — | — | 四 | 四五 | 三五六 | 九五三 | 二、九九三 | 五、八六六 | 八、七六五 | 八、六六三 |
| | 三重 | — | — | 二 | 一三 | 四四 | 二八八 | 九〇一 | 三、四六一 | 七、九四六 | 一一、六〇九 | 一〇、四三〇 |
| | 岐阜 | — | — | — | 六 | 五九 | 三四一 | 八七四 | 二、五〇六 | 四、四九三 | 七、〇一九 | 七、四三三 |
| | 長野 | — | — | — | 二 | 一九 | 二〇九 | 六七六 | 二、七二〇 | 五、八三八 | 九、五四五 | 一〇、三三七 |
| | 新潟 | — | 一 | 二五 | 七八 | 二五四 | 一、一〇一 | 二、四〇六 | 六、〇三九 | 九、三三〇 | 一一、四六三 | 一〇、六〇九 |
| | 計 | — | 一 | 三六 | 一三五 | 五四三 | 三、〇四三 | 七、五九三 | 二三、二二八 | 四三、五二七 | 六三、六二一 | 六三、四三一 |
| 廣島 | 廣島 | — | — | 八 | 六 | 四〇 | 二七二 | 七八三 | 二、五七四 | 五、三〇四 | 九、二二六 | 一〇、五七一 |





| 稅務監督局名 | 道府縣名 | 十圓以上 | 七圓以上 | 五圓以上 | 三圓以上 | 二圓以上 | 一圓以上 | 五十錢以上 | 二十錢以上 | 二十錢未滿 | 合計 | 地租條例第十三條ノ二及大正十五年法律第四十七號に依り地租を徵收せざる人員 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 廣島 | 山口 | — | — | 一 | 五 | 一六 | 一五三 | 四三五 | 一、五六八 | 三、五五五 | 五、八二七 | 六、五八二 |
| | 岡山 | — | 一 | 一 | 一九 | 四八 | 三八〇 | 一、〇六二 | 三、三一八 | 六、七三一 | 一〇、九〇三 | 一一、五一〇 |
| | 鳥取 | — | — | — | 四 | 二三 | 一七七 | 四三四 | 一、二九八 | 二、〇七六 | 三、〇一一 | 三、〇〇五 |
| | 島根 | — | — | — | 九 | 三二 | 二二二 | 六一八 | 一、八六九 | 三、三七〇 | 四、九一四 | 五、〇五三 |
| | 愛媛 | — | — | 一 | 一〇 | 三五 | 二二九 | 六五五 | 一、九四八 | 三、四五四 | 五、三九五 | 五、五五五 |
| | 計 | — | 一 | 二 | 五三 | 一九四 | 一、四三三 | 三、九八七 | 一三、五七五 | 二四、四九〇 | 三九、二七五 | 四二、二七六 |
| 熊本 | 熊本 | 一 | — | — | 一八 | 七八 | 四三三 | 一、一九六 | 三、四九〇 | 六、三一四 | 八、九二九 | 八、九二八 |
| | 福岡 | — | — | 二 | 一五 | 八四 | 五九〇 | 一、七一〇 | 五、二八七 | 九、七九〇 | 一三、五〇七 | 一三、五九四 |
| | 大分 | — | — | — | 一 | 一六 | 一一九 | 四四九 | 一、五四一 | 三、二三九 | 五、七五七 | 七、〇一六 |
| | 長崎 | — | 二 | 一 | 四 | 三七 | 一八〇 | 四三九 | 一、二四五 | 二、一六〇 | 三、九四〇 | 四、五一四 |
| | 佐賀 | — | — | — | 五 | 三五 | 二二六 | 七二三 | 二、四九三 | 五、〇四一 | 七、一〇九 | 六、八〇四 |
| | 鹿兒島 | — | — | — | 一 | 一二 | 一〇一 | 三三九 | 一、二〇九 | 二、五一五 | 四、三二四 | 五、三七六 |
| | 宮崎 | — | — | — | 一 | 三一 | 一六六 | 三七〇 | 一、〇六九 | 一、四三三 | 三、九三八 | 四、二三〇 |
| | 沖繩 | — | — | — | — | 六 | 二三 | 三四 | 一三一 | 三一〇 | 七八七 | 一、二六五 |
| | 計 | 一 | 二 | 三 | 四五 | 二九八 | 一、八二七 | 五、二六〇 | 一六、四五五 | 三〇、八〇二 | 四七、二八一 | 五〇、七一七 |
| 總計 | | 三 | 三 | 二三 | 六九八 | 三、〇七一 | 一七、二八七 | 四六、〇〇〇 | 一三四、七六五 | 二三八、八九五 | 三三八、四四二 | 三三四、〇九二 |

| 稅務監督局名 | 道府縣名 | 十圓以上 | 七圓以上 | 五圓以上 | 三圓以上 | 二圓以上 | 一圓以上 | 五十錢以上 | 二十錢以上 | 二十錢未滿 | 合計 | 地租條例第十三條ノ二及大正十五年法律第四十七號に依り地租を徵收せざる人員 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 東京 | 九、六一二 | 七、六九六 | 八、一九八 | 一三、〇五五 | 一三、二八二 | 二二、二一一 | 一四、八二三 | 一〇、四三一 | 一五、七二六 | 一四四、七二八 | 四二、九九八 |
| | 神奈川 | 八、三一七 | 六、六八〇 | 七、一九八 | 一三、二九五 | 一三、五四一 | 二六、四〇五 | 二〇、四二五 | 一三、三二〇 | 一七、一六四 | 一四一、七五三 | 六三、一四五 |
| | 埼玉 | 一四、三九五 | 一〇、七七一 | 一一、二五九 | 二〇、九五三 | 二三、八七二 | 四〇、九四九 | 二六、七二八 | 一七、四三五 | 一八、五三四 | 二三〇、三八三 | 一一三、七八四 |
| | 千葉 | 一七、一八三 | 一三、一一六 | 一三、九七三 | 二三、五八一 | 二三、七一九 | 四七、〇四三 | 三六、九九八 | 二七、九四〇 | 四七、九〇九 | 二八九、一五七 | 一五二、九三九 |

五畿内　東京　山形　青森

秩父　北足立　南足立　入間　比企　横見　児玉　大里　男衾　賀美　那珂　榛沢　幡羅　男衾　大里　児玉　横見　比企　入間　南足立　北足立　秩父

埼玉　群馬　新潟　長野　岐阜　三重　静岡　愛知　計

佐渡　加茂　三島　古志　魚沼　頸城　刈羽　三島　蒲原　岩船　村上　北蒲原　東蒲原　西蒲原　中蒲原　南蒲原　岩船　蒲原　三島　刈羽　頸城　魚沼　古志　三島　加茂　佐渡

新潟　福島　宮城　岩手　秋田　青森　計

会津　河沼　大沼　耶麻　安積　岩瀬　須賀川　石川　田村　白河　標葉　楢葉　磐城　菊多　宇多　行方　相馬　亘理　伊具　柴田　刈田　名取　黒川　桃生　牡鹿　本吉　登米　栗原　遠田　玉造　志田　加美　宮城　磐井　気仙　岩手　秋田　雄勝　平鹿　仙北　山本　河辺　秋田　青森　津軽　鼻和　北津軽　南津軽　青森

福島　茨城　栃木　群馬　埼玉　千葉　東京　神奈川　計

信夫　伊達　刈田　柴田　名取　宇多　相馬　行方　標葉　楢葉　磐城　菊多　石城　磐前　多珂　那珂　久慈　茨城　河内　結城　下総　猿島　梁田　安蘇　都賀　芳賀　那須　塩谷　河内　上都賀　下都賀　芳賀　塩谷　那須　安蘇　梁田　猿島　葛飾　埼玉　足立　豊島　荏原　橘樹　都筑　久良岐　三浦　計





大阪　京都　兵庫　奈良　和歌山　滋賀　岐阜　愛知　三重　静岡　山梨　長野　新潟　計

泉北　泉南　河内　若江　渋川　茨田　讃良　交野　島上　島下　豊能　能勢　川辺　武庫　有馬　八部　菟原　住吉　西成　東成　住吉　菟原　八部　有馬　武庫　川辺　能勢　豊能　島下　島上　交野　讃良　茨田　若江　渋川　河内　泉南　泉北　計

大阪　滋賀　岐阜　愛知　三重　静岡　山梨　長野　新潟　福島　宮城　岩手　秋田　青森　計

和泉　日根　大鳥　丹北　八上　志紀　渋川　高安　若江　茨田　讃良　交野　島上　島下　豊能　能勢　川辺　武庫　有馬　八部　菟原　住吉　西成　東成　住吉　菟原　八部　有馬　武庫　川辺　能勢　豊能　島下　島上　交野　讃良　茨田　若江　渋川　河内　泉南　泉北　計





札幌　宮城　岩手　福島　秋田　仙台

| 總計 | 神宮 | 七、六六六 | 三、三五六 | 一、三一〇 | 一、三五六 | 一、三五六 | 一、三五六 | 一、三五六 | 一、三五六 | 一、三五六 | 一、三五六 | 一、三五六 | 一、三五六 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 橿崎 | 六四三 | 三三五 | 八六 | 一二五 | 一二五 | 一二五 | 一二五 | 一二五 | 一二五 | 一二五 | 一二五 | 一二五 |
| | 計 | 七、二〇九 | 三、三九一 | 一、三一六 | 一、三五一 | 一、三五一 | 一、三五一 | 一、三五一 | 一、三五一 | 一、三五一 | 一、三五一 | 一、三五一 | 一、三五一 |
| 内國稅 | 一圓 | 七、六六六 | 三、三五六 | 一、三一〇 | 一、三五一 | 一、三五一 | 一、三五一 | 一、三五一 | 一、三五一 | 一、三五一 | 一、三五一 | 一、三五一 | 一、三五一 |
| | 五圓以上 | 四四三 | 三三 | 六 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 |
| | 十圓以上 | 四〇三 | 三〇 | 六 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 |
| | 二十圓以上 | 三五四 | 二六 | 五 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 |
| | 五十圓以上 | 二四三 | 一八 | 四 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 |
| | 百圓以上 | 一九三 | 一四 | 三 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 |
| | 五百圓以上 | 一四三 | 一一 | 二 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 |
| | 千圓以上 | 一〇三 | 八 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 |
| | 五千圓以上 | 四三 | 三 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 |
| | 一萬圓以上 | 二三 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 |
| | 五萬圓以上 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 |
| | 十萬圓以上 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 |
| | 五十萬圓以上 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 |
| | 百萬圓以上 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 |

（備考）一、本表は市町村地租名寄帳に依り調製せり。

二、地租條例第十三條ノ二及大正十五年法律第四十七號に依り地租を徴收せざるものは算入せず。

## 第六表　罹災地地租年賦延納表

| 年次 | 段別 | 地價 | 地租 | 件數 |
|---|---|---|---|---|
| 大正二年 | 五、四四三、三四町歩 | 四六、五八七、四五四圓 | 一八、六五七圓 | 四一 |
| 同三年 | 五、四四三、〇四三 | 四六、五八七、四五四 | 一八、六五七 | 四一 |
| 同四年 | 五、四四三、〇四三 | 四六、五八七、四五四 | 一八、六五七 | 四一 |
| 同五年 | 五、四四三、〇四三 | 四六、五八七、四五四 | 一八、六五七 | 四一 |
| 同六年 | 五、四四三、〇四三 | 四六、五八七、四五四 | 一八、六五七 | 四一 |
| 同七年 | 五、四四三、〇四三 | 四六、五八七、四五四 | 一八、六五七 | 四一 |
| 同八年 | 五、四四三、〇四三 | 四六、五八七、四五四 | 一八、六五七 | 四一 |
| 同九年 | 五、四四三、〇四三 | 四六、五八七、四五四 | 一八、六五七 | 四一 |
| 同十年 | 五、四四三、〇四三 | 四六、五八七、四五四 | 一八、六五七 | 四一 |
| 同十一年 | 五、四四三、〇四三 | 四六、五八七、四五四 | 一八、六五七 | 四一 |
| 同十二年 | 五、四四三、〇四三 | 四六、五八七、四五四 | 一八、六五七 | 四一 |
| 同十三年 | 五、四四三、〇四三 | 四六、五八七、四五四 | 一八、六五七 | 四一 |
| 同十四年 | 五、四四三、〇四三 | 四六、五八七、四五四 | 一八、六五七 | 四一 |
| 同十五年 | 五、四四三、〇四三 | 四六、五八七、四五四 | 一八、六五七 | 四一 |

（備考）大正二年に於ては繰越分濟のものを掲ぐるも大正三年に於ては會計年度に依り調査す。

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 明治四〇年 | 明治三十五年法律第二十七號 | 天候不順水害 | — | 三八、一一九・三一町 | 九、七〇三、三一六円 | 五三三、六五五円 | 五六八、六一三 |
| 同四一年 | 同上 | 水害 | — | 三、八五七・七三 | 一一七、六六三 | 二八、四七一 | 五八、三四九 |
| 同四二年 | 同上 | 同上 | — | 五、二七五・三五 | 八〇〇、九四〇 | 四四、〇五一 | 八四、三三九 |
| 同四三年 | 同上 | 同上 | — | 一三五、二〇四・三四 | 三一、五三三、七七九 | 一、四八一、六一八 | 一、九九六、八七三 |
| 同四四年 | 同上 | 同上 | — | 三七、三三一・四八 | 七、一五三、八六八 | 三三六、二三一 | 六七四、七二三 |
| 大正元年 | 同上 | 同上 | — | 一一、〇六四・四〇 | 二、〇六〇、一七五 | 九六、八二三 | 二〇八、八八三 |
| 同二年 | 同上 | 同上 | — | 六四、五九一・九六 | 一三、一一〇、九三〇 | 六一六、二一八 | 一、〇五五、五八六 |
| 同三年 | 大正三年二月法律第一號災害地地租免除法 | 災害 | 三三五、二六三 | 一一三、八四七・三〇 | 二四、〇二九、三九六 | 一、一三六、四七五 | 一、四二三、六二七 |
| 同四年 | 同上 | 同上 | 七三、六一六 | 二四、五二一・三〇 | 四、八六四、七五六 | 三三三、六三三 | 三〇五、八五〇 |
| 同五年 | 同上 | 同上 | 七八、七七一 | 二三、七八五・六〇 | 六、〇一三、六一三 | 二七〇、六〇七 | 三〇七、九六三 |
| 同六年 | 同上 | 同上 | 二八、一六四 | 九、二〇三・〇〇 | 三、〇四〇、一五〇 | 一三六、八〇六 | 一三八、八三一 |
| 同七年 | 同上 | 同上 | 五二、〇二八 | 二三、三三九・五〇 | 五、七二七、三一四 | 二五七、七二七 | 二六六、六二五 |
| 同八年 | 同上 | 同上 | 五一、一六〇 | 一六、五六四・九〇 | 三、六二〇、八〇六 | 一六二、九三五 | 二三五、六三〇 |
| 同九年 | 同上 | 同上 | 四〇、五〇四 | 一五、五九二・七〇 | 二、三三九、三三六 | 一〇五、二四七 | 一七八、八六七 |
| 同一〇年 | 同上 | 同上 | 三九、一二八 | 一一、三三四・五〇 | 二、六九八、九六六 | 一三一、四二九 | 一七三、七三三 |
| 同一一年 | 同上 | 同上 | 四五、五六四 | 一三、三八四・一八 | 二、九三九、四三七 | 一三〇、六五四 | 一五六、四八四 |
| 同一二年 | 同上 | 同上 | 五一、六八〇 | 一八、三六三・六〇 | 三、三七二、二六七 | 一四八、三五六 | 一七四、五二三 |
| 同一三年 | 同上 | 同上 | 三八九、六七八 | 七九、八四五・一〇 | 三二、四六三、七四一 | 一、〇一〇、八五九 | 一、二六五、八八五 |
| 同一四年 | 同上 | 同上 | 六四、〇九一 | 一五、五三三・三九 | 三、六二一、八〇八 | 一六二、五一五 | 二三六、三三九 |
| 昭和元年 | 同上 | 同上 | 一一八、四六八 | 三二、二四三・三一 | 七、九四九、八七二 | 三五七、四三九 | 五八〇、九〇三 |

（備考）一、明治三十八年以前の分は被害の年別に依り記入し、明治三十九年以降は暦年に依り處分済のものを掲ぐ。
二、地租は地價に税率を乘じたるものとし、內書は増徴租額なり。
三、大正十一年分に於ては神奈川縣中震火災に依り燒失し、材料不明となりたる税務署分を除算しあり。
四、單位未滿は之を切捨とす。

# 第二節　所得稅

## 第一款　日露戰役以前の所得稅

### 第一項　所得稅法の制定

我國所得稅の制度は明治二十年を以て創設せられたり。當時我國國庫歳入の過半は之を租稅收入に仰ぎ、租稅收入の大部分は之を地租及酒稅等に依りしと雖も、國費の膨脹は國運の進展に伴ひ年年著しきものあるに加へ、國際的情勢に鑑み海軍擴張の急務を告ぐるものありて、國庫收入の增加を圖るの必要は甚だ緊切なるものを存したり。然るに當時の稅法は概ね維新創業の際の制定に係り其の後の國情の推移に伴はざるもの多く、且租稅負擔の輕重甚だ均衡を得ざるものありて、單に從來の租稅を增徵することに依りて當時の財政需要を充すことは到底不可能なりしのみならず、當時租稅制度革新の機運漸く迫れるものありしを以て、茲に政府は外國の制度を參酌して新に所得稅を起し、以て歳入の增加を期すると共に、租稅制度の革新を圖ることと爲し、卽ち明治二十年三月二十三日勅令第五號を以て所得稅法を公布し、同年七月一日より之を實施したり。同法は全文二十九箇條及附則より成り、一箇年三百圓以上の個人所得に對して課稅せんとするものにして、所得額を三萬圓以上、二萬圓以上、一萬圓以上、千圓以上、三百圓以上の五等級に分ち、之に對し夫々百分の三、百分の二半、百分の二、百分の一半及百分の一の累進稅率を適用し、又同居家族の收入は之を戸主の所得に合算課稅

し、法人の所得に對しては課稅せざることとせり。而して各郡區役所管轄内に所得稅調査委員會を設置して所得の調査に當らしめ、之が決定に關する事務は府縣知事及郡區長をして管掌せしめたり。尙同法の制定に伴ひ同年五月大藏省令第八號を以て其の施行細則を公布し、以て同法施行上の手續を定めたり。今右所得稅法の全文を掲ぐれば左の如し。

## 所得稅法（明治二十年三月二十三日勅令第五號）

第一條　凡ソ人民ノ資產又ハ營業其他ヨリ生スル所得金高一箇年三百圓以上アル者ハ此稅法ニ依テ所得稅ヲ納ムヘシ

但同居ノ家族ニ屬スルモノハ總テ戸主ノ所得ニ合算スルモノトス

第二條　所得ハ左ノ定則ニ據テ算出スヘシ

第一　公債證書其他政府ノ特許ヲ得テ發スル證券ノ利子、營業ニアラサル貸金預金ノ利子、株式ノ利益配當金、官私ヨリ受クル俸給、手當金、年金、恩給金及割賦賞與金ハ直ニ其金額ヲ以テ所得トス

第二　第一項ヲ除クノ外資產又ハ營業其他ヨリ生スルモノハ其種類ニ應シ收入金高若クハ收入物品代價中ヨリ國稅、地方稅、區町村費、備荒儲蓄金、製造品ノ原質物代價、販賣品ノ原價、種代、肥料、營利事業ニ屬スル場所物件ノ借入料、修繕料、雇人給料、負債ノ利子及雜費ヲ除キタルモノヲ以テ所得トス

第三　第二項ノ所得ハ前三箇年間所得平均高ヲ以テ算出スヘシ但所得收入以來未タ三年ニ滿タサルモノハ月額平均其平均ヲ得難キモノハ他ニ比準ヲ取リテ算出スヘシ

第三條　左ニ揭クルモノハ所得稅ヲ課セス

第一　軍人從軍中ニ係ル俸給

第二　官私ヨリ受クル旅費、傷痍疾病者ノ恩給金及孤兒寡婦ノ扶助料

第三　營利ノ事業ニ屬セサル一時ノ所得

第四條　所得稅ノ等級及稅率左ノ如シ

| 等級 | 稅率 |
|---|---|
| 第一等　所得金高三萬圓以上 | 百分ノ三 |
| 第二等　所得金高貳萬圓以上 | 百分ノ二半 |
| 第三等　所得金高壹萬圓以上 | 百分ノ二 |
| 第四等　所得金高千圓以上 | 百分ノ一半 |
| 第五等　所得金高三百圓以上 | 百分ノ一 |

但所得金高ハ圓位未滿ノ端數ヲ算セス

第五條　所得稅ハ前半年分ヲ其年九月ニ後半年分ヲ翌年三月ニ納ムヘシ

第六條　此稅法ニ依リ稅金ヲ納ムヘキ所得アル者ハ其年所得ノ豫算金高及種類ヲ記シ毎年四月三十日マテニ居住地ノ戸長ヲ經テ郡區長ニ屆出ヘシ

第七條　各郡區役所管轄内ニ七名以下ノ所得稅調査委員ヲ置キ毎年調査委員會ヲ開キ所得稅ニ關スル調査ヲ爲サシム

調査委員定數ノ外五名以下ノ補缺員ヲ置キ缺員ノ補充ニ備フヘシ